令和2年度定時総会要綱

公益社団法人　富山県看護協会

令和２年度

定時総会

令和２年６月28日（日）

富山県看護研修センター

公益社団法人　富山県看護協会

日本看護協会歌

光　求めて

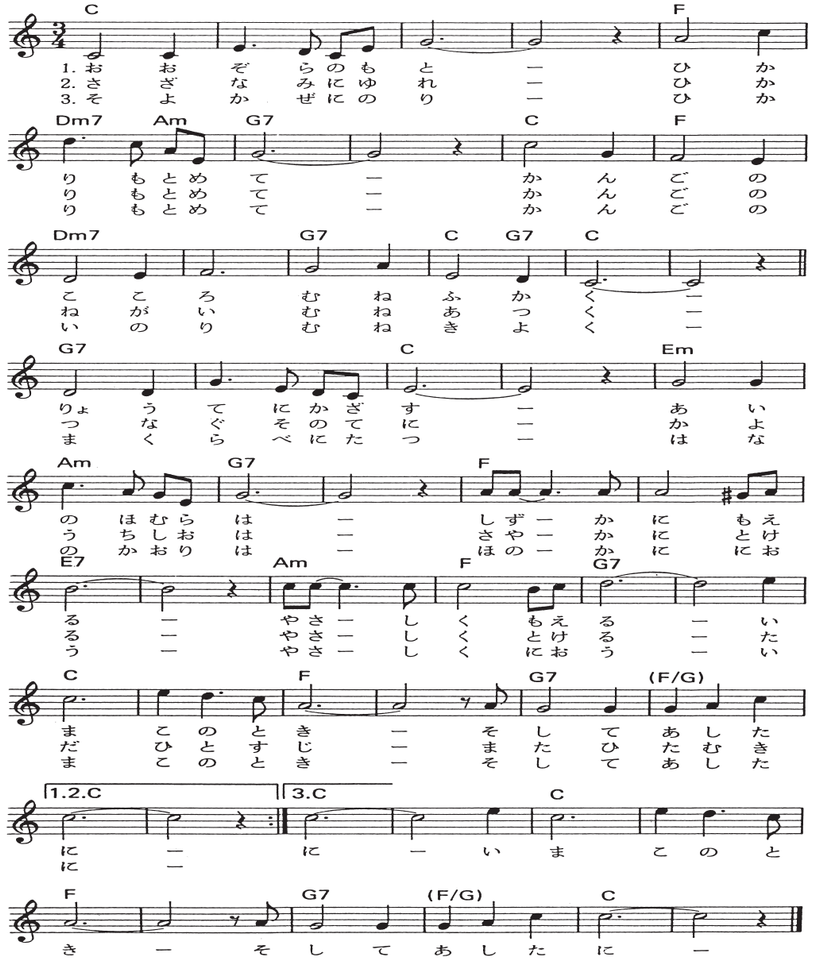
作詩　山本敏子
補作詩・作曲　小椋　佳

大空のもと　光求めて
看護の心　胸深く
両手にかざす　愛のほむらは
静かに燃える　優しく燃える
今　この時　そして明日に

さざなみに揺れ　光求めて
看護の願い　胸熱く
つなぐその手に　通う血潮は
さやかにとける　優しくとける
ただ　ひとすじ　またひたむきに

そよ風に乗り　光求めて
看護の祈り　胸清く
枕べにたつ　花の香りは
ほのかに匂う　優しく匂う
今　この時　そして明日に

今　この時　そして明日に



目　　次

看護者の倫理綱領 …… 3

富山県看護協会の基本理念 …… 4

令和２年度定時総会開催にあたって …… 5

令和２年度定時総会プログラム …… 6

議　　事

理事会報告 …… 9

職能委員会報告 …… 15

委員会報告 …… 22

支部活動報告 …… 30

提　出　議　題

第１号議案　令和元年度事業報告（案） …… 41

第２号議案　令和元年度収支決算報告（案）及び監査報告 …… 53

第３号議案　令和２年度富山県看護協会役員（案）の選任について …… 71

第４号議案　令和３年度日本看護協会通常総会代議員等（案）の選出について …… 72

第５号議案　令和２年度選挙管理委員・推薦委員候補者（案）の承認について …… 73

報　告　事　項

報告事項１　令和２年度重点事業並びに事業計画 …… 77

報告事項２　令和２年度収支予算 …… 83

資　　料

令和２年度優良看護職員表彰者名簿 …… 95

[第１号議案　令和元年度事業報告(案)資料]
令和元年度研修会等実施状況報告 …… 96
令和元年度富山県ナースセンター事業報告 …… 111
令和元年度訪問看護ネットワークセンター事業報告 …… 127
令和元年度その他の助成事業報告 …… 133
令和元年度行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況 …… 137
令和元年度他団体等への推薦 …… 139
令和元年度後援・協力等依頼報告 …… 140
令和元年度訪問看護ステーションひよどり事業報告 …… 142
令和元年度訪問看護ステーションひよどり富山事業報告 …… 145
令和元年度ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告 …… 150
令和元年度神明・五福地域包括支援センター事業報告 …… 153
令和２年度富山県行政への要望事項 …… 156

[各種名簿]
令和元年度富山県看護協会施設別・職種別会員数 …… 159
令和元年度受賞者名簿…… 161
令和元年度富山県看護協会役員及び委員名簿…… 162
令和元年度支部役員名簿…… 165
令和２年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿…… 166

[委員会等報告資料]
人材育成研修会報告 …… 保健師職能委員会… 167
妊娠期からの切れ目のない子育て支援研修会報告 【保健師・助産師合同】 … 保健師職能委員会… 168
「保健指導ミーティング　支援困難事例へのアプローチ」研修会報告 … 保健師職能委員会… 169
アドバンス助産師の活動について実態調査報告 …… 助産師職能委員会… 170
「いのちの教室」実践報告 …… 助産師職能委員会… 180
クリニカルラダー(JNAラダー)の評価研修会報告 …… 看護師職能Ⅰ委員会… 181
特定行為に係る看護師の活動の実際研修会報告 …… 看護師職能Ⅰ委員会… 183
看護師のクリニカルラダー活用研修会報告 …… 看護師職能Ⅱ委員会… 185
介護・福祉関係施設在宅等領域での看取りのケア研修会報告…… 看護師職能Ⅱ委員会… 186
在宅ケア事例検討会報告 …… 看護師職能Ⅱ委員会… 188
３職能４委員会連携事業報告 …… 保･助･看ⅠⅡ職能委員会… 192
在宅医療体験実習報告 …… 富山(東北西)支部… 197
認定看護師教育課程について …… 199

[参考資料]
会員数と入会率 …… 200
都道府県看護協会一覧表 …… 202
都道府県ナースセンター一覧表 …… 203
公益社団法人富山県看護協会定款 …… 204
公益社団法人富山県看護協会組織図 …… 216
公益社団法人富山県看護協会職員名簿 …… 217

看 護 者 の 倫 理 綱 領

2003年 日本看護協会

条文

1　看護者は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。

2　看護者は、国籍、人種・民族、宗教、信条、年齢、性別及び性的指向、社会的地位、経済的状態、ライフスタイル、健康問題の性質にかかわらず、対象となる人々に平等に看護を提供する。

3　看護者は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。

4　看護者は、人々の知る権利及び自己決定の権利を尊重し、その権利を擁護する。

5　看護者は、守秘業務を遵守し、個人情報の保護に努めるとともに、これを他者と共有する場合は適切な判断のもとに行う。

6　看護者は、対象となる人々への看護が阻害されているときや危険にさらされているときは、人々を保護し安全を確保する。

7　看護者は、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について個人としての責任をもつ。

8　看護者は、常に、個人の責任として継続学習による能力の維持・開発に努める。

9　看護者は、他の看護者及び保健医療福祉関係者とともに協働して看護を提供する。

10　看護者は、より質の高い看護を行うために、看護実践、看護管理、看護教育、看護研究の望ましい基準を設定し、実施する。

11　看護者は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。

12　看護者は、より質の高い看護を行うために、看護者自身の心身の健康の保持増進に努める。

13　看護者は、社会の人々の信頼を得るように、個人としての品行を常に高く維持する。

14　看護者は、人々がよりよい健康を獲得していくために、環境の問題について社会と責任を共有する。

15　看護者は、専門職組織を通じて、看護の質を高めるための制度の確立に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。

富山県看護協会の基本理念

Ⅰ　使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

そのため、

一　教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る

一　看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する

一　人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

Ⅱ　活動理念

一　看護職の力を変革に向けて結集する

一　自律的に行動し協働する

一　専門性を探求し新たな価値を創造する

Ⅲ　基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の六つの実現手法を用いて、人々の健康で豊かな生活の実現を図るものである。

（平成22年３月富山県看護協会３月通常総会にて決定）

令和２年度　定時総会開催にあたって

公益社団法人富山県看護協会
会　長　　大井　きよみ

雨の後の新緑が、ひときわ濃く感じられる季節となりました。

令和２年度の総会は新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、規模を縮小して開催しております。会員の皆様には、感染症対応が長期化する中で、24時間患者さんのベッドサイドや療養の場において、細心の注意を払いながら対応に力を尽くしておられることに心より敬意を表します。

また、日頃より看護協会の運営および各種事業の推進にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和元年度は地域包括ケアにおける看護提供体制の構築について、支部活動の強化を図るため、支部構成を２次医療圏域と一致させ、支部長は他職種や関係団体との連携を担う役職者とし、任期の継続を原則とすることを決定しました。また、訪問看護の機能強化では４医療圏に５か所の訪問看護サポートステーションを設置し、相談対応や研修会の開催で連携を強化しております。

看護職の働き方改革の推進では、平成23年度から30年度まで「看護職のWLB推進ワークショップ事業」に取り組まれた28施設の報告書を作成いたしました。また、中小民間病院を対象とした訪問型のWLB推進事業に取り組んでおります。対象者は看護助手や介護職も含む看護要員としインデックス調査を実施しております。

看護職の役割拡大の推進と人材育成では摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程の休講を決定いたしました。令和２年３月に６期生の修了式を終え、平成25年に富山県立総合衛生学院に開設した認定看護師教育センターは閉講しております。今後、特定行為研修を含むB課程認定看護師教育課程への移行について調査・検討を進めてまいります。

令和２年度の最重点事業は、９月に開催予定の日本看護学会看護教育学術集会です。全国に先駆け、看護基礎教育４年の県立大学看護学部が開設された富山県です。令和の時代を担う『命といのちに寄り添うことのできる看護実践力のある看護師の育成』について、会員の皆様と研究発表を通し、情報共有と発信ができればと思います。

少子高齢化が進む中、地域共生社会の実現に向けて、「あらゆる場、あらゆる人々に対する良質な看護の提供」が求められております。そこで、本協会の使命である「県民の健康で豊かな生活の実現」のため、「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提としつつ、医療モデルから生活モデル重視への転換に対する看護提供体制の構築に向け、地域のあらゆる場で働く看護職が連携し、役割を発揮できるよう活動していきたいと思います。

令和２年度の重点目標として

(1) 日本看護学会看護教育学学術集会の開催
(2) 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
(3) 看護職の働き方改革の推進
(4) 看護職の役割拡大の推進と人材育成

の４つをあげ事業計画を立てております。

本日の総会におきましては、令和元年度事業報告、決算報告（案）、そして役員の選任など５つの議案を提出しておりますので、慎重審議をお願いいたします。併せて報告事項の令和２年度重点事業、事業計画及び収支予算につきましても、会員の皆様からの忌憚のないご意見をいただき実り多き総会となることを期待しております。

令和２年度 定時総会プログラム

日　時　　令和２年６月２８日(日) １３：３０～１４：３０
場　所　　富山県看護研修センター　３階第１研修室

13:00　開場
13:25　オリエンテーション
13:30　開会
　物故会員への黙とう
　会長あいさつ
　祝電披露
　富山県部門功労（知事）表彰者紹介
　富山県看護協会長表彰者紹介
13:35　議長団及び議事録署名人の承認
13:40　議　事
　１　理事会報告（書面）
　２　職能委員会報告（書面）
　３　委員会報告（書面）
　４　支部活動報告（書面）
13:45　提出議題
　第１号議案　令和元年度　事業報告（案）
　第２号議案　令和元年度　収支決算報告（案）及び監査報告
　第３号議案　令和２年度　富山県看護協会役員（案）の選任について
　第４号議案　令和３年度　日本看護協会代議員等（案）の選出について
　第５号議案　令和２年度　選挙管理委員・推薦委員候補者（案）の承認について
　報告事項
　　報告事項１　令和２年度　重点事業並びに事業計画（書面）
　　報告事項２　令和２年度　収支予算（書面）
14:15　議長団解任
　会歌（合唱なし）
14:30　閉会

議　　事

理事会報告 …… 9

職能委員会報告 …… 15

委員会報告 …… 22

支部活動報告 …… 30

理　事　会　報　告

1　理事会開催状況

回	日　時		場　所
1	平成31年４月12日（金）	16:00～17:30	富山県看護研修センター
2	令和元年５月29日（水）	17:30～19:15	富山県看護研修センター
3	令和元年６月15日（土）	16:00～16:30	富山県民共生センター　サンフォルテ
4	令和元年８月２日（金）	17:30～19:17	富山県看護研修センター
5	令和元年10月８日（火）	17:30～19:20	富山県看護研修センター
6	令和元年12月３日（火）	15:30～17:20	富山県看護研修センター
7	令和２年１月17日（金）	15:30～17:00	富山県看護研修センター
8	令和２年３月19日（木）	15:30～16:55	富山県看護研修センター

2　協議事項等

回	協　議　事　項　等
1	1　協議承認事項 1）2019年度各委員の推薦等について 2）2019年度新規会員の承認について　　2019年４月７日現在　8,152名 3）2019年度定時総会について (1)　2019年度富山県看護協会定時総会提出議題（案）について ＜議決事項＞ 第１号議案　平成30年度事業報告（案） 第３号議案　2019年度富山県看護協会役員の選任（案）について 第４号議案　2020年度日本看護協会代議員等の選出（案）について 第５号議案　2019年度富山県看護協会名誉会員（案）の承認について 第６号議案　2019年度選挙管理委員・推薦委員候補者（案）の承認について 4）　2019年度富山県看護協会長表彰候補者について 5）　2019年度事業について (1)　第29回「看護の日」看護フェスティバルについて (2)　「高校生の一日看護見学」（案）について 2　報告了承事項 1）平成30年度事業報告 (1)　各委員会の年間活動報告 (2)　各支部活動報告 (3)　研修会実施報告 (4)　その他の会議報告 3　その他
2	1　協議承認事項 1）令和元年度定時総会等について (1)　令和元年度富山県看護協会定時総会の運営（案）について (2)　令和元年度職能集会の運営（案）について

回	協　　議　　事　　項　　等
2	3）令和元年度決算報告 4）平成30年度新規会員の承認について 5）令和２年度事業について 2　報告了承事項 1）日本看護協会会議報告 (1)　第１回理事会報告 (2)　日本看護協会学術集会開催権打ち合わせ会報告 (3)　都道府県看護協会看護労働担当者会議報告 (4)　ナースセンター事業担当者会議報告 2）富山県看護協会事業報告 (1)　会員数報告　　令和元年５月26日現在　8,274名 (2)　看護職員再就業支援研修について (3)　富山県認定看護師教育センター事業報告 (4)　ナースセンター事業実績報告 (5)　教育研修実施状況報告 (6)　後援・協力等依頼報告 (7)　その他の会議等報告 3　その他 (1)　県内における特定行為研修開催状況について (2)　富山県立大学協力会について (3)　会計実地検査について (4)　支部役員の変更について
3	1　協議承認事項 1）役員の選定について 2）委員会及び支部担当理事（案）について 3）令和元年度新規会員の承認について 4）令和元年度事業について (1)　合同委員会及び支部役員会の開催（案）について (2)　訪問看護ステーション連携加速化事業について (3)　富山マラソン2019における救護所への看護師派遣について 5）その他 2　報告了承事項 1）日本看護協会会議報告 (1)　第２回理事会報告 2）富山県看護協会事業報告 (1)　会員数報告　　令和元年６月９日現在　8,315名 (2)　ナースセンター事業実績報告 3　その他
4	1　協議承認事項 1）令和２年度県要望事項（案）について 2）令和元年度新規会員の承認について 3）看護研修センター修繕計画について 4）認定看護師教育課程の運用について 5）富山県看護協会一般事業主行動計画の策定について

回	協　　議　　事　　項　　等
4	6）令和元年度事業について (1)　富山県総合防災訓練（案）について (2)　富山マラソン2019における救護所への看護師派遣（案）について 2　報告了承事項 1）日本看護協会会議報告 (1)　第３回理事会報告 2）富山県看護協会事業報告 (1)　会員数報告　令和元年７月28日現在　8,587名 (2)　教育研修実施状況報告 (3)　ナースセンター事業実績報告 (4)　富山県認定看護師教育センター事業報告 (5)　認定看護管理者教育課程について (6)　2020年度開催日本看護学会学術集会について (7)　訪問看護ステーション連携加速化事業について (8)　その他の会議等報告 (9)　各委員会活動状況報告 (10)　各支部活動状況報告 (11)　後援・協力等依頼報告 3　その他
5	1　協議承認事項 1）令和元年度新規会員の承認について 2）令和元年度事業について (1)　認定看護師教育課程の休講について (2)　原子力総合防災訓練救護所への看護師派遣（案）について (3)　災害支援ナース派遣調整合同訓練（案）について (4)　2019年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会（案）について (5)　令和元年度県内病院就職ガイダンス開催要領（案）について (6)　理事会の開催時間について 3）令和２年度事業について (1)　総会・職能集会について (2)　日本看護学会学術集会　看護教育 4）その他 2　報告了承事項 1）日本看護協会会議報告 (1)　第４回理事会報告 (2)　全国職能委員長会議報告 (3)　都道府県看護協会教育担当者会議報告 (4)　災害看護担当者会議 (5)　日本看護学会　看護教育学術集会報告 (6)　都道府県看護協会政策責任者会議報告 2）富山県看護協会事業報告 (1)　会員数報告　令和元年10月８日現在　8,740名 (2)　ナースシップ令和２年度継続手続きについて

回	協　議　事　項　等
5	(3)　令和２年度県要望事項について (4)　摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程開講式について (5)　教育研修実施状況報告 (6)　ナースセンター事業実績報告 (7)　訪問看護ステーションひよどり事業報告 (8)　訪問看護ステーションひよどり富山・居宅介護支援事業所ひよどり富山事業報告 (9)　神明・五福地域包括支援センター事業報告 (10) 訪問看護ネットワークセンター事業報告 (11) その他の事業報告 (12) 各委員会活動状況報告 (13) 支部の構成検討委員会報告 (14) 各支部活動状況報告 (15) 後援・協力等依頼報告 (16) その他の会議等報告 (17) その他 3　その他
6	1　協議承認事項 1）令和元年度新規会員の承認について 2）令和元年度事業について (1)　看護政策推進のための組織強化事業（案） 3）令和２年度事業について (1)　看護体験談募集（案）について (2)　第30回「看護の日」看護フェスティバルにおける出店意向調査について（案） (3)　令和２年度執行部会・理事会日程（案） 4）2020年度日本看護協会名誉会員・協会長表彰候補者（案）の推薦について 5）助産師職能委員会「アドバンス助産師の活動に関する実態調査」 6）認定看護管理者教育課程ファーストレベルの定員変更について 7）支部構成の変更及び役員体制について 8）キャリナースの推進について 9）受講料及び納入方法の見直しについて 10）会館使用料の見直しについて 11）その他 2　報告了承事項 1）日本看護協会会議報告 (1)　第５回理事会報告 (2)　東海・北陸地区法人会員会報告 (3)　地区別職能委員長会報告 (4)　支部役員等研修会報告 2）富山県看護協会事業報告 (1)　会員数報告　　令和元年12月３日現在　8,804名 (2)　令和２年度富山県予算知事要望 (3)　第30回富山県看護研究学会について (4)「富山マラソン2019」メディカル報告

回	協　　議　　事　　項　　等
6	(5)　第51回日本看護学会-看護教育-学術集会準備委員会報告 (6)　認定看護師教育課程センター及び認定看護管理者教育課程の運営について (7)　教育研修実施状況報告 (8)　ナースセンター事業実績報告 (9)　令和元年度県内就職ガイダンスについて (10) 各委員会活動状況報告 (11) 各支部活動状況報告 (12) その他の会議報告 3　その他
7	1　協議承認事項 1）令和元年度事業（案）について (1)　令和元年度訪問看護に関する事業報告会（案） (2)　県外研修　「AIやロボットを活用した近未来の看護ケアを学ぶ」（案） 2）令和２年度事業（案）について (1)　教育研修計画（案）について (2)「看護の日」看護フェスティバル（案）について (3)　職能集会の運営について (4)　委員会の任務と諮問事項（案）について (5)　委員会事業計画（案）について 3）その他 2　報告了承事項 1）富山県看護協会事業報告 (1)　会員数報告　令和２年１月17日現在　8,815名 (2)　令和元年度内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」医療関係者研修報告 (3)　認定看護師教育センター事業報告 (4)　研修会実施状況報告 (5)　ナースセンター事業実績報告 (6)　各委員会活動状況報告 (7)　その他の会議報告 3　その他 (1)　職員の給与の見直しについて (2)　富山県予算に対する知事要望
8	1　協議承認事項 1）平成元年度新規会員の承認について 2）2020年度事業について (1)　2020年度事業計画（案）について (2)　2020年度収支予算（案）について 3）2020年度富山県看護協会定時総会（案）について 4）2020年度富山県看護協会職能集会（案）について 5）「看護の日」看護フェスティバル及び関連事業について 6）日本看護協会代議員、予備代議員の選出について 7）富山県看護協会駐車場　新規借り上げ交渉等について 8）富山県看護協会事務局長の任免（案）について

回	協　　議　　事　　項　　等
8	9）５月の研修開催について 10）その他 ２　報告了承事項 １）日本看護協会会議報告 (1)　第６回理事会報告 (2)　都道府県看護協会訪問看護担当者会議報告 ２）富山県看護協会事業報告 (1)　看護政策のための組織強化事業について (2)　日本看護学会学術集会について (3)　認定看護師教育センター事業報告 (4)　研修会実施状況報告 (5)　ナースセンター事業実績報告 (6)　３職能４委員会連携事業報告 (7)　各委員会・支部活動状況報告 (8)　後援・協力等依頼報告 (9)　その他の会議等報告 ３）その他 ３　その他

令和元年度　職能委員会報告

◎保健師職能委員会活動報告　　**委員長　　吉田智子**

1　開催回数　　６回（研修会４回含まず）

2　活動目標

保健師の専門性を発揮するための資質の向上とネットワークの推進を図る。

テーマ：学ぶ、つながる、創造する

3　活動内容

１）人材育成研修（資料Ｐ167参照）

テーマ　「質問力を磨く」

日　時　令和元年７月６日(土)　9:00～12:10

場　所　富山県看護研修センター

内　容　講義及び演習

「質問力を磨く」～魔法の質問とは～

－相手の意欲と行動を引き出し、ともに目標に達成していくために－

講　師　国際コーチ連盟（ICF）アソシエイト認定コーチ　遊道　直美　氏

参加者　31名

２）保健師・助産師職能委員会合同研修（資料Ｐ168参照）

テーマ　「妊娠期からの切れ目のない子育て支援」

日　時　令和元年８月３日(土)　9:00～12:00

場　所　富山県看護研修センター

内　容　講義及び事例検討「これからの子育て世代への包括支援とは」

講　師　大阪府立病院機構大阪母子医療センター

母子保健情報センター顧問　佐藤　拓代　氏

参加者　55名

３）保健指導ミーティング（資料Ｐ169参照）

テーマ　「支援困難事例へのアプローチ」

日　時　令和元年11月23日(土)　13:30～16:00

場　所　富山県看護研修センター

内　容　講義「スーパーバイズでお悩み解決

～地域における支援困難事例に学ぶ～」

事例検討　グループに分かれて検討

講　師　国立保健医療科学院　上席主任研究官　吉岡　京子　氏

参加者　60名

４）保健師職能集会

日　時　令和元年６月15日(土)　9:30～12:00

場　所　富山県民共生センター　サンフォルテ

内　容　①　日本看護協会全国職能別交流集会報告

② 講演「大学と連携した保健師人材育成」
講師　富山県立大学看護学部地域看護学　教授　越田　美穂子　氏
参加者　保健師40名

5）2019年度看護政策推進のための組織強化事業
保健師の入会促進リーフレット作成（1,000部）

6）「看護の日」看護フェスティバル体験コーナー運営
日　時　令和元年５月６日(月)　10:00～15:00
場　所　グランドプラザ
内　容　１日まちの保健室（健康相談、骨密度測定等）

7）日本看護協会保健師職能委員会活動
(1) 全国保健師職能委員長会（令和元年８月21日）
(2) 東海北陸地区保健師職能委員長会（令和元年10月４日）
(3) 都道府県看護協会支部役員等研修～東海・北陸地区～（令和元年10月４日）
報告「地域包括ケア推進にむけた看護職間連携の取組み」

◎助産師職能委員会活動報告　　委員長　　岡本里美

1　開催回数　　９回（研修会４回含まず）
2　活動目標
1）包括的母子保健推進における看護機能の現状を把握し、体制を整備する。
2）アドバンス助産師の活動の現状を把握し、院内助産・助産師外来の推進を図る。
3）いのちを尊ぶ心を育む「いのちの教室」に参加することで、助産師の人材育成を行う。
3　活動内容
1）アドバンス助産師の活動に関する実態調査（資料Ｐ170参照）
富山県看護協会会員であるアドバンス助産師の現在の活動や活動すべきと考えることを把握し、更新申請の意向との関連を分析することにより、アドバンス助産師活用の提案に繋げる。

2）CLoCMiP®研修会（アドバンス助産師更新者対象）
場　所　富山県看護研修センター
(1) 母体救急と産科出血
日　時　令和元年７月６日(土)　9:00～12:00
講　師　富山県済生会高岡病院　産婦人科部長　吉本　英生　氏
内　容　産科出血など周産期ハイリスクの講義と初期対応の実践的トレーニング
参加者　47名
(2) 胎児心拍モニタリング（CTG）の判読
日　時　令和元年７月６日(土)　13:00～16:00
講　師　富山県済生会高岡病院　産婦人科部長　吉本　英生　氏
内　容　分娩時の胎児モニタリング判読の講義と対応についてのグループワーク
参加者　38名

(3) 新生児の観察と管理
日　時　令和元年10月12日(土)　9:00～12:00
講　師　富山県立中央病院　小児科部長　二谷　武　氏
内　容　新生児のフィジカルアセスメントと対応について講義
参加者　43名

3）保健師・助産師職能委員会合同研修
テーマ　妊娠期からの切れ目のない子育て支援
日　時　令和元年８月３日(土)　9:00～12:00
場　所　富山県看護研修センター
内　容　①講義「これからの子育て世代への包括支援とは」
講師　大阪府立病院機構大阪母子医療センター　母子保健情報センター
顧問　佐藤　拓代　氏
②事例検討　病院と地域との連携による支援のあり方等を検討
参加者　55名

4）「いのちの教室」実施（資料Ｐ180参照）
継続事業として実施しており、７施設の助産師により20件実践されていた。

5）助産師職能集会
日　時　令和元年６月15日(土)　9:30～11:40
場　所　富山県民共生センター　サンフォルテ
内　容　①日本看護協会全国職能別交流集会報告
②講演「アドバンス助産師に求められる子育て包括支援の視点」
講師　岐阜医療科学大学助産学専攻科　教授　唐沢　泉　氏
参加者　31名

6）「看護の日」看護フェスティバル体験コーナー運営
日　時　令和元年５月６日(月)　10:00～15:00
場　所　グランドプラザ
内　容　妊婦体験、赤ちゃん抱っこ体験、胎児人形の展示
参加者　92名（男性23名、女性69名、うち子ども49名）35家族

7）日本看護協会助産師職能委員会活動
(1) 全国助産師職能委員長会　　１回
(2) 東海北陸地区助産師職能委員長会　１回

◎看護師職能Ⅰ委員会活動報告　　**委員長　　神保浩子**

1　開催回数　　９回（研修会４回含まず）
2　活動目標
1）病院における看護師クリニカルラダー評価の実際
2）特定行為に係る看護師研修制度の啓発・普及

３）准看護師の進学支援
４）地域包括ケアにおける看護提供体制の構築に向けた３職能連携活動

３　活動内容

１）病院における看護師クリニカルラダーの評価（資料Ｐ181参照）

テーマ　ＪＮＡラダー導入における自施設ラダー評価方法を理解する
日　時　令和元年10月11日（金）　13:30～16:00
場　所　富山県看護研修センター
内　容　＜第１部＞
講義：「ＪＮＡラダーにおける評価の考え方－当院でのラダー評価の実際－」
講　師　富山県立中央病院　看護研修科長　瀬山　尚子　氏
＜第２部＞
グループワーク：「ＪＮＡラダーにおける評価について考える」
支援者　富山県立中央病院　上席看護師長　中林　明子　氏
参加者　病院において教育に携わっている者、看護管理者、主任以上　50名

２）特定行為に係る看護師研修制度の啓発・普及（資料Ｐ183参照）

テーマ　特定行為に係る看護師研修の推進
日　時　令和元年11月16日（土）　13:30～16:00
場　所　富山県看護研修センター
内　容

(1) 特定行為看護師の活動の実際

①病院での活動
市立砺波総合病院　慢性呼吸器疾患看護認定看護師　岸澤　由紀子　氏
南砺市民病院　地域包括ケア病棟看護師長代理　森河　尚江　氏
医療法人社団藤聖会訪問看護ステーションまめなけ　主任看護師　井崎　明子　氏
②特定行為指定研修機関における活動
富山大学附属病院　看護師特定行為研修センター主任　集中ケア認定看護師
佐藤　慎哉　氏
③特定行為看護師の活動の実際　病院看護部の立場から
南砺市民病院　看護部長　竹澤　和美　氏

(2) パネルディスカッション

参加者　看護管理者、認定看護師、訪問看護ステーション等の受講内容に興味のある看護師　64名

３）准看護師の進学支援

日　時　令和元年９月７日（土）　13:00～16:00
場　所　富山県看護研修センター
内　容　①放送大学からのお知らせ
放送大学富山学習センター　広報・学生募集担当　永井　衛　氏
②「准看護師２年課程通信教育の取組みと支援」
神戸常盤大学短期大学　看護学科通信制課程
特任教授　髙宮　洋子　氏
③「２年課程教育卒業生の立場から」

富山城南温泉病院　教育主任
認知症看護認定看護師　盛田　大樹　氏

4）看護職員資質向上実務研修の企画・運営
①肺炎予防について　呼吸介助、摂食嚥下障害と口腔ケア
令和元年７月４日(木)
講師：高岡市民病院　慢性呼吸器疾患看護認定看護師　菅原　暁子　氏
富山市立富山市民病院　摂食・嚥下障害看護認定看護師　田中　順子　氏
②疾患と感染対策、アウトブレイクについて　令和元年７月11日(木)
講師：金沢医科大学氷見市民病院　感染管理認定看護師　谷畑　祐子　氏
③糖尿病患者の生活上の注意点と家族指導　令和元年８月２日(金)
講師：富山県立大学看護学部　助教　糖尿病看護認定看護師　濵野　初恵　氏
④フィジカルアセスメントの基礎知識　令和元年８月28日(水)
講師：富山県立中央病院　集中ケア認定看護師　蔵　サユリ　氏
富山大学附属病院　集中ケア認定看護師　佐藤　慎哉　氏
富山県立中央病院　集中ケア認定看護師　前坪　瑠美子　氏
富山赤十字病院　集中ケア認定看護師　浅生　かおり　氏

5）職能集会
日　時　令和元年６月15日(土)　9:30～11:55
場　所　富山県民共生センター　サンフォルテ２階
内　容　(1) 日本看護協会全国職能別交流集会報告
①看護師職能Ⅰ（病院領域）
②看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅療領域）
(2) 講演「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して
－ハラスメント対策から健康づくりまで－」
講師　公益社団法人日本看護協会　労働政策部看護労働課
看護労働・確保対策担当専門職　奥村　元子　氏

6）「看護の日」看護フェスティバル体験コーナー運営
日　時　令和元年５月６日（日）10:00～15:00
場　所　グランドプラザ
内　容　ハンドマッサージ、白衣の試着体験

7）日本看護協会看護師職能委員会活動
(1) 都道府県看護師職能委員長会報告　２回
(2) 東海北陸地区看護師職能委員長会報告　１回

◎看護師職能Ⅱ委員会活動報告　委員長　坪内奈津子

1　開催回数　10回（研修会３回含まず）
2　活動目標
1）訪問看護・介護領域における資質向上とマネジメントスキル強化を図る
2）訪問看護支援強化事業の支援活動

３）病院・施設・在宅における看護職の連携強化
４）３職能４委員会による地域包括ケアにおける看護提供体制の構築

３　活動内容

１）研修会・交流会開催

(1) 看護師のクリニカルラダー活用（資料Ｐ185参照）

テーマ　クリニカルラダーの活用の推進を図る
日　時　令和元年10月19日(土)　13:30～16:00
場　所　富山県看護研修センター
内　容　①ＤＶＤ視聴「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会）の理解」
②講　義　「南砺市訪問看護ステーションでのラダーについて現状報告」
講　師　南砺市訪問看護ステーション　副主幹　吉田　隆子　氏
③グループワーク「現状把握、導入方法、活用について意見交換」
支援者　光ヶ丘病院　看護部長　中島　房代　氏
参加者　13名（病院７名、老人保健施設１名、老人福祉施設２名、訪問看護３名）

(2) 介護・福祉関係施設・在宅領域での看取りのケアについて（資料Ｐ186参照）

テーマ　看取りのケアの多職種連携の関りを深める
日　時　令和元年11月９日(土)　13:30～16:30
場　所　富山県看護研修センター
内　容　①調査報告「看取りケアの質の向上に向けた職員研修について」
報告者　看護師職能Ⅱ委員
上市老人保健施設つるぎの庭　看護師長　浄聖　陽子　氏
②講　義　「看取りに向けての家族支援」
講　師　富山福祉短期大学看護学科　准教授　今川　孝枝　氏
③グループワーク・交流会
事例１・２から求められる援助のあり方や振り返りについて意見交換
参加者　40名（17施設35名、個人５名、うち非会員23名）

２）令和元年度日本看護学会学術集会在宅看護で口演発表

富山県内特別養護老人ホーム・老人保健施設の看護管理者を対象に看取りの実態調査　から「看取りケアの質の向上に向けた職員研修について」発表
日　時　令和元年９月13・14日
場　所　宇都宮市文化会館
発表者　看護師職能Ⅱ委員、上市老人保健施設つるぎの庭
看護師長　浄聖　陽子　氏

３）在宅ケア事例検討会（資料Ｐ188参照）

５地区８ヶ所で開催、県内の訪問看護ステーションから事例提供し、医師・認定看護師がアドバイザーとして、的確な助言のもと、在宅医療を支える上で必要な知識・情報を交換し、多職種連携強化に繋げた。

４）看護職員資質向上実務研修の企画・運営

(1) ロコモティブシドロームの概念および現状・演習、転倒予防のリハビリテーション
令和元年７月18日(木)

講　師　富山県立中央病院
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師　松村　江美子　氏

５）看護師職能Ⅰ委員会活動の５)～７）を合同で実施

◎３職能４委員会連携事業（資料Ｐ192参照）

地域包括ケアにおける看護提供体制の構築に向けた３職能連携活動

１）富山県看護協会３職能４委員会合同事例検討会

目　的　令和元年度日本看護協会重点政策「２．地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」に基づき、複雑多重問題を抱えた支援困難事例をもとに看護職間連携のあり方を考える。

日　時　令和２年１月18日(土)　13:30～16:00

参加者　３職能４委員会　委員32名

場　所　富山県看護研修センター

方　法　３職能４委員会の各委員混合のグループ（５～６名）により支援困難事例（各１事例）の情報を共有し、事例検討の視点に沿って検討した。

２）実態調査の実施

・実施時期：令和元年10月～11月
・調査対象：各職能委員　36名
・回 収 率：100％

３）報告書の作成（令和２年３月）

令和元年度　委員会報告

◎総務委員会　　**委員長　　松本千恵**

1　開催回数　９回

2　活動内容

１）会員増加に向けた取り組み「看護政策推進のための組織強化事業」

(1) 施設訪問：

未加入施設を中心に選出し、療養型病院、中小病院、健康管理施設を訪問した。「看護政策推進のための組織強化事業」と連携して、アドバイザー３名と看護協会事務職員と協働し、医療機関１か所、介護福祉施設12か所、訪問看護ステーション７か所、市町村保健師勤務先３か所、計23施設を訪問した。

研修の要望や協会への意見などを収集し、看護協会事業についての理解と促進を図るとともに意見交換を行った。

また、産業保健師セミナーでもリーフレットを活用し、入会を働きかけた。

(2) 出前講座：

昨年度に引き続き、組織強化事業として施設に出向き出前講座を行った。今年度は療養型病院、中小病院や老人保健施設の６か所を訪問した。講義内容は各施設より要望のあった認知症看護、看護倫理、医療安全、摂食嚥下障害及び接遇などのテーマについて認定看護師等を派遣。また、出前講座と併せて看護協会のＰＲと運営補助を行った。講座終了後のアンケートによると、講義内容、時間など好評であった。また、看護協会を身近に感じていただく機会となった。

(3) 看護協会の教育研修会における入会促進：

研修会の前に看護協会の組織や活動内容の動画を流し、未加入者への入会促進を実施した。

２）富山県看護協会支部規程の変更の承認

３）「看護の日」新聞企画についての検討と取り組み

「看護の日」の新聞掲載テーマと内容、掲載写真について検討し、以下の３候補を選定理由や事例とともに提案した。

(1) 認知症高齢者と家族を支え活躍する看護師

(2) 多職種と連携して終末期患者の在宅ケアを支えた看護師

(3) 切れ目ない子育て支援のために活躍する保健師や看護師

◎教育委員会　　**委員長　　和田薫**

1　開催回数　６回（次年度教育計画企画委員会２回を含む）

2　活動内容

年間教育計画・実施・評価に関する審議・検討を行い、会員の資質向上を目的とし、以下の活動を行った。

１）2019年度研修会実施　　35回40日間

(1) ラダーと連動した継続教育

①ニーズをとらえる力　　心と命を守るゲートキーパー
②ケアする力　　感染対策Ⅰ・Ⅱ、がん看護Ⅰ、糖尿病看護、褥瘡ケア、摂食嚥下、高齢者に多い疾患のケア、脳卒中看護、認知症ケア、せん妄、精神科訪問看護師育成研修
③協働する力　　新人看護職員研修Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション、地域包括ケアⅡ
④意思決定を支える力　　がん看護Ⅱ、地域包括ケアⅠ

(2) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
リーダーシップ、コーチング

(3) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育
新人看護職員研修責任者・教育担当者研修、新人看護職員実地指導者研修

2）インターネット配信研修協力　　２回３日間
(1) 認知症高齢者の看護実践に必要な知識
(2) 2019年度都道府県看護協会における教育担当者向け研修

3）ＤＶＤ研修協力　　２回２日間
(1) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修改訂版2018

4）2019年度糖尿病重症化予防（フットケア）研修　　３日間

5）2019年度看護職員認知症対応力向上研修会　　３日間

6）富山県看護研究学会協力　　令和元年12月７日(土)

7）次年度教育計画の企画
(1) ＪＮＡの新クリニカルラダーの段階に応じた研修内容となるよう、富山県看護協会継続教育の基本方針、研修分類の見直しを行った。
(2) 看護の質向上を支援するために、専門看護師・認定看護師を講師として、昨年に引き続き感染対策、がん看護、糖尿病の看護、褥瘡ケア、摂食嚥下障害の理解とケア、高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア、脳卒中患者の看護、認知症ケア、せん妄の理解とケア、心と命を守るゲートキーパーを企画した。受講者の要望を取り入れ研修内容がイメージしやすいように、研修名やサブタイトル、主な内容を変更した。応募者数を考慮し、定員･回数の検討を行った。
(3) 教育委員会マニュアルの見直しを行った。

◎広報委員会　　委員長　　殿谷智子

1　開催回数　12回

2　活動内容
富山県看護協会機関誌「看護とやま」の発行、ホームページの更新

1）「看護とやま」掲載記事の取材活動、編集を行い４回発行
№131（４月号)、№132（７月号)、№133（10月号)、№134（１月号）

2）今年度のテーマは「支える」とし、表紙は、各施設の写真や活動の様子を紹介
№131富山市まちなか総合ケアセンター、№132社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム梨雲苑、№133独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院、№

134小矢部市健康福祉課（地域包括支援センター）

３）主な掲載記事

№131・富山県看護協会定款第４章第15条４に基づき2019年度富山県看護協会定時総会についてプログラム・議事等を掲載

・第29回富山県看護研究学会報告

№132・令和元年度富山県看護協会定時総会報告

・特定行為研修修了者の活動報告

・新企画「学校紹介」富山福祉短期大学

№133・2019年度摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程開講式

・緩和ケア、摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程１期生の声

・令和元年度保健師・助産師職能委員会合同研修報告

№134・令和元年度看護職員定着支援事業シンポジウム報告

・災害看護委員会活動報告

・第30回富山県看護研究学会報告

４）新企画として「学校紹介」を開始

目的：「看護とやま」を多くの協会員及び読者の方に読んでもらうこと

富山県看護協会の情報を多くの方に知ってもらい情報発信が共有できること

これからの看護師を担う人材育成の教育現場を知ってもらうため掲載

５）ホームページに関しては随時更新

◎社会経済福祉委員会　　委員長　　山田和美

１　開催回数　６回

２　活動内容

１）医療勤務環境改善支援センター事業における看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ事業運営

(1) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ

日時　令和元年８月20日(火)　13:30～16:00　参加者60名

場所　富山県看護研修センター

内容　２年目１施設、３年目２施設の取り組みの発表

参加施設間の意見交換、支援員の助言

講演「看護職における働き方改革の勧め方」

(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会

日時　令和元年12月18日(水) 13:00～16:00　参加者78名

場所　富山県看護研修センター

内容　２年目１施設、３年目２施設の取り組みの発表

参加施設間の意見交換、支援員の助言

講演「キレイごとではすまない！ナースの働き方改革」

～リアルに成果を期待できる８つの実践プログラム～

アンケート結果より、参加目的の達成度について１回目63%、２回目83%であった。「自施設で取り組みたい」等役立ったと約６割が答えた。講演会は２回とも働き方改革に関することで、今後活用できる内容もあった。

２）看護職員定着支援事業シンポジウム運営

日時　令和元年11月２日(土) 13:00～16:00　参加者95名
場所　富山県看護研修センター
内容　基調講演「ハラスメント防止の組織体制づくりと組織風土」
シンポジウム　テーマ「看護職が安心して働き続けられるには」
①学校におけるハラスメント
②訪問看護におけるハラスメント対策
③ハラスメントとは

アンケート結果より、ハラスメント対策について関心が高く、参加目的の達成度は90％であった。「知識の整理ができた」「実践に活かしたい」などが多かった。

３）ワーク・ライフ・バランス推進のための広報活動

広報誌「看護とやま」(№134) に11月開催の「定着支援事業シンポジウム」活動内容を掲載した。

◎看護倫理委員会　　委員長　　斎藤尚子

１　開催回数　７回（研修会３回を含まず）

２　活動内容

県内看護師の倫理的感性を高めることを目的に倫理研修の企画・運営・支援をした。

１）看護倫理研修の企画・運営・支援

(1) 看護倫理Ⅰ　令和元年９月13日(金)　参加者92名
ねらい：看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる

(2) 看護倫理Ⅱ　令和元年10月18日(金)　参加者63名
ねらい：看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、職場の倫理風土を育んでいくプロセスを学び、自施設の活動に活かす

看護倫理Ⅰは､受講者の身近な事例から倫理原則について学ぶことができていた。看護倫理Ⅱは、ワールドカフェ方式で倫理事例分析を行い、多数の意見を聞くことができ、効果的なグループワークであった。

今年度の看護倫理研修対象者は、ラダーレベル別として研修を企画した。ラダーレベル以外の対象者があり、調整を行った。

２）看護管理者看護倫理交流会企画・運営・支援

日　時：令和元年11月22日(金) 13:30～16:00　参加者49名
ねらい：各施設の看護倫理委員会の活動報告をもとに、看護管理者が倫理的問題解決のための倫理的行動力を高めることを目指す

研修は、県内22施設、公的病院･訪問看護ステーションなどからの参加があった。現場で倫理活動の中心的役割を担う看護管理者が、各々の施設での立場で話し合い、交流しながら、倫理的問題解決のための倫理的行動を高める研修となった。倫理カンファレンスについては継続して研修を企画する。

３）令和２年度看護倫理Ⅰ・Ⅱの研修企画

４）令和２年度看護管理者看護倫理交流会企画

◎医療安全委員会　　**委員長　　渡邊和美**

1　開催回数　６回（研修会５回を含まず）

2　活動内容

１）医療安全研修会の企画及び運営　６回８日間

(1) 医療安全対策Ⅰ基本的安全対策　令和元年７月８日(月)　参加者94名

(2) 医療安全対策Ⅱコミュニケーション技法
令和元年９月17日(火)　参加者43名
令和元年10月23日(水)　参加者40名

(3) 医療安全対策Ⅲ ＩｍＳＡＦＥＲ分析Ｂａｓｉｃ２日コース
令和元年12月16日(月)、17日(火)　参加者37名

(4) 医療安全の観点からのリスクマネジメント
令和元年８月１日(木)、８月８日(木)、９月６日(金)　参加者35名

２）次年度医療安全研修会の企画（研修会評価に基づき検討）

３）医療安全活動の推進に向けて
平成29年度日本看護協会で「カリウム製剤の投与間違い撲滅キャンペーン」が取り上げられ、富山県内の医療機関の取り組み後の状況を確認するため、平成30年度新人看護師へアンケート調査を実施した。その結果、カリウム製剤の投与方法を知らない、分からないと答えた看護師が全体の13%だった。

(1) 今年度は継続活動として､「カリウム製剤について」の記事を看護とやまに掲載し、県内看護職員にアナウンスした。(記事は看護とやま№134に掲載)

(2) 次年度は（カリウム製剤撲滅キャンペーンの継続活動として）新人看護職員研修会で医療安全委員が30分のミニレクチャーを行う予定である。

◎災害看護委員会　　**委員長　　谷越千代美**

1　開催回数　５回（研修会２回を含まず）

2　活動内容

１）災害訓練参加

(1) 富山県医師会災害医療研修（ＪＭＡＴ基礎研修）　令和元年８月４日(日)
災害医療に関する研修が医師会主催で開催され、災害看護委員３名が参加した。

(2) 富山県総合防災訓練（入善町立黒東小学校）　令和元年９月29日(日)
魚津断層帯を震源とする（M7.3）地震を想定し、入善町、黒部市、朝日町の計９会場にて、災害応急活動と防災訓練が行われた。災害支援ナース２名と災害看護委員２名が参加した。

(3) 災害支援ナース派遣調整合同訓練　令和元年11月５日(火)、７日(木)
兵庫県山崎断層帯で発生した（M8.0）地震を想定し、災害支援ナースの派遣調整訓練が行われた。災害看護委員は富山県看護協会から召集を受け各施設から訓練に集合。日本看護協会より派遣要請を受け、県内17施設と連絡調整を行った。

(4) 富山県原子力防災訓練（メイン：高岡市ふくおか総合文化センター アリーナ）
令和元年11月17日(日)
地震による志賀原発被害を受け、30㎞圏内の氷見市住民250名が避難する想定

で訓練が行われた。災害支援ナース１名と災害看護委員３名が参加した。

２）災害看護研修会の運営

(1) インターネット配信研修　災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～
令和元年７月30日(火)、31日(水)　参加者57名

(2) 災害看護（フォローアップ編）　福井大学医学部看護学科　教授　酒井明子　氏
令和元年10月４日(金)　参加者28名

３）「看護の日」看護フェスティバル展示の企画（令和２年５月２日開催予定）
「過去の災害から学ぼう」をテーマに、富山県の過去の災害を紹介し防災について啓蒙する。防災グッズの展示や身近なもので出来るスリッパ・マスクなどを作成し、いざという時に役立てられる企画を検討した。

４）富山県看護協会災害時受援マニュアル作成の検討
マニュアルの内容として、富山県における派遣要請手順や受け入れ体制、支援活動中の連絡体制等について検討した。

◎学会委員会　　**委員長　　山本雅子**

１　開催回数　８回（研修会７回、学会１回を含まず）

２　活動内容

１）看護研究研修の企画・運営

(1) 看護研究Ⅰ（楽しく学ぶ初めての看護研究）　１日コース３回
令和元年５月20日(月)、５月27日(月)、９月９日(月)　参加者計284名

(2) 看護研究Ⅱ（進めよう看護研究）　２日コース２回
令和元年７月29日(月)・31日(水)
令和２年２月３日(月)・４日(火)　参加者計119名

(3) 看護研究Ⅲ（質的・量的研究の分析を学ぼう！）　１日コース１回
令和元年７月24日(水)　参加者78名

(4) 看護研究Ⅳ（迷わない研究サポート）　１日コース１回
令和元年８月26日(月)　参加者34名

要望より、量的・質的分析に絞った内容の看護研究Ⅲを追加し、看護研究Ⅰ～Ⅳの研修会とした。また、研修名に「看護研究Ⅰ（楽しく学ぶ初めての看護研究)」「看護研究Ⅱ（進めよう看護研究)」「看護研究Ⅲ（質的・量的研究の分析を学ぼう！)」「看護研究Ⅳ（迷わない研究サポート)」のサブタイトルをつけ、研修会に参加したくなる・興味が持てるように参加者を募った。アンケートで、参加者の満足度は90％近く得ていた。看護研究Ⅱは、要望が高く、定員以上の参加希望があったため、次年度は、開催回数を３回に増加する。

２）富山県看護研究学会の企画・運営

(1) 第30回富山県看護研究学会の演題査読
演題登録数は、22演題で、追加募集は行わなかった。査読は、富山県立大学看護学部渋谷昭子講師に助言を頂きながら、基準に従い実施した。今年度も追加演題数は多かったが、外部査読委員３人が加わり、発表論文選考では査読・集録の修正とも速やかで、予定通りに進めることができた。

(2) 第30回富山県看護研究学会の運営・開催
参 加 者：計760名

日　　程：令和元年12月７日(土)
場　　所：富山国際会議場
テ ー マ：その人らしさを支える看護
演　　題：口演12題、示説10題
特別講演「看護とユマニチュード―ケアのレベルを問い直す―」
富山県立大学看護学部　岡本恵理教授
昨年同様に、学会前日に会場での打ち合せを実施した。その為、学会運営に問題なくすすめることができた。アンケート結果では、「特別講演に満足した」「研究のテーマがとても興味深かった」等の意見があり92%が「満足」「ほぼ満足」という回答であった。会場では口演・示説とも活発な質疑応答があった。

◎選挙管理委員会　　委員長　　高長雅美

1　開催回数　５回
2　活動内容
公益社団法人富山県看護協会役員及び公益社団法人日本看護協会代議員等の選挙に関する事務活動
1）当選者の公表
2019年度公益社団法人富山県看護協会役員及び2020年度公益社団法人日本看護協会代議員等の選挙結果（無投票当選）について「看護とやま№132」７月15日号に掲載
2）選挙録の作成
3）選挙公示
令和２年度公益社団法人富山県看護協会役員及び令和３年度公益社団法人日本看護協会代議員等の公募について「看護とやま№134」１月15日号に掲載
4）立候補者及び推薦候補者公示について「看護とやま№135」４月30日号に掲載
5）選挙手順書の確認
・選挙時、看護協会総会での選挙管理委員の役割を確認
（準備～選挙当日までの行程を確認）
・総会参加者による投票を支障なく実施するため、選挙当日の手順書内容を確認

◎推薦委員会　　委員長　　松岡佳奈子

1　開催回数　６回
2　活動内容
1）公益社団法人日本看護協会定款及び定款細則について読み合わせ
定款　　第４章（代議員・予備代議員）、第５章（総会）
定款細則　第５章（代議員・予備代議員の選出）、第６章（総会）
2）公益社団法人富山県看護協会役員等の推薦及び推薦委員会に関する規程について読み合わせ（目的から附則まで）
3）公益社団法人富山県看護協会職能委員会規程の読み合わせ（目的から附則まで）
4）公益社団法人富山県看護協会選挙及び選挙管理委員会に関する規程について読み合わせ（目的から附則まで）

5）地区別施設及び会員数一覧の見直し
6）公益社団法人富山県看護協会役員等について
令和２年度役員の推薦候補者を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
7）日本看護協会通常総会代議員・予備代議員について
令和３年度代議員・予備代議員を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
8）令和２年度推薦委員及び職能委員の選出施設の検討
9）令和２年度推薦委員及び職能委員の候補者を選出

令和元年度　支部活動報告

◎黒部・魚津支部　　**支部長　　江田昌江**

1　在宅医療・介護連携推進研修会

平成29年度から新川圏域内の関係機関と共催し、在宅医療・介護連携推進研修会を開催している。令和元年度で３年目となり、支部研修会として定着しつつある。

今年度は新川医療圏における医療的ケア児の支援について研修・情報交換を行った。「医療的ケア児とは」について新川厚生センター所長から講義があった後、「地域で医療的ケア児を支援するためのより良い連携の在り方について」をテーマに、事例紹介及びグループワークを行った。

グループワークでは、医療的ケア児の支援に関わった５名からの事例紹介をもとに、様々な機関・職種で意見交換を行った。

参加者からは､「地域で医療的ケア児を支援する際の多職種連携のあり方について理解が深まった」「医療的ケア児を支える相談機関･サービスがまだまだ少ない。支援体制の整備が必要」など、多くの意見が聞かれた。（参加者129名）

2　がん患者の在宅療養支援事例検討会

新川医療圏では定例的にがん患者の在宅療養支援事例検討会を開催しているが、今年度は支部の共催事業として参加した。

今回は、がん患者在宅療養支援にかかる事例を通してグループワークを行った。

「アドバンス・ケア・プランニングを利用した患者さんへの関わり」をテーマに、「黒部市民病院におけるＡＣＰの取り組み紹介」や「アドバンス・ケア・プランニングを利用した患者さんへの関わり」について、事例紹介及びグループワークを行った。

参加者からは､「ＡＣＰの取り組みについて理解が深まった」「人生会議（ＡＣＰ）シートを利用した関わりが参考になった」「ＡＣＰに対して誤解を招かないよう普及啓発が必要」など、様々な意見が聞かれた。（参加者71名）

今回、改めて事例を通しての学びは大きいと感じた。今後ますます多職種・多機関での情報共有･連携が重要となり、普段から顔の見える関係性を築き上げることが大切である。黒部・魚津支部として、新川医療圏の在宅医療・介護連携の推進のために協力していきたい。

◎富山支部（東支部、北支部、西支部）　　**富山東支部長　　菱田亜裕美**
富山北支部長　　岩井美知代
富山西支部長　　林泰治

1　支部研修会

今年度は前年度に引き続き、３支部合同で、在宅医療連携を目的に２回の研修会を開催した。まずは、看護の動向を知り、在宅医療連携の必要性の理解が深まるように、富山県看護協会長の講演をいただいた。その後、まちなか診療所とやまだホームケアクリニックの医師や看護師の支援を得て､実習参加者が体験したことの共有や､各自が病院と在宅を繋ぐためにできることを思考する機会になる研修会の開催となった。病院勤務の

看護師が、在宅医療の知識・体験を深める意義や必要性を見出していた。参加者にとっては満足度の高い研修となった。在宅医療を促進への効果としての評価が難しいため、次年度の課題とする。

2　地域のニーズに応じた看護活動

1）病院で働く看護職員の在宅医療体験実習の参加者は今年度で２年目だった。参加者は76名だった。前年度は各医療施設で在宅医療を推進できるスタッフの参加であったが、今年度は要件を設定せず参加を募った。在宅医療の実際を理解する上で、有意義な実習体験であり、病院によっては独自で、体験研修への企画に発展している。

2）「いきいきとやま･第32回健康と長寿の祭典」や「高齢者スポーツ大会」に併せて活動した。血圧・体脂肪測定、健康相談を行い、併せて看護協会のパンフレットの配布などにより協会のＰＲにつながった。各保健センターと連携をとり、ニーズがあれば活動要請に応じていきたい。

3　「まちの保健室」事業

「看護の日」看護フェスティバル　グランドプラザ（３支部合同)、第40回ウィメンズフェスティバル健康・スポーツ交流大会（北支部)、アピタ富山店（３支部合同)、婦中ショッピングセンターパピ（西支部)､アピアショッピングセンター（北支部）にて開催した。血圧・体脂肪測定、血管年齢測定、肌年齢測定、健康相談を行った。薬剤師会と協力し、薬に関する相談やフレイル測定を実施した。気軽に健康相談や各種測定ができる場として、通りがかりの市民の方が立ち寄っている。今後も市民のニーズに答えていく役割がある。

◎上市支部　　支部長　　岩城光子

地域包括ケア推進に向けた活動として、対話を通して地域で暮らす住民の思いやニーズを把握すること、そして、障がいを持ちながら、また介護を受けながら生活する住民の実情や支援していく上での役割や課題を共有した。

1　支部研修会

1）研修会１　講義「最近の看護の動向」 富山県看護協会会長　大井　きよみ氏
講義「訪問看護について」
中新川訪問看護ステーション管理者　光岡　真由美氏

看護協会が目指す地域共生社会を推進するために、多職種連携ならびに看護職が医療と生活の視点を持ってかかわり、地域づくりをすすめる必要性を学んだ。

2）研修会２　講義「医療を受ける聴覚障がい者に対する支援のあり方
～ろう者の理解～」
手話演習
特定非営利法人施設長　金川　宏美氏（手話通訳士）

聴覚障がい者は十分な医療を受けにくいことや、医療現場に求める思いが理解できた。地域包括ケアの対象者は高齢者に限らず全世代・全対象型であることを再認識した。

2　地域のニーズに応じた看護活動

各地域の公民館において、「健康相談と生活指導」「介護予防教室（講義、実技)」「町内で自分らしく暮らしていくための意見交換」などを開催した。

３　「まちの保健室」事業

地域のショッピングセンターや下記イベントに合わせて開催し、健康相談、健康教室、ハンドマッサージ、栄養相談等実施した。

１）上市町生き活き健康フェスティバル

２）滑川市市民健康フォーラム

３）立山町みらいぶ元気デー

◎射水支部　　支部長　　京角泰子

2025年問題を目前に控え、高齢者の健康を維持すると共に、人生の最後を自分らしくどう迎えるか、いわゆる「終活」が注目されている。今年は高齢者の生活・意思決定の支援を目的に、支部研修会とまちの保健室事業を中心に活動した。これらの活動を通して看護職自身がエンディングを考えるきっかけとなり、患者の個々のニーズに今まで以上に寄り添う必要があると強く感じた。

１　支部研修会

看護職対象の研修会とし、医療法人社団慶成会青梅慶友病院の老人看護専門看護師である桑田美代子氏を講師に､「認知症高齢者の意思決定支援」と題して講演していただいた。認知症高齢者を意思決定できる１人の人として扱うことの大切さ、認知症高齢者の行動を肯定的にとらえ接するなど、当たり前ではあるが日頃忘れがちなことを再認識でき、自分の看護を振り返る良い機会となった。

２　「まちの保健室」事業

公益社団法人射水市シルバー人材センター主催のシルバー祭りに併設し､「まちの保健室」事業を行った。昨年好評いただいた骨密度測定をはじめ、血圧測定・健康相談を実施した。当日雨天ではあったがたくさんのシルバー世代の方々に足を運んでもらい、日頃の生活習慣などを確認し、検査データをもとに生活に取り入れたほうが良い運動や食事に関する注意事項を確認していただいた。昨年と今年度のデータを比較し、改善が見られたと報告される高齢者もおり、昨年度の健康相談の指導が活かされたことを実感した。

◎高岡・氷見支部　　支部長　　川合洋子

高岡氷見支部では、保健・医療・福祉・介護等における専門職が、それぞれの取り組みを共有し医療・介護の連携推進及び地域包括ケアシステムのさらなる推進を図るために、高岡医療圏域の保健医療福祉介護関係者と合同で活動を行った。

１　支部研修会（高岡・氷見、射水合同研修会）

講義「認知症高齢者の意思決定支援について」

青梅慶友病院　看護介護開発室長　老人看護専門看護師　桑田　美代子先生

２　高岡医療圏合同情報交換会（高岡・氷見、射水合同研修会）

テーマ「住み慣れた場所で最期を迎えるためのネットワーク」について

パネリスト５名発表

（高岡市高齢介護課地域包括ケア推進係係長・なのはなクリニック院長・高岡市医師会訪問看護ステーション管理者・福岡地域包括支援センター所長管理者・金沢医科大学氷見市民病院退院支援専従看護師）

パネルディスカッションを行った。

訪問診療・訪問看護・退院支援への連携、人生会議の用紙を渡すタイミングや活用方法等の実際や課題について活発に話し合われた。それぞれの取り組みや連携について理解することができ、「つなぐ」という重要性を実感したという意見が聞かれた。
今後、住み慣れた場所で最期を迎えるには、課題整理を行い多職種での連携が重要になると改めて実感した。

3　「まちの保健室」事業
毎年開催されている、あしつき祭り・ひみ食彩祭りに併設して、血圧測定、肺活量測定、体脂肪測定及び健康相談を行った。

◎砺波・小矢部支部　　支部長　　小倉里美

砺波・小矢部支部では、看護協会の会員だけでなく、会員以外の看護職・介護職・介護支援専門員も含め、砺波医療圏の身近な話題に関心を持ち、行政と医療・看護の連携強化及びネットワークの構築を図る事を目的に活動を行った。

1　支部研修会　参加者86名
富山県看護協会長による「最近の看護の動向」の他、砺波厚生センター管理栄養士による「砺波医療圏における糖尿病の現状と取り組み」に合わせ、市立砺波総合病院医師による「最近の糖尿病治療薬について」研修会を開催した。
砺波医療圏の糖尿病患者の現状と取り組みについて、健診の重要性を再認識するとともに、予防のためには「保健」「医療」「福祉」のさらなる看護職間の連携強化が必要である事を痛感した。また、医師からは、血糖の24時間モニタリングと糖尿病治療の選択について、最新の知見を得ることができた。看護師として糖尿病患者の訴えを的確にとらえ、正しい治療に結び付けていかなければならないと感じた。

2　地域のニーズに応じた看護活動
砺波市地域包括支援センター講師による講義「認知症サポーター養成講座」 参加者89名
オレンジリングを広めようの試みを含め、行政で行われている認知症に対する施策を理解し、看護職員も地域の一員として実際に認知症出前講座を受講した。出前講座では、地域において看護職としてできることについて意見交換を行ったが、病院内に止まらず看護職がもっと地域での関わりに積極的に参加し、活動していきたいなどの意見が聞かれた。

3　「まちの保健室」事業
ショッピングセンターイオンモールとなみで、偶数月第２土曜日に各施設が各々の特徴に合わせたテーマで４回開催し定着した活動となっている。

1　支部研修会

支 部	開催日	開 催 場 所	参加者（名）	内　　容
黒部・魚津	9/17(火) 18:30～20:30	黒部市国際文化センター コラーレ マルチホール	129	富山県新川厚生センター、新川地域在宅医療支援センター、新川地域自立支援協議会 児童部会、富山県薬剤師会下新川・魚津支部と共催 「在宅医療・介護連携推進研修会」 ・講義「最近の看護の動向」 講師　富山県看護協会　会長　大井　きよみ ・グループワーク テーマ「地域で医療的ケア児を支援するためのより良い連携の在り方について」 導入「医療的ケア児とは」 富山県新川厚生センター　所長　大江　浩 事例紹介　黒部市民病院　小児科部長　渡辺　一洋 朝日町保健センター　保健師　宮崎　茉莉佳 朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション 管理者　飯野　夕子 入善訪問看護ステーション　作業療法士　唐津　学 魚津市立つくし学園　園長　柿本　尚子 グループ討議 ・助言「地域における医療的ケア児の支援について」 新川地域在宅医療療養連携協議会　会長　藤岡　照裕
	11/ 7(木) 19:00～20:30	黒部市民病院 講堂	71	黒部市民病院、富山労災病院、富山県新川厚生センター、新川地域在宅医療支援センター、富山県薬剤師会下新川・魚津支部 「がん患者の在宅療養支援事例検討会」 ・取組紹介「黒部市民病院におけるＡＣＰの取り組み紹介」 黒部市民病院　看護師長　がん性疼痛看護認定看護師 細見　由加里 ・事例紹介「アドバンス・ケア・プランニングを利用した患者さんへの関わり」 黒部市民病院　副院長・産婦人科部長　日高　隆雄 緩和ケア認定看護師　廣田　有美 川瀬医院　院長　川瀬　紀夫 ・グループワーク「ＡＣＰについて考えてみよう」 ・まとめ　黒部市民病院　副院長・外科部長　桐山　正人
富山３支部 合同 担当:東	9/21(土) 14:00～16:00	富山県看護研修センター 第三研修室	98	最近の看護の動向を知り、今後の看護に活かす 医療、介護の専門職の役割について学び、自施設におけるスムーズな入退院支援に役立てる ・講義「最近の看護の動向」 講師　富山県看護協会　会長　大井　きよみ ・講義「明日からの仕事に生かせる！在宅医療の実際」 講師　富山市まちなか総合ケアセンター　まちなか診療所 管理者・医師　三浦　太郎
富山３支部 合同 担当:西	11/30（土） 13:00～16:00	富山県看護研修センター 第三研修室	71	医療、介護の専門職の役割について学び、自施設におけるスムーズな入退院支援に役立てる ・講義「これからの在宅医療～地域完結型医療であなたができること～」 講師　やまだホームケアクリニック　院長　山田　毅 ・グループディスカッション テーマ「病院と在宅医療を繋ぐために必要なこと」
上　市	7/20(土) 9:30～11:30	かみいち総合病院	47	・講義「最近の看護の動向」 講師　富山県看護協会　会長　大井　きよみ ・講義「訪問看護について」 講師　中新川訪問看護ステーション 管理者　光岡　真由美
	11/ 9(土) 9:30～11:30	厚生連滑川病院	38	・講義「医療を受ける聴覚障がい者に対する支援のあり方～ろう者の理解～」 講師　特定非営利活動法人　大きな手小さな手 代表　金川　宏美
射　水 高岡・氷見 合同	9/14(土) 13:20～16:30	真生会富山病院 5階　大講堂	121	・講義「認知症高齢者の意思決定支援」 講師　青梅慶友病院　看護介護開発室長 老人看護専門看護師　桑田　美代子
高岡・氷見	9/19(木)	高岡エクール	67	高岡医療圏地域リハビリテーション多職種研修会 ・講義「介護予防事業における地域ケア個別会議」 地域ケア個別会議における多角的アセスメントの視点 ・グループワーク
砺波・小矢部	7/27(土) 9:00～11:30	市立砺波総合病院 講堂	86	・講義「最近の看護の動向」 講師　富山県看護協会　会長　大井　きよみ ・講義「砺波医療圏における糖尿病の現状と取り組み」 講師　富山県砺波厚生センター　栄養管理士 濱名　あかね ・講義「最近の糖尿病治療について」 講師　市立砺波総合病院　糖尿病・内分泌内科部長 早川　哲雄
	10/17(木) 18:00～19:30	市立砺波総合病院 講堂	89	・地域のニーズに応じた看護活動の中で実施 （内容は、「地域のニーズに応じた看護活動」に記載）

２　地域のニーズに応じた看護活動

支 部	開催日	開 催 場 所	参加者（名）	内　　容
黒部・魚津	９月～10月	魚津市内 公民館　等	200	高齢者いきいきサロン等 ・健康相談、健康教育、レクリエーション ・看護協会活動の紹介、ティッシュ配布　等
	９月～10月	黒部市内 公民館　等	300	運動機能向上教室、地域型介護予防クラブ事業、健康教育等 ・健康相談、健康教育、レクリエーション ・看護協会活動の紹介、ティッシュ配布　等
	10/24(木)	入善まちなか交流施設 うるおい館	200	介護予防研修会 ・町の取組報告、講師による講義 ・活動発表、全員体操、ティッシュ配布
	10/４(金)	朝日コミュニティーホール アゼリア	250	介護予防事業 ・講演会（健康長寿を目指すフレイル予防講演） ・ティッシュ配布（150個）
	９月～10月	富山県新川厚生センター 魚津支所	150	所内でのティッシュ等の配布・設置
富山東	10/10(木) 10:00～16:00	富山県民会館	160	「いきいきとやま・第32回健康と長寿の祭典」に併設 ・健康チェック（血圧測定、体重･体脂肪測定)、健康相談 ・看護協会ＰＲグッズ･パンフレットの配布
富山北	10/９(水) 9:00～16:00	富山県民会館	190	「いきいきとやま・第32回健康と長寿の祭典」に併設 ・健康チェック（血圧測定、体重･体脂肪測定)、健康相談 男性42名、女性148名 ・看護協会ＰＲグッズ･パンフレットの配布
富山西	10/18(金) 11:30～16:30	富山市総合体育館	121	「第44回富山地域高齢者スポーツ大会」で実施 高齢者スポーツ大会参加者で、健康チェックや健康相談を希望する方 対象（富山地区の60歳以上の方） ・血圧測定、体脂肪測定、骨密度測定 ・健康相談
上　市	９/７(土) 10:00～12:00	滑川市 中野島公民館	23	町内づくり意見交換会 ・高齢になっても介護が必要になってもこの町内で自分らしく暮らし ていくためにみんなで町内について話し合う
	９/10(火) 13:30～15:00	滑川市 荒俣公民館	17	・講義「介護予防でいきいき生活」 ・実技「キラピカ体操をやってみましょう」
	９/17(火) 14:00～16:00	滑川市 田中新町公民館	20	町内づくり意見交換会 ・高齢になっても介護が必要になってもこの町内で自分らしく暮らし ていくためにみんなで町内について話し合う
	10/１(火) 9:30～11:00	舟橋村 竹内公民館	14	「転倒予防教室」 ・保健師・看護師による健康相談、血圧測定と生活指導
	10/11(金) 10:00～13:00	舟橋村 国重公民館	6	「おはぎ作り」 ・保健師・看護師による健康相談、血圧測定と生活指導
	10/17(木) 13:30～15:00	舟橋村 東芦原公民館	9	「介護予防脳トレ」 ・保健師・看護師による健康相談、血圧測定と生活指導
富山地区 合同	７～11月	富山市まちなか診療所 やまだホームケアクリニック	53	在宅医療体験実習 （在宅での医療、看護、福祉の理解）
射　水 高岡・氷見 合同	10/23(水) 14:00～16:10	富山県済生会高岡病院 2階　講義室	99	テーマ「住み慣れた地域で最期を迎えるためのネットワークづくり」 ・パネリストからの発表 なのはなクリニック　院長　林　智彦 高岡市医師会訪問看護ステーション　管理者　野田　美加 福岡地域包括支援センター　所長・管理者　茂古沼　江里 高岡市高齢介護課地域包括ケア推進係　副主幹・係長 大野　美喜子 金沢医科大学氷見市民病院　退院支援専従看護師長 荻澤　好美 （コーディネーター）富山県済生会高岡病院　看護部長 下崎　ふみ子 ・パネルディスカッション
砺波・小矢部	10/17(木) 18:00～19:30	市立砺波総合病院 講堂	89	第２回支部研修会と合同 ・出前講座「認知症サポーター養成講座」 講師　砺波地域包括支援センター　主任　中川　琢子 主任　元平　祐理 ・グループワーク（自分たちにできること）

３「まちの保健室」事業

支 部	開催日	開 催 場 所	参加者（名）	内　　容
黒部・魚津	8/24(土) 10:00～12:00	入善町健康交流プラザ サンウェル	100	「サンウェルｄｅフェスタ」（健康フェスタ）に併せて実施 ・生活習慣病相談、血圧測定、咀嚼力チェック ・ちびっこナース記念撮影 ・看護グッズ配布
	10/19(土) 10:00～12:00	ありそドーム	65	「○○（まるまる）魚津」（魚津産業フェア）に併せて実施 ・生活習慣病相談、血圧測定、咀嚼力チェック ・看護グッズ配布 ・富山県ナースセンターによる就業相談・看護相談
富山東	8/28(水) 13:00～15:00	アピタ富山店	22	富山市薬剤師会と共催 ・健康チェック（血圧測定、体組成計、握力測定、骨密度測定等） ・健康相談、お薬相談 ・看護協会ＰＲグッズ配布
富山北	9/10(火) 9:30～12:00	アピア ショッピングセンター	36	薬剤師会と共催 ・健康チェック（血圧測定、体重測定、体脂肪測定） ・健康相談　男性５名、女性31名 ・フレイルチェック（薬剤師と連携） ・富山県ナースセンターによる就業相談・看護相談
	11/30(土) 9:00～16:00	富山市総合体育館	250	「第40回富山県ウィメンズフェスティバル健康･スポーツ交流大会」に併せて実施 ・健康チェック（血圧測定、血管年齢測定） ・健康相談
富山西	8/29(木) 13:00～15:00	婦中ショッピングセンター パピ （スターカフェ前）	25	・血圧測定、体重・体脂肪測定、骨密度測定（骨ウエーブ） ・健康相談
富山３支部 合同 担当:東	10/11(金) 10:00～15:00	アピタ富山店	216	アピタ富山店誕生祭に併せて実施　　富山市薬剤師会と共催 ・健康チェック（血圧測定、体組成計、握力測定、血管年齢測定、肌年齢測定等） ・健康相談、お薬相談 ・看護協会ＰＲグッズ配布
上　市	6/22(土)	上市町保健福祉総合センター つるぎふれあい館	109	「上市町生き活き健康フェスティバル」に併設 ・健康相談 ・血圧測定 ・ハンドマッサージ
	9/28(土)	滑川市西地区 コミュニティホール	275	「なめりかわ市民健康フォーラム」に併設 ・健康相談（血圧測定、栄養相談、お薬相談） ・講演会「おなかのがんはもう怖くない　～知って安心、予防と治療～」
	11/9(土)	立山町元気交流ステーション みらいぶ	200	・健康相談 ・がん検診ＰＲ、特定検診ＰＲ ・健康チェック（血圧測定、骨密度測定） ・がん模型展示およびがん検診受診勧奨 ・塩分保健指導 減塩味噌汁の試飲、１日に必要な野菜（350g）の計量、おやつの楽しみ方の指導
射　水	9/27(金) 13:00～14:30	大島社会福祉センター ３階大ホール	50	「ふれあい交流会」に併設 ・血圧測定、健康相談 ・看護協会ＰＲ、グッズの配布 ・音楽療法「音楽を通して楽しく歌いましょう」 講師　　おたまじゃくしの会
	R2.2/16(日) 10:00～12:00	大江コミュニティセンター	78	「シルバーまつり」に併設 ・健康相談 ・血圧測定、骨密度測定 ・看護協会ＰＲ、グッズの配布
高岡・氷見	10/5(土)	高岡市あしつきふれあいの郷	65	「あしつき秋祭り」に併設 ・健康相談 ・健康チェック（血圧測定、体脂肪測定、肺活量測定） ・看護グッズの配布
	11/3(日)	氷見市漁業文化交流センター	57	「ひみ食彩まつり」に併設 ・健康相談、血圧測定 ・看護グッズの配布
砺波・小矢部	6/8(土) 10:30～12:00	イオンモールとなみ パンドラハウス前	25	テーマ「熱中症にならないために」 ・健康チェックと集中治療室看護師による健康相談 ・ポスター掲示 ・パンフレットと熱中症予防タブレットの配布

支 部	開催日	開 催 場 所	参加者（名）	内　　容
砺波・小矢部	8/10(土) 10:30～12:00	イオンモールとなみ ２階催事場	13	テーマ「はじめよう！フットケア」 ・フットチェック、フットマッサージ体験 ・血圧測定、塩分チェックシート、指導 ・富山県ナースセンターによる就業相談・看護相談
	10/12(土) 10:30～12:00	イオンモールとなみ ２階催事場		台風による天候悪化で中止
	12/14(土) 10:30～12:00	イオンモールとなみ ２階催事場	9	テーマ「認知症の自己診断と頭の体操」 ・ポスター掲示 ・血圧測定および健康相談 ・認知症自己診断テストと頭の体操の実施 ・精神保健福祉士による認知症の方への関わり方の説明
	R2.2/8(土) 10:30～12:00	イオンモールとなみ ２階催事場	22	テーマ「ロコモで寝たきり予防を！」 ・血圧測定、健康相談 ・ロコモティブシンドロームについての説明 ・パンフレットを用いてロコチェック後、ロコトレを一緒に行う ・パンフレットを用いて毎日の生活に「+10」の習慣について説明 ・管理栄養士による健康相談、食生活に関する相談、めざせ健康寿命・食事 バランスチェック表について説明、健康補助食品の提供

４ 「看護の日」及び看護週間における「１日まちの保健室」事業

支 部	開催日	開 催 場 所	参加者（名）	内　　容
黒部・魚津	5/11(土) 10:00～12:00	黒部ショッピングセンター メルシー	100	・生活習慣病相談、健康相談 ・血圧測定、体脂肪測定、咀嚼力チェック ・ちびっこナース記念撮影 ・疾患に関するリーフレット配布 ・看護グッズ配布 ・花のプレゼント
富山３支部 合同 担当:東	5/6(月) 10:00～15:00	グランドプラザ	162	・相談コーナー（健康相談、育児相談など各種相談） ・健康チェック（血圧測定、体脂肪測定、血管年齢測定） ・看護グッズの配布
上　市	5/11(土)	滑川市ショッピングセンター エール	250	・健康相談 ・血圧測定、体脂肪測定、骨密度測定、骨折リスクチェック、血管年齢測定、マインドチェック ・ハンドマッサージ ・看護の日のチラシ、グッズ配布（ＰＲ活動）
射　水 高岡・氷見 合同	5/12(日) 10:00～14:00	イオンモール高岡 ウエストコート	138 104 104 8 150	・健康相談・血圧測定 ・肺活量測定 ・体重・体脂肪測定 ・お薬相談（県薬剤師会） ・看護の日のＰＲグッズの配布
砺波・小矢部	5/11(土) 9:00～12:30	イオンモールとなみ	36 35	テーマ「あなたの食生活大丈夫？一度考えてみませんか！」 ・健康相談・健康チェック（血圧測定） ・生活習慣病に関するポスターやパンフレットの掲示 ・栄養相談（体験型食事教育システム（ＳＡＴ）を使用した食生活の改善策について助言）

提　出　議　題

第１号議案　令和元年度事業報告(案)　…… 41

第２号議案　令和元年度収支決算報告(案)及び監査報告　…… 53

第３号議案　令和２年度富山県看護協会役員(案)の選任について　…… 71

第４号議案　令和３年度日本看護協会通常総会代議員等(案)の選出について　… 72

第５号議案　令和２年度選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について　… 73

令和元年度 事業報告(案)

○2019年度は、定款第５条に定める６事業を実施した。

1　教育等看護の質の向上に関する事業
2　学術研究の振興に関する事業
3　看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
4　看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業
5　訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
6　その他本会の目的を達成するために必要な事業

1　教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）　　・下線は新規等事業

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
1-1　継続教育に関する事業		
1　継続教育の企画・実施・評価	1　継続教育の企画・実施・評価 ①令和元年度教育計画に基づいた研修を実施 ・83研修を実施 ・研修実施の評価を研修後アンケートにて実施 ・広報：「研修計画冊子」「看護とやま」「ホームページ」等 ②インターネットオンデマンド・DVD研修	総受講者 5,617人（延　12,805人） ５コース　　受講者　235人 （延　349人）
2　認定看護管理者の育成	2　認定看護管理者教育課程の実施 ①認定看護管理者教育（ファーストレベル課程） 117時間（19.5日間） ②認定看護管理者教育（セカンドレベル課程） 186時間（31日間）	受講者　54人 受講者　23人
3　認定看護師養成事業	3　認定看護師教育課程の実施 ①摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程 645時間（6か月間） ②認定看護師教育課程休講に関する検討 ③新たな認定看護師教育の移行検討	受講者　17人 日本看護協会の動きを情報収集
4　新人看護職員研修	4　新人看護職員研修 ①新人看護職員研修責任者・教育担当者研修　４回 ②新人看護職員実地指導者研修　４回 ③新人看護職員研修　７回	受講者　66人(延　283人) 受講者　123人(延　546人) 受講者　638人(延　638人)
5　実習指導者育成	5　実習指導者講習会の実施 ①保健師助産師看護師等実習指導者講習会 240時間（40日間）	受講者　46人
6　認知症研修	6　認知症研修 ①看護職員認知症対応力向上研修	受講者　56人

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
7　がん看護臨床実践研修	7　がん看護臨床実践研修（15日間）	受講者　16人
8　看護職員資質向上実務研修	8　看護職員資質向上実務研修（小規模施設対象研修）	
	①看護職員研修　5回	受講者　37人（延　116人）
	②看護管理研修（医療安全）　3回	受講者　35人（延　129人）
9　特定行為研修制度の普及と諸課題対策	9　特定行為研修制度の普及と諸課題対策 特定行為に係る看護師研修 令和元年11月16日（土）	参加者　64人
10　委員会等担当研修会等	10　委員会担当研修会等	
	①保健指導ミーティング 令和元年11月23日（土）	保健師職能委員会活動による 参加者　60人
	②人材育成研修～質問力を磨く～ 令和元年７月６日（土）	参加者　31人
	③保健師職能助産師職能合同研修 ～妊娠期から始まる切れ目のない子育て支援～ 令和元年８月３日（土）	保健師職能委員会助産師職能委員会活動による 参加者　55人
	④准看護師の進学支援 令和元年９月７日（土）	看護師職能委員会Ⅰ活動による 参加者　６人
	⑤特定行為に係る看護師の活動の実際 令和元年11月16日（土）	参加者　64人
	⑥看護師のクリニカルラダー活用 令和元年10月11日（金）	参加者　50人
	⑦看護師のクリニカルラダー活用 令和元年10月19日（土）	看護師職能委員会Ⅱ活動による 参加者　13人
	⑧介護・福祉関係施設・在宅等領域での看取りのケアについて　令和元年11月9日（土）	参加者　40人
	⑨看護管理者看護倫理交流会 令和元年11月22日（金）	看護倫理委員会活動による 参加者　49人
	⑩認定看護師交流会　令和元年11月30日（土）	認定看護師による 参加者　98人

2　学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
2-1　富山県看護研究学会の開催		
	1　富山県看護学会の開催・評価 令和元年12月７日（土）　富山国際会議場	参加者　760人 演題発表　22題（口演12題、示説　10題）
2-2　第51回学術集会（看護教育）準備	1　準備委員会の開催 2　抄録選考委員会の開催	委員12名　委員会５回開催 委員29名　委員会１回開催
2-3　図書室運営に関する事業	1　図書室機能の充実	新刊図書購入、定期購読図書製本

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
	①看護専門図書・雑誌・資料等の購入	（新刊書籍　63冊、製本34冊、年間購読雑誌　21冊、蔵書数　7,755冊） 利用者数（延べ）　232人

3　看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業（公益目的事業）

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
3-1　医療・安全に関する事業		
1　医療安全対策研修等	1　医療安全対策研修　３回 令和元年７月８日(月)、９月17日(火)、10月23日(水)、12月16日(月)・17日(火)	医療安全委員会による 受講者　７月８日　94人 ９月17日　43人 10月23日　40人 12月16日・17日　37人 計214人
	2　医療事故調査制度に関すること ①医療事故調査制度支援団体の登録及び専門家の推薦 ②県内における専門家の派遣	日本看護協会へ推薦　１人 派遣要請なし
3-2　准看護師から看護師への支援事業	1　准看護師の進学支援 令和元年９月７日(土)	参加者　６人
3-3　看護業務及び制度に関する政策提言		
1　看護業務に関する事業		
(1)　職能委員会活動		
①日本看護協会職能委員会との連携	1　職能理事（職能委員長） ①日本看護協会通常総会職能交流集会への参加：４職能委員長	出席者　吉田智子（保） 三日市麻紀子（助） 神保浩子（看Ⅰ） 坪内奈津子（看Ⅱ）
	②全国職能委員長会議への出席 令和元年８月21日(水)	出席者　井内沙希子（保） 岡本里美（助） 神保浩子（看Ⅰ） 坪内奈津子（看Ⅱ）
	③東海北陸地区職能委員長会議への出席 （開催県：愛知県）	出席者　吉田智子（保） 岡本里美（助） 坪内奈津子（看Ⅱ）
②保健師職能委員会活動	2　保健師職能委員会 ①保健指導ミーティング 令和元年11月23日(土) （富山県市町村保健師連絡協議会、富山県保健師長会との合同開催）	参加者　52人
	②人材育成研修～質問力を磨く～ 令和元年７月６日(土)	参加者　22人

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
	③保健師職能助産師職能合同研修 妊娠期から始まる切れ目のない子育て支援 令和元年８月３日（土） ④職能集会開催：令和元年６月15日（土） ⑤「看護の日」看護フェスティバル運営協力（体験コーナー等）　：令和元年５月６日（月） ⑥保健師加入促進のためのリーフレット作成　1,000部	参加者　44人 （保健師・助産師合わせて） 参加者　31人
③助産師職能委員会活動	３　助産師職能委員会 ①アドバンス助産師に関する実態調査 令和元年12月実施 ②保健師職能助産師職能合同研修 妊娠期から始まる切れ目のない子育て支援 令和元年８月３日（土） ③職能集会開催：令和元年６月15日（土） ④「看護の日」看護フェスティバル運営協力（体験コーナー等）　：令和元年５月６日（月）	県内施設に勤務し、協会員であるアドバンス助産師を対象に実施 参加者　44人 （保健師・助産師合わせて） 参加者　31人
④看護師職能Ⅰ委員会活動	４　看護師職能Ⅰ委員会 ①特定行為に係る看護師の活動の実際 令和元年11月16日（金） ②看護師のクリニカルラダー活用 令和元年10月11日（金） ③准看護師進学支援研修会開催 令和元年９月７日（土） ④職能集会開催：令和元年６月15日（土） ⑤「看護の日」看護フェスティバル運営協力（体験コーナー等）　：令和元年５月６日（月）	参加者　64人 参加者　50人 参加者　６人 参加者　300人 （看護師ⅠⅡ合わせて）
⑤看護師職能Ⅱ委員会活動	５　看護師職能Ⅱ委員会 ①在宅ケア事例検討会の運営協力：開催８回 ②看護師のクリニカルラダー活用 令和元年10月19日（土） ③介護・福祉関係施設・在宅等領域での看取りのケアについて　令和元年11月９日（土） ④職能集会開催：令和元年６月15日（土） ⑤「看護の日」看護フェスティバル運営協力（体験コーナー等）　：令和元年５月６日（月）	参加者　13人 参加者　40人 参加者　300人 （看護師ⅠⅡ合わせて）
⑥３職能４委員会連携事業	６　３職能４委員会連携事業 ①連携に関するアンケート 令和元年10～11月実施 ②事例検討連携研修会　令和２年１月18日（土）	３職能４委員会委員を対象に実施　36名回答 参加者　32名

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
2　看護制度に関する事項		
(1) 准看護師制度について	1　准看護師の進学支援（看護師学校養成所2年課程（通信制）の情報提供） 准看護師交流会　1回	参加者　6人
(2) 特定行為に係る看護師の研修制度について	1　特定行為に係る看護師の研修制度について情報収集・啓発普及 2　特定行為研修指定機関情報交換会	

4　看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
4-1　働きやすい労働環境づくり支援事業		
(1) ナースセンター事業の拡充とハローワークとの連携強化	1　ナースセンター事業の今後の課題検討 富山県看護協会ナースセンター事業運営委員会	委員14人 令和２年２月４日(火) 開催
	2　富山労働局との連携強化	
	①公共職業安定所との連携	
	②ナースセンター・ハローワーク連携事業	連携事業対象求人数　1,733人(85人) 連携事業対象求職者数　132人(56人) 連携事業就職者数　46人(20人) ＊(　) は、ナースセンター実績
	③看護職員就業支援専門員を県内７か所のハローワークに配置（月１回）	就業相談件数　137件
(2) 離職者の潜在化の防止と潜在看護職の再就業支援の強化	1　就労促進に関すること	
	①無料職業紹介所業務	求人登録数　9,094人
	②ナースセンター求人・求職登録事業	求職登録数　3,003人 有効求人倍率　3.0倍 就職者数　237人
	③看護師等免許保持者届出事業	届出数　329人 ナースセンター登録希望数　193人 ナースセンター登録者数　132人
	④看護職員就職アドバイザー事業	アドバイザーによる相談　3,297人
	⑤移動就業相談事業	12ヶ所　相談者19名
	⑥看護師等就業支援サテライト事業 （新川・射水・砺波）	相談件数　18件
	⑦看護職員再就業支援研修	
	定期研修（３日間）	受講者　44人
	随時研修（２日間）	受講者　１人
	随時研修（技術チェック研修）	受講者　２人
	⑧就職ガイダンス	
	ア　公的病院・民間病院 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	イ　民間病院　令和元年10月26日(土)	参加者41人(一般14人、学生27人) 参加施設　19施設 施設参加者数　51人

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
	⑨登録看護職員就業希望調査 （年１回実施　令和２年１月） ⑩ナースセンターニュースの発行　年４回	
(3) 医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業 WLB実現に向けた取り組みの推進	1　看護職のWLB推進ワークショップの企画・運営・評価 ①ワークショップ参加施設：３施設 令和元年８月20日(火)	出席者27施設　60人
(サポート終了) H23(４施設)、H24(４施設)、H25(６施設)、H26(４施設)、H27(４施設)、H28(３施設)	２年目１施設、３年目２施設の取り組み状況の報告 ワーク・ライフ・バランス推進事業報告書作成300冊	
(サポート継続) H29(２施設) H30(１施設) (民間病院訪問型サポート事業) Ｒ１新規参加(２施設)	②フォローアップワークショップ 令和元年12月18日(水)　３施設の取り組みの報告と講演 ③カンゴサウルス賞受賞式 令和元年５月６日(月) グランドプラザ	出席者　26施設　　78人 受賞施設　３施設 ①厚生連滑川病院 ②富山協立病院 ③友愛温泉病院
	2　夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの普及等 3　看護職員定着支援事業看護職の賃金モデルの推進	
(4) 看護職員定着支援	1　看護職員定着支援事業 ①看護職員定着シンポジウム：テーマ「ハラスメント防止」「看護職が安心して働き続けるには」　令和元年11月２日(土)	出席者　37施設　　95人

5　訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
5-1　訪問看護支援事業		
(1) 訪問看護支援強化事業	1　訪問看護支援強化事業 ①訪問看護コールセンター ②訪問看護の普及啓発 ③訪問看護の機能強化・拡充 ④訪問看護運営支援アドバイザー派遣事業	訪問看護ステーションはーと(東京都)　富岡里江氏 参加施設　５施設
	2　富山県訪問看護ステーション連絡協議会との連携・支援	
(2) 訪問看護の人材育成等	1　訪問看護の人材育成 ①「訪問看護ｅラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	受講者　21人 修了者　20人　公開講座　45人
	②訪問看護従事者等研修会	受講者　31人
	③訪問看護ステーション管理者育成研修会	受講者　37人
	④訪問看護推進事業	

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
	ア　在宅ケア事例検討会（アドバイザー15人）：８回	参加者281人
	イ　医療機関における看護師の訪問看護ステーション研修	２ステーション、参加者６人
	２　訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業	
	①テレワーク型訪問看護ステーションモデル事業	委託　なし
	②訪問看護トライアル雇用事業	委託　６ステーション
	３　訪問看護ステーション業務改善推進事業	
	①タブレット端末等システム導入の助成	助成　３ステーション
	②報告会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	４　訪問看護ステーション連携加速化事業	
	①病院看護師出向研修事業	
	ア　出向元（黒部市民病院） 出向先（朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション） 出向期間 （令和元年９月１日～11月30日：３カ月間）	
	イ　出向元（富山県立中央病院） 出向先（訪問看護ステーションひよどり富山） 出向期間 （令和元年10月１日～12月31日：３カ月間）	
	②病院看護師の研修受入事業	
	ア　派遣元（北陸中央病院） 研修先（南砺市訪問看護ステーション） 研修期間 （令和元年10月１日～10月31日：１カ月間）	
	イ　派遣元（富山市民病院） 出向先（光風会訪問看護ステーション） 研修期間 （令和元年10月１日～10月31日：１カ月間）	
	③訪問看護師スキルアップ研修事業	
	４圏域５病院 （黒部市民病院・県リハビリ病院・県立中央病院・厚生連高岡病院・市立砺波総合病院）	参加者　50人
	④報告会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	５　訪問看護ステーションサポート事業	連絡会議・中間報告会　３回
	①実施ステーション	研修会・情報交換　26回
	４圏域５ステーション（朝日町在宅介護支援センター、光風会、富山赤十字、もみじ、南砺市）	電話相談　25件 同行訪問・ST訪問　10回
	②報告会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
5-2　富山県看護協会訪問看護ステーションの活動の推進	1　訪問看護ステーションひよどりの活動 2　訪問看護ステーションひよどり富山の活動	
5-3　地域包括ケアシステムにおける活動の推進	1　居宅介護支援事業所ひよどり富山の活動 2　神明・五福地域包括支援センターの活動 3　富山市西エリア医療・介護連携推進会議への参加　1回	平成12年４月介護保険法施行により訪問看護事業と併設にて指定居宅介護支援事業所開設。令和元年度に居宅介護支援事業所指定を令和元年度まで更新した。

6　その他本会の目的を達成するために必要な事業　（公益目的事業）

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
6-1　県民の健康の増進・啓発に関する事業		
(1)　看護の心普及啓発事業	1「看護の日・看護週間」行事の実施 ①看護フェスティバル 令和元年５月６日（月）グランドプラザ ②ふれあい看護体験 2　高校生の一日看護見学 令和元年７月３日(水)～12日(金) 3　看護普及推進事業　看護体験学習 4　養成機関共同PR事業 ガイドブック作成　1,500冊 5　看護学生就労啓発事業	 参加者　2,498人 参加者　27施設　3,354人 参加学校数　43校 見学者数　963人 看護体験　4校　参加人数約280人 受講者　２校　104人
(2)　支部活動の推進	1　支部活動（８支部） ①支部における看護職等連携構築の推進 ②支部研修会 ③地域のニーズに応じた看護活動 ④「まちの保健室」事業 ⑤「看護の日」及び看護週間における「１日まちの保健室」事業 ⑥支部構成検討員会	 ３回開催
6-2　地域における看護職のネットワーク強化事業	1　地域における看護職ネットワーク強化事業 （看護政策のための組織強化事業） ①施設等へのアドバイザー派遣　２名 ②出前講座（高齢者の認知症・摂食嚥下、事故防止など） ③保健師の加入促進（アドバイザー派遣、リーフレット作成1,000枚）	 アドバイザー等派遣　60回 出前講座　６施設　169人 アドバイザー等派遣　４回
6-3　災害時の看護支援活動に関する事業		
(1)　災害支援ネットワークづくりの推進	1　災害支援ナースの育成、登録の推進 (1)　災害医療・看護研修会、フォローアップ研修会の実施	 受講者　基礎　57人 フォローアップ　28人

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
(2) 災害支援支援ナースの育成・登録の推進	(2) 災害支援支援ナースの登録	登録者　228人
(3) 災害支援マニュアルの整備	1　受援の手引き作成中	
(4) 防災訓練等に関すること	1　各防災訓練へ参加 (1) 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練：令和元年11月５日(火)～11月７日(木) (2) 富山県総合防災訓練：令和元年９月29日(日) 於：入善町立黒東小学校 (3) 富山県原子力防災訓練：令和元年11月17日(日) 於：高岡市ふくおか総合文化センター　アリーナ	 参加施設　　県内　17施設 派遣　災害支援ナース　2人 　　災害看護委員　2人 職員１人参観：災害看護担当理事 閉会式出席：大井会長 派遣　災害支援ナース　１人 　　災害看護委員　３人 職員　１人 閉会式出席：災害看護担当理事
6-4　広報活動		
(1) 看護職及び県民等への広報	1　会員及び看護職への情報提供の充実 (1) 機関誌「看護とやま」の発行・配布 ・年４回発行 （４月、７月、10月、１月　第131号～134号） (2) ホームページの内容充実、最新情報の掲載 (3)「看護の日」看護フェスティバルの開催 令和元年５月６日(月)　グランドプラザ (4) 県医師会報、自治体広報等で情報提供 (5) マスコミ（新聞広告、テレビ等）を通じた広報活動	 参加者　2,498人
6-5　法人管理に関する事業		
(1) 組織の運営に関する事業	1　公益社団法人としての円滑な組織運営 (1) 定時総会　　１回 令和元年６月15日(土)　サンフォルテ (2) 理事会　　８回 4月、5月、6月、8月、10月、12月、1月、3月 (3) 職能集会　　１回 令和元年６月15日(土) サンフォルテ (4) 職能委員会：保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ (5) 委員会：総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会選挙管理、推薦委員会 ・合同委員会　令和元年６月19日(水) (6) 支部役員会　令和元年６月19日(水) (7) 職員の人事管理・労務管理の充実 (8) 会員支援の充実	 総会参加者　473人　委任数　6,940人

<table>
<tr><th>項　　目</th><th>実　　施　　状　　況</th><th>実　　績</th></tr>
<tr><td></td><td>①表彰
②各受賞候補者の推薦
③会員への福利厚生
④慶弔
ア　慶事
イ　各種見舞（災害等）の支給
ウ　弔慰
(9) 職員の人事管理・労務管理の充実</td><td>

叙勲者への祝電（春２人、秋１人）

物故会員への弔慰　１人</td></tr>
<tr><td>(2) 組織の管理及び強化拡大に向けた活動</td><td>1　会員登録制度の充実
(1) 会員募集及び入会の促進（非会員施設への広報活動等）
(2) 会員登録
ア　新規・更新会員の受付及び日本看護協会会員管理システム（ナースシップシステム）の運用管理
イ　会員証の送付
令和元年度会員数（令和２年3月31日）
<table><tr><td colspan="3">総数　8,828人</td></tr><tr><td rowspan="4">内訳</td><td>保健師</td><td>492人</td></tr><tr><td>助産師</td><td>388人</td></tr><tr><td>看護師</td><td>7,818人</td></tr><tr><td>准看護師</td><td>129人</td></tr></table>ウ「会員情報管理体制」の推進
エ　キャリナースの登録・活用の推進</td><td></td></tr>
<tr><td>6-6　渉外活動</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(1) 富山県・その他関係団体、審議会等への委員派遣</td><td>1　構成団体の一員としての活動・提言
2　関係機関・団体の会議への参画・情報交換
3　後援・推薦等依頼への協力</td><td></td></tr>
<tr><td>(2) 自治体・関係団体への要望提出</td><td>1　富山県行政等への関連事業予算編成等に係る要望提出（３回実施）</td><td>令和元年８月26日(月)
11月22日(金)
令和２年１月28日(火)</td></tr>
<tr><td>(3) 関係団体との連携</td><td>1　医師会、歯科医師会、薬剤師会等
2　県訪問看護ステーション協議会、看護師養成機関、大学等
3　コメディカル・介護保険団体等</td><td></td></tr>
<tr><td>6-7　日本看護協会との連携</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>(1) 組織運営への協力</td><td>1　日本看護協会理事会・法人会員会
(1) 理事会　年６回
(2) 法人会員会　中央５回(於:日看協JNAホール)、地区別法人会員会（於：愛知県）
2　日本看護協会通常総会の代議員　９人出席
令和元年６月６日(於:北海道　函館アリーナ)
3　日本看護協会代議員の選出と代議員活動の支援
(1) 県協会定時総会での日本看護協会代議員選出</td><td></td></tr>
</table>

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
	(2) 日本看護協会代議員への研修実施 令和元年５月29日(水) 4　全国職能交流集会 令和元年６月７日（於:北海道　函館アリーナ） 5　日本看護協会全国職能委員長会１回、地区別職能委員長会１回出席 6　その他の会議等	
	(1) 第51回（2020年度）日本看護学会学術集会開催地看護協会との打ち合わせ会 令和元年５月20日(月)	(於：日看協JNAホール) 出席者　大井きよみ(会長) 田村雅子(常任理事)
	(2) ナースセンター事業担当者会議 令和元年5月23日(木)	(於：日看協JNAホール) 出席者　向野勝美（保健師）
	ナースセンター相談員研修 令和元年５月24日(木)	(於：日看協JNAホール) 出席者　濱祐美(相談員)
	ナースセンター地区別意見交換会 令和元年９月４日(水)	(於：石川県看護協会) 出席者　松嶋瞳(センター長)
	(3) 都道府県看護協会看護労働担当者会議 令和元年５月22日(水)	(於：日看協JNAホール) 出席者　松嶋瞳(センター長)　山田和美(委員)
	(4) 都道府県看護協会ナースシップ担当者会議 令和元年11月13日(水)	(於：日看協JNAホール) 出席者　村井一仁(職員)　高瀬かおり(職員)
	(5) 認定看護師教育機関連絡会 令和元年７月29日(月)	(於：日看協JNAホール) 出席者　髙田和加子(教員)
	(6) 都道府県看護協会教育担当者会議 令和元年７月３日(水)	(於：日看協JNAホール) 出席者　向野勝美（専務理事）田村雅子（常任理事）
	(7) 第50回日本看護学会-看護教育-学術集会 令和元年８月８日(木)　９日(金)	(於：和歌山県民文化会館) 出席者：大井きよみ(会長)　稲村睦子(副会長) 向野勝美(専務理事)　田村雅子(常任理事) 越田美穂子(県立大)　米道智子(職員)　村井一仁(職員)
	(8) 都道府県看護協会災害看護担当者会議 令和元年９月12日(水)	(於：日看協JNAホール) 出席者　向野勝美(専務理事)　松井紀子(理事)
	(9) 都道府県看護協会政策責任者会議 令和元年9月26日(木)	(於：日看協JNAホール) 出席者　大井きよみ(会長)　向野勝美(専務理事)
	(10)都道府県看護協会支部役員等研修 令和元年10月４日(金)	(於:愛知県　名鉄ニューグランドホテル) 出席者　大井きよみ(会長)　向野勝美(専務理事) 森(支部理事)　吉田理事、川合、小倉、佐々木(委員)
	(11)東海北陸地区事務担当者会議 令和元年11月１日(金)	(於：愛知県看護協会) 出席者　西村次男(事務局長)　村井一仁(職員)
	(12)訪問看護サミット・看護サミット 令和元年12月６日(金)	(於：パシフィコ横浜) 出席者　大井きよみ(会長)　向野勝美(専務理事) 安井千明(ネットワークセンター)　北川洋子(ひよどり富山) 森陽子（ひよどり）
	(13)第51回（2020年度）日本看護学会学術集会開催地看護協会抄録選考担当者との打ち合わせ会　令和２年１月29日（水）	(於：日看協JNAホール) 出席者　八塚美樹(富山大学)　米道智子(職員)

項　　目	実　　施　　状　　況	実　　績
	(14)訪問看護連絡協議会全国会議 令和２年２月14日（金） (15)全国准看護師制度担当役員会議 台風のため中止 (16)都道府県看護協会広報担当役員会議 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (17)全国看護基礎教育担当役員会議 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	(於：日看協JNAホール) 出席者　向野勝美(専務理事)
(2) 看護研修センター等の運営	1　看護研修センター、認定看護師教育センター建物設備の管理・運営 (1) 建物設備・駐車場管理、警備、清掃、防災 (2) 保守修繕 (3) 地域活動（町内会等への協力、連携） ・子ども110番の家等	施設・設備等の修繕計画に資するため、診断業務の委託

令和元年度　収支決算報告（案）

貸借対照表

令和２年３月31日現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	76,518,488	91,804,778	△ 15,286,290
未収金	48,056,141	44,569,391	3,486,750
前払金	0	31,104	△ 31,104
立替金	306,456	0	306,456
仮払金	0	29,076	△ 29,076
流動資産合計	124,881,085	136,434,349	△ 11,553,264
２．固定資産			0
(1)　特定資産			0
役員退職慰労引当資産	2,610,000	2,340,000	270,000
退職給付引当資産	25,447,530	21,878,660	3,568,870
減価償却引当資産	204,834,968	214,065,906	△ 9,230,938
会館建設引当資産	276,331,050	257,906,050	18,425,000
建物	355,824,853	366,538,976	△ 10,714,123
構築物	11,139,957	13,235,517	△ 2,095,560
什器備品	1	1	0
土地	74,574,139	74,574,139	0
特定資産合計	950,762,498	950,539,249	223,249
(2)　その他固定資産			0
什器備品	12,130,146	2,409,485	9,720,661
ソフトウェア	1,301,400	1,821,960	△ 520,560
電話加入権	91,575	91,575	0
その他固定資産合計	13,523,121	4,323,020	9,200,101
固定資産合計	964,285,619	954,862,269	9,423,350
資産合計	1,089,166,704	1,091,296,618	△ 2,129,914
Ⅱ　負債の部			0
１．流動負債			0
未払金	12,608,656	15,315,889	△ 2,707,233
前受金	7,846	0	7,846
前受会費	43,276,000	43,290,000	△ 14,000
預り金	2,400,457	1,437,941	962,516
役員賞与引当金	1,129,334	1,129,334	0
賞与引当金	8,024,308	8,940,536	△ 916,228
未払消費税等	2,223,500	1,696,600	526,900
流動負債合計	69,670,101	71,810,300	△ 2,140,199
２．固定負債			0
役員退職慰労引当金	2,610,000	2,340,000	270,000
退職給付引当金	25,447,530	21,878,660	3,568,870
固定負債合計	28,057,530	24,218,660	3,838,870
負債合計	97,727,631	96,028,960	1,698,671

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅲ　正味財産の部			0
1．指定正味財産			0
地方公共団体補助金	248,288,824	254,625,536	△ 6,336,712
指定正味財産合計	248,288,824	254,625,536	△ 6,336,712
（うち特定資産への充当額）	(248,288,824)	(254,625,536)	(△ 6,336,712)
2．一般正味財産	743,150,249	740,642,122	2,508,127
（うち特定資産への充当額）	(674,416,144)	(671,695,053)	(2,721,091)
正味財産合計	991,439,073	995,267,658	△ 3,828,585
負債及び正味財産合計	1,089,166,704	1,091,296,618	△ 2,129,914

正味財産増減計算書

平成31年４月１日から令和２年３月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1)　経常収益			
受取会費	52,968,000	52,002,000	966,000
受取会費	52,968,000	52,002,000	966,000
受取会館運営基金	18,425,000	21,169,000	△ 2,744,000
受取会館運営基金	18,425,000	21,169,000	△ 2,744,000
事業収益	150,202,154	161,237,027	△ 11,034,873
受講料収益	36,346,208	45,661,836	△ 9,315,628
学会事業収益	1,613,500	1,502,000	111,500
訪問看護事業収益	74,477,917	76,704,200	△ 2,226,283
居宅介護支援費収益	10,608,811	9,668,940	939,871
地域包括支援センター受託収益	26,268,418	26,439,966	△ 171,548
その他の事業収益	887,300	1,260,085	△ 372,785
受取補助金等	76,483,844	76,148,701	335,143
受取県補助金等	66,246,444	65,882,629	363,815
受取看護職員研修補助金	2,268,000	2,268,000	0
受取看護職員定着支援事業補助金	420,000	420,000	0
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	2,160,243	2,220,000	△ 59,757
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会	2,050,000	2,009,000	41,000
受取看護職員資質向上実務受託収益	804,000	804,000	0
受取看護師等就労促進事業受託収益	21,971,000	21,571,000	400,000
受取訪問看護推進事業受託収益	510,000	500,000	10,000
受取看護師等免許保持者届出事業受託収益	1,610,000	1,580,000	30,000
受取看護職員就業支援事業受託収益	3,207,000	3,148,000	59,000
受取訪問看護支援強化事業受託収益	4,853,000	4,765,000	88,000
受取看護普及推進事業受託収益	770,000	770,000	0
受取看護職員就労環境改善事業受託収益	1,200,000	1,100,000	100,000
受取認定看護師教育課程運営事業補助金	5,818,000	8,731,897	△ 2,913,897
受取がん専門分野看護師育成事業受託収益	2,835,557	2,948,050	△ 112,493
受取精神科訪問看護師育成支援事業	300,000	300,000	0
受取訪問看護職員確保・定着働き方改革事業	6,089,137	4,839,432	1,249,705
受取訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ業務改善推進事業	2,918,121	2,008,250	909,871
受訪看ステーション連携加速化事業	3,745,386	5,000,000	△ 1,254,614
受取看護職員認知症対応力向上研修事業受託	917,000	900,000	17,000
受取訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝｻﾎﾟｰﾄ事業受託収益	1,800,000	0	1,800,000
受取日看協受託収益	10,237,400	10,266,072	△ 28,672
受取会員登録事務受託費収益	1,529,310	1,501,360	27,950
受取法人会員助成金	8,208,090	8,193,040	15,050
看護政策のための組織強化事業	500,000	500,000	0
受取日看協受託収益	0	71,672	△ 71,672
受取負担金	239,552	477,864	△ 238,312
受取負担金	239,552	477,864	△ 238,312
受取寄付金	800,000	2,005,298	△ 1,205,298
受取寄付金	800,000	2,005,298	△ 1,205,298
受取補助金振替額	6,336,712	6,336,712	0

科目	当年度	前年度	増減
雑収益	1,486,049	1,797,669	△ 311,620
受取利息	2,301	4,634	△ 2,333
減価償却引当資産受取利息	2,301	4,634	△ 2,333
雑収益	1,483,748	1,793,035	△ 309,287
経常収益計	306,941,311	321,174,271	△ 14,232,960
(2) 経常費用			
事業費	282,120,376	293,948,461	△ 11,828,085
役員報酬	6,982,661	7,012,040	△ 29,379
給料手当	92,630,144	98,397,097	△ 5,766,953
臨時雇賃金	32,410,913	33,049,643	△ 638,730
役員退職慰労引当金繰入額	462,000	462,000	0
退職給付引当金繰入額	6,430,770	3,167,139	3,263,631
福利厚生費	24,035,301	23,728,666	306,635
役員賞与引当金繰入額	1,013,467	1,013,467	0
賞与引当金繰入額	7,684,860	9,674,571	△ 1,989,711
旅費交通費	7,337,038	7,195,208	141,830
通信運搬費	7,304,486	7,401,424	△ 96,938
減価償却費	11,583,811	11,609,002	△ 25,191
建物減価償却費	8,571,298	8,571,298	0
構築物減価償却費	1,676,450	1,676,450	0
工具器具備品減価償却費	815,503	840,694	△ 25,191
ソフトウェア減価償却費	520,560	520,560	0
消耗什器備品費	138,600	942,208	△ 803,608
消耗品費	3,301,198	5,210,620	△ 1,909,422
修繕費	1,489,677	2,686,236	△ 1,196,559
印刷製本費	7,820,429	8,096,310	△ 275,881
新聞図書費	1,248,366	1,195,922	52,444
燃料費	771,942	857,406	△ 85,464
光熱水料費	4,828,432	5,102,230	△ 273,798
賃借料	13,560,718	14,273,974	△ 713,256
保険料	1,477,130	1,478,730	△ 1,600
諸謝金	17,637,688	17,800,836	△ 163,148
広報費	3,401,429	3,269,437	131,992
租税公課	8,632,104	8,334,804	297,300
支払負担金	2,164,788	3,161,364	△ 996,576
支払助成金	7,027,797	6,425,621	602,176
支払寄付金	0	1,205,298	△ 1,205,298
委託費	8,738,582	8,966,385	△ 227,803
雑費	2,006,045	2,230,823	△ 224,778
管理費	22,312,808	22,795,381	△ 482,573
役員報酬	5,780,000	5,880,000	△ 100,000
給料手当	4,875,270	5,178,794	△ 303,524
役員退職慰労引当金繰入額	308,000	308,000	0
退職給付引当金繰入額	114,000	150,633	△ 36,633
福利厚生費	26,039	43,840	△ 17,801
役員賞与引当金繰入額	115,867	225,867	△ 110,000
賞与引当金繰入額	339,448	365,965	△ 26,517
旅費交通費	466,765	466,657	108
会議費	255,710	246,884	8,826

科目	当年度	前年度	増減
通信運搬費	122,589	245,657	△ 123,068
減価償却費	2,765,811	2,772,109	△ 6,298
建物減価償却費	2,142,825	2,142,825	0
構築物減価償却費	419,110	419,110	0
工具器具備品減価償却費	203,876	210,174	△ 6,298
消耗什器備品費	0	200,000	△ 200,000
消耗品費	151,166	154,744	△ 3,578
修繕費	165,519	302,400	△ 136,881
印刷製本費	1,582,692	1,573,602	9,090
新聞図書費	122,016	119,244	2,772
燃料費	28,129	41,964	△ 13,835
光熱水料費	536,492	693,500	△ 157,008
賃借料	1,506,753	1,031,514	475,239
保険料	46,150	44,900	1,250
諸謝金	67,500	35,500	32,000
租税公課	901,100	697,700	203,400
支払負担金	471,931	440,164	31,767
支払寄付金	25,000	30,000	△ 5,000
委託費	822,065	853,810	△ 31,745
雑費	716,796	691,933	24,863
経常費用計	304,433,184	316,743,842	△ 12,310,658
評価損益等調整前当期経常増減額	2,508,127	4,430,429	△ 1,922,302
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,508,127	4,430,429	△ 1,922,302
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,508,127	4,430,429	△ 1,922,302
一般正味財産期首残高	740,642,122	736,211,693	4,430,429
一般正味財産期末残高	743,150,249	740,642,122	2,508,127
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
地方公共団体補助金	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
指定正味財産期首残高	254,625,536	260,962,248	△ 6,336,712
指定正味財産期末残高	248,288,824	254,625,536	△ 6,336,712
Ⅲ 正味財産期末残高	991,439,073	995,267,658	△ 3,828,585

予算対比正味財産増減計算書

平成31年４月１日から令和２年３月31日まで

（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1)　経常収益			
受取会費	51,600,000	52,968,000	△ 1,368,000
受取会費	51,600,000	52,968,000	△ 1,368,000
受取会館運営基金	15,800,000	18,425,000	△ 2,625,000
受取会館運営基金	15,800,000	18,425,000	△ 2,625,000
事業収益	169,461,000	150,202,154	19,258,846
受講料収益	44,852,000	36,346,208	8,505,792
学会事業収益	1,500,000	1,613,500	△ 113,500
訪問看護事業収益	87,885,000	74,477,917	13,407,083
居宅介護支援費収益	10,392,000	10,608,811	△ 216,811
地域包括支援センター受託収益	24,232,000	26,268,418	△ 2,036,418
その他の事業収益	600,000	887,300	△ 287,300
受取補助金等	81,441,000	76,483,844	4,957,156
受取県補助金等	71,706,000	66,246,444	5,459,556
受取看護職員研修補助金	2,268,000	2,268,000	0
受取看護職員定着支援事業補助金	420,000	420,000	0
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	2,262,000	2,160,243	101,757
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会	2,050,000	2,050,000	0
受取看護職員資質向上実務受託収益	804,000	804,000	0
受取看護師等就労促進事業受託収益	21,971,000	21,971,000	0
受取訪問看護推進事業受託収益	510,000	510,000	0
受取看護師等免許保持者届出事業受託収益	1,610,000	1,610,000	0
受取看護職員就業支援事業受託収益	3,207,000	3,207,000	0
受取訪問看護支援強化事業受託収益	4,853,000	4,853,000	0
受取看護普及推進事業受託収益	770,000	770,000	0
受取看護職員就労環境改善事業受託収益	1,200,000	1,200,000	0
受取認定看護師教育課程運営事業補助金	5,818,000	5,818,000	0
受取がん専門分野看護師育成事業受託収益	3,005,000	2,835,557	169,443
受取精神科訪問看護師育成支援事業	0	300,000	△ 300,000
受取訪問看護職員確保・定着働き方改革事業	7,800,000	6,089,137	1,710,863
受取訪問看護ステーション業務改善推進事業	5,348,000	2,918,121	2,429,879
受訪看ステーション連携加速化事業	5,093,000	3,745,386	1,347,614
受取看護職員認知症対応力向上研修事業受託	917,000	917,000	0
受取訪問看護ステーションサポート事業受託収益	1,800,000	1,800,000	0
受取日看協受託収益	9,735,000	10,237,400	△ 502,400
受取会員登録事務受託費収益	1,528,000	1,529,310	△ 1,310
受取法人会員助成金	8,207,000	8,208,090	△ 1,090
看護政策のための組織強化事業	0	500,000	△ 500,000
受取負担金	0	239,552	△ 239,552
受取負担金	0	239,552	△ 239,552
受取寄付金	0	800,000	△ 800,000
受取寄付金	0	800,000	△ 800,000
受取補助金振替額	6,627,000	6,336,712	290,288

科目	予算額	決算額	差異
雑収益	1,693,000	1,486,049	206,951
受取利息	5,000	2,301	2,699
減価償却引当資産受取利息	5,000	2,301	2,699
雑収益	1,688,000	1,483,748	204,252
経常収益計	326,622,000	306,941,311	19,680,689
(2) 経常費用			
事業費	296,667,000	282,120,376	14,546,624
役員報酬	7,440,000	6,982,661	457,339
給料手当	99,097,000	92,630,144	6,466,856
臨時雇賃金	38,142,000	32,410,913	5,731,087
役員退職慰労引当金繰入額	462,000	462,000	0
退職給付引当金繰入額	4,404,000	6,430,770	△ 2,026,770
福利厚生費	24,847,000	24,035,301	811,699
役員賞与引当金繰入額	677,000	1,013,467	△ 336,467
賞与引当金繰入額	8,341,000	7,684,860	656,140
旅費交通費	7,484,000	7,337,038	146,962
通信運搬費	4,619,000	7,304,486	△ 2,685,486
減価償却費	10,730,000	11,583,811	△ 853,811
建物減価償却費	8,300,000	8,571,298	△ 271,298
構築物減価償却費	1,230,000	1,676,450	△ 446,450
工具器具備品減価償却費	700,000	815,503	△ 115,503
ソフトウェア減価償却費	500,000	520,560	△ 20,560
消耗什器備品費	1,171,000	138,600	1,032,400
消耗品費	4,505,000	3,301,198	1,203,802
修繕費	720,000	1,489,677	△ 769,677
印刷製本費	6,980,000	7,820,429	△ 840,429
新聞図書費	1,686,000	1,248,366	437,634
燃料費	890,000	771,942	118,058
光熱水料費	3,791,000	4,828,432	△ 1,037,432
賃借料	12,462,000	13,560,718	△ 1,098,718
保険料	1,756,000	1,477,130	278,870
諸謝金	18,536,000	17,637,688	898,312
広報費	1,966,000	3,401,429	△ 1,435,429
租税公課	6,636,000	8,632,104	△ 1,996,104
支払負担金	110,000	2,164,788	△ 2,054,788
支払助成金	17,550,000	7,027,797	10,522,203
委託費	9,568,000	8,738,582	829,418
雑費	2,097,000	2,006,045	90,955
管理費	29,631,000	22,312,808	7,318,192
役員報酬	5,440,000	5,780,000	△ 340,000
給料手当	5,415,000	4,875,270	539,730
臨時雇賃金	20,000	0	20,000
役員退職慰労引当金繰入額	308,000	308,000	0
退職給付引当金繰入額	128,000	114,000	14,000
福利厚生費	1,257,000	26,039	1,230,961
役員賞与引当金繰入額	451,000	115,867	335,133
賞与引当金繰入額	199,000	339,448	△ 140,448
旅費交通費	1,460,000	466,765	993,235
会議費	210,000	255,710	△ 45,710

科　　目	予算額	決算額	差　異
通信運搬費	765,000	122,589	642,411
減価償却費	2,639,000	2,765,811	△ 126,811
建物減価償却費	2,039,000	2,142,825	△ 103,825
構築物減価償却費	400,000	419,110	△ 19,110
工具器具備品減価償却費	200,000	203,876	△ 3,876
消耗什器備品費	300,000	0	300,000
消耗品費	289,000	151,166	137,834
修繕費	160,000	165,519	△ 5,519
印刷製本費	1,952,000	1,582,692	369,308
新聞図書費	428,000	122,016	305,984
燃料費	60,000	28,129	31,871
光熱水料費	900,000	536,492	363,508
賃借料	1,944,000	1,506,753	437,247
保険料	77,000	46,150	30,850
諸謝金	0	67,500	△ 67,500
租税公課	2,545,000	901,100	1,643,900
支払負担金	180,000	471,931	△ 291,931
支払寄付金	0	25,000	△ 25,000
委託費	2,198,000	822,065	1,375,935
雑費	306,000	716,796	△ 410,796
経常費用計	326,298,000	304,433,184	21,864,816
評価損益等調整前当期経常増減額	324,000	2,508,127	△ 2,184,127
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	324,000	2,508,127	△ 2,184,127
2．経常外増減の部			
(1)　経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)　経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	324,000	2,508,127	△ 2,184,127
一般正味財産期首残高	740,642,122	740,642,122	0
一般正味財産期末残高	740,966,122	743,150,249	△ 2,184,127
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
一般正味財産への振替額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
地方公共団体補助金	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
当期指定正味財産増減額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
指定正味財産期首残高	254,625,536	254,625,536	0
指定正味財産期末残高	247,998,536	248,288,824	△ 290,288
Ⅲ　正味財産期末残高	988,964,658	991,439,073	△ 2,474,415

正味財産増減計算書内訳表

平成31年４月１日から令和２年３月31日まで

（単位：円）

科目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
(1)　経常収益				
受取会費	26,484,000	26,484,000		52,968,000
受取会費	26,484,000	26,484,000		52,968,000
受取会館運営基金	9,212,500	9,212,500		18,425,000
受取会館運営基金	9,212,500	9,212,500		18,425,000
事業収益	150,202,154	0		150,202,154
受講料収益	36,346,208	0		36,346,208
学会事業収益	1,613,500	0		1,613,500
訪問看護事業収益	74,477,917	0		74,477,917
居宅介護支援費収益	10,608,811	0		10,608,811
地域包括支援センター受託収益	26,268,418	0		26,268,418
その他の事業収益	887,300	0		887,300
受取補助金等	75,719,189	764,655		76,483,844
受取県補助金等	66,246,444	0		66,246,444
受取日看協受託収益	9,472,745	764,655		10,237,400
受取負担金	239,552	0		239,552
受取負担金	239,552	0		239,552
受取寄付金	800,000	0		800,000
受取寄付金	800,000	0		800,000
受取補助金振替額	6,336,712	0		6,336,712
雑収益	653,632	832,417		1,486,049
受取利息	1,833	468		2,301
雑収益	651,799	831,949		1,483,748
経常収益計	269,647,739	37,293,572		306,941,311
(2)　経常費用				
事業費	282,120,376	0		282,120,376
役員報酬	6,982,661	0		6,982,661
給料手当	92,630,144	0		92,630,144
臨時雇賃金	32,410,913	0		32,410,913
役員退職慰労引当金繰入額	462,000	0		462,000
退職給付引当金繰入額	6,430,770	0		6,430,770
福利厚生費	24,035,301	0		24,035,301
役員賞与引当金繰入額	1,013,467	0		1,013,467
賞与引当金繰入額	7,684,860	0		7,684,860
旅費交通費	7,337,038	0		7,337,038
通信運搬費	7,304,486	0		7,304,486
減価償却費	11,583,811	0		11,583,811
消耗什器備品費	138,600	0		138,600
消耗品費	3,301,198	0		3,301,198
修繕費	1,489,677	0		1,489,677
印刷製本費	7,820,429	0		7,820,429
新聞図書費	1,248,366	0		1,248,366
燃料費	771,942	0		771,942
光熱水料費	4,828,432	0		4,828,432
賃借料	13,560,718	0		13,560,718
保険料	1,477,130	0		1,477,130
諸謝金	17,637,688	0		17,637,688

科目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
広報費	3,401,429	0		3,401,429
租税公課	8,632,104	0		8,632,104
支払負担金	2,164,788	0		2,164,788
支払助成金	7,027,797	0		7,027,797
委託費	8,738,582	0		8,738,582
雑費	2,006,045	0		2,006,045
管理費	0	22,312,808		22,312,808
役員報酬	0	5,780,000		5,780,000
給料手当	0	4,875,270		4,875,270
役員退職慰労引当金繰入額	0	308,000		308,000
退職給付引当金繰入額	0	114,000		114,000
福利厚生費	0	26,039		26,039
役員賞与引当金繰入額	0	115,867		115,867
賞与引当金繰入額	0	339,448		339,448
旅費交通費	0	466,765		466,765
会議費	0	255,710		255,710
通信運搬費	0	122,589		122,589
減価償却費	0	2,765,811		2,765,811
消耗品費	0	151,166		151,166
修繕費	0	165,519		165,519
印刷製本費	0	1,582,692		1,582,692
新聞図書費	0	122,016		122,016
燃料費	0	28,129		28,129
光熱水料費	0	536,492		536,492
賃借料	0	1,506,753		1,506,753
保険料	0	46,150		46,150
諸謝金	0	67,500		67,500
租税公課	0	901,100		901,100
支払負担金	0	471,931		471,931
支払寄付金	0	25,000		25,000
委託費	0	822,065		822,065
雑費	0	716,796		716,796
経常費用計	282,120,376	22,312,808		304,433,184
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,472,637	14,980,764		2,508,127
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	△ 12,472,637	14,980,764		2,508,127
2．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 12,472,637	14,980,764		2,508,127
一般正味財産期首残高	473,776,053	266,866,069		740,642,122
一般正味財産期末残高	461,303,416	281,846,833		743,150,249
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	254,625,536	0		254,625,536
指定正味財産期末残高	248,288,824	0		248,288,824
Ⅲ 正味財産期末残高	709,592,240	281,846,833		991,439,073

正味財産増減計算書内訳表

平成31年４月１日から令和２年３月31日まで

（単位：円）

科目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育事業	学会事業	看護業務・制度事業	労働環境改善事業	訪問看護等事業	その他事業	公益目的共通事業	
Ⅰ　一般正味財産増減の部								
１．経常増減の部								
(1)　経常収益								
受取会費	0	0	0	0	0	0	26,484,000	26,484,000
受取会費	0	0	0	0	0	0	26,484,000	26,484,000
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	9,212,500	9,212,500
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	9,212,500	9,212,500
事業収益	35,456,608	1,613,500	1,186,900	590,000	111,355,146	0	0	150,202,154
受講料収益	35,184,208	0	1,162,000	0	0	0	0	36,346,208
学会事業収益	0	1,613,500	0	0	0	0	0	1,613,500
訪問看護事業収益	0	0	0	0	74,477,917	0	0	74,477,917
居宅介護支援費収益	0	0	0	0	10,608,811	0	0	10,608,811
地域包括支援センター受託収益	0	0	0	0	26,268,418	0	0	26,268,418
その他の事業収益	272,400	0	24,900	590,000	0	0	0	887,300
受取補助金等	17,152,800	0	0	29,178,000	19,915,644	500,000	8,972,745	75,719,189
受取県補助金等	17,152,800	0	0	29,178,000	19,915,644	0	0	66,246,444
受取日看協受託収益	0	0	0	0	0	500,000	8,972,745	9,472,745
受取負担金	0	0	0	0	239,552	0	0	239,552
受取負担金	0	0	0	0	239,552	0	0	239,552
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	800,000	800,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	800,000	800,000
受取補助金振替額	0	0	0	0	0	0	6,336,712	6,336,712
雑収益	10,590	0	0	0	641,208	0	1,834	653,632
受取利息	0	0	0	0	0	0	1,833	1,833
雑収益	10,590	0	0	0	641,208	0	1	651,799
経常収益計	52,619,998	1,613,500	1,186,900	29,768,000	132,151,550	500,000	51,807,791	269,647,739
(2)　経常費用								
事業費	48,981,603	1,619,248	806,326	25,643,238	113,196,370	8,257,046	83,616,545	282,120,376
役員報酬	0	0	0	0	0	0	6,982,661	6,982,661
給料手当	12,851,482	0	0	8,734,948	55,440,771	0	15,602,943	92,630,144
臨時雇賃金	1,783,890	0	0	5,466,152	20,046,438	0	5,114,433	32,410,913
役員退職慰労引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	462,000	462,000
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	6,430,770	6,430,770
福利厚生費	4,018,418	0	0	1,900,761	11,899,426	0	6,216,696	24,035,301
役員賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,013,467	1,013,467
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	7,684,860	7,684,860
旅費交通費	3,262,603	27,850	206,190	284,648	424,273	1,968,033	1,163,441	7,337,038
通信運搬費	1,166,635	54,787	0	932,715	3,433,314	992,400	724,635	7,304,486
減価償却費	0	0	0	0	0	0	11,583,811	11,583,811
消耗什器備品費	138,600	0	0	0	0	0	0	138,600
消耗品費	1,136,539	100,526	2,795	99,767	954,395	667,678	339,498	3,301,198
修繕費	553,670	0	0	41,708	220,580	31,163	642,556	1,489,677
印刷製本費	2,468,228	449,460	0	3,522,231	538,031	363,698	478,781	7,820,429
新聞図書費	892,491	0	32,010	180,240	59,065	84,560	0	1,248,366
燃料費	0	0	0	0	771,942	0	0	771,942
光熱水料費	264,463	0	0	180,528	357,962	0	4,025,479	4,828,432
賃借料	6,037,664	713,490	0	677,457	5,940,052	458,087	△ 266,032	13,560,718
保険料	0	0	0	2,160	1,184,270	0	290,700	1,477,130
諸謝金	13,375,588	170,000	523,500	314,000	1,381,600	1,873,000	0	17,637,688
広報費	0	0	0	2,090,049	0	1,311,380	0	3,401,429
租税公課	38,600	0	0	23,600	0	0	8,569,904	8,632,104
支払負担金	0	0	0	13,400	1,917,836	9,720	223,832	2,164,788
支払助成金	0	0	0	0	7,027,797	0	0	7,027,797
委託費	163,561	33,550	0	1,150,898	1,189,374	0	6,201,199	8,738,582
雑費	829,171	69,585	41,831	27,976	409,244	497,327	130,911	2,006,045
経常費用計	48,981,603	1,619,248	806,326	25,643,238	113,196,370	8,257,046	83,616,545	282,120,376
評価損益等調整前当期経常増減額	3,638,395	△ 5,748	380,574	4,124,762	18,955,180	△ 7,757,046	△ 31,808,754	△ 12,472,637
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	3,638,395	△ 5,748	380,574	4,124,762	18,955,180	△ 7,757,046	△ 31,808,754	△ 12,472,637
２．経常外増減の部								
(1)　経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)　経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0

科　　目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育事業	学会事業	看護業務・制度事業	労働環境改善事業	訪問看護等事業	その他事業	公益目的共通事業	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,638,395	△ 5,748	380,574	4,124,762	18,955,180	△ 7,757,046	△ 31,808,754	△ 12,472,637
一般正味財産期首残高	49,253,756	4,043,600	4,304,896	97,615,522	184,665,432	△ 49,843,206	183,736,053	473,776,053
一般正味財産期末残高	52,892,151	4,037,852	4,685,470	101,740,284	203,620,612	△ 57,600,252	151,927,299	461,303,416
Ⅱ　指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	129,215	0	254,496,321	254,625,536
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	129,215	0	248,159,609	248,288,824
Ⅲ　正味財産期末残高	52,892,151	4,037,852	4,685,470	101,740,284	203,749,827	△ 57,600,252	400,086,908	709,592,240

財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日　平成21年10月16日改正　内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1)　重要な会計方針の変更について

変更なし。

(2)　有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3)　固定資産の減価償却の方法

①建物 …… 定額法によっている。

②構築物・什器備品 …… 定額法によっている。

(4)　引当金の計上基準

①賞与引当金 …… 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②役員賞与引当金 …… 役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

③退職給付引当金 …… 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

④役員退職慰労引当金 …… 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(5)　消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2　基本財産、特定資産及びその残高

基本財産、特定資産及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	2,340,000	770,000	500,000	2,610,000
退職給付引当資産	21,878,660	6,544,770	2,975,900	25,447,530
減価償却引当資産	214,065,906	1,434,962	10,665,900	204,834,968
会館建設引当資産	257,906,050	18,425,000		276,331,050
建物	366,538,976	0	10,714,123	355,824,853
構築物	13,235,517	0	2,095,560	11,139,957
什器備品	1	0	0	1
土地	74,574,139	0	0	74,574,139
小計	950,539,249	27,174,732	26,951,483	950,762,498
合計	950,539,249	27,174,732	26,951,483	950,762,498

3　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
	0	0	0	0
小　　計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	2,610,000			2,610,000
退職給付引当資産	25,447,530			25,447,530
減価償却引当資産	204,834,968		204,834,968	
会館建設引当資産	276,331,050		276,331,050	
建物	355,824,853	173,714,684	182,110,169	
構築物	11,139,957		11,139,957	
什器備品	1	1		
土地	74,574,139	74,574,139		
小　　計	950,762,498	248,288,824	674,416,144	28,057,530
合　　計	950,762,498	248,288,824	674,416,144	28,057,530

4　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	563,685,911	207,861,058	355,824,853
構築物	47,073,459	35,933,502	11,139,957
什器備品	209,160	209,159	1
その他固定資産			
什器備品	22,197,468	10,067,322	12,130,146
ソフトウェア	3,451,425	2,150,025	1,301,400
電話加入権	91,575	0	91,575
合　　計	636,708,998	256,221,066	380,487,932

5　保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

6　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

7　補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	富山県他	254,625,536	0	6,336,712	248,288,824	指定正味財産
看護職員研修補助金	富山県	0	2,268,000	2,268,000	0	
看護職員定着支援事業補助金	富山県	0	420,000	420,000	0	
認定看護師教育課程運営事業補助金	富山県	0	5,818,000	5,818,000	0	
助成金						
教育事業（研修）助成金	日本看護協会	0	8,108,090	8,108,090	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
合　　計		254,625,536	16,714,090	23,050,802	248,288,824	

8　指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

（単位：円）

内　　容	金　　額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	6,336,712

9　関連当事者との取引内容

該当事項なし。

10　重要な後発事象

該当事項なし。

附属明細書

１．基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「２．基本財産、特定資産の増減額及びその残高」に記載

２．引当金の明細

（単位：円）

科　　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	2,340,000	770,000	500,000	0	2,610,000
退職給付引当金	21,878,660	6,544,770	2,975,900	0	25,447,530
役員賞与引当金	1,129,334	1,129,334	1,129,334	0	1,129,334
賞与引当金	8,940,536	8,024,308	8,940,536	0	8,024,308

財産目録

令和２年３月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	421,547
	預金	普通預金	運転資金として	76,096,941
		北陸五福会費収入		50,887,360
		北陸五福支払		648,737
		北陸五福受講料収入		1,025,064
		北陸五福補助金収入		1,611,445
		北陸五福ひよどり		6,589,176
		北陸五福ひよどり大島		2,822,083
		北陸五福ひよどり富山		3,408,672
		北陸五福包括センター		9,104,404
	未収金		県委託費、訪問看護収入、居宅収入、包括支援センター収入他	48,056,141
	立替金		令和元年度日本看護学会旅費	306,456
流動資産合計				124,881,085
（固定資産）				
特定資産				
	役員退職慰労引当資産	役員退職慰労引当預金	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	2,610,000
	北陸五福普通			(2,610,000)
	退職給付引当資産	退職給与引当預金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	25,447,530
	北陸五福普通			(25,447,530)
	減価償却引当資産	減価償却引当預金	資産取得資金であり、建物及び附属設備等の更新に備えたもの	204,834,968
	北陸五福普通			(181,812,940)
	北陸五福定期			(23,022,028)
	会館建設引当資産	会館建設引当預金	資産取得資金であり、建物の建替えに備えたもの	276,331,050
	北陸五福普通			(186,579,194)
	富山第一普通			(89,751,856)
	建物	富山市鵜島字川原 1907-1		
	建物		公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	355,824,853
	構築物	融雪設備、キュービクル等		
	構築物		公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	11,139,957
	什器備品	附属設備一式		
	什器備品		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1
	土地	富山市鵜島字川原 1907-1		
	土地		公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	74,574,139
その他固定資産	什器備品等	附属設備一式	公益目的事業及び管理運営の用に供している。	12,130,146
	ソフトウェア		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1,301,400
	電話加入権		公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	91,575
固定資産合計				964,285,619
資産合計				1,089,166,704
（流動負債）				
	未払金		令和２年３月分社会保険料他	12,608,656
	前受金		令和２年度掲載料他	7,846
	前受会費	令和２年度協会会費	公益目的事業及び管理費運営の支出に供する会費の前受け	43,276,000
	預り金	令和２年３月源泉所得税他	令和２年３月健康保険料他	2,400,457
	役員賞与引当金		役員に対する賞与の支払いに備えたもの	1,129,334
	賞与引当金		職員に対する賞与の支払いに備えたもの	8,024,308
	未払消費税	令和元年度消費税	令和元年度に支払う消費税	2,223,500
流動負債合計				69,670,101
（固定負債）				
	役員退職慰労引当金		役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	2,610,000
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	25,447,530
固定負債合計				28,057,530
負債合計				97,727,631
正味財産				991,439,073

監 査 報 告 書

令和２年５月１８日

公益社団法人富山県看護協会
会 長　大 井　きよみ　殿

監 事　　下崎 ふみ子
監 事　三日市 麻紀子
監 事　　四十万 文男

公益社団法人富山県看護協会定款第 29 条に基づき、令和元年度（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）公益社団法人富山県看護協会収支決算書について、財産の管理状況と業務執行状況の監査を令和 2 年 5 月 18 日に行った結果、財産管理並びに業務の執行については、正確且つ適正に処理されていることを認める。

令和２年度　富山県看護協会役員（案）の選任について

役員候補者

（五十音順）

役職等	氏名	職種	勤 務 先
会長	松　原　直　美	看護師	公益社団法人富山県看護協会
副会長	稲　村　睦　子	看護師	富山県立総合衛生学院
副会長	井　上　享　子	保健師	医療法人社団博啓会　アイ・クリニック
理　事	秋　山　朝　子	看護師	厚生連高岡病院
	安　倍　淑　子	看護師	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
	岩　城　光　子	看護師	厚生連滑川病院
	浦　野　妃路美	看護師	富山県リハビリテーション病院･こども支援センター
	岡　本　里　美	助産師	富山県立中央病院
	小　倉　里　美	看護師	市立砺波総合病院
	金　岡　亨　子	保健師	小矢部市民生部健康福祉課
	越　坂　裕　子	保健師	富山県高岡厚生センター
	境　　信　子	看護師	富山市立富山市民病院
	渋　谷　美保子	看護師	富山県済生会高岡病院
	高　木　雅　美	看護師	金沢医科大学氷見市民病院
	高　山　由紀子	看護師	黒部市民病院
	田　村　雅　子	看護師	公益社団法人富山県看護協会
	千　田　昌　代	看護師	富山県済生会富山病院
	中　島　房　代	看護師	光ヶ丘病院
	向　野　勝　美	保健師	公益社団法人富山県看護協会
	森　　太貴子	助産師	富山赤十字病院
	米　山　美智代	看護師	高岡市民病院
	野　口　翔　也	准看護師	医療法人社団藤聖会富山西総合病院
監事	竹　澤　和　美	看護師	南砺市民病院
	河　村　拓　栄	公認会計士	河村公認会計士事務所

令和３年度日本看護協会通常総会
代議員及び予備代議員（案）の選任について

代議員及び予備代議員候補者

（五十音順）

役　職　等	氏　名	職　種	勤　務　先
代　議　員 候　補　者	江　田　昌　江	保健師	魚津市健康センター
	岡　本　里　美	助産師	富山県立中央病院
	越　坂　裕　子	保健師	富山県高岡厚生センター
	田　村　雅　子	看護師	公益社団法人富山県看護協会
	千　田　昌　代	看護師	富山県済生会富山病院
	中　島　房　代	看護師	光ヶ丘病院
	野　口　翔　也	准看護師	医療法人社団藤聖会富山西総合病院
	林　　泰　治	看護師	特定医療法人財団五省会　西能病院
	二　谷　鶴　美	看護師	富山県済生会高岡病院
予備代議員 候　補　者	相　澤　幸　子	看護師	医療法人社団和敬会　谷野呉山病院
	稲　村　睦　子	看護師	富山県立総合衛生学院
	井　上　享　子	保健師	医療法人社団博啓会　アイ・クリニック
	尾　田　　愛	看護師	公立学校共済組合　北陸中央病院
	武　田　ひとみ	助産師	富山市立富山市民病院
	田　中　恵美子	保健師	富山市まちなか総合ケアセンター
	田　中　美　雪	准看護師	あさひ総合病院
	西　野　崇　乃	看護師	射水市民病院
	向　野　勝　美	保健師	公益社団法人富山県看護協会

令和２年度選挙管理委員・推薦委員候補者（案）の承認について

選挙管理委員・推薦委員候補者

（五十音順）

委員名	氏　名	職種	施設名
選挙管理委員候補者	瀬　山　尚　子	看護師	富山県立中央病院
	向　　千　春	看護師	金沢医科大学氷見市民病院
推薦委員候補者	浦　田　裕　未	助産師	国立大学法人富山大学付属病院
	越　坂　裕　子	看護師	あさひ総合病院
	沢　田　朋　子	看護師	富山県済生会富山病院
	条　谷　直　美	看護師	独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院
	西　村　美奈子	看護師	公立南砺中央病院
	南　　英理子	看護師	独立行政法人国立病院機構富山病院
	矢　木　恭　江	保健師	入善町元気わくわく健康課
	山　田　晴　子	保健師	富山県砺波厚生センター
	山　本　佳世子	保健師	高岡市福祉保健部保険年金課
	渡　辺　純　子	助産師	市立砺波総合病院

報　告　事　項

報告事項１　令和２年度重点事業並びに事業計画…… 77

報告事項２　令和２年度収支予算…… 83

令和２年度　重点政策・重点事業並びに事業計画

少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革はすでに進んでおり、病床の機能分化・連携、地域包括ケアシステムの構築、医療従事者の確保・勤務環境の改善等が推進されている。

このような中で、看護については、提供する場の拡大により、「あらゆる人に対する良質な看護の提供」が求められている。

これらに対し、今年度は2025年に向けた「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を看護の将来ビジョンとして表明している日本看護協会と連携して、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提としつつ、医療モデルから生活モデル重視への転換に対する看護提供体制を構築するとともに、変革に対し、新たに必要な対策を講じるとともに、従来より取組み踏襲すべきことを併せて重点事業として取り組む。

以上のことから、本会の使命を達成するため、2020年度の重点事業を次の４項目９事業とする。

【重点政策・重点事業】

１　日本看護学会の開催

２　地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
- (1)　在宅・施設等の看護の機能強化
- (2)　健康寿命の延伸に向けた地域連携推進
- (3)　包括的な母子支援のための看護機能の強化

３　看護職の働き方改革の推進
- (1)　勤務環境改善（ＷＬＢ、インターバル、夜勤交代制勤務等）の推進
- (2)　看護職の就業と定着の推進

４　看護職の役割拡大の推進と人材育成
- (1)　新たな認定看護師教育の移行検討
- (2)　特定行為研修制度の周知・普及
- (3)「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版)」活用の推進
- (4)　訪問看護ステーションの機能強化

令和２年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業を日本看護協会と連携し、 次のとおり行う。

○事業計画は、定款第５条の６事業に沿って掲載

1　教育等看護の質の向上に関する事業
2　学術研究の振興に関する事業
3　看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
4　看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業
5　訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
6　その他本会の目的を達成するために必要な事業

1　教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）　　・下線は新規等事業

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
1－1　継続教育に関する事業		55,171
1　教育計画の企画・実施・評価	・令和2年度教育研修計画に掲載	
①令和2年度教育計画の広報・実施・評価 ・78研修 ・研修実施の評価を研修後アンケートにて実施 ・広報：「研修計画冊子」「看護とやま」「ホームページ」等		
②　JNAオンデマンド活用研修 ・１研修		
③　DVD研修 ・３研修		
④委員会担当研修会	・保健師職能、助産師職能、看護師職能、看護倫理委員会 ・教育、医療安全、学会委員会等	
2　認定看護管理者の育成		
①認定看護管理者教育（ファーストレベル課程）117時間（19.5日間）　50人	・認定看護管理者教育運営委員会（年４回開催）	
②認定看護管理者教育（セカンドレベル課程）186時間（31日間）　25人		
3　新しい認定看護師教育の移行検討（新）検討会の開催	・年４回	
4　新人看護職員研修		
①新人看護職員研修責任者・教育担当者研修	・新人看護職員研修推進会議	
②新人看護職員実地指導者研修		
③新人看護職員研修		
5　実習指導者育成		
①保健師助産師看護師等実習指導者講習会 240時間（40日間）、40人		
②保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野）　48時間、８人（新）		
6　認知症研修		
①看護職員認知症対応力向上研修（３日間）		
7　看護職員資質向上実務研修（５回）		
8　特定行為研修制度の普及		
9　委員会等担当研修等		

2　学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
２－１　日本看護学会　学術集会(看護教育)の開催(新) 日本看護学会準備委員会 抄録選考委員会 ２－２　図書室運営に関する事業	・令和2年9月12日(土)～13日(日) ：富山県民会館	1,167

3　看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業（公益目的事業）

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
３－１　医療・安全に関する事業 (1) 医療安全対策研修 (2) 医療事故調査等制度に関すること ①支援団体として登録 ②院内事故調査に関わる専門家の推薦及び派遣 ３－２　准看護師から看護師への支援事業 (1) 准看護師の進学支援研修 (2) 准看護学生への進学支援 ３－３　看護業務及び制度に関する政策提言 (1) 職能委員会、委員会活動 (2) 行政・関係団体等からの委員委嘱	・令和2年10月10日(土)	1,635

4　看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
４－１　働きやすい労働環境づくり支援事業 （1）富山県ナースセンター事業 ①看護師等就業促進事業 ア　ナースセンター求人・求職登録事業 イ　看護師等免許保持者届出事業 ウ　看護職員就職アドバイザー事業 エ　移動就業相談事業 オ　就業支援専門員配置事業 (ハローワーク７か所) カ　ナースセンターサテライト事業 (新川・射水・砺波地区) キ　ナースセンター・ハローワーク連携事業 ク　看護職員再就業支援研修 ケ　就職ガイダンス コ　登録看護職員就業希望調査 サ　看護職員・大学生Uターン促進事業 シ　養成機関共同PR事業 ②看護職員定着支援事業 ア　看護職員体験談募集・表彰 イ　看護職員定着支援シンポジウム ③看護普及推進事業看護体験学習等 ④看護学生就労啓発事業 (2) 医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業 ①看護職のＷＬＢ推進事業報告会 訪問型中小民間病院支援事業 WLB推進事業表彰式（カンゴサウルス賞） ②夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの普及等	・表彰式　令和2年5月2日(土) ・令和2年11月21日(土) 推進事業報告会 令和2年8月18日(火) 令和2年12月9日(水)	24,556

5　訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
5－1　訪問看護支援事業 (1) 訪問看護支援強化事業（訪問看護ネットワークセンター事業） ①訪問看護コールセンター ②訪問看護の普及啓発 ③訪問看護の機能強化 ④訪問看護運営支援アドバイザー派遣 (2)「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 (3) 訪問看護従事者等研修会 (4) 訪問看護ステーション管理者育成研修会 (5) 訪問看護ステーション業務改善推進事業 (6) 訪問看護推進事業（在宅ケア事例検討会等） (7) テレワーク型訪問看護ステーションモデル事業 (8) 訪問看護トライアル雇用事業 (9) 訪問看護ステーション連携加速化事業（出向、研修受入、スキルアップ研修） (10) 訪問看護ステーションサポート事業 (11) 富山県訪問看護ステーション連絡協議会等との連携・支援 5－2　訪問看護ステーション活動の推進 (1) 訪問看護ステーションひよどり (2) 訪問看護ステーションひよどり富山 5－3　地域包括スシステムにおける活動の推進 (1) 居宅介護支援事業所ひよどり富山 (2) 神明・五福地域包括支援センター		143,570

6　その他本会の目的を達成するために必要な事業　（公益目的事業）

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
6－1　県民の健康の増進・啓発に関する事業 (1) 看護の心普及啓発事業 ①「看護の日・看護週間」行事の実施 ア　看護の日・看護フェスティバル イ　ふれあい看護体験 ②高校生の一日看護体験 ③看護師等養成機関共同ＰＲ事業 ④看護普及推進事業 (2) 支部活動の推進 ①支部における看護職連携構築の推進 ②支部研修会 ③地域のニーズに応じた看護活動 ④「まちの保健室」事業 ⑤「看護の日」及び看護週間における「１日まちの保健室」事業 ⑥支部長会の開催（新） 6－2　地域における看護職のネットワーク強化事業 (1) 地域における看護職ネットワーク強化事業（看護政策のための組織強化事業） ①施設訪問 ②出前講座 6－3　災害時の看護支援活動に関する事業 (1) 災害看護ネットワークづくりの推進	・令和2年5月2日（土）グランドプラザ ・年４回	10,965

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
(2) 災害支援ナースの育成・登録の推進	・インターネット配信研修 災害支援ナースの第一歩（基礎編） 令和2年7月20日(月)、21日(火) ・災害看護研修（フォローアップ編） 令和2年10月2日(金)	
(3) 災害看護受援マニュアルの整備		
(4) 災害支援ポケットマニュアル等の更新		
(5) 防災訓練等に関すること		
	①災害支援ナース派遣調整合同訓練（日本看護協会等） 令和2年12月8日(火)～12月10日(木) ②富山県総合防災訓練 ③富山県原子力防災訓練	
6－4　広報活動		
(1) 看護職及び県民等への広報		
①看護とやま発行・配布	・年４回発行（4月、7月、10月、1月）	
②ホームページの内容充実		
③県医師会報、自治体広報等で情報提供		
④新聞広告、テレビ等で情報提供		
6－5　法人管理に関する事業		
(1) 内部管理体制の強化		
①定時総会　　１回	・令和2年6月20日(土) 午後	
②理事会	・4, 5, 6, 8, 10, 12, 1, 3月	
③職能集会　　１回	・令和2年6月20日(土) 午前	
④職能委員会		
⑤委員会		
・合同委員会	・令和2年6月24日(水)	
⑥支部長会（新）	・年４回	
⑦職員の人事管理・労務管理の充実		
(2) 会員登録制度の充実		
①会員募集		
②会員登録		
ア　新規・更新会員の受付及び新会員情報管理体制「ナースシップ」の運用管理		
イ　キャリナースの機能強化		
③新会員情報管理体制構築		
(3) 会員支援の充実		
①表彰		
②各受賞候補者の推薦		
③会員への福利厚生		
ア　各種見舞（災害等）の支給		
イ　物故会員への弔慰		
6－6 渉外活動		
(1) 自治体への要望提案		
(2) 関係団体との連携		
①構成団体の一員としての活動		
②関係団体の会議への参加、情報交換、委員等派遣		
③後援・推薦等依頼への協力		
6－7　日本看護協会との連携		
(1) 会議等		
①日本看護協会通常総会	・令和2年6月12日(木) マリンメッセ福岡（福岡県）	
②全国職能別交流集会	・令和2年6月13日(金) マリンメッセ福岡（福岡県）	

実　施　内　容		事業活動支出予算（千円）
③理事会	・年６回：東京JNAホール・神戸研修センター	
④法人会員会（中央）	・年５回：東京JNAホール・神戸研修センター	
⑤地区別法人会員会・職能委員長会 開催県：福井県	・令和2年10月1日（木）、2日（金）	
⑥全国職能委員長会	・令和2年7月15日（水） フクラシア品川	
⑦その他の会議		
・都道府県看護協会政策責任者会議	・令和2年9月24日（水） 東京JNAホール	
・都道府県看護協会看護労働担当者会議	・令和2年5月27日（水） 東京JNAホール	
・ナースセンター事業担当者会議	・令和2年5月28日（木） 東京JNAホール	
・都道府県看護協会教育担当者会議	・令和2年7月2日（木） 神戸研修センター	
・都道府県看護協会災害看護担当者会議	・令和2年11月11日（水） 東京JNAホール	
・都道府県看護協会事務担当者会議	・未定	
・都道府県看護協会広報担当者役員会議	・未定	
・都道府県看護協会新会員情報管理体制担当者会議	・未定	
・訪問看護連絡協議会全国会議	・未定	
・全国准看護師制度担当役員会議	・未定	
②保守修繕		
③地域活動（町内会等への協力、連携）		
・子ども110番の家等		

令和２年度　収支予算

令和２年度収支予算書

令和２年４月１日から令和３年３月31日まで

（千円）

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
１）経常収益				
受取会費	53,700	51,600	2,100	
受取会費	53,700	51,600	2,100	
受取会館運営基金	18,000	15,800	2,200	
受取会館運営基金	18,000	15,800	2,200	
事業収益	152,738	169,461	△ 16,723	
受講料収益	24,712	44,852	△ 20,140	
学会事業収益	0	1,500	△ 1,500	
全国学会事業収益	10,741	0	10,741	
全国学会協賛収益	1,450	0	1,450	
訪問看護事業収益	79,464	87,885	△ 8,421	
居宅介護支援費収益	10,998	10,392	606	
地域包括支援センター受託収益	24,823	24,232	591	
その他の事業収益	550	600	△ 50	
受取補助金等収益	74,605	81,441	△ 6,836	
受取県補助金等収益	64,839	71,706	△ 6,867	
受取看護職員研修補助金	2,268	2,268	0	
受取看護職員定着支援事業補助金	420	420	0	
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	2,262	2,262	0	
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会事業受託収益	2,050	2,050	0	
受取看護職員資質向上実務受託収益	820	804	16	
受取看護師等就労促進事業受託収益	21,971	21,971	0	
受取訪問看護推進事業受託収益	510	510	0	
受取看護職員就業支援事業受託収益	3,207	3,207	0	
受取訪問看護支援強化事業受託収益	4,853	4,853	0	
受取看護師等免許保持者届出事業受託収益	1,610	1,610	0	
受取看護普及推進事業受託収益	770	770	0	
受取医療勤務環境改善支援センター事業受託収益	1,200	1,200	0	
受取認定看護師教育課程運営事業補助金	0	5,818	△ 5,818	
受取専門分野における質の高い看護師育成事業受託収益	0	3,005	△ 3,005	
受取訪問看護職員確保・定着のために働き方改革推進事業	7,800	7,800	0	
受取訪問看護ステーション業務改善推進事業	5,348	5,348	0	
受取訪問看護ステーション連携加速化事業受託収益	5,093	5,093	0	
受取看護職員認知症対応力向上研修事業収益	917	917	0	
受取訪問看護ステーションサポート事業受託収益	1,800	1,800	0	
受取精神科訪問看護師育成支援事業受託収益	300	0	300	
受取学会開催事業費補助金収益	1,640	0	1,640	
受取日看協受託収益	9,766	9,735	31	
受取会員登録事務受託費収益	1,548	1,528	20	
受取法人会員助成金収益	8,218	8,207	11	
受取補助金振替額	6,627	6,627	0	
受取補助金振替額	6,627	6,627	0	

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
雑収益	1,715	1,693	22	
受取利息	5	5	0	
減価償却引当資産受取利息	5	5	0	
その他の雑収益	1,710	1,688	22	
経常収益計	307,385	326,622	△ 19,237	
2）経常費用			0	
事業費	273,639	296,667	△ 23,028	
役員報酬	7,440	7,440	0	
給料手当	83,888	99,097	△ 15,209	
臨時雇賃金	31,169	38,142	△ 6,973	
役員退職慰労引当金繰入額	462	462	0	
退職給付費用	3,917	4,404	△ 487	
福利厚生費	20,181	24,847	△ 4,666	
役員賞与引当金繰入額	677	677	0	
賞与引当金繰入額	7,486	8,341	△ 855	
旅費交通費	7,995	7,484	511	
通信運搬費	5,191	4,619	572	
減価償却費	11,800	10,730	1,070	
消耗什器備品費	1,098	1,171	△ 73	
消耗品費	4,623	4,505	118	
修繕費	2,525	720	1,805	
印刷製本費	6,881	6,980	△ 99	
新聞図書費	1,405	1,686	△ 281	
燃料費	920	890	30	
光熱水料費	3,754	3,791	△ 37	
賃借料	11,815	12,462	△ 647	
保険料	1,814	1,756	58	
諸謝金	14,314	18,536	△ 4,222	
委託費	15,026	9,568	5,458	
広報費	1,678	1,966	△ 288	
租税公課	7,382	6,636	746	
支払負担金	110	110	0	
支払助成金	17,550	17,550	0	
雑費	2,538	2,097	441	
管理費	30,926	29,631	1,295	
役員報酬	5,440	5,440	0	
給料手当	5,380	5,415	△ 35	
臨時雇賃金	20	20	0	
役員退職慰労金費用	308	308	0	
退職給付費用	125	128	△ 3	
福利厚生費	1,198	1,257	△ 59	
役員賞与引当金繰入額	451	451	0	
賞与引当金繰入額	333	199	134	
会議費	224	210	14	
旅費交通費	1,467	1,460	7	
通信運搬費	774	765	9	
減価償却費	2,780	2,639	141	
消耗什器備品費	310	300	10	
消耗品費	309	289	20	
修繕費	230	160	70	
印刷製本費	2,432	1,952	480	
新聞図書費	430	428	2	
燃料費	65	60	5	

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
光熱水料費	970	900	70	
賃借料	1,960	1,944	16	
保険料	78	77	1	
諸謝金	0	0	0	
委託費	2,298	2,198	100	
租税公課	2,850	2,545	305	
支払負担金	180	180	0	
雑費	314	306	8	
経常費用計	304,565	326,298	△ 21,733	
当期経常増減額	2,820	324	2,496	
経常外増減の部			0	
1．経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
2．経常外費用計			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	2,820	324	2,496	
法人税、住民税及び事業税			0	
当期一般正味財産増減額	2,820	324	2,496	
一般正味財産期首残高	736,535	736,211	324	
一般正味財産期末残高	739,355	736,535	2,820	
指定正味財産増減の部			0	
一般正味財産への振替額	△ 6,627	△ 6,627	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	△ 6,627	△ 6,627	0	
指定正味財産期首残高	254,335	260,962	△ 6,627	
指定正味財産期末残高	247,708	254,335	△ 6,627	
正味財産期末残高	987,063	990,870	△ 3,807	

令和２年度収支予算書内訳表

令和２年４月１日から令和３年３月31日まで

（千円）

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
１）経常収益				
受取会費	26,850	26,850		53,700
受取会費	26,850	26,850		53,700
受取会館運営基金	9,000	9,000		18,000
受取会館運営基金	9,000	9,000		18,000
事業収益	152,738			152,738
受講料収益	24,712			24,712
全国学会事業収益	10,741			10,741
全国学会協賛収益	1,450			1,450
訪問看護事業収益	79,464			79,464
居宅介護支援費収益	10,998			10,998
地域包括支援センター受託収益	24,823			24,823
その他の事業収益	550			550
受取補助金等収益	73,831	774		74,605
受取県補助金等収益	64,839			64,839
受取看護職員研修補助金	2,268			2,268
受取看護職員定着支援事業補助金	420			420
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	2,262			2,262
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会事業受託収益	2,050			2,050
受取看護職員資質向上実務受託収益	820			820
受取看護師等就労促進事業受託収益	21,971			21,971
受取訪問看護推進事業受託収益	510			510
受取看護職員就業支援事業受託収益	3,207			3,207
受取訪問看護支援強化事業受託収益	4,853			4,853
受取看護師等免許保持者届出事業受託収益	1,610			1,610
受取看護普及推進事業受託収益	770			770
受取医療勤務環境改善支援センター事業受託収益	1,200			1,200
受取訪問看護職員確保･定着のために働き方改革推進事業	7,800			7,800
受取訪問看護ステーション業務改善推進事業	5,348			5,348
受取訪問看護ステーション連携加速化事業受託収益	5,093			5,093
受取看護職員認知症対応力向上研修事業収益	917			917
受取訪問看護ステーションサポート事業受託収益	1,800			1,800
受取精神科訪問看護師育成支援事業受託収益	300			300
受取学会開催事業費補助金収益	1,640			1,640
受取日看協受託収益	8,992	774		9,766
受取会員登録事務受託費収益	774	774		1,548
受取法人会員助成金収益	8,218			8,218
受取補助金振替額	5,741	886		6,627
受取補助金振替額	5,741	886		6,627
雑収益	804	911		1,715
受取利息	4	1		5
減価償却引当資産受取利息	4	1		5
その他の雑収益	800	910		1,710
経常収益計	268,964	38,421	0	307,385
２）経常費用				
事業費	273,639			273,639
役員報酬	7,440			7,440

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
給料手当	83,888			83,888
臨時雇賃金	31,169			31,169
役員退職慰労引当金繰入額	462			462
退職給付費用	3,917			3,917
福利厚生費	20,181			20,181
役員賞与引当金繰入額	677			677
賞与引当金繰入額	7,486			7,486
旅費交通費	7,995			7,995
通信運搬費	5,191			5,191
減価償却費	11,800			11,800
消耗什器備品費	1,098			1,098
消耗品費	4,623			4,623
修繕費	2,525			2,525
印刷製本費	6,881			6,881
新聞図書費	1,405			1,405
燃料費	920			920
光熱水料費	3,754			3,754
賃借料	11,815			11,815
保険料	1,814			1,814
諸謝金	14,314			14,314
委託費	15,026			15,026
広報費	1,678			1,678
租税公課	7,382			7,382
支払負担金	110			110
支払助成金	17,550			17,550
雑費	2,538			2,538
管理費		30,926		30,926
役員報酬		5,440		5,440
給料手当		5,380		5,380
臨時雇賃金		20		20
役員退職慰労金費用		308		308
退職給付費用		125		125
福利厚生費		1,198		1,198
役員賞与引当金繰入額		451		451
賞与引当金繰入額		333		333
会議費		224		224
旅費交通費		1,467		1,467
通信運搬費		774		774
減価償却費		2,780		2,780
消耗什器備品費		310		310
消耗品費		309		309
修繕費		230		230
印刷製本費		2,432		2,432
新聞図書費		430		430
燃料費		65		65
光熱水料費		970		970
賃借料		1,960		1,960
保険料		78		78
諸謝金		0		0
委託費		2,298		2,298
租税公課		2,850		2,850
支払負担金		180		180
雑費		314		314

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
経常費用計	273,639	30,926		304,565
当期経常増減額	△ 4,675	7,495		2,820
経常外増減の部				
1．経常外収益				
経常外収益計				0
2．経常外費用計				
経常外費用計				0
当期経常外増減額				0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,675	7,495		2,820
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	△ 4,675	7,495		2,820
一般正味財産期首残高	485,164	251,371		736,535
一般正味財産期末残高	480,489	258,866		739,355
指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
受取地方公共団体補助金				0
当期指定正味財産増減額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
指定正味財産期首残高	200,750	53,585		254,335
指定正味財産期末残高	195,009	52,699		247,708
正味財産期末残高	675,498	311,565		987,063

令和2年度収支予算書内訳表（公益目的事業会計）

令和２年４月１日より令和３年３月31日まで

（千円）

科目	公衆衛生の向上を目的とする事業							
	１．教育等看護の質の向上に関する事業	２．富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業	３．看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	４．看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	５．訪問看護の実施等地域の保健医療福祉に関する事業	６．その他本会の目的を達成するために必要な事業	７．公益目的共通事業	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部								
１．経常増減の部								
１）経常収益								
受取会費							26,850	26,850
受取会費							26,850	26,850
受取会館運営基金収益							9,000	9,000
受取会館運営基金収益							9,000	9,000
事業収益	23,412	12,191	1,300	550	115,285	0	0	152,738
受講料収益	23,412		1,300					24,712
全国学会事業収益		10,741						10,741
全国学会協賛収益		1,450						1,450
訪問看護事業収益					79,464			79,464
居宅介護支援費収益					10,998			10,998
地域包括支援センター受託収益					24,823			24,823
その他の事業収益				550				550
受取補助金等	8,317	1,640	300	29,178	25,404	0	8,992	73,831
受取県補助金等	8,317	1,640	300	29,178	25,404	0	0	64,839
受取看護職員研修補助金	1,968		300					2,268
受取看護職員定着支援事業補助金				420				420
受取新人看護職員指導者研修会事業受託収益	2,262							2,262
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会事業受託収益	2,050							2,050
受取看護職員資質向上実務研修受託収益	820							820
受取看護師等就労促進事業受託収益				21,971				21,971
受取訪問看護推進事業受託収益					510			510
受取看護職員就業支援事業受託収益				3,207				3,207
受取訪問看護支援強化事業受託収益					4,853			4,853
受取看護師等免許保持者届出事業受託収益				1,610				1,610
受取看護普及事業受託収益				770				770
受取医療勤務環境改善支援センター事業受託収益				1,200				1,200
受取訪問看護職員確保・定着のために働き方改革推進事業受託収益					7,800			7,800
受取訪問看護ステーション業務改善推進事業受託収益					5,348			5,348
受取訪問看護ステーション連携加速化事業受託収益					5,093			5,093
受取看護職員認知症対応力向上研修事業受託収益	917							917
受取訪問看護ステーションサポート事業受託収益					1,800			1,800
受取精神科訪問看護師育成支援事業受託収益	300							300
受取学会開催事業費補助金収益		1,640						1,640
受取日看協受託収益							8,992	8,992
受取会員登録事務受託費収益							774	774
受取法人会員助成金							8,218	8,218
受取補助金振替額							5,741	5,741
受取補助金振替額							5,741	5,741
雑収益					800	0	4	804
受取利息							4	4
減価償却引当資産受取利息							4	4
その他の雑収益					800	0	0	800
経常収益計	31,729	13,831	1,600	29,728	141,489	0	50,587	268,964
２）経常費用								
事業費	19,540	12,383	1,167	25,953	135,087	6,678	72,831	273,639
役員報酬	3,000						4,440	7,440
給料手当				6,500	58,186		19,202	83,888
臨時雇賃金	2,075	896		9,588	18,610			31,169
役員退職慰労引当金繰入額							462	462
退職給付費用					2,938		979	3,917
福利厚生費		61		1,025	13,227		5,868	20,181
役員賞与引当金繰入額							677	677
賞与引当金繰入額					4,693		2,793	7,486
旅費交通費	2,303	2,527	351	525	558	1,731		7,995

科目	公衆衛生の向上を目的とする事業							
	1．教育等看護の質の向上に関する事業	2．富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業	3．看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	4．看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	5．訪問看護の実施等地域の保健医療福祉に関する事業	6．その他本会の目的を達成するために必要な事業	7．公益目的共通事業	合計
通信運搬費	244	250		983	1,662	567	1,485	5,191
減価償却費							11,800	11,800
消耗什器備品費	148				750		200	1,098
消耗品費	320	730	21	462	2,003	1,087		4,623
修繕費					150		2,375	2,525
印刷製本費	367	612		3,212	731	659	1,300	6,881
新聞図書費	1,000				200	5	200	1,405
燃料費	12				752	56	100	920
光熱水料費				144	810		2,800	3,754
賃借料	963			598	6,417	433	3,404	11,815
保険料				29	1,285		500	1,814
諸謝金	8,469	1,049	747	651	2,167	1,231		14,314
委託費	140	5,838		759	1,939	66	6,284	15,026
広報費				1,328	20	330		1,678
租税公課							7,382	7,382
支払負担金					110			110
支払助成金					17,550			17,550
雑費	499	420	48	149	329	513	580	2,538
経常費用計	19,540	12,383	1,167	25,953	135,087	6,678	72,831	273,639
当期経常増減額	12,189	1,448	433	3,775	6,402	△ 6,678	△ 22,244	△ 4,675
Ⅱ　経常外増減の部								0
1．経常外収益								0
経常外収益計								0
2．経常外費用計								0
経常外費用計								0
当期経常外増減額								0
税引前当期一般正味財産増減額	12,189	1,448	433	3,775	6,402	△ 6,678	△ 22,244	△ 4,675
法人税、住民税及び事業税								0
当期一般正味財産増減額	12,189	1,448	433	3,775	6,402	△ 6,678	△ 22,244	△ 4,675
一般正味財産期首残高								485,164
一般正味財産期末残高								480,489
指定正味財産増減の部								
一般会計への振替額							△ 5,741	△ 5,741
受取地方公共団体補助金								
当期指定正味財産増減額							△ 5,741	△ 5,741
指定正味財産期首残高								200,750
指定正味財産期末残高								195,009
正味財産期末残高								675,498

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		□ あ り	■ な し
事業番号	借入先	金額	
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		■ あ り	□ な し
事業番号	設備投資の内容	支出予定額	資金調達方法
公益・法人目的会計	駐車場ゲート等整備費用	6,000,000 円	自己資金
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合　　計		6,000,000 円	

資　　料

令和２年度優良看護職員表彰者名簿 …… 95

[第１号議案　令和元年度事業報告(案)資料]
令和元年度研修会等実施状況報告 …… 96
令和元年度富山県ナースセンター事業報告 …… 111
令和元年度訪問看護ネットワークセンター事業報告 …… 127
令和元年度その他の助成事業報告 …… 133
令和元年度行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況 …… 137
令和元年度他団体等への推薦 …… 139
令和元年度後援・協力等依頼報告 …… 140
令和元年度訪問看護ステーションひよどり事業報告 …… 142
令和元年度訪問看護ステーションひよどり富山事業報告 …… 145
令和元年度ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告 …… 150
令和元年度神明・五福地域包括支援センター事業報告 …… 153
令和２年度富山県行政への要望事項 …… 156

[各種名簿]
令和元年度富山県看護協会施設別・職種別会員数 …… 159
令和元年度受賞者名簿…… 161
令和元年度富山県看護協会役員及び委員名簿…… 162
令和元年度支部役員名簿…… 165
令和２年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿…… 166

[委員会等報告資料]
人材育成研修会報告 …… 保健師職能委員会… 167
妊娠期からの切れ目のない子育て支援研修会報告 【保健師・助産師合同】 … 保健師職能委員会… 168
「保健指導ミーティング　支援困難事例へのアプローチ」研修会報告 … 保健師職能委員会… 169
アドバンス助産師の活動について実態調査報告 …… 助産師職能委員会… 170
「いのちの教室」実践報告 …… 助産師職能委員会… 180
クリニカルラダー(JNAラダー)の評価研修会報告 …… 看護師職能Ⅰ委員会… 181
特定行為に係る看護師の活動の実際研修会報告 …… 看護師職能Ⅰ委員会… 183
看護師のクリニカルラダー活用研修会報告 …… 看護師職能Ⅱ委員会… 185
介護・福祉関係施設在宅等領域での看取りのケア研修会報告…… 看護師職能Ⅱ委員会… 186
在宅ケア事例検討会報告 …… 看護師職能Ⅱ委員会… 188
３職能４委員会連携事業報告 …… 保･助･看ⅠⅡ職能委員会… 192
在宅医療体験実習報告 …… 富山(東北西)支部… 197
認定看護師教育課程について …… 199

[参考資料]
会員数と入会率 …… 200
都道府県看護協会一覧表 …… 202
都道府県ナースセンター一覧表 …… 203
公益社団法人富山県看護協会定款 …… 204
公益社団法人富山県看護協会組織図 …… 216
公益社団法人富山県看護協会職員名簿 …… 217

令和２年度　優良看護職員表彰者名簿

◎富山県知事部門功労表彰者（５人）　五十音順

高　三　由紀子	元　立山町役場
塚　原　千恵子	医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院
中　川　美都子	元　富山県リハビリテーション病院・ こども支援センター
中　嶋　育　美	あさひ総合病院
三日市　麻紀子	国立大学法人富山大学附属病院

◎富山県看護協会長表彰者（10 人）　五十音順

伊　東　宏　美	黒部市民病院
金　和　みづほ	富山県立中央病院
谷　崎　志津子	富山市福祉保健部北保健福祉センター
千　田　昌　代	富山県済生会富山病院
廣　上　ひとみ	元　高岡市民病院
藤　川　　揚　子	高志ライフケアホーム
松　井　　紀　子	特別養護老人ホームやなぜ苑 （元　市立砺波総合病院）
村　本　　康　子	富山県済生会高岡病院
吉　田　　智　子	富山県新川厚生センター　魚津支所
渡　辺　富美子	元　厚生連滑川病院

令和元年度　研修会等実施状況報告

◎参加状況一覧表

区分	富山県委託補助事業	研修会名		開催日	期間	定員	応募者数	受講数（うち非会員）	受講率（%）	受講者の内訳 保	助	看	准	その他
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	※委託	看護職員資質向上実務研修		7月4日(木) PM	0.5×4	50	25	24(15)	48%	0	0	18	6	0
				7月11日(木) PM			28	27(18)	54%	0	0	22	5	0
				7月18日(木) PM			24	23(14)	46%	0	0	18	5	0
				8月2日(金) PM			25	21(12)	42%	0	0	15	6	0
				8月28日(水)	1	80	25	20(16)	25%	1	0	13	6	0
		人材育成研修～質問力を磨く～		7月6日(土) AM	0.5	30	22	22(0)	73%	22	0	0	0	0
	委員会研修	保健指導ミーティング～支援困難事例へのアプローチ～		11月23日(土) PM	0.5	30	63	52(0)	173%	52	0	0	0	0
		【保健師・助産師職能委員会合同研修】～妊娠期からの切れ目のない子育て支援～		8月3日(土) AM	0.5	50	50	44(2)	88%	23	16	4	0	1
		准看護師の進学支援研修会		9月7日(土) PM	0.5	20	5	6(6)	30%	0	0	0	6	0
		看護師のクリニカルラダー活用		10月19日(土) PM	0.5	30	13	13(2)	43%	0	0	11	0	2
		介護･福祉関係施設在宅等領域での看取りのケアについて		11月9日(土) PM	0.5	50	44	40(23)	80%	0	1	23	4	12
	※委託	看護職員再就業支援研修		6月29日(土) PM	3	10	16	15(14)	150%	0	0	14	1	0
				7月6日(土) PM			18	17(16)	170%	0	0	16	1	0
				8月24日(土) PM			18	12(11)	120%	0	0	11	1	0
ラダーと連動した継続教育		新人看護職員研修Ⅰ　働き始めたあなたに！	A	5月31日(金)	1	130	143	142(26)	109%	1	5	131	4	1
			B	6月3日(月)	1	130	106	108(14)	83%	1	4	100	2	1
			C	6月4日(火)	1	130	110	107(7)	82%	0	1	100	2	4
	※補助	新人看護職員研修Ⅱ　医療者に求められるコミュニケーション	A	9月18日(水) AM	0.5	90	65	66(5)	73%	1	4	57	4	0
			B	9月18日(水) PM	0.5	90	97	86(6)	96%	1	4	76	5	0
			C	9月19日(木) AM	0.5	90	59	58(0)	64%	0	4	54	0	0
			D	9月19日(木) PM	0.5	90	67	71(1)	79%	0	0	71	0	0
	※補助	中堅看護師に役立つコミュニケーション！		5月23日(木)	1	80	58	53(3)	66%	0	3	50	0	0
	※補助	医療安全対策Ⅰ　基本的安全対策		7月8日(月)	1	80	125	94(29)	118%	2	1	77	13	1
	※補助	医療安全対策Ⅱ　コミュニケーション技法	A	9月17日(火)	1	40	47	43(10)	108%	1	2	37	0	3
			B	10月23日(水)	1	40	45	40(9)	100%	0	1	36	2	1
		感染対策Ⅰ　基礎編	A	9月5日(木)	1	100	107	101(16)	101%	0	5	85	6	5
			B	9月10日(火)	1	100	36	36(18)	36%	0	1	22	9	4
		感染対策Ⅱ　実践編		9月26日(木)	1	100	87	76(17)	76%	0	1	66	9	0
	※補助	看護倫理Ⅰ　看護専門職として基本的な姿勢を学ぶ		9月13日(金)	1	80	98	92(6)	115%	0	3	86	2	1
	※補助	看護倫理Ⅱ　職場の倫理風土を育てる		10月18日(金)	1	80	70	63(1)	79%	0	3	60	0	0
	※補助	看護研究Ⅰ（楽しく学ぶ初めての看護研究）	A	5月20日(月)	1	100	142	138(2)	138%	0	6	132	0	0
			B	5月27日(月)	1	100	109	110(0)	110%	0	8	101	1	0
			C	9月9日(月)	1	100	40	36(1)	36%	1	0	35	0	0
		がん看護シリーズⅠ がん性疼痛看護　緩和ケアにおける症状コントロール（基礎編）		11月18日(月)	1	100	72	67(4)	67%	0	0	64	3	0
		がん看護シリーズⅡ　病院から在宅につなぐ意思決定支援（基礎編）		11月28日(木)	1	100	48	44(0)	48%	0	0	44	0	0
	※委託	<がん看護臨床実践研修公開講座> がん医療の動向と対策（実践編）		7月16日(火) AM	0.5	50	11	10(1)	20%	0	1	9	0	0
		<がん看護臨床実践研修公開講座> 「がん医療の現状」「がん患者の理解」（実践編）		7月16日(火) PM	0.5	50	9	9(1)	18%	0	1	8	0	0
		<がん看護臨床実践研修公開講座> 「がんの集学的治療と看護」「がん性疼痛の看護」（実践編）		7月17日(水) AM	0.5	50	30	29(2)	58%	0	0	28	1	0
		<がん看護臨床実践研修公開講座> 「がん患者の理解」「がんの集学的治療と看護」（実践編）		7月17日(水) PM	0.5	50	28	24(3)	48%	0	0	24	0	0
		<がん看護臨床実践研修公開講座> 「がんの症状マネジメント」（実践編）		7月18日(木) AM	0.5	50	23	20(1)	40%	0	0	19	1	0
		<がん看護臨床実践研修公開講座> 「がん患者とセルフケア」（実践編）		7月18日(木) PM	0.5	50	12	11(1)	22%	0	0	11	0	0
		<がん看護臨床実践研修公開講座> 「がん患者の家族の理解と支援」「がんの集学的治療と看護」（実践編）		7月19日(金) AM	0.5	50	21	21(1)	42%	0	0	21	0	0
		<がん看護臨床実践研修公開講座> 「がん患者とセルフケア」「がん患者の家族の理解と支援」（実践編）		7月19日(金) PM	0.5	50	19	19(0)	38%	0	0	19	0	0
		糖尿病の看護　基礎知識		8月6日(火)	1	100	86	85(12)	85%	0	2	73	6	4
		糖尿病の看護　自己管理への生活調整と支援		8月13日(火)	1	100	65	54(4)	54%	1	2	48	2	1
		現場に活かせる最新褥瘡ケア	A	10月10日(木)	1	100	123	113(23)	113%	1	2	102	8	0
			B	10月11日(金)	1	100	76	71(19)	71%	1	0	61	9	0
		実践に活かす！摂食嚥下障害の理解とケア	A	9月11日(水)	1	100	75	71(15)	71%	0	0	64	7	0
			B	9月12日(木)	1	100	47	47(8)	47%	0	1	41	5	0
		高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア	A	11月19日(火)	1	100	99	92(13)	92%	0	0	84	8	0
			B	11月20日(水)	1	100	101	96(10)	96%	0	2	89	5	0
		もっと深めよう！脳卒中患者の看護		10月15日(火)	1	100	82	74(7)	74%	0	3	65	4	2
		優しさを伝える認知症ケア～対象を理解することでケアが変わる～	A	7月9日(火)	1	100	99	94(11)	94%	0	0	92	2	0
			B	7月10日(水)	1	100	68	61(10)	61%	0	1	54	6	0
	※補助	せん妄の理解とケア	A	10月31日(木)	1	100	97	85(5)	85%	1	0	81	3	0
			B	11月7日(木)	1	100	60	52(3)	52%	1	1	48	2	0
	※補助	心と命を守るゲートキーパー 医療従事者としてできる生きることへの支援		10月5日(土)	1	100	35	33(2)	33%	0	3	29	1	0
	※委託	精神科訪問看護師育成研修　精神疾患を抱える患者の在宅看護		9月21日(土)	1	50	33	28(8)	56%	2	1	22	2	1
		地域包括ケアⅠ　入院前から始める入退院支援	A	11月12日(火)	1	100	64	60(7)	60%	0	2	54	3	1
			B	11月13日(水)	1	100	46	43(3)	43%	1	2	39	1	0
		地域包括ケアⅡ　事例から学ぶ地域における多職種連携		11月21日(木)	1	150	64	57(8)	38%	3	0	51	3	0
	※委託	訪問看護従事者等研修会		10月4日(金)	1	30	31	31(15)	103%	0	0	29	2	0

区分	富山県委託補助事業	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講数（うち非会員）	受講率（%）	受講者の内訳 保	助	看	准	その他
ラダーと連動した継続教育	※補助	【CLoCMiP®認定更新のためのステップアップ研修】 母体救急と産科出血	7月6日(土) AM	0.5	40	48	47(3)	118%	0	38	9	0	0
	※補助	【CLoCMiP®認定更新のためのステップアップ研修】 胎児心拍モニタリング（CTG）の判読	7月6日(土) PM	0.5	40	39	38(2)	95%	0	35	3	0	0
	※補助	【CLoCMiP®認定更新のためのステップアップ研修】 新生児の観察と管理	10月12日(土) AM	0.5	40	51	43(3)	108%	0	30	12	0	1
	※委託	<富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会公開講座> 抑制しない看護へのチャレンジ	12月2日(月) PM	0.5	100	129	115(13)	115%	1	4	105	4	1
看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	※委託	医療安全の観点からのリスクマネジメント	8月1日(木)	3	50	46	46(14)	92%	0	1	42	2	1
			8月8日(木)			48	45(14)	90%	0	0	42	2	1
			9月6日(金)			44	38(11)	76%	0	1	35	1	1
	※補助	リーダーシップの磨き方	11月26日(火)	1	100	94	86(8)	86%	2	3	81	0	0
	※補助	コーチングのできるリーダー育成	10月1日(火) 10月2日(水)	2	50	52	47(4)	94%	0	0	47	0	0
	DVD	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修改訂版2018 A	7月5日(金)	1	100	47	46(5)	46%	0	4	42	0	0
		看護補助者の活用推進のための看護管理者研修改訂版2018 B	8月29日(木)	1	100	46	44(3)	44%	2	2	40	0	0
	委員会研修	特定行為に係る看護師の活動の実際	11月16日(土) PM	0.5	100	66	64(0)	66%	2	3	59	0	0
		クリニカルラダー（JNAラダー）の評価	10月11日(金) PM	0.5	100	49	50(1)	49%	0	2	47	0	1
		看護管理者看護倫理交流会	11月22日(金) PM	0.5	50	52	49(0)	104%	0	3	44	0	2
	※委託	訪問看護ステーション管理者育成研修会	7月27日(土)	1	50	39	37(9)	74%	0	0	37	0	0
専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	※委託	新人看護職員研修責任者・教育担当者研修	5月12日(日) 6月20日(木) 6月21日(金) 9月20日(金)	4	80	73	66(4)	83%	0	1	65	0	0
	※委託	新人看護職員実地指導者研修	5月9日(木) 5月10日(金) 6月17日(月) 令和2年2月14日(金)	4	150	142	123(8)	82%	1	5	116	1	0
	※補助	看護研究Ⅱ（進めよう看護研究） A	7月29日(月) 7月31日(水)	2	50	92	67(1)	134%	0	1	64	1	1
		看護研究Ⅱ（進めよう看護研究） B	令和2年2月3日(月) 2月4日(火)	2	50	57	52(0)	104%	0	3	45	0	4
	※補助	看護研究Ⅲ（質的･量的研究の分析を学ぼう！）	7月24日(水)	1	50	83	78(1)	156%	3	6	63	3	3
	※補助	看護研究Ⅳ（迷わない研究サポート）	8月26日(月)	1	50	37	34(1)	68%	2	1	31	0	0
	※補助	医療安全対策Ⅲ　ImSAFER分析Basic2日コース	12月16日(月) 12月17日(火)	2	80	39	37(3)	46%	0	0	36	1	0
		災害看護（フォローアップ編）	10月4日(金)	1	50	31	28(0)	56%	1	0	26	0	1
資格認定教育		<セカンドレベル公開講座> 人事・労務管理（人員配置等）	6月24日(月)	1	30	25	25(0)	83%	0	1	24	0	0
		<セカンドレベル公開講座> 人材を育てるマネジメント（人材育成計画）	7月3日(水)	1	30	29	28(0)	93%	0	2	26	0	0
		<セカンドレベル公開講座> 経営資源と管理の実際（適切な療養環境の整備）	7月10日(水)	1	30	8	8(0)	27%	0	0	8	0	0
		<セカンドレベル看護管理実践報告会> 認定看護管理者教育課程セカンドレベル看護管理実践報告会	8月22日(木) AM	0.5	70	52	49(0)	70%	0	2	47	0	0
		<ファーストレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける看護の役割	9月7日(土)	1	50	14	14(2)	28%	0	1	11	0	2
		<ファーストレベル公開講座> 組織マネジメント概論	9月10日(火)	1	50	31	30(1)	60%	1	1	28	0	0
		<ファーストレベル公開講座> 経営資源と管理の基礎知識	9月14日(土)	1	50	17	17(2)	34%	0	1	16	0	0
		<ファーストレベル公開講座> 人材育成の基礎知識（成人学習の原理等）	9月26日(木)	1	50	30	30(2)	60%	0	1	28	0	1
	※委託	<「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会公開講座> 認知症の看護	10月5日(土)	1	50	24	25(6)	50%	1	0	23	1	0
		摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修	令和2年2月15日(土)	1	60	27	28(0)	47%	0	0	28	0	0
		認定看護師交流会	11月30日(土) AM	0.5	180	112	98(0)	54%					
日本看護協会研修	オンデマンド	災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～	7月30日(火) 7月31日(水)	2	180	58	57(1)	32%	0	3	53	1	0
		認知症高齢者の看護実践に必要な知識	10月8日(火) 10月9日(水)	2	180	61	57(9)	32%	0	2	55	0	0
	衛星研修	'19 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	6月30日(日)	1	180	179	173(－)	96%					
	県看護連盟共催	「看護とユマニチュード」講演会	8月31日(土) AM	0.5	150	266	253(78)	169%	0	1	206	13	33
長期研修		糖尿病重症化予防（フットケア）研修	7月25日(木) 7月26日(金) 7月27日(土)	3	30	30	29(2)	97%	1	0	28	0	0
		認定看護管理者教育課程　ファーストレベル	9月3日(火)～ 10月4日(金)	20	45	54	54(0)	120%	5	3	46		
		認定看護管理者教育課程　セカンドレベル	6月20日(木)～ 8月21日(水)	31	25	23	23(0)	92%	1	3	19		
	※委託	富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会	10月17日(木)～ 12月20日(金)	40	40	48	46(0)	115%	1	1	44	0	0
	※委託	「訪問看護ｅラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	6月28日(金)～ 12月3日(火)		30	21	20(3)	67%	0	0	19	1	0
	※委託	がん看護臨床実践研修	7月16日(火)～ 8月5日(月)	15	30	16	16(2)	53%	0	0	16	0	0
	※委託	看護職員認知症対応力向上研修会	8月14日(水) 8月16日(金) 8月23日(金)	3	70	61	56(4)	80%	0	0	56	0	0
		摂食・嚥下障害看護認定看護師　教育課程	10月～3月	6か月	25	17	16(0)	64%	0	0	16	0	0
		合計　（延べ人数合計）					5,617（延12,805）						

令和元年度　教育研修アンケート結果

受講者数	4,733人
アンケート回収数	4,620人
アンケート回収率	98％

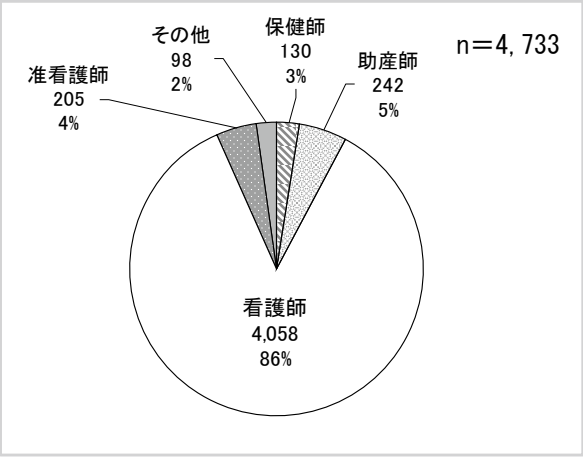


図１　職種別

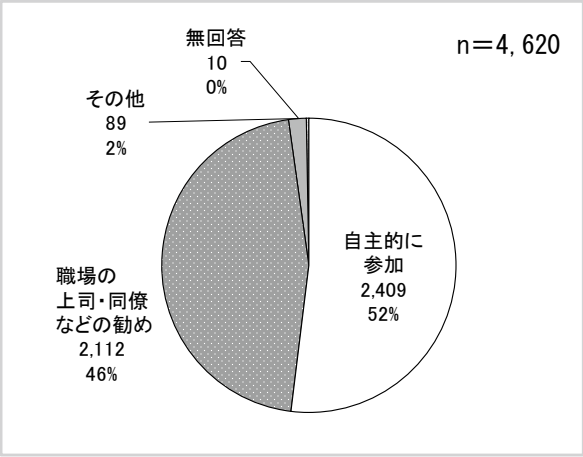


図４　受講動機

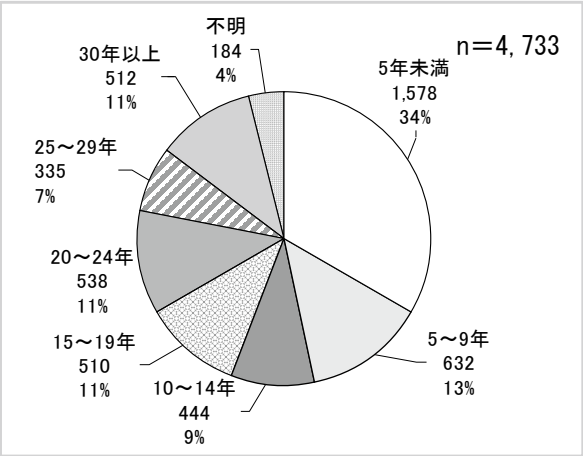


図２　経験年数別

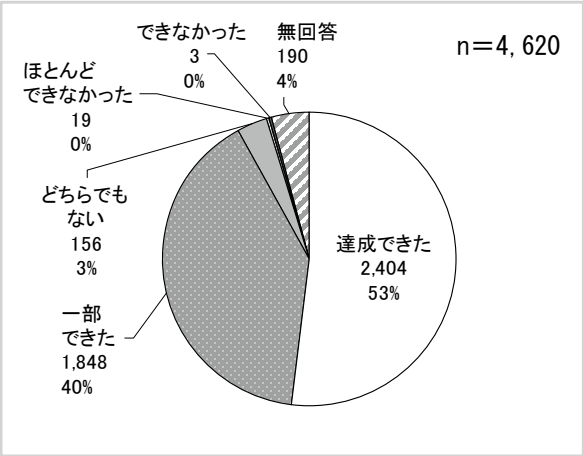


図５　研修目的の達成度

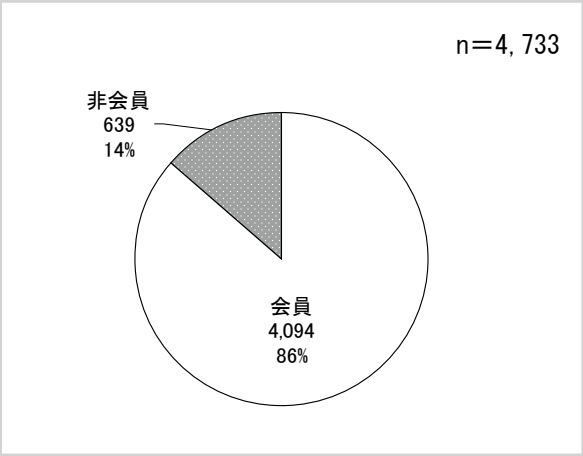


図３　会員・非会員

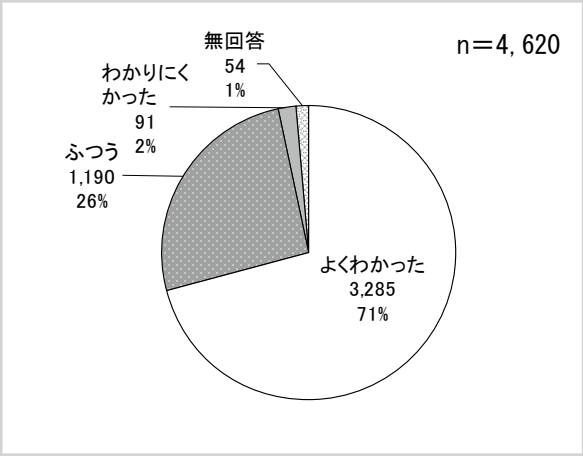


図６　研修内容について

一般研修

1「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護職員 資質向上実務研修	高岡市民病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 菅原　暁子 富山市立富山市民病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 田中　順子	・日常生活に活かす看護実践能力を高める（高齢社会、多死時代に対応するために） ・参加者間のネットワークを拡げる機会とする	＜１日目＞ ・肺炎予防（肺炎・呼吸介助） ・肺炎予防（摂食嚥下障害と口腔ケア） ・実習：口腔ケア、呼吸介助と聴診
	金沢医科大学氷見市民病院 感染管理認定看護師 谷畑　祐子		＜２日目＞ ・アウトブレイクについて ・疾患と感染対策（インフルエンザ、ノロウイルス等の感染性胃腸炎、疥癬） ・演習：リスクコミュニケーション
	富山県立中央病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 松村　江美子		＜３日目＞ ・ロコモティブシンドロームの概念及び現状 ・演習：転倒予防のリハビリテーション
	富山県立大学 看護学部看護学科 助教 糖尿病看護認定看護師 濵野　初恵		＜４日目＞ ・糖尿病看護の生活上の注意点のポイント ・糖尿病患者の家族への指導のポイント ・事例検討・発表
	【集中ケア認定看護師】 富山県立中央病院 前坪　瑠美子 蔵　サユリ 富山赤十字病院 浅生　かおり 富山大学附属病院 佐藤　慎哉	フィジカルアセスメントの基礎知識を学び、日々の看護実践に活かす	・呼吸器系・循環器系・消化器系・脳神経系フィジカルアセスメント ・演習：聴診、意識・麻痺の評価、 グループワーク（事例検討：２事例）、 発表、フィードバック
人材育成研修 ～質問力を磨く～	オフィス bloom 代表 遊道　直美	対象者のやる気や潜在能力を引き出すコーチングの考え方やスキル（特に質問スキルを中心に）を学ぶ	・講義・演習 質問力を磨く～魔法の質問とは～

研修名	研修目標 / 研修内容
医療機関看護師の 訪問看護研修	研修目標：在宅療養患者の生活を理解し、医療機関から在宅に向けた退院指導や準備を行うことができる 研修内容：訪問看護ステーション実習（３日間） 在宅療養患者や家族に対する看護ケアの提供により、望ましい退院指導や利用者のニーズにあった在宅療養環境の調整のあり方を理解する 在宅ケア事例検討会の参加（２日間） 退院支援における医療機関の看護師の役割と訪問看護師との連携のあり方を理解する
在宅ケア事例検討会	研修目標：訪問看護師や医療機関の看護職が在宅療養患者・家族の現状やニーズに応じたより質の高いケアが提供できるよう支援する

2 ラダーと連動した継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに！	富山県看護協会 会長 大井　きよみ 富山県ナースセンター長 松嶋　瞳	看護を取り巻く状況を知り、専門職業人としての自覚を高める	・日本看護協会について ・富山県看護協会の概要と活動内容 ・ナースセンターの役割
	富山赤十字病院 看護師長 石川　今日子	新人が起こしやすいインシデントの種類、原因、防止対策について理解する	・医療事故等の事例から学ぶ ・故意の事故や犯罪の防止 ・患者の診療情報管理 ・安全な薬剤の取り扱い

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員研修Ⅱ 医療者に求められる コミュニケーション	ＮＰＯ法人アサーティブ ジャパン 事務局長　専属講師 牛島　のり子	・社会人として求められるコミュニケーションスキルを理解する ・自己の現状のコミュニケーションスタイルを客観的に把握する ・すべての人間関係に必要なコミュニケーションスキルを身につける	・コミュニケーションの基本を理解する ・自己のコミュニケーションスタイルを知る ・コミュニケーション技法を学ぶ ・演習
中堅看護師に役立つ コミュニケーション！	有限会社ビジネスブレーン （財）生涯学習開発財団 認定コーチ 永井　則子	患者のＱＯＬに対話力を通して貢献するために １．看護職に対話力が必要とされる社会環境を再確認する ２．ステークホルダーと協働関係を産み出す対話の要素について考える ３．関係性を築くスキルについて演習を通して学ぶ ４．状況に応じた対話の組み立て方について考える ５．アクティブ・リスニングと質問について演習を通して学ぶ ６．コンフリクトが起きたときの対話への進め方を学ぶ	・オリエンテーション（講義・自己紹介） ・看護職と対話力（講義・グループワーク） ・傾聴と質問（講義・グループワーク・演習） ・対話の組み立て方 （講義・グループワーク・演習） ・地域・多職種連携と対話力 （講義・グループワーク・演習） ・事例研究（講義・フィッシュボール） ・まとめ
医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策	愛媛大学医学部附属病院 医療安全管理部 副部長 戸田　由美子	医療安全対策の基本的概念と具体的対策に関する知識を学び、安全性を高める行動がとれる	・医療安全対策の基本的概念 ・ヒューマンエラーの基礎知識 ・安全文化について ・リスクアセスメント ・医療安全教育のポイントについて ・医療事故発生後の対応
医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法	【TeamSTEPPS Japan 認定トレーナー】 あさひ総合病院 副看護部長 山本　陽子 金城大学 看護学部　看護学科 准教授 野上　悦子	チームＳＴＥＰＰＳを活用しエビデンスに基づいたチームトレーニングを学び、患者安全文化の醸成につなげる	・チームＳＴＥＰＰＳの基本的知識 ・ツールを使った事例演習
感染対策Ⅰ 基礎編Ａ	【感染管理認定看護師】 南砺市民病院 野原　里香 厚生連高岡病院 廣上　ひとみ 澤野　博美 廣野　和子 北陸中央病院 荒俣　ゆかり	感染対策の基礎知識を理解し、看護に役立てる	・標準予防策の考え方 ・標準予防策（各論） ・感染経路別予防策 ・グループワーク、発表：職業感染対策 ・職業感染対策について
感染対策Ⅰ 基礎編Ｂ	【感染管理認定看護師】 光ヶ丘病院　吉田　輝美 厚生連高岡病院 廣上　ひとみ 澤野　博美 富山県済生会高岡病院 松木　悠平 真生会富山病院 梅田　加洋子	標準予防策を理解し正しい感染対策（手指衛生、予防具、環境整備、職業感染予防）を実践することができる	・感染対策の基礎知識 ・グループワーク：職業感染対策 ・職業感染対策 ・環境整備について ・医療処置における感染対策 ・看護ケアにおける感染対策① ・看護ケアにおける感染対策②

研修名	講師	ねらい	主な内容
感染対策Ⅱ 実践編	【感染管理認定看護師】 射水市民病院 伊藤　ひろみ 光ヶ丘病院　吉田　輝美 厚生連高岡病院 廣上　ひとみ 高岡市民病院 高原　紀子 国立病院機構北陸病院 竹内　智教	根拠に基づいた感染対策を実践・指導できる	・口腔・鼻腔・気管吸引時の感染対策 ・嘔吐物の処理（ノロウイルス対策） ・アウトブレイク対応 ・排泄時のケア ・グループワーク（事例検討）、発表： 職業感染対策
看護倫理Ⅰ 看護専門職として 基本的な姿勢を学ぶ	市立砺波総合病院 がん看護専門看護師 平　優子 金沢医科大学氷見市民病院 老人看護専門看護師 中村　美穂	・看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる ・日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる	【看護の目的と倫理について】 ・倫理問題と倫理原則 ・倫理的問題解決のための倫理的行動の4つの要素 ・看護実践における倫理的側面の対応 ・看護専門職と倫理の関係性 ・事例検討
看護倫理Ⅱ 職場の倫理風土を育てる	【がん看護専門看護師】 富山赤十字病院 村上　真由美 富山県立中央病院 竹中　健	・看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、職場の倫理風土を育んでいくプロセスを学び、自施設の活動に活かす ・看護倫理委員会の活動が、組織にもたらす効果や課題について考えることができる	・専門職の実践、特質 ・倫理とは、価値観とは ・倫理原則 ・看護者の倫理綱領 ・倫理的判断のモデル ・症例検討シート（四分割法） ・症例、症例検討の解説 ・看護倫理に基づくケア ・看護倫理委員会活動について ・個人ワーク 「あれ、おかしいなぁ、もやもやする」 ・グループワーク 臨床倫理4分割表を用いた事例検討 自部署で取り組みたいこと
看護研究Ⅰ （楽しく学ぶ初めての 看護研究）	富山県立大学 看護学部看護学科 教授 田中　いずみ	臨床で行う看護研究の進め方や研究倫理を理解し、看護研究計画書の作成方法を学ぶ	・看護研究とは ・研究の種類・デザイン ・研究手順 ・倫理的配慮 ・研究計画書の書き方
がん看護シリーズⅠ がん性疼痛看護 緩和ケアにおける症状 コントロール （基礎編）	富山県立中央病院 がん看護専門看護師 竹中　健	がん患者の苦痛症状を理解し、適切なケアが実践できる	・症状の理解とアセスメント ・症状コントロールの実際 ・実践事例から学ぶ
	黒部市民病院 がん性疼痛看護認定看護師 細見　由加里	がん性疼痛を理解し、がん患者の疼痛緩和の看護技術を学ぶ	・がんの痛みの理解 ・痛みのアセスメント ・薬剤を使用した疼痛マネジメント ・副作用とケア ・痛みを緩和するケア
がん看護シリーズⅡ 病院から在宅につなぐ 意思決定支援 （基礎編）	済生会富山訪問看護 ステーション がん性疼痛看護認定看護師 柳原　照代 市立砺波総合病院 緩和ケア認定看護師 平木　葉子	・がん患者の身体的・心理的・社会的な課題と看護を学ぶ ・がん患者・家族の心理と看護師の役割を理解し、援助の実際を知る	・がん患者が直面することの多い意思決定場面とその特徴 ・がん療養生活における意思決定への影響要因 ・がん終末期患者への看取りにむけた在宅療養移行支援 病院の看護による支援 ・患者の意思決定を支えるためのコミュニケーション ・在宅におけるサービスとは ・地域包括ケアシステムとは ・アドバンス・ケア・システム（ACP）について ・地域で暮らす患者・家族の意思決定支援 ・意思決定支援（ACP）と倫理 ・グループワーク
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん医療の動向と対策	富山県厚生部 健康課がん対策推進班 水上　みどり	富山県におけるがん医療対策を学ぶ	・がん対策のあゆみ ・富山県のがんの現状および対策

研修名	講師	ねらい	主な内容
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん・患者理解 「がん医療の現状」 （実践編）	富山県立中央病院 緩和ケア科部長 竹川　茂	・がんについて、病理学的特徴、発がんのメカニズム、転移、再発などの生物学的な基本的知識を学ぶ ・我が国におけるがん医療対策を学ぶ	がん医療の現状 ・がん細胞の特徴と診断 ・がんの疫学・予防と検診 ・がん医療の動向と課題
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん・患者理解 「がん患者の理解」 （実践編）		・がん治療に伴う全人的苦痛を学ぶ ・がん患者の心理社会的特徴を学ぶ ・倫理的ジレンマを学ぶ	がん患者の理解 ・全人的観点によるがん患者の特徴 ・がんに伴う心理社会的な危機 ・倫理的な諸問題
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん看護援助法 「がんの集学的治療と看護」 （実践編）	市立砺波総合病院 手術看護認定看護師 越塚　奈美	・がん治療に伴う主な有害事象と身体的苦痛を学ぶ ・がん治療に伴う主な有害事象と身体的苦痛に対する看護を学ぶ	がん手術療法の理解と看護 ・がん手術療法の基本的知識 ・がん治療における手術療法の意義 ・がん手術療法の変遷 ・がん手術療法における看護師の役割
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん看護援助法 「がん性疼痛の看護」 （実践編）	市立砺波総合病院 がん性疼痛看護認定看護師 前田　真裕美	・がん性疼痛の原因、誘因、疼痛緩和阻害要因等のアセスメントを学ぶ ・薬物療法、非薬物療法による疼痛コントロールを学ぶ	がん性疼痛の看護 ・がん性疼痛のメカニズムとアセスメント ・薬物療法による疼痛コントロール ・非薬物療法による疼痛コントロール
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん・患者理解 「がん患者の理解」 （実践編）	富山県済生会富山病院 がん看護専門看護師 久保田　恵	・がん治療に伴う全人的苦痛を学ぶ ・がん患者の心理社会的特徴を学ぶ ・倫理的ジレンマを学ぶ	がん患者の理解 ・全人的観点によるがん患者の特徴 ・がんに伴う心理社会的な危機 ・倫理的な諸問題
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん看護援助法 「がんの集学的治療と看護」 （実践編）	富山県済生会富山病院 がん化学療法看護認定看護師 杉瀬　瞳	・がん治療に伴う主な有害事象と身体的苦痛を学ぶ ・がん治療に伴う主な有害事象と身体的苦痛に対する看護を学ぶ	がん化学療法の理解と看護 ・がん化学療法とは ・がん化学療法看護とは ・治療時期に沿った看護のマネジメント ・化学療法の副作用マネジメント ・副作用の症状緩和対策
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん看護援助法 「がんの症状マネジメント」 （実践編）	市立砺波総合病院 がん看護専門看護師 平　優子	・疼痛以外の苦痛症状（呼吸困難、倦怠感等）について、その原因、誘因、阻害要因のアセスメントを学ぶ ・薬物療法、非薬物療法による症状コントロールを学ぶ	がんの症状マネジメント ・疼痛以外の苦痛の症状アセスメント ・疼痛以外の苦痛症状に対する薬物療法、非薬物療法による症状コントロール ・症状マネジメントモデル ・全人的苦痛の理解と看護
<がん看護臨床実践研修公開講座> がんチーム医療 「がん患者とセルフケア」 （実践編）	高岡市民病院 がん化学療法看護認定看護師 藤堂　由紀	・セルフケア向上に向けた患者教育と支援方法を学ぶ ・患者やその家族の意思決定と在宅療養への移行に向けた支援方法を学ぶ ・多職種との連携の実際を学ぶ	がん患者とセルフケア ・セルフケア理論の概要と看護実践におけるセルフケア支援 ・がんサバイバーシップとセルフケア ・意思決定とセルフケア
	光風会訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 小原　留美		がん患者とセルフケア ・多職種との連携・協働 ・療養の場の移行に必要なサマリーや書類などの準備について
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん・患者理解 「がん患者の家族の理解と支援」 （実践編）	富山県立中央病院 がん看護専門看護師 時山　麻美	・家族に起こる危機を学ぶ ・家族の危機に応じた支援方法を学ぶ	がん患者の家族の理解と支援 ・家族の危機：喪失・悲嘆・死別 ・家族の危機への支援：家族・遺族ケア
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん看護援助法 「がんの集学的治療と看護」 （実践編）	黒部市民病院 がん放射線療法看護認定看護師 野口　直子	・がん治療に伴う主な有害事象と身体的苦痛を学ぶ ・がん治療に伴う主な有害事象と身体的苦痛に対する看護を学ぶ	がん放射線療法の理解と看護 ・がん放射線療法の基本的知識 ・がん放射線療法における標準的な治療方針と治療方針決定プロセス ・がん放射線療法に伴う有害事象と効果的な有害事象の管理における看護師の役割 ・チーム医療とがん放射線療法、安全管理

研修名	講師	ねらい	主な内容
<がん看護臨床実践研修公開講座> がんチーム医療 「がん患者とセルフケア」 （実践編）	富山赤十字病院 乳がん看護認定看護師 東　幸	・セルフケア向上に向けた患者教育と支援方法を学ぶ ・患者やその家族の意思決定と在宅療養への移行に向けた支援方法を学ぶ ・多職種との連携の実際を学ぶ	がん患者とセルフケア ・療養の場の移行に伴う調整 ・がん患者への情報提供・相談支援
<がん看護臨床実践研修公開講座> がん・患者理解 「がん患者の家族の理解と支援」 （実践編）	富山県 がん総合相談支援センター 統括相談員 尾川　洋子	・家族に起こる危機を学ぶ ・家族の危機に応じた支援方法を学ぶ	がん患者の家族の理解と支援 ・がん患者・家族を知る ・がん相談の現場から伝えたいこと
糖尿病の看護 基礎知識	【糖尿病看護認定看護師】 富山赤十字病院 山元　麻美 高岡市民病院 寺澤　多英	生活習慣病である糖尿病の正しい知識を知り、最新の情報やケアを学ぶ	・糖尿病の基礎知識 　診断、分類、合併症 ・糖尿病の治療 　食事療法、運動療法、薬物療法 ・療養生活の注意点（セルフケア） ・グループワーク
糖尿病の看護 自己管理への 生活調整と支援	【糖尿病看護認定看護師】 富山赤十字病院 山元　麻美 高岡市民病院 寺澤　多英	糖尿病患者の重症化予防のための療養指導を学ぶ	・糖尿病指導のコツ ・フットケア ・薬物療法 ・チームでの取り組み
現場に活かせる 最新褥瘡ケア	【皮膚･排泄ケア認定看護師】 富山労災病院 土居　泰美 富山赤十字病院 印幡　香	褥瘡の予防と悪化させないための最新の知識・技術を取得する	・褥瘡の基礎 ・褥瘡の予防～体圧分散・栄養管理 ・褥瘡の治癒過程 ・褥瘡評価方法 ・スキン － テア、医療関連機器圧迫創傷、失禁関連皮膚障害 ・よくある褥瘡対策の質問
実践に活かす！ 摂食嚥下障害の理解 とケア	【摂食･嚥下障害看護認定看護師】 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 濵屋　宏衣 富山県立中央病院 河口　絵里奈	・摂食嚥下のメカニズムとその障害を理解する ・摂食嚥下機能評価と訓練の実際を学び看護実践に活かす	・摂食嚥下メカニズム、誤嚥性肺炎、口腔ケアについて ・摂食嚥下評価 ・スクリーニング実技 ・摂食嚥下訓練 ・嚥下体操DVD視聴 ・食事介助（動画視聴含む） ・食事介助実技 ・チーム医療
高齢者に多い呼吸器 循環器疾患のケア	富山協立病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山本　佳江 富山市立富山市民病院 慢性心不全看護認定看護師 加藤　美加代	高齢者に多い疾患の病態を理解し、ケアのポイントを学ぶ	・慢性呼吸器疾患・慢性心不全の病態の理解とケアのポイント ・チームでの取り組み ・在宅でのセルフケアポイント
もっと深めよう！ 脳卒中患者の看護	【脳卒中リハビリテーション看護認定看護師】 かみいち総合病院 新林　正子 市立砺波総合病院 池守　実智代	脳卒中患者の機能回復及び日常生活の支援について学ぶ	・脳卒中の病態、脳・神経系のアセスメント ・機能回復・早期離床・ADL獲得にむけた支援 ・在宅にむけての調整 ・チームでの取り組み
優しさを伝える認知症ケア ～対象を理解することで ケアが変わる～	日本認知症ワーキング グループ パートナー NPO法人認知症当事者の会 事務局 のぞみメモリークリニック 水谷　佳子	認知症ケアの「人として守られる尊厳」について学ぶ	・「失敗」という体験 ・認知機能と「注意」 ・認知機能と「知覚」 ・ノンバーバル・コミュニケーションを知るために ・身近なノンバーバル・コミュニケーション ・「認知症とともに、よりよく生きる」を考える

研修名	講師	ねらい	主な内容
せん妄の理解とケア	金沢医科大学病院 精神看護専門看護師 中井　有里	せん妄について理解し、予防や対応について学ぶ	・せん妄と治療 ・せん妄のアセスメントと対応（講義） ・せん妄の事例検討会、発表 事例紹介・W①せん妄のリスクと症状 事例紹介・W②せん妄症状と要因 事例紹介・W③せん妄症状と要因への対策
心と命を守る ゲートキーパー 医療従事者としてできる 生きることへの支援	岩手医科大学 神経精神科学講座 教授 大塚　耕太郎	潜在的な自殺リスク者に高い頻度で接する医療従事者を、メンタル面での異変に「気づき」「聴き」専門機関に「つなぐ」ことのできるゲートキーパーに養成する	・かけがえのない命を守る ・院内自殺の予防と対応 ・自殺の予防と対策 ・災害現場の心のケア
精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の 在宅看護	金沢医科大学病院 精神看護専門看護師 中井　有里 （演習支援者） 富山県立大学 看護学部看護学科 助教 遠田　大輔	精神障害者地域サポート強化：精神疾患をかかえる患者の地域生活を支えるため、基本的知識及び技術の取得を図る	・精神科訪問看護の基礎知識 ・訪問看護の実際 ・事例検討
地域包括ケアⅠ 入院前から始める 入退院支援	富山県立大学 看護学部看護学科 助教 北林　正子	入院前から始める入退院支援・退院調整の基礎知識を学ぶ	・時代背景 ・入退院支援（調整）について ・診療報酬 ・介護保険 ・演習
地域包括ケアⅡ 事例から学ぶ 地域における多職種連携	富山赤十字訪問看護 ステーション　管理者 訪問看護認定看護師 加藤　真理子 まちなか診療所 管理者・医師 三浦　太郎	生活を見据えた退院支援の実際を事例から学ぶ	・入退院支援の現状 ・多職種連携における看護師の役割 ・事例検討 ・在宅医療の現状 ・訪問事例から学ぶ
【CLoCMiP®認定更新のためのステップアップ研修】 母体救急と産科出血	富山県済生会高岡病院 産婦人科 部長 吉本　英生	産科出血など周産期ハイリスクを理解し、対応できる	・産科出血の特徴 原因となる基礎疾患 大量出血のリスクの理解 ・産科出血への対応 産科出血時の初期対応について
【CLoCMiP®認定更新のためのステップアップ研修】 胎児心拍モニタリング （ＣＴＧ）の判読		母体・胎児の状態を的確に把握でき、分娩時の胎児モニタリングの読み方（判読）と対応が理解できる	・分娩時の胎児モニタリングの基本的知識 ・分娩監視装置モニターの判読と対応 ・判読に迷う波形について ・危険な徴候について ・グループワーク 実際の分娩監視装置モニターの記録をもとに、産婦及び胎児の状態をアセスメント、対応について（グループディスカッション）
【CLoCMiP®認定更新のためのステップアップ研修】 新生児の観察と管理	富山県立中央病院 小児科部長 二谷　武	新生児のフィジカルアセスメント能力を高め、ケアの実践に結びつける	・新生児ケア概論 ・Not doing wellの対応や疑われる疾患 ・母子感染症の児への影響・対応

３ 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
医療安全の観点からのリスクマネジメント	パラマウントベッド㈱ 技術本部 主席研究員 杉山　良子	医療安全の実務力向上をめざす	＜１日目＞ ・安全文化の醸成 ・医療安全管理に必要な基本的知識 ・転倒転落 ・事例分析法 ・事例分析法の実際
	厚生連滑川病院 薬剤部　部長 鍛冶　洋樹		＜２日目ＡＭ＞ 【安全な与薬業務を行うための管理】 ・薬剤の安全管理に必要な知識 ・カリウム製剤の基礎知識

研修名	講師	ねらい	主な内容
医療安全の観点からのリスクマネジメント	社会医療法人社団正志会 本部　看護部業務担当部長 （非常勤） 佐々木　久美子	医療安全の実務力向上をめざす	＜２日目ＰＭ＞ 【医療安全に関する法・制度】 ・医療安全に関する法令や制度の知識 ・医療事故調査制度に関する知識
	愛知県立大学 看護学部・大学院看護学研究科 看護管理学教授 森田　恵美子		＜３日目＞ ・医療コンフリクト・マネジメント ・医療メディエーション・スキル
リーダーシップの磨き方	西武文理大学 看護学部　客員教授 北浦　暁子	スタッフがやりがいを見出し笑顔で働くことができる牽引力・包容力・統率力を学ぶ	・チームワークの育て方と組織活性術 ・逆境をチャンスに受け止められるメンタリティ
コーチングのできるリーダー育成	(有)ＡＥメディカル 代表取締役 野津　浩嗣	スタッフを育成するためのコーチングスキルを学ぶ	・コーチングとは ・スタッフ育成のためコーチングスキル ・コーチングスキルの実際

研修名	研修目標／研修内容
【ＤＶＤ研修】 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修改訂版 2018	効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者体制整備の一助となる 看護補助者の活用に関する制度の理解／看護職との連携と業務整理／看護補助者の雇用形態と処遇等／看護補助者の育成・研修・能力評価／看護補助者体制整備に関する課題に対する対策案の作成　※演習含む

4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員研修責任者・教育担当者研修	公益社団法人日本看護協会 常任理事 熊谷　雅美	新人看護職員研修の卒後臨床研修制度について理解し、その実施に向けて部署としての取り組みを考えることができる	＜１日目＞ 【新人看護職員研修ガイドラインの理解と活用方法】 ・新人看護職員をめぐる現状と課題 ・新人看護職員研修制度の概要 ・新人看護職員ガイドラインの内容と活用方法 ・新人看護職員研修の組織体制 ・研修責任者・教育担当者・実地指導者の役割 ・新人看護職員に関わる看護職員の職場適応メンタルサポート
	済生会横浜市東部病院 看護師長 小陽　美紀		＜２、３日目＞ 【新人看護職員研修の企画と評価の実際】 ・基礎教育における看護実践能力の習得状況 ・指導方法や教育的かかわり方 ・新人看護職員教育計画立案と運営、評価の実際 ・グループワーク
			＜４日目＞ 【新人看護職員研修のリフレクション】 ・新人看護職員指導上の問題とその解決方法 ・実践事例から学ぶ ・演習
新人看護職員実地指導者研修	東京医療保健大学 医療保健学部看護学科 教授 末永　由理	新人看護職員研修の実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員に対して効果的な臨床実践指導及び教育的なかかわりができるよう必要な知識・技術を習得する	【自己の役割を理解する】 ・新人看護職員研修努力義務化経緯 ・新人看護職員研修ガイドライン ・実地指導者の役割 【人材育成計画を理解する】 ・自組織の人材育成像の明確化(グループワーク) ・リフレクションの準備（個人ワーク） 【対象を理解する】 ・新人看護師の教育的、社会的背景 ・成人学習者の特徴 【指導スキル・評価方法を知る】 ・教育や学習に関する理論 ・学習評価 ・リフレクション 【役割遂行上の課題の検討】 ・役割遂行上の課題を明確にし、その対応策を検討する（グループワーク） ・実地指導者としての活動計画の立案(個人ワーク) 【指導実践の振り返り】 ・指導実践とその結果の共有 ・実践のリフレクション 【評価と今後の課題の明確化】 ・新人看護師の成長を評価する ・実地指導者としての自分を評価する

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員 実地指導者研修	金沢医科大学 精神神経科学 講師（臨床心理士） 北本　福美	新人看護職員研修の実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員に対して効果的な臨床実践指導及び教育的なかかわりができるよう必要な知識・技術を習得する	・今の自分を知る ・ストレスと自己評価 ・戸惑いの在り処とアンガーマネジメント ・キャリアを考える 　純粋意欲・存在意義 ・自分への労い 　リトリートワーク
看護研究Ⅱ （進めよう看護研究）	【A】 富山大学大学院 医学薬学研究部 准教授 吉井　美穂 【B】 福井大学 医学部看護学科 基礎看護学　教授 上野　栄一	看護研究計画書の実際を学び、看護研究計画書を作成する	【日常の看護から研究の題材を見つける】 ・テーマの決め方 ・研究デザイン ・対象の絞り方 ・データの集め方 ・データの分析 ・研究計画書作成 ・アンケートの作成方法 ・演習
看護研究Ⅲ （質的・量的研究の 分析を学ぼう！）	富山大学大学院 医学薬学研究部 准教授 吉井　美穂	看護研究に必要な統計の知識や質的分析を学ぶ	・量的研究データの整理、処理および基本的な分析方法 ・統計の種類や選び方、手法 ・質的研究の進め方 ・演習
看護研究Ⅳ （迷わない研究サポート）	福井大学 医学部看護学科 基礎看護学　教授 上野　栄一	・円滑な看護研究支援方法を学ぶ ・論文作成が出来るようになる	・クリティーク（査読）の実際 ・研究遂行上に直面しやすい問題 ・具体的な助言方法 ・論文作成に向けた課題の明確化
医療安全対策Ⅲ ＩｍＳＡＦＥＲ分析 Ｂａｓｉｃ２日コース	株式会社安全推進研究所 代表取締役所長 博士（心理学） 河野　龍太郎 （自治医大名誉教授）	「事故の構造に基づく分析手法：ImSAFER」を学び、医療事故の再発防止支援に活かす	＜１日目＞ ・医療システムの問題点と対策 ・ヒューマンエラー発生のメカニズム ・ヒューマンエラー対策と戦略と戦術 ＜２日目＞ ・ＩｍＳＡＦＥＲ分析手法について ・事例分析、グループワーク ・発表 ・まとめ
災害看護 （フォローアップ編）	福井大学 医学部看護学科 災害看護学　教授 酒井　明子	看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対しニーズに応じた看護実践能力を有効に発揮し、他者と協働でき、自律した活動ができる	【講義・演習】 ・富山県看護協会における災害看護支援活動 ・災害支援ナースの派遣の概要 ・災害支援ナースの活動の実際、心構え ・HUG等の机上シミュレーション

5 資格認定教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
<セカンドレベル公開講座> 人事・労務管理 （人員配置等）	東京医療保健大学 千葉看護学部看護学科 学部長・教授 宮本　千津子	【教育目的】 看護管理者として基本的業務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する	・人員配置 ・勤務計画 ・ワークライフバランスの推進 ・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント ・ハラスメント予防策と対応
<セカンドレベル公開講座> 人材を育てるマネジメント （人材育成計画）	昭和大学　特任教授 看護キャリア開発・ 研究センター長 市川　幾恵		・人材育成計画
<セカンドレベル公開講座> 経営資源と管理の実際 （適切な療養環境の整備）	工学院大学 建築学部建築デザイン学科 教授 筧　淳夫		・適切な療養環境の整備
<セカンドレベル看護管理実践報告会> 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル看護管理 実践報告会	2018年度認定看護管理者 教育課程セカンドレベル 修了者 若干名	看護管理実践報告をもとに問題点の共有と課題の明確化をはかり、より望ましい看護管理のあり方を学ぶ	・実践報告

研修名	講師	ねらい	主な内容
<ファーストレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける看護の役割	公益社団法人日本看護協会 看護開発部 安西　恵梨子	【教育目的】 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種の理解 ・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 倫理綱領 看護業務基準
<ファーストレベル公開講座> 組織マネジメント概論	東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部看護学科 大学院看護学研究科 教授 中島　美津子		・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識
<ファーストレベル公開講座> 経営資源と管理の基礎知識	聖路加国際大学 法人事務局長 渡辺　明良		・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済的効果
<ファーストレベル公開講座> 人材育成の基礎知識 （成人学習の原理等）	医療法人協和会 法人本部 統括部長 青木　菜穂子		・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけの理論
摂食・嚥下障害看護認定看護師 フォローアップ研修	日本赤十字広島看護大学 特任教授 迫田　綾子	摂食・嚥下障害看護認定看護師としての活動実践を共有し、個々の課題を明確にすることを目的とする	・修了生研修報告（実践報告） ・講義 ・演習

インターネット配信研修［オンデマンド配信］

研修名	研修目標/研修内容
災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	看護専門職の災害時支援者として必要な基礎知識を習得し、災害支援ナースとしての役割や活動の実際を理解する 災害医療の基礎知識／災害時に求められる看護支援活動／災害サイクル別疾病構造と看護／災害時の心理変化とこころのケア／看護協会の災害時看護支援活動／災害時の保健師の役割と災害支援ナースとの連携～北海道胆振東部地震災害における支援活動より～／災害支援ナースとしての活動の実際～平成30年7月豪雨災害における支援活動より～
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	国の施策や医療の現状を理解するとともに、入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を学ぶ 認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み／認知症に関連する疾患と病態・治療／組織で取組む認知症高齢者ケア／認知症高齢者の看護に必要なアセスメント／認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術／認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方／多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方／認知症高齢者に適した療養環境と調整方法／認知症高齢者に特有な倫理的課題／認知症高齢者の意思決定支援　※演習含む
	（演習支援者） 市立砺波総合病院　認知症看護認定看護師　畑　真夕美

富山県看護協会・富山県看護連盟共催研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
「看護とユマニチュード」講演会	富山県立大学 看護学部看護学科 教授 岡本　恵里 ユマニチュード認定 インストラクター	知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケア技法であるユマニチュードを学び、認知症の方や高齢者のみならず、ケアを必要としているすべての人に取り入れ、認知症ケアの質や実践する病院の組織風土の向上につなげる	・講演「看護とユマニチュード」

令和元年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会

区分	内容
［第１回］ 令和元年 ５月15日（水） 10:00 ～ 11:00	1　2019年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者の選考 定員25名に対して応募者23名 全員23名の受講決定 研修期間:令和元年６月20日（木）～８月21日（水）　186時間（31日間） 2　認定看護管理者教育課程カリキュラム改正の説明について カリキュラム改正について、看護部長会議で説明を行う ４月25日公的病院、６月３日民間病院
［第２回］ 令和元年 ７月17日（水） 10:00 ～ 11:00	1　2019年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者の選考 定員45名に対して応募者54名 全員54名受講決定 研修期間:令和元年９月３日（火）～10月４日（金）　117時間（19.5日間） 2　2019年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル実習受入れ状況について 高度急性期・急性期機能病院　：７名 地域包括ケア病棟・回復期機能病棟：４名 地域包括支援センター　：３名 訪問看護ステーション　：８名 介護保険施設　：１名
［第３回］ 令和元年 10月16日（水） 10:00 ～ 11:00	1　2019年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者修了について 受講者23名全員修了 2　受講生研修修了アンケート結果報告
［第４回］ 令和元年 11月27日（水） 10:00 ～ 12:00	1　2019年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者修了について ・組織管理論の科目評価で１名がD判定となり、再レポート評価で合格。 ・１名が、資源管理Ｉの講義15時間中６時間欠席の為、４／５の出席条件を満たさず。 科目レポートは、担当講師の承諾を得て提出済み。 ・受講者54名のうち、53名修了 出席条件を満たしていない1名は、次年度該当の講義を６時間受講及び学習カードを提出することにより修了となる。 2　受講生研修修了アンケート結果報告 3　2020年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル学習要項について 日本看護協会認定部「ファーストレベルの受講選考の方法について」の提示に伴い、申込時の小論文の課題を変更する必要がある。協議の結果本文200字程度で、管理的な視点で受講動機を述べることとする。 4　認定看護管理者教育課程ファーストレベルの定員について 平成28年度定員数を40名から45名に変更したが、ここ２年定員を超え、日本看護協会認定部規定に抵触している。今年度からカリキュラムを改正し、ファーストレベルの受講の裾野を広げることになったこと、富山県の応募状況、全国的な定員の状況から、50名に変更する案を提示。 １月の理事会に諮る予定。 5　認定看護管理者教育課程公開講座について 日本看護協会認定部「認定看護管理者教育課程運営の注意事項について」に基づき協議し、次年度も同講義で公開講座を行い、終了後に評価する。 公開講座の定員はセカンド25名、ファースト30名とする。受講生の評価方法は、アンケートを取り、その結果を委員会で評価する。

2019年度 富山県認定看護師教育センター
摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程教員会

区　分	内　　容
［第１回］ 令和元年 9月12日(木) 10:00～11:00	1　報告事項 1）受講生決定について (1) 入学試験（定員25名） ① 一次試験　令和元年６月１日(土) ア　出願者：20名 イ　受験者：17名 ウ　合格者：17名 ② 二次試験　令和元年８月17日(土) ア　出願者：２名 イ　受験者：２名 ウ　合格者：２名 ③ 入学者17名 2）カリキュラムについて 総時間数645時間 3）科目担当教員について 4）開講スケジュールについて 2019年10月１日～３月30日まで(６箇月間) 2　審議事項 1）実習施設について 臨地実習11施設、見学実習２施設 2）認定看護師教育課程設置運営規定第20条第３項の改定について 3）実習記録の提出方法について
［第２回］ 令和元年 11月19日(火) 10:00～11:00	1　報告事項 1）科目進捗状況について 2　審議事項 1）受講生実習施設配置(案)について 2）実習指導者連絡会議(案)について 令和元年12月25日(水) 13:30～15:30 3　その他（10月８日理事会の決定事項） 令和２年度から摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程休講
［第３回］ 令和元年 12月25日(水)提出 書面審査	1　審議事項 1）摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程受講生の受講辞退願の取り扱いについて 教員会運営規定第２条第４号の規定に基づき審議
［第４回］ 令和元年 12月25日(水)提出 書面審査	1　審議事項 1）受講生実習施設変更について 教員会運営規定第２条第１号の規定に基づき審議
［第５回］ 令和２年 ３月17日(火) 10:00～11:00	1　報告事項 1）受講ならびに科目成績状況について 受講生16名の受講状況報告：修了試験、再修了試験結果 2　審議事項 1）受講生修了判定(案)について 2）修了式について (1) 日　時：令和２年３月30日(月) (2) 修了者：16名（１名受講辞退）

令和元年度 新人看護職員研修推進会議

区　分	内　　容
当初予定 ［第１回］ 令和２年 ３月５日(木) 15:00～16:00 コロナウイルス感染拡大防止の為、書面会議	１　富山県における看護職員の現状 ２　令和元年度新人看護職員等研修報告 １）新人看護職員に関する研修 ①新卒看護職員研修会について ②若手看護職員研修会・交流会について ③新人看護職員指導者研修会について ２）新人看護職員研修　受入実施状況 ３　令和２年度新人看護職員等研修について １）新人看護職員指導者研修会 ２）新人看護職員受入研修について

2019年度 がん看護臨床実践研修 プログラム検討委員会

区　分	内　　容
［第１回］ 令和元年 ５月 17 日(金) 10:00～11:00	１　委員長の選出について ２　審議事項 １）2019年度がん看護臨床実践研修開催概要について (1) 開催日程：2019年７月16日(火)～８月５日(月) 15日間 (2) 講師：日程・時間数 (3) 評価表：(様式７) 評価の表現方法変更 (4) ケースレポート発表会：８月５日(月) ２）研修生について ・現時点５名応募（最終16名）
［第２回］ 令和２年 １月８日(水) 10:00～11:00	１　報告事項 １）2019年度がん看護臨床実践研修の実施結果及び評価について ２）平成30年度、2019年度がん看護臨床実践研修フォローアップ調査結果ついて ３）平成26年度～2019年度までの施設別受講者

令和元年度　富山県ナースセンター事業報告

	事業	事業内容	実績
就労促進に関する事項	求人･求職登録事業	・無料職業紹介所として運営 ・求人・求職登録、一般情報の登録 ・「ｅナースセンター」登録推進	求人登録数　9,094人　求職登録者数　3,003人 有効求人倍率　3.0倍　就職者数　237人
	公共職業安定所との連携事業	・新規求人・求職人数の報告（毎月） ・看護係求人情報、相談記録のやりとり（毎週） ・就職ガイダンスにてハローワーク相談コーナー設置	
	看護師等免許保持者届出事業	病院・介護福祉施設等を離職した看護職員に届出をしていただくことで、看護職員の潜在化を防止し、看護職員確保の支援や復職支援の促進を図る。	届出者数　329人 ナースセンター登録希望数　193人 登録者数　132人
	就業相談事業	①就業に関する相談 ②就職アドバイザーによる就業相談 ③移動就業相談（まちの保健室・福祉職場説明会） ④就職アドバイザー等による病院等訪問事業	①相談件数（全体）　7,883件 ②①のうち就職アドバイザーによる相談　3,297件 ③５/28(火)14:00～15:30　相談者２人 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」 ７/23(火)14:00～15:30　相談者０人 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」 ８/10(土)10:30～12:00　相談者０人 イオンモールとなみ「まちの保健室」 ９/10(火)10:00～12:00　相談者０人 アピタ富山「まちの保健室」 ９/25(水)14:00～15:30　相談者０人 サンフォルテ「介護職場就職説明･面談会」 10/19(土)10:00～12:00　相談者１人 ありそドーム「まちの保健室」 11/13(水)13:30～16:00　相談者４人 高岡テクノドーム「合同就職面接会」 11/19(火)14:00～15:30　相談者１人 サンフォルテ「介護職場就職説明･面談会」 ２/20(木)14:00～15:30　相談者０人 サンフォルテ「介護職場就職説明･面談会」 ④８月～10月実施　訪問施設数　22施設
	看護職員就業支援事業	①就業支援専門員の派遣 ・県内７か所のハローワークへ就業支援専門員を毎月１回派遣し、潜在看護職員等に対する就業相談を行う。 ・就業支援相談開催について、新聞広告およびちらしにて周知する。 ②ナースセンターサテライト設置 ・就職アドバイザーをナースセンターサテライト（新川・射水・砺波）に毎月１回派遣し、就業に関する相談等を行う。 ・就業支援相談開催について、新聞広告およびちらしにて周知する。 ③ハローワーク（富山、高岡、魚津）との連携 ・就業支援専門員の派遣（上記①に含） ・求職者・求人に関する情報を共有 ・医療機関へのあっせん強化（管理選考会）	①就業相談件数　137件 新聞広告　６月27日(木) 10月20日(日) 12月21日(土) ②相談件数　18件 チラシ発行　1,500部 新聞広告　６月27日(木) 10月20日(日) 12月21日(土) ③連携事業対象求人数 1,733人（85人） 連携事業対象求職数　132人（56人） 連携事業就職者数　46人（20人） （ ）はナースセンター実績 ＜管理選考会＞ハローワークと協議の上、今年度中止
	登録看護職員就業希望条件等の調査	・年１回実施：令和２年１月10日(金)	対象：ｅナースセンター登録者　225人

	事業	事業内容	実績
就労促進に関する事項	看護職員再就業支援研修	①定期研修　令和元年６月29日(土)、７月６日(土)、８月24日(土) ②随時研修　通年 ③随時研修（技術チェック研修）　通年	①受講者数（延人数）　44人 ②受講者数　１人 ③受講者数　２人
	就職ガイダンス事業	看護学生・再就職者を対象に県内病院の紹介・面談を行い、看護職員の人材確保を図る。	①民間病院就職ガイダンス 令和２年10月26日(土) 参加者数　41人 参加施設数　19施設（51人） ②県内病院就職ガイダンス 令和２年３月７日(土) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	看護職員･大学生Uターン促進事業	・病院紹介ガイドブック作成と配布 ・就職ガイダンスの案内	ガイドブック作成　1,000部 掲載施設　51施設
	養成機関共同ＰＲ事業	県内の看護師等学校・養成所ガイドブックの作成と配布	ガイドブック作成　1,500部
	看護学生就労啓発事業	・看護学生に看護協会およびナースセンターの役割と活動を紹介 ・就労定着を促進する取組みに関する情報提供	２/18(火) 富山市医師会看護専門学校　70人 ２/26(水) 富山市立看護専門学校　34人
	広報活動	・富山県看護協会ホームページ ・協会広報誌「看護とやま」 ・市町村広報誌掲載と新聞広告	「看護とやま」年発行部数 （４、７、10、１月発行）　38,000部
	ナースセンター事業運営委員会	令和２年２月４日（火） 事業実績報告書作成	事業実績報告書作成・配布　400部
訪問看護支援に関する事項	「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	令和元年６月28日(金)～12月３日(火) (eラーニング・集合研修・実習)	受講者数　21人 修了者数　20人
	訪問看護従事者等研修会	令和元年10月４日(金)	受講者数　31人
	訪問看護ステーション管理者育成研修会	令和元年７月27日(土)	受講者数　37人
看護の心普及啓発に関する事項	「看護の日」「看護週間」等ＰＲ事業	①第29回「看護の日」看護フェスティバル 令和元年５月６日(月) ・表彰式「看護職員等からの体験談」 ・授賞式「看護職のWLB推進カンゴサウルス賞」 ・紹介・相談ブース（学校紹介、健康相談、進路相談等） ・体験ブース（白衣体験、健康体操等） ②ふれあい看護体験	①参加総数　2,498人 「看護職員等からの体験談」受賞者数　６人 「カンゴサウルス賞」受賞施設数　３施設 ②参加者数（延人数）（27施設）3,354人
	高校生の一日看護見学	令和元年７月３日(水)～12日(金) (県内公的病院22施設で実施)	参加学校数 43校　申込み総数1,084人 参加者数 963人（男子37人･女子926人）
	看護普及推進事業	看護体験学習 時期:令和元年７月～９月 対象①小・中・高校生及び一般・父兄 ②学校・進路指導教員	参加学校数４校　参加者数約280人
その他	看護職員定着支援事業	①看護職員からの体験談 ②シンポジウム　令和元年11月２日(土)	①体験談応募数　146編 ②参加者　95人
	医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業	①ワークショップ　令和元年８月20日(火) ②報告会　令和元年12月18日(水) ③WLB推進事業報告書作成・配布	①参加者数　60人 ②参加者数　78人 ③WLB推進事業報告書作成・配布　300部

Ⅰ 就労促進に関する事項

1　求人・求職登録実績

（令和元年度）

月	有効求人数（人）	有効求職者数（人）	有効求人倍率（倍）	就職件数(延べ)		
				計	NC 就職	NC 以外
4	782	253	3.1	17	10	7
5	776	260	3.0	18	12	6
6	777	264	2.9	22	14	8
7	791	270	2.9	20	10	10
8	775	259	3.0	18	9	9
9	762	252	3.0	17	5	12
10	744	250	3.0	25	13	12
11	721	238	3.0	22	10	12
12	738	239	3.1	19	8	11
1	752	235	3.2	15	8	7
2	745	241	3.1	21	11	10
3	731	242	3.0	23	21	2
延べ人数	9,094	3,003	3.0	237	131	106

有 効 求 人 数･･･対象月の前月以前から繰越した求人票の募集人数
及び対象月に新規求人票を登録した求人票の募集人数
有効求職者数･･･対象月の前月以前から繰越した求職者数＋対象月に新規求職票を登録した
求職者数及び対象月に求職票を作成せずにシステム応募した求職者数
就職件数(延べ)･･･ナースセンターからの紹介、ナースセンター以外（ハローワークからの紹介、自己による
いずれか）の紹介就職による延べ件数

2　看護職員就職アドバイザー業務実績

1）相談実績

（件）

内訳 ＼ 相談件数	相談方法			相談内容（重複）					
	来所	電話	メール・郵送	勤務形態	他の職場への興味	育児	技術不安	転居	その他
3,297	378	2,630	289	254	91	89	64	54	200

2）施設訪問

(1) 目　的　ナースセンター就職アドバイザー等が病院等を訪問し、看護管理者等と面談することで、看護職員の就労状況や勤務環境等を把握し、必要に応じて情報提供や相談･助言を行うことにより、看護職員の人材確保や定着支援を推進する。

(2) 時　期　令和元年８月～10月

(3) 施設数　公的病院５、民間病院９、訪問看護ステーション３、介護老人保健施設１、特別養護老人ホーム１、小規模多機能居宅介護１、サ高住１、デイサービス１

3　移動就業相談

1）介護職場の就職説明・面談会、合同就職面接会
（主催:富山市、富山労働局・ハローワーク富山）

回	日時･場所	相談件数(件)
1	令和元年５月28日(火) 14:00～15:30 サンフォルテ	2
2	令和元年７月23日(火) 14:00～15:30 サンフォルテ	0
3	令和元年９月25日(水) 14:00～15:30 サンフォルテ	0
4	令和元年11月13日(水) 13:30～16:00 高岡テクノドーム	4
5	令和元年11月19日(火) 14:00～15:30 サンフォルテ	1
6	令和２年２月20日(木) 14:00～15:30 サンフォルテ	0

2）その他（看護フェスティバル、就職ガイダンス）

回	日時･場所	相談件数(件)
1	令和元年５月６日(月) 看護フェスティバル　グランドプラザ	5
2	令和元年10月26日(土) 民間病院就職ガイダンス 富山県看護研修センター	6
3	令和２年３月７日(土) 県内病院就職ガイダンス 【東部】富山県看護研修センター　【西部】ウィング・ウィング高岡	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3）まちの保健室を活用した相談

回	日時･場所	相談件数(件)
1	令和元年８月10日(土) 10:30～12:00 イオンモールとなみ	0
2	令和元年９月10日(火) 10:00～12:00 アピタ富山	0
3	令和元年10月19日(土) 10:00～12:00 ありそドーム	1

※協会支部活動「まちの保健室」に参加。

4　就職ガイダンスの実績

1）目的　　県内の医療機関等に就業を希望する県内外の看護学生および看護師等免許を有する者を対象に、医療機関等の施設紹介や面談、相談会の機会を提供し、看護職員の人材確保を図る。

2）主催　　富山県・公益社団法人富山県看護協会

開催日	会場	参加施設		参加者	
		内訳	数	内訳	数
令和元年10月26日(土) 県内の民間病院 14:00～16:00	富山県看護 研修センター	民間病院	19	看護学生（県内） 一般	27 14
		施設 計	19	参加者 計	41
令和２年３月７日(土) 県東部地区の病院 9:00～12:30	富山県看護 研修センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 当協会ホームページに「県内病院就職ガイダンス2020」のページを作成し、参加予定施設のプレゼン資料等を掲載した。 県東部地区：27施設 県西部地区：21施設			
令和２年３月７日(土) 県西部地区の病院 13:00～16:15	ウイング･ウイング 高岡５階				

5 看護職員就業支援事業

1）目　的　看護職の資格を持ち、再就業等を希望する看護職員等に対し、情報提供や復職に対する不安や悩み等に対する相談･助言を行い、円滑な就労･定着を支援することを目的とする。

2）内　容　就業支援専門員を公共職業安定所（ハローワーク）に派遣し、潜在看護職員等に対する就業相談等を行う。

ハローワーク	開催日	開催回数(回)	相談件数(件)
富山	第４水曜日	11 (※)	34
高岡	第３火曜日	11 (※)	32
魚津	第２水曜日	12	13
滑川	第３木曜日	12	14
氷見	第２木曜日	12	18
砺波	第３水曜日	12	23
小矢部出張所	第３火曜日	12	3
計		82	137

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため３月の就業支援相談は中止

6　ナースセンター・ハローワーク連携事業

1）目　的　看護職員の人材確保に向け、ナースセンターとハローワークの連携･協働により、公的職業紹介機関における看護職員のマッチング機能の強化を図る。

2）内　容　①連携ハローワーク：富山・高岡・魚津の３か所

②連携内容

・ナースセンター及びハローワークの双方からの支援を希望する求職者及び対象ハローワーク管轄内の求人に関する情報を共有し、医療機関や福祉施設等へあっせんを行う。

・月１回ナースセンター就業支援専門員がハローワークにおいて就業相談及び施設の見学･面接など就業までの支援を行う。

3）実績

・求職

	ナースセンター	ハローワーク	計
登録求職者	56	76	132
就業件数	20	26	46

・求人

	ナースセンター	ハローワーク	計
求人数	85	1,648	1,733
求人件数	54	1,036	1,090

4）管理選考会（求人についてマッチした求職者が集まり、企業と面接を行う）

ハローワーク富山と協議の上、今年度中止。

7　看護師等免許保持者届出事業

1）目　的　看護師等人材確保促進法が改正され、ナースセンターへの看護職が離職時等に届出を行う看護師等免許保持者届出制度が努力義務化された。この届出情報を効果的に活用することで、看護職員の潜在化を防止するとともに、看護職員確保の支援や復職支援の促進を図る。

2）対　象　病院・介護福祉施設等を離職した保健師、助産師、看護師、准看護師の免許保持者　等

3）方　法　(1) 対象者本人が直接届け出る方法
(2) 就業先が本人に代行して届け出る方法

届出者の状況

	人数
届出者数	329
ナースセンター登録希望数	193
ナースセンター登録者	132

8　看護師等就業支援サテライト事業

1）目　的　富山県ナースセンターから遠隔地にある県東部や県西部に、ナースセンターサテライトを開設し、就業に関する相談や無料職業紹介等のナースセンター事業を行うことにより、看護師等の確保を図る。

2）体　制　ナースセンターの各サテライトに、就職アドバイザーを派遣する。

3）内　容　(1) 就業を希望する看護師等および退職予定の看護師等へ情報の提供、相談等の支援を行う。
(2) 就業を希望する看護師等および退職予定の看護師等に、ナースセンターの登録を勧める。
(3) 病院等の開設者、管理者、看護師等確保推進者等に対し、看護師確保に関する情報の提供、相談等を行う。
(4) 病院等の開設者、管理者、看護師等確保推進者等に対し、ナースセンターの登録を勧める。
(5) ナースセンターやハローワーク等と密接に連携を取りながら相談に応じる。
(6) 進路相談等を行う。

4）開設場所および開設日
(1) 新川ナースセンターサテライト（黒部ショッピングセンターメルシー内）　毎月第１月曜日
(2) 射水ナースセンターサテライト（高岡厚生センター射水支所内）　毎月第１火曜日
(3) 砺波ナースセンターサテライト（砺波厚生センター内）　毎月第４木曜日

5）開設時間　10:00～16:00

6）実　績

場所	開催回数(回)	相談件数(件)
新川サテライト	12	6
射水サテライト	12	6
砺波サテライト	12	6
計	36	18

9　看護職員再就業支援研修

1）目　的　就業を希望する者、及び看護力の向上のため再就業支援研修を希望する者に対して、最近の看護についての知識及び技術を修得させ、職場復帰の促進と看護力の向上を図る。
2）主　催　富山県･公益社団法人富山県看護協会
3）対象者　県内に居住する看護職の免許所有者で現在看護業務に従事していない者

・定期研修【６月29日（土）、７月６日（土）、８月24日（土）の３日間】

研修日時	内容	場所	受講者（人）
６月29日(土) 13:30～15:30	○講義「看護の動向」 看護に関する社会の変化や動向について学ぶ 講師：富山県厚生部医務課 課長補佐　利田　智恵　氏 ○講義「多様な働き方への支援」 ナースセンターでの就業支援の実際、事例紹介等 講師：富山県ナースセンター長　松嶋　瞳　氏 ○交流会（情報交換会）	富山県 看護研修センター	15
７月６日(土) 13:30～15:30	○採血･注射･吸引等基礎技術の習得 採血・注射・吸引に関する解剖学知識を確認する 注射方法、必要な診療材料を知る等 講師：清水　直美　氏 （富山県立中央病院 感染管理認定看護師）	富山県 看護研修センター	17
８月24日(土) 13:30～15:30	○感染予防の実際 感染の知識を深め、正しい感染予防の実際を学ぶ 講師：村本　由子　氏 （市立砺波総合病院 感染管理認定看護師）	富山県 看護研修センター	12
		計（延人数）	44
		就業者数	8

・随時研修

No.	研修期間	内容	場所	受講者（人）
1	７月22日(月)、23日(火) 9:00～16:00	各病院において講義･研修（最近の看護についての実際、医療安全･感染予防・褥瘡対策等について講義）	中村記念病院	1
			計	1
			就業者数	1

・随時研修（技術チェック研修）※今年度は試験的に実施

No.	研修日時 【１～1.5時間】	内容	場所	受講者（人）
1	９月25日(土)	DVD研修、実技研修（シミュレーターを使用した輸液・採血技術練習）	富山県 ナースセンター相談室	1
2	11月11日(月)			1
			計	2
			就業者数	2

10　看護職員･大学生Ｕターン促進事業

１）目　的　県民に安心安全で質の高い医療を提供するために看護職員の安定的な確保が重要であることから、その確保対策を推進するため、県外からの看護職員や県外の看護大学進学者等に対し、県内の就職情報等を提供し、県内医療機関への就業を促進することを目的とする。

２）内　容　(1) 富山の看護職員募集案内冊子「あなたの夢をかなえるために」作成
(2) 上記内容をホームページに掲載
(3) 冊子の配布（就職ガイダンス参加者、県外進学者、県内養成所、冊子掲載病院等）
(4) 県外からの看護職員に、協会広報誌、求人情報等を送付
(5) 県外へ進学している看護学生等に、就職ガイダンスの案内を送付

11　養成機関共同ＰＲ事業

１）目　的　県内看護師等養成機関の入学者を確保するため、看護職員養成課程の概要や各校の特徴等を紹介したガイドブックを作成し、高校生の一日看護見学や県内の高等学校、中学校等に配布等により広く学生募集を行う。

２）内　容　(1) 看護師等養成機関紹介ガイドブック「看護を学びたいあなたへ」作成
(2) 上記内容をホームページに掲載
(3) ガイドブックの配布（高校生の一日看護見学参加者、県内外の高等学校、県内の中学校等）
(4) 看護フェスティバルで、県内看護師等学校紹介の掲示

12　看護学生就労啓発事業

１）目　的　看護学生に、看護師資格取得後スキルアップしながら、生涯にわたり働き続けることの必要性を啓発し、ナースセンター等が支援していることを周知することにより、就労促進を図る。

２）内　容　(1) ナースセンターの役割と活動を紹介（看護師等の人材確保の促進に関する法律含む）
(2) スキルアップしながら働き続けるために、看護協会の役割と活動について紹介
(3) 就労定着を促進する取組みに関する情報提供

３）方　法　ナースセンター長が看護師等養成学校に出向き、学生に対し講義を行う。

４）実　績

区分	学校名	講義日	参加者(人)
1	富山市医師会看護専門学校	２月18日(火)	70
2	富山市立看護専門学校	２月26日(水)	34

Ⅱ 訪問看護支援に関する事項

1 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会

1）目　的　訪問看護事業の実施に必要な基本的知識と技術を修得し、質の高い訪問看護の提供ができる。
2）対象者　(1) 訪問看護を実施している施設の看護職
　　(2) これから訪問看護を始めようとする、あるいは興味関心がある看護職
3）定　員　30 人

研修期間	内容	場所	備考
令和元年 ６月28日 （金） ～ 12月３日 （火）	・保健医療福祉の動向と訪問看護の位置づけと役割 ・訪問看護の対象の特性 ・訪問看護の効果的な展開 ・在宅ケアシステム ・訪問看護の実践に必要な看護知識、技術	【eラーニング】 自宅 ４ヶ月間 【講義】 富山県看護研修センター５日間 【実習】 病院 １日間（10施設） 訪問看護ステーション ３日間（14施設） 地域包括支援センター １日間（13施設）	受講者21人 修了者20人

2　訪問看護従事者等研修会

1）目　的　訪問看護に従事する看護職員および訪問看護に関心のある看護職員に対して、より高度な知識の習得を図り、質の高い看護の提供に資することを目的とする。
2）対象者　訪問看護に従事している、あるいは今後従事しようとする看護職者
3）定　員　30人
4）場　所　富山県看護研修センター

研修日	内容	受講者
令和元年 10月４日 （金） 9:30～16:00	【講義】「訪問看護をめぐる動向」 講師　　富山県厚生部高齢福祉課　主幹　越坂　裕子　氏 【講義・演習】　フィジカルアセスメント 講師 厚生連高岡病院　集中ケア認定看護師　松木　健宏　氏 富山大学附属病院　集中ケア認定看護師　佐藤　慎哉　氏 富山県立中央病院　集中ケア認定看護師　蔵　サユリ　氏 富山市立富山市民病院　集中ケア認定看護師　島　佳子　氏	31 人

3　訪問看護ステーション管理者育成研修会

1）目　的　訪問看護ステーションの管理･運営上の問題への取組みと人材育成について学ぶ。
2）対象者　訪問看護ステーション管理者および従事する看護職員
3）定　員　50人
4）場　所　富山県看護研修センター

研修日	内容	受講者
令和元年 ７月27日 （土） 9:30～16:00	【講義・ワールドカフェ】 訪問看護ステーション管理･運営の実際 ～幸せに働き続けられる職場を作るためのポイントは～ 講師 公益社団法人 岐阜県看護協会立訪問看護ステーション 統括管理者 野崎 加世子　氏	37人

Ⅲ 看護の心普及啓発に関する事項

1 「看護の日」及び「看護週間」等ＰＲ事業

1）「看護の日」看護フェスティバル
テーマ「看護の心をみんなの心に」
主催　富山県･公益社団法人富山県看護協会
後援　富山県医師会･富山県歯科医師会･富山県薬剤師会・富山県理学療法士会・富山市
(1) 開催日時　令和元年５月６日（月）10:00～15:00
(2) 開催場所　富山市まちなか賑わい広場「グランドプラザ」
(3) 参加人数　総数2,498人

主な実施内容	
ステージプログラム	10:00　開催 10:05　オープニング・セレモニー（富山県立富山いずみ高校） 10:10　主催者挨拶　富山県知事 10:15　式典 表彰式「看護職員等からの体験談」 応募：146 編 受賞：最優秀賞１人　優秀賞２人　特別賞３人　参加賞 140 人 授賞式「看護職の WLB 推進カンゴサウルス賞」 受賞施設：厚生連滑川病院・富山協立病院・友愛温泉病院 11:20　ステージ発表 ・風疹ワクチンの接種啓発について（感染管理認定看護師） ・禁煙に関するクイズ（慢性呼吸器疾患看護・慢性心不全看護認定看護師） 12:10　ブース紹介 13:00　元気で長生きの秘訣 ・食べることは生きること（摂食・嚥下障害看護認定看護師） ・体を動かそう～サルコペニアの予防～（富山県理学療法士会） 14:00　看護学校紹介（富山県立大学、砺波准看護学院、富山市立看護専門学校） 15:00　閉会
同時開催 体験コーナー等	○スタンプラリー ○体験等コーナー 骨密度測定、妊婦体験、赤ちゃん抱っこ体験、助産師の仕事紹介、ハンドマッサージ、心臓マッサージ、AED 体験、肌の水分チェック、紫外線対策、口腔機能チェック、脳卒中予防、フットチェック、肺年齢チェック、血管年齢・血圧・体脂肪測定、乳がん触診モデル体験、嚥下体操、嚥下調整食試食・災害支援ナースの紹介、医療用麻薬の適性使用について放射線治療の正しい知識について ○相談コーナー 健康相談、がん総合相談、禁煙相談、思春期・更年期相談、看護・介護・福祉相談、訪問看護相談、就業・進路相談 ○白衣の試着体験 ○県内の看護師等学校・養成所紹介コーナー

2）ポスター及びパンフレット等

項目	配布先
PRポスター　(260枚)	病院、医療関係施設、訪問看護ステーション、県内看護師等学校･養成所、県内県立高校、厚生センター･保健所、市町村保健センター、支部、ふれあい看護体験実施施設等
PRチラシ　(2,100枚)	

3）広報（新聞等の記事）

掲載年月日	新聞等名	主な掲載内容
平成31年４月29日 令和元年５月５日	北日本新聞	「看護の日」看護フェスティバル開催案内
平成31年４月29日	富山新聞	「看護の日」看護フェスティバル開催案内

２）ふれあい看護体験

(1) 目　　的　「看護の日」事業の一環として､看護体験や健康チェック等の交流を行う「ふれあい看護体験」を実施することにより、看護の心を伝え、看護が広く県民に理解されることを目的とする。

(2) 実施期間　５月12日の看護の日にあわせて、５月～６月に実施

(3) 内　　容　各施設で工夫をこらし、看護体験や施設見学、健康相談、健康チェック等を企画し、県民に実施する。

(4) 実施施設　県内27病院

NO	実施場所	実施日時	主な実施内容	参加人員	
				看護関係者	一般県民
1	あさひ総合病院	５月９日 9:00～11:00	【外来受付コーナー】 ・血圧測定、アロマハンドマッサージ ・認知症認定看護師による認知症相談、認知症検査 【６階いきいきサロン】 ・筋肉量検査、体力測定 ・疑似体験（白内障めがね、難聴ヘッドフォンの試着）	12	61
2	射水市民病院	６月４日 10:00～12:00	・血管年齢測定、骨密度測定 ・アロマハンドマッサージ ・介護相談、認知症予防指導 ・緩和ケア認定看護師による乳がん触診体験 ・防災コーナー、ふれあい広場	18	77
3	金沢医科大学氷見市民病院	５月16日 10:00～12:00	・看護の日のイベント紹介、看護師委員会の活動紹介 ・健康相談、血圧測定、酸素飽和度チェック ・乳がんの自己診断方法の指導 ・正しい手洗いの指導 ・タッチセラピー、オムツ相談	20	54
4	かみいち総合病院	５月13日 9:30～11:45	【小学６年生を対象に実施】 ・病院紹介、講義「命の大切さ」 ・看護体験 血圧測定、SPO２測定、心電図モニター装着 助産師による沐浴体験、車椅子乗車、 聴診器で心臓、呼吸音聴取	11	24
5	黒部市民病院	５月９日 10:00～12:00	・健康相談 血圧測定、握力測定、骨密度測定、血管年齢測定 血糖測定、生活習慣病に関する生活指導・相談 ・ハンドマッサージ体験	5	42
6	厚生連高岡病院	５月８日 9:30～14:00	・保健相談、栄養相談、骨密度測定、認知症テスト ・介護用品の展示、バルーンアートの実演、配布 ・転倒予防体操（万葉体操）の実演 ・看護体験談の掲示、認定看護師の活動紹介	132	156
7	厚生連滑川病院	５月21日 9:30～12:00	・健康相談 血圧測定、体脂肪測定、上手にごっくんチェック お風呂の入り方、ロコモティブシンドロームチェック ・アロマハンドマッサージ ・パネル展示（看護師の仕事24時、認定看護師紹介等）	9	50
8	公立南砺中央病院	５月20日 9:00～14:00	【小学３～６年生を対象に実施】 ・児童同士で血圧測定、車椅子移送 ・患者様にハンドマッサージ ・手術台で臥床、モニター装着、術衣試着、手術器械に触れる体験 ・グリッターバグでの手洗い	10	19
9	西能病院	５月11日 9:30～15:00	・血圧、骨密度、血管年齢、体組成測定 ・健康相談、栄養相談、お薬相談、介護相談 ・こつこつ体操 ・ゆったり太極拳 ・バルーンアート、紙工作	23	384
10	市立砺波総合病院	５月８日 9:00～12:00	・摂食嚥下障害看護認定看護師を中心に嚥下相談・PR ポスター展示、誤嚥予防○×クイズ 健口くんを用いた舌力測定、相談会 ・看護師による健康チェック、健康相談、血圧測定	10	91
11	真生会富山病院	５月10日 9:30～11:30	・血圧測定、健康相談 ・認知症に関する相談、チェック ・歯に関する相談 ・一次救命処置講習	13	83
12	高岡市民病院	５月11日 10:00～13:00	・骨密度測定、血管年齢測定 ・脳血管年齢測定、認知症相談 ・腹腔鏡模擬体験 ・ちびっこナース体験	27	100
13	JCHO高岡ふしき病院	5月29日 9:00～11:30	【院内デイ】 ・簡単リース作り、ラベンダー花作り 【健康よろず相談】 ・禁煙、血圧、高脂血症	11	51
14	谷野呉山病院	６月７日 14:00～16:00	・身長測定、体重測定、BMI測定、血圧測定 ・簡単にできる転倒予防体操 ・認知機能低下予防体操、ストレス解消体操	6	71

NO	実施場所	実施日時	主な実施内容	参加人員	
				看護関係者	一般県民
15	富山協立病院	5月9日 5月10日 9:30～11:30	・骨密度測定 ・血管年齢測定 ・握力測定 ・タクティールケア	15	77
16	富山県済生会高岡病院	5月13日 10:00～12:00	・血管年齢測定、血圧測定 ・フレイルチェック 握力測定、片足立ちテスト、指輪っかテスト ・誤嚥予防体操 ・健康相談	10	55
17	富山県済生会富山病院	5月14日 9:00～13:30	・アロマハンドマッサージ ・生活習慣チェック、貧血チェック、認知症テスト ・オーラルフレイルチェック・嚥下相談 ・栄養相談	13	90
18	富山県立中央病院	5月8日 9:00～11:30 5月7～10日 10:00～12:30	【小学生対象のふれあい看護体験】 ・助産師による講和「命の誕生と大切さ」 ・病棟見学、看護体験 【ふれあいイベント「看護の日」】 ・ポスター、パネル、介護用品、口腔ケア用品等の展示 ・健康相談、療養相談	30	262
19	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	5月25日 9:30～12:00	・講義「認知症を知ろう～本人のこころ～」 ・実技体験「安全・安楽な移動介助方法」 ・介護用品及び看護用具アイデア作品展示	不明	22
20	富山市立富山市民病院	5月10日 9:00～11:00 6月5日 9:00～11:30 13:00～15:30 6月7日 9:00～11:30	【「看護の日」健康チェック ５/10】 ・血圧・血糖・体脂肪測定 ・ハンドマッサージ、骨粗鬆症チェック 【ふれあい看護体験 ６/５、６/７】 ・病棟での看護体験 ・高齢者・妊婦疑似体験	25	202
21	富山赤十字病院	5月10日 9:00～14:00 5月12日 10:00～12:00	【５/10】 ・健康と認知症相談、ハンドケア、皮膚水分量 介護用品展示、AED講習、手洗い講習 病院各部署紹介ポスター掲示　等 【５/12 小学生対象ふれあい看護体験】 ・体を守る・手洗い体験、心臓の音を聞いてみよう 車いすを動かしてみよう、赤ちゃんのお世話 お風呂見学、抱っこ体験	39	152
22	富山西総合病院	5月11日 9:00～12:00	・ハンドマッサージコーナー ・減塩・卒煙・血圧測定コーナー ・血管年齢測定コーナー ・物忘れチェックコーナー ・乳がん自己触診コーナー	16	228
23	富山労災病院	5月10～16日 10:00～11:30	【院内イベント】 ・ポスター展示、認定看護師の活動紹介 看護外来の紹介、看護相談、メッセージカード配布 【院外イベント】 ・医師、看護師、薬剤師による健康相談 ・血圧、骨密度、体脂肪率、血管年齢測定 ・認定看護師による手洗い指導 ・理学療法士による転倒予防指導、白衣試着体験　等	40	235
24	藤木病院	5月9日	・ハンドマッサージ ・防災についてのプレゼンテーション放映 ・防災設備の紹介展示、防災備品の実物展示 ・備蓄品アルファ化米の試食	11	33
25	不二越病院	5月9日 10:00～16:00	・ショピングシティアピアで実施 ・血圧測定、血糖測定、体脂肪測定、乳がん触診体験 ・介護相談、健康相談、栄養相談 （高血圧、糖尿病、高脂血症、メタボリック症候群　他）	不明	114
26	公立学校共済組合北陸中央病院	6月6日 9:00～11:30	・講義「地域包括ケアシステムのなかの当院の役割」 「スキンテアについて」 ・院内施設見学 （ドック病床、一般病床、地域包括ケア病床、医療型療養病床、手術室、透析室、リハビリ室、病児保育）	不明	3
27	八尾総合病院	5月16日 9:00～12:00	・認知症予防啓発コーナー ・成人病予防・卒煙指導コーナー ・栄養相談コーナー ・在宅支援コーナー ・ハンドマッサージコーナー	不明	112

延参加人数　3,354人（参加人数が不明な施設もあり、実際はもっと多い人数となる）

2　高校生の一日看護見学

1）目　　的　高校生が看護業務と看護に対する理解を深め、看護職への進路選択の参考に資することを目的とする。
2）主　　催　富山県･公益社団法人富山県看護協会
3）対　　象　県内の高等学校に在学する生徒
4）見学者数　963人（参加学校43校、女子926人・男子37人）　※申込1,084人
5）日程及び見学病院

区分	月日	施設名	進路指導
第１回目	７月３日(水)	富山県立中央病院	富山県立総合衛生学院
		富山大学附属病院	富山赤十字看護専門学校
		かみいち総合病院	富山医療福祉専門学校
		高岡市民病院	富山県高岡看護専門学校
		富山県済生会高岡病院	富山福祉短期大学
		金沢医科大学氷見市民病院	富山県高岡看護専門学校
		市立砺波総合病院	富山県高岡看護専門学校
		公立学校共済組合北陸中央病院	国立病院機構富山病院附属看護学校
	７月４日(木)	富山県リハビリテーション病院･こども支援センター	富山県立総合衛生学院
		国立病院機構富山病院	国立病院機構富山病院附属看護学校
		富山労災病院	富山市立看護専門学校
		富山県済生会富山病院	富山福祉短期大学
		厚生連滑川病院	富山医療福祉専門学校
		あさひ総合病院	富山市立看護専門学校
		厚生連高岡病院	富山県高岡看護専門学校
		公立南砺中央病院	富山県高岡看護専門学校
	７月５日(金)	富山市立富山市民病院	富山市立看護専門学校
		富山赤十字病院	富山赤十字看護専門学校
		黒部市民病院	富山医療福祉専門学校
		射水市民病院	富山福祉短期大学
		JCHO高岡ふしき病院	富山県高岡看護専門学校
		南砺市民病院	富山県高岡看護専門学校
第２回目	７月８日(月)	富山県立中央病院	富山県立総合衛生学院
		国立病院機構富山病院	国立病院機構富山病院附属看護学校
		富山県済生会富山病院	富山福祉短期大学
		JCHO高岡ふしき病院	富山県高岡看護専門学校
	７月９日(火)	黒部市民病院	富山医療福祉専門学校
		市立砺波総合病院	富山県高岡看護専門学校
	７月10日(水)	富山大学附属病院	富山県立総合衛生学院
		高岡市民病院	富山県高岡看護専門学校
		富山県済生会高岡病院	富山福祉短期大学
		金沢医科大学氷見市民病院	富山県高岡看護専門学校
	７月11日(木)	富山県リハビリテーション病院･こども支援センター	富山県立総合衛生学院
		あさひ総合病院	富山市立看護専門学校
		富山労災病院	富山市立看護専門学校
		厚生連滑川病院	富山医療福祉専門学校
		厚生連高岡病院	富山県高岡看護専門学校
		南砺市民病院	富山県高岡看護専門学校
	７月12日(金)	富山市立富山市民病院	富山市立看護専門学校
		富山赤十字病院	富山赤十字看護専門学校
		かみいち総合病院	富山医療福祉専門学校
		射水市民病院	富山福祉短期大学
		公立学校共済組合北陸中央病院	国立病院機構富山病院附属看護学校
		公立南砺中央病院	富山県高岡看護専門学校

6）内　　容　・オリエンテーション
・院内案内
・看護業務見学
・各病院で計画した内容
・「看護の道」について説明
・座談会
・個別進路相談

3　看護普及推進事業

1）目　的　小、中、高校生など若年層をはじめ、学校教員等への看護の普及啓発を行い、看護についての理解や関心を高め、看護職員の確保を図る。

2）内　容

(1) 看護師等学校養成所における講義及び看護体験学習

	学校名	開催日	参加者（人）	内容
1	富山医療福祉専門学校	7月31日(水)	30	・ナースに変身 ・ミニ講義「ひとのからだと骨」 ・ミニ演習 ・プチナース認定書授与
2	富山県高岡看護専門学校	8月6日(火)	68	・心音、呼吸音、腸音の聴取 ・包帯の巻き方体験 ・新生児人形の沐浴体験、おむつ交換 授乳体験 ・正しい手洗い法の体験　等
3	国立大学法人富山大学 医学部看護学科	8月7日(水)	79	・講義 「4年生看護大学の特徴」 ・成人看護学模擬授業 「循環器のフィジカルアセスメント」
4	富山福祉短期大学	9月21日(土)	約100	海外の看護紹介 「ミャンマー看護の魅力」

(2) 広報・普及活動について

活動	内容
ＰＲパンフレット ＰＲポケットティッシュ等配布	ＰＲパンフレット「あなたも看護にふれてみませんか?」 及びＰＲポケットティッシュ等を看護体験学習参加者に配布
ホームページに事業内容掲載	富山県看護協会ホームページに事業概要、実施施設一覧を掲載

Ⅳ その他

1　看護職員定着支援事業

1）事業の目的

(1) 県内の看護職員等から、看護を通して得られた「忘れられない看護体験」を募集し、広報することで看護職への理解を深め、看護職員の定着推進を図る。

(2) 少子超高齢社会の進行で、今後ますます医療のみならず福祉・介護施設等で看護職員が必要とされ、看護職員確保のために勤務環境改善に取り組み、安心して働くことができる環境整備を促進することが必要である。そこで、「病院で働く看護職の賃金のあり方」の基本的な考え方について理解するとともに、「労働時間管理の適正化」「夜勤・交代勤務体制」等看護職が健康で働き続けられるよう勤務環境改善の取り組みを推進するためにシンポジウムを開催し、看護職員確保の一助とする。

2）事業実施内容

事業（行事）名	事業内容
1 看護職員の体験談募集	1）　作品募集 募集期間：平成30年12月５日～平成31年１月31日 テーマ　：看護を通して得られた忘れられない体験談やエピソード 対　象　：県内の看護職員及び看護学生 2）　表　彰 最優秀賞１名、優秀賞２名、特別賞 ３名　体験談応募原稿数　146編 日　時　：令和元年５月６日（月）「看護の日」 看護フェスティバル 場　所　：富山市まちなか賑わい広場「グランドプラザ」 3）　受賞者発表 ・受賞作品の冊子配布（看護フェスティバル参加者、新人研修受講者等） ・広報「看護とやま」に掲載 4）　広報：別刷１回　発行部数9,800部 配布先内訳 ・医療関係施設、県内養成所等 ・富山県看護協会会員
2 シンポジウム	1）　テーマ　：「看護職が安心して働き続けられるには」 2）　日　時　：令和元年11月２日(土) 13:00～16:00 3）　場　所　：富山県看護研修センター 4）　参加者　：病院看護管理者（看護師長以上、それに準ずる任にあるもの） 及び病院経営者・事務職員、看護教員等　37施設　95名 5）　基調講演「ハラスメント防止の組織体制づくりと組織風土」 講師　武蔵野赤十字病院　　看護副部長　小川　圭子　氏 6）　シンポジウム　テーマ「看護職が安心して働き続けられるには」 ①「学校におけるハラスメント」 公立学校共済組合北陸中央病院　　臨床心理士　富田　さなえ　氏 ②「訪問看護におけるハラスメント対策」 光風会訪問看護ステーション　　管理者　小原　留美　氏 ③「ハラスメントとは」 特定社会保険労務士　大浦　靖子　氏 助言者　武蔵野赤十字病院　　看護副部長　小川　圭子　氏 コーディネーター　富山県看護協会理事 （富山県済生会富山病院　看護部長　千田　昌代　氏）

２　医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業

１）目　　的　病院看護職員が健康で安心して働き続けることが可能となるよう、マネジメントシステムを用い就労環境の改善を図る。

２）目　　標

(1) ワーク・ライフ・バランス推進への取組みの一層の推進を図る。

(2) 中小・民間病院看護職員のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む医療施設を増加し、労働環境の改善の普及推進を図る。

３）実施体制

(1) ワーク・ライフ・バランスの普及推進を担う推進委員会を設置し、推進体制づくりを検討する。

(2) 推進委員会は、推進者、支援者、社会経済福祉委員、看護教育関係者、社会保険労務士、行政関係者で構成する。

(3) 富山県看護協会の社会経済福祉委員は、この事業の企画、運営に協力する。

(4) 富山県医療勤務環境改善支援センターと連携を図る。

４）参加施設　５施設

３年目　２施設　独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院、公立南砺中央病院

２年目　１施設　金沢医科大学氷見市民病院

１年目　２施設　医療法人社団良俊会ふくの若葉病院、医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院

５）実施状況

(1) インデックス調査

実施日　　令和元年６月

実施施設　５施設

(2) ワークショップ・報告会

①ワークショップ　令和元年８月20日（火）　富山県看護研修センター　（参加者：27施設、60人）

②報告会　　令和元年12月18日（水）　富山県看護研修センター　（参加者：26施設、78人）

(3) 施設訪問

①医療法人社団良俊会ふくの若葉病院

訪問日　令和元年９月３日（火）、令和元年12月24日（火）、令和２年３月18日（水）

②医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院

訪問日　令和元年９月５日（木）、令和２年３月12日（木）

(4) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告書（冊子）の作成

冊子掲載施設　28施設

発行部数　　300部

(5) WLB推進員会

①令和元年５月28日（火）　富山県看護研修センター

②令和２年２月19日（水）　富山県看護研修センター

６）令和元年度の活動とその成果

(1) 医療勤務環境改善支援センターと連携し、ワーク・ライフ・バランス推進体制のさらなる整備や中小・民間病院の参加施設の拡充、啓発活動等を行った。

①令和元年度は従来型に加え訪問型のワーク・ライフ・バランス推進事業を取り入れ、研修会の企画や報告会を行った。

②推進委員会には、取り組まれた施設の看護管理者を構成員とし、社会保険労務士会とも連携し組織強化を図った。

③中小・民間病院に関しては、施設の負担を最小限にするため訪問型とし、支援員が年間を通して訪問支援を行った。

７）まとめ

(1) 平成23年度から９年間実施し、参加施設は28施設であった。

(2) 日本看護協会と連携し行ったワーク・ライフ・バランス推進事業では、「看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告書」を作成し、県内に配布することが出来た。

(3) 今年度より県の医療勤務環境改善支援センターと連携し、看護職のみならず介護職も含めインデックス調査を行い、看護要員の働き方改革に注目することが出来た。また、訪問型中小・民間病院事業では、２年間取り組むことで他職種とともに組織全体で取り組むことが出来ている。

(4) ３年間取り組まれた公立南砺中央病院、富山労災病院に対しては「看護職のＷＬＢ推進カンゴサウルス賞」が授与された。

令和元年度　訪問看護ネットワークセンター事業報告

1　訪問看護支援強化事業

平成22年６月、厚生労働省老健局が実施した訪問看護支援事業として県の委託を受け、訪問看護ネットワークセンターを開設し２年間事業を継続する。平成24年度から県の訪問看護支援強化事業として継続実施している。

1）事業目的

訪問看護サービスを安定的に供給し在宅療養環境の充実を図るため、訪問看護のＰＲや相談対応等を行い、訪問看護の推進を図る。

2）事業内容と実績

(1) 訪問看護相談窓口（コールセンター）の開設

県民等からの訪問看護利用に関する相談や、医療機関や訪問看護ステーションからの相談、質問等に応じる。必要に応じて関係機関と連絡調整を行う。

①相談数及び相談方法

ア）相談数　　延719件（月平均59.92回）

イ）相談方法　電話相談646件（89.9％）、ファックス・メール21件（2.9％）
　　来訪等52件（7.2％）

②相談者及び相談内容

相談者	延件数	割合（％）	相談内容
訪問看護ステーション	514	71.5	診療報酬、介護報酬、訪問看護指示書等に関すること
病院	57	7.9	訪問看護ステーションの紹介 訪問看護制度・利用料に関すること
新規開設予定者	16	2.2	開設準備等に関すること
ケアマネジャー	15	2.1	医療保険の訪問看護、サービス内容に関すること
家族	10	1.4	訪問看護ステーションの紹介 サービス内容、利用料に関すること
通院患者	5	0.7	訪問看護ステーションの紹介 サービス内容、利用料に関すること
施設	1	0.1	
その他	101	14.1	研修会の案内等
合計	719		

(2) 訪問看護のPR

訪問看護サービスについて県民等に広く周知することを目的に総合病院等での相談説明会を開催。ホームページ、パンフレットの配布、イベントの参加を活用し、訪問看護のＰＲを行う。

①訪問看護普及啓発コーナー（相談会）の実施

３医療圏の総合病院６カ所で12回開催。管轄の訪問看護ステーション管理者１～２名が担当。病院毎に相談会チラシを作成し、事前に開催病院に配布。

開催病院	開催数（回）	相談者数（人）
富山県立中央病院	3	14
富山市立富山市民病院	2	8
富山大学附属病院	2	5
高岡市民病院	2	12
射水市民病院	2	9
黒部市民病院	1	5
合計	12	53

②ホームページの開設（平成22年12月１日開設）　（人）

	訪問者実数	月平均 訪問者数	訪問者延数	月平均 訪問数
平成29年度	12,229	1,019	24,230	2,019
平成30年度	11,414	951	20,248	1,687
平成31年度	12,474	1,039	19,942	1,662

③県民に対する訪問看護のＰＲ

ア）イベントでのＰＲ

	参加者（人）	内容
第29回「看護の日」看護フェスティバル	80	訪問看護相談
米寿のつどい	1,500	訪問看護相談・説明、PR
いきいきとやま・健康と長寿の祭典	419	訪問看護相談、健康相談 血圧測定
富山県地域包括ケア推進県民フォーラム	340	訪問看護紹介、相談コーナー
サンフォルテフェスティバル	96	訪問看護相談、展示 スタンプラリー

イ）新聞掲載

	掲載欄	掲載日
北日本新聞	情報かわら版	毎週木曜日
富山新聞	社会面のお知らせ欄	土・日・祝日を除く毎日

(3) 訪問看護ステーションの機能強化・拡充

訪問看護ステーションに勤務する看護職員へ訪問看護技術研修や支援を行い、医療圏域毎の事例検討会の開催や他職種との交流会を通して訪問看護ステーションの機能強化・拡充を図る。

①看看連携の推進

在宅ケア事例検討会（訪問看護推進事業）参加

関係機関への案内、事例提供者へのアドバイス、アドバイザーと事例提供者の連携、事例検討会の運営

②多職種との連携

富山県ホームヘルパー協議会研修会へ講師を派遣し、訪問介護と訪問看護の連携の強化を図る。

地区	日時	場所	参加者（人）	講師
富山 東部	10月11日（金） 18:00～20:00	飯野タウンなごみ	15	光風会訪問看護ステーション 管理者　小原　留美
富山 西部	９月13日（金） 18:00～20:00	八尾健康福祉 総合センター	22	訪問看護ステーションまめなけ 特定行為看護師　井崎　明子
高岡	９月11日（水） 18:00～20:00	JA高岡 もえぎの里	20	厚生連高岡訪問看護ステーション 管理者　一谷　志津子
新川	10月19日（土） 10:00～12:00	黒部市 社会福祉センター	14	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション 管理者　飯野　夕子
砺波	10月19日（土） 10:00～12:00	砺波まなび交流館	12	南砺市訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師　辻　令子

③その他

富山県訪問看護ステーション連絡協議会との連携・協力

ア）連絡協議会事務局理事 として役員会へ出席（年４回）

イ）平成31年度訪問看護ステーション実績調査への協力

ウ）ホームページの更新と情報提供

(4) 訪問看護運営支援アドバイザー事業

①目的　　訪問看護ステーションの安定した運営基盤を構築するために、訪問看護運営支援アドバイザーを派遣して事業所運営全般に関する助言指導を実施する。

②事業内容　アドバイザーによる運営に関する助言指導
講　師：訪問看護ステーションはーと
訪問看護認定看護師　富岡　里江　氏
開催日：令和元年11月12日（火）、13日（水）
③実施施設　５事業所
①射水ライフ・サポート訪問看護ステーション②訪問看護ステーションおうちへ帰ろう③済生会高岡訪問看護ステーション④訪問看護ステーションサンケア高岡
⑤ナーシングケアさくら

２　訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業

１）テレワーク型訪問看護ステーションモデル事業

(1) 目的　訪問看護職員の確保を図るため、柔軟な働き方が選択できる「テレワーク」を訪問看護ステーションに導入・試行することにより、看護職の確保・定着を図り、運営体制の強化や事業規模の拡大を推進する。

(2) 事業内容　クラウドサービスを活用したテレワーク（在宅勤務）を導入･試行することにより、業務の効率化やサービス管理、医療安全、労務管理上の問題点等を検証する。

(3) 実施施設　なし
事業ＰＲに努めたが、対象となる利用者、訪問看護師がいない為実施に至らなかった。

２）訪問看護トライアル雇用事業

(1) 目的　新たに訪問看護分野への就職を希望する者が、就業に際し、不安なく業務に従事することができるよう、実務経験を付与させながら、成長過程に応じた指導や助言を行い、現場での対応力・判断力を身に付けさせることにより、質の高い人材を育成･確保し、訪問看護ステーションの運営体制の強化や事業規模の拡大を図る。

(2) 事業内容　訪問看護未経験の看護職有資格者を雇用し、訪問看護業務に従事させながら、OJT等や訪問看護業務に必要な研修の受講機会を提供し、訪問看護業務に必要な知識及び技能を習得させる。

(3) 実施施設　６事業所
①訪問看護ステーションひよどり富山②訪問看護ステーションほ～っととやま③結リハビリ訪問看護ステーション④訪問看護ステーションおうちへ帰ろう⑤訪問看護ステーションジョジョ⑥ナーシングケアさくら

３　訪問看護ステーション業務改善推進事業

１）目的　ICT活用による事務作業の効率化による負担軽減により、魅力のある職場づくりを進めることで、訪問看護職員の確保・定着を図るとともに、訪問看護ステーションの運営体制の強化や事業規模の拡大を図る。

２）事業内容　訪問看護ステーションにおけるICT活用の基盤を整備する。

３）実施施設　３事業所
①魚津病院ふれあい訪問看護ステーション
②富山医療生活協同組合在宅福祉総合センターきずな訪問看護ステーション
③富山医療生活協同組合在宅福祉センターひまわり訪問看護ステーション

４　訪問看護ステーション連携加速化事業

１）目的　増大・多様化する在宅医療ニーズに対応するため、医療機関と訪問看護ステーションがそれぞれ技術の向上を図り、また人材交流による相互研修や連携会議等の開催による連携強化を図る。

２）病院看護師出向研修事業

(1) 事業内容　病院看護師が一定期間（3～6ヶ月程度）訪問看護ステーションに出向し、退院支援や訪問看護等に必要な知識や技術の習得を支援する。

(2) 実施施設

	派遣病院 受入ステーション	出向期間	出向看護師の属性・所属
1	富山県立中央病院 訪問看護ステーションひよどり富山	R1.10.1～R1.12.31	看護師　緩和ケア病棟
2	黒部市民病院 朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	R1.9.1～R1.11.30	主査看護師 内科病棟 （循環器、内分泌、腎臓）

(3) 事業評価（感想等より）

・訪問看護は病状管理に自信がない患者（医療行為なし）も対象であり、本人・家族の自宅療養の希望があればサービスを利用できることを知った。
・地域では病気は生活の一部であり、利用者や家族の生活を中心としたケアを実施することが大切であることを学んだ。
・自宅への退院は無理と考えていた方も可能であることを知った。
・地域の在宅サービスや手順を理解できた。
・地域の顔の見える関係が深まり、今後の連携に活かしたい。
・患者の生活背景にあった退院支援の実施を目指し、退院前後の自宅訪問が定着するための体制作りを担ってほしい。
・急性期病院での対応方法（ケア・処置・内服等）を知ることができるなど、情報交換ができた。
・常勤換算1.0増員で、訪問件数、回数が増え収益につながり、また休暇が取りやすくなった。
・訪問看護について理解してもらうことができ、退院前カンファレンスの必要性を再認識してもらえた。

3）病院看護師の研修受入事業

(1) 事業内容　派遣等により病院看護師を一定期間（1～2ヶ月程度）訪問看護ステーションで受入れ、訪問看護の理解を深め、退院支援に必要な知識や技術研修を行うとともに、地域包括支援センターなど関係機関との役割も学ぶ。

(2) 実施施設

	派遣病院 受入ステーション	研修期間	研修看護師の属性・所属
1	富山市立富山市民病院 光風会訪問看護ステーション	R1.10.1～R1.10.31	主任看護師 糖尿病看護認定看護師 小児・代謝内科混合病棟
2	公立学校共済組合北陸中央病院 南砺市訪問看護ステーション	R1.10.1～R1.10.31	看護師　地域包括ケア病棟

(3) 事業評価（感想等より）

・訪問看護師は、熟練した知識・経験が必要で、それを活かして利用者を支援し、利用者にとって安心材料となっている。
・在宅療養では、利用者のかかりつけ医が多種多様であり、人間関係や信頼関係が重要で関係調整能力が求められる。
・住み慣れた地域でその人らしく生活するために、訪問看護ステーションの存在は大変重要である。

4）訪問看護師スキルアップ研修事業

(1) 事業内容

・医療圏ごとの病院が、最新情報や最新の看護技術等を学ぶ研修会を開催し、訪問看護師に学ぶ機会を提供する。
・訪問看護ステーション看護師が、医療圏ごとの病院で開催される研修に参加し、医療機器に係る最新情報や看護技術を学び、訪問看護サービスの向上を図る。

(2) 実施施設

圏域	開催日	場所	参加者（人）	内容
新川	令和元年 12月14日(土)	黒部市民病院	18	がん看護研修 　中心静脈ポートの管理 　人生会議について 糖尿病に関する研修 　糖尿病の治療とケアについて 情報交換
富山	令和元年 10月８日(火)	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	5	人工呼吸器装着患者看護 嚥下管理チームについて 定期カンファレンスと退院支援 医療ケア児の看護 情報交換
	令和元年 10月25日(金)	富山県立中央病院	8	循環のフィジカルアセスメント 急変時対応 救命救急センター・ECUの実際 呼吸のフィジカルアセスメント 気管吸引手技について 人工呼吸器（在宅用）の実際 意見交換
高岡	令和元年 ９月27日(金)	厚生連高岡病院	10	人工呼吸器管理について 褥瘡管理について 緩和ストマケアについて 緩和ケアについて 疼痛緩和について 情報交換
砺波	令和元年 11月13日(水)	市立砺波総合病院	9	集中治療室　重症患者の看護 緩和ケアの看護 化学療法の看護 がん相談・がんサロン　緩和ケア科 摂食・嚥下障害の看護 認知症高齢者の看護 入退院支援の実際、情報交換

(3) 事業評価（感想等より）

・専門的な知識を学ぶことができ、不安を軽減することができた。

・病院看護師と訪問看護師の連携強化を図り、情報共有をしていくことが大切であることを再認識した。

・病院看護師と訪問看護師の連携を強化していきたい。

5　訪問看護ステーションサポート事業

1）目的　「訪問看護サポートステーション」を医療圏単位で選定し、訪問看護職員を対象とした実践的研修等の相談対応や情報交換会を開催することで、訪問看護職員の資質向上、ネットワークの構築を図り、訪問看護サービスの向上を目指す。

2）事業内容　「訪問看護サポートステーション」は圏域内の訪問看護ステーションを対象に、人材育成等に関する相談対応、個別指導及び研修の実施、並びに圏域内の情報交換会を開催する。

3）サポートステーション

医療圏	サポートステーション	電話 相談	同行 訪問	ST 訪問	研修 情報交換会
新川	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	0	0	3	5
富山	富山赤十字訪問看護ステーション	5	0	0	3
	光風会訪問看護ステーション	1	1	2	3
高岡	もみじ訪問看護ステーション	15	2	1	8
砺波	南砺市訪問看護ステーション	4	1	0	7

４）事業評価（感想等より）

・サポートステーションと傘下のステーションに温度差がある。

・同行訪問や研修会など日程調整が難しい。

・情報交換会への参加ステーションは少ないが、参加者の満足度は高い。

６　事業報告会

令和２年３月20日（金・祝）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。当協会ホームページに「訪問看護に関する事業報告会及び集団指導」のページを作成し、発表原稿等を掲載した。

令和元年度　その他の助成事業報告

1　看護政策推進のための組織強化事業

1　目的

保健師職能と協働してＰＲ媒体を作成して、アドバイザーの訪問により協会事業についての理解と促進を図る。併せて未加入施設（病院、診療所、介護福祉施設）を中心に訪問し、看護に関する課題を把握する。出前講座を開催して地域ごとに研修機会を提供する。

2　施設訪問

①訪問先（市町村保健関係機関、医療機関、介護福祉施設等）

区分	訪問数	実施日	訪問者
市、町保健師	３施設 １施設	12月13日、２月21日 １月17日	大上戸アドバイザー 向野専務
西部地区施設 東部地区施設	10施設 10施設	10月23日～11月29日 10月28日～12月３日	林アドバイザー 稲荷アドバイザー
総務委員	８施設	９月30日～11月20日	総務委員８名
合計	32施設		

②訪問内容

1）市町村保健師訪問及び産業保健師加入促進について

・保健師職能委員と協働してＰＲ媒体を作成し活用。

・市町村により加入率のばらつきがあることから加入率の低い市や町を中心に訪問。

・オンデマンド研修では保健師プログラムも充実してきていることから、説明したところ興味を持っていただいた。

・訪問以外の活動としては、保健師職能委員会による研修会において入会のメリットの説明や訪問しなかった市町村へ電話により状況の聞き取りを行った。

・市町村保健師の課題として分散配置により取りまとめる担当者がいないことや、行政の無料研修や他の保健師団体へ参加しており協会研修にメリットがないこと、新採職員の加入手続きが次年度以降となる等の課題が見えてきた。

・産業保健師加入については3月3日の研修セミナーでオリエンテーションする予定であったが、新型コロナの影響で無期限延期となった。

2）施設訪問（西部10施設、東部10施設、総務委員8施設）

(1) 会費・運営基金について

・人手がなく、年間の会費分の研修に参加できない。

・協会費を法人会員として支払いできれば助かる。

・運営基金は、個人負担なので金額大きいという意見が多かった。基金については、大規模病院に勤務歴のある方が多いことから、協会にて基金支払状況を調べることができる説明をした。基金の使用目的についてもご説明した。

(2) 受講料負担・出張扱い

・研修受講料は、施設側が負担している施設が多かった。

(3) 研修・長期研修について

・近隣の病院や厚生センターの研修、医師会主催の研修などに参加している施設もあった。

・精神科訪問看護師従事者研修について富山で実施してほしい要望があった。

・オンデマンド研修については、協会まで遠くて参加が難しいという施設に説明したところ好評であった。会員・非会員の金額の差も少なく、時間を見つけて、何度も視聴でき、施設内研修などにも利用できる説明をしたところ非常に好評であった。

・在宅福祉系ではまだ協会研修のハードルが高く感じる。
・委員会関連の研修には参加している施設が多い。
・研修会のグループワークで、他の施設の方と意見交換が有意義であるとの意見があった。
(4) ナースセンター及び求人求職について
・介護福祉士から看護に進む方が増えてきている話があった。
・ナースセンターの紹介で施設見学希望があった。
・ハローワークやナースセンターに募集してもなかなか来なく、来ても就職に繋がらない。
・届出制度については、再度、説明と届出の協力依頼をした。
(5) その他について
・訪問看護ステーションについて一般の方々にもっとアナウンスしてほしい。
・施設の奨学金を設けている施設が比較的多かった。日本看護協会の奨学金が、施設奨学金と併用できることを話すと興味を持っていただいた。

3　出前講座
・看護助手、ヘルパー等にも参加を募り、分かりやすい講義をしていただき好評であった。
・また違う出前講座では、専門的な知識を学べて良い機会であった。
・出前講座の話をすると是非来年度実施したい回答が多かった。
・研修になかなか参加できないので、研修機会をいただいた。
・日々の仕事に合わせた内容となっており、他業種の方も関心を持っていただき、質疑応答も活発に行われた。

施設名	日　時	内　容	講　師	人数	うち 看護職数
坂本記念病院	10月９日(火) 15:00～15:30	看護倫理	黒部市民病院 看護師長	27	16
桜井病院	11月28日(木) 13:00～13:30	医療安全	かみいち総合病院 認知症看護認定看護師	45	14
北聖病院	２月17日(月) 13:30～14:00	医療安全	済生会富山病院 医療安全管理者	21	13
介護老人保健施設 城端うらら	９月18日(金) 16:30～17:30	高齢者の食べることへの支援	認定看護師教育センター 摂食・嚥下障害認定看護師	17	3
中村記念病院	７月18日(木) 17:30～18:30	認知症の理解を深める	光ヶ丘病院 認知症看護認定看護師	19	13
おおやま病院	２月19日(水) 13:30～14:30	医療安全	光ヶ丘病院 認知症看護認定看護師	40	18

4　まとめ及び今後の計画
今回、保健師加入促進に伴い保健師職能と協働し、PR媒体を作成して市、町の保健師を訪問した。分散配置により取りまとめる保健師の存在などの課題が把握することができた。
今後、保健師の方は異動も多いことから、口座振替を勧め、協会研修に足を運んでいただき、協会事業についての理解と促進を図っていくことが大事であると感じた。
研修は、人手不足や遠方であることから参加できず、時間を見つけることができないとの意見であった。その中でオンデマンド研修は、とても興味深く聞いていただいた。施設の集合研修などにも活用できることから今後使用したいという声もあった。
運営基金については、支払額が大きい為、入会に躊躇する意見もあったが、基金の利用目的について、訪問し丁寧に説明を続けていく事が大事だと感じた。
また訪問することで、協会を身近に感じていただき、顔の見える関係を築くことができたことは、今後の入会促進に繋がる良い機会となった。
日看協のモデル事業としては、今年度で終了であるが、施設訪問や出前講座の必要性を検討し、総務委員会を中心に来年度も取り組んでいく。

２　訪問看護推進事業（富山県委託事業）

１）目　的

医療機関の看護師が訪問看護の現場に赴き、在宅医療移行に向けてのケアの視点や退院支援、地域連携に関する知識を養うことなどを通し、地域医療の充実と質の高い在宅療養支援体制づくりを推進する。また、訪問看護師や医療機関に勤務する看護師が、共同で在宅療養患者の療養上の課題を明確にし、対応策を検討することにより、看護師の資質向上や相互理解、連携強化を図る。

２）内　容

(1) 医療機関看護師の訪問看護ステーション研修

医療機関に勤務する看護職員が訪問看護師と同行訪問（３日）し、利用者にあった在宅療養環境の調整のあり方を理解する。また、事例検討会に参加（２回）をして、退院支援における医療機関の看護師の役割と訪問看護師との連携の在り方を理解する。

研修期間及び場所		参加者数（人）
訪問看護ステーション	在宅ケア事例検討会	
訪問看護ステーションひよどり富山 ８/５(月)・６(火)・７(水)	富山県看護研修センター　８/22(木) 富山県看護研修センター　10/17(木)	2
訪問看護ステーションひよどり富山 ８/13(火)・14(水)・15(木)	富山県看護研修センター　８/22(木) 富山県立中央病院　９/19(木)	1
訪問看護ステーションひよどり富山 ８/16(金)・22(木)・23(金)	富山県看護研修センター　８/22(木) 富山県立中央病院　９/19(木)	1
	富山県看護研修センター　８/22(木) かみいち総合病院　９/3(火)	1
高岡市医師会訪問看護ステーション ７/30(火)・31(水)・８/１(木)	厚生連高岡病院研修センター　８/23(金) 真生会富山病院　10/16(水)	1

(2) 在宅ケアアドバイザー派遣事業(事例検討会)

各医療圏域内の訪問看護ステーション及び医療機関等の看護職員等を対象に事例検討会を開催し、専門看護師、認定看護師等の専門性の高いアドバイザーを派遣し、患者・家族の現状やニーズに応じたより質の高いケアができるよう支援する。

・在宅ケア事例検討会アドバイザー

氏　名	所　属	認定看護師等
細見　由加里	黒部市民病院	がん性疼痛看護認定看護師
加藤　真理子	富山赤十字訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
小原　留美	光風会訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
辻　　令子	南砺市訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
上野　三佳	もみじ訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
加藤　麻衣	富山県立中央病院	がん看護専門看護師
鈴木　隆子	富山西総合病院	緩和ケア認定看護師
柿沢　有希子	富山県立中央病院	小児救急看護認定看護師
大工　真人	富山県立中央病院	慢性心不全看護認定看護師
大戸　登世乃	富山県中部厚生センター	地域保健班長
大田　陽子	富山市保健所	保健係長
福井　貴実子	富山県高岡厚生センター 射水支所	主幹・地域健康課長
森田　晴美	富山県高岡厚生センター	地域保健班主任
土肥　裕美子	富山県砺波厚生センター	次長・保健予防課長
久田　勢津子	市立砺波総合病院	医療技術部薬剤科長

・在宅ケア事例検討会

地区	開催日	会　場	アドバイザー	事例検討テーマ	参加者数（人）
新川	８月22日（木）	黒部市民病院	細見 加藤真	末期がん利用者の看取り ～受入れが困難な家族への関わり～	40
中部	９月３日（火）	かみいち総合病院	大戸 加藤真	在宅看取りに難渋を示していた息子を多職種で支えた関わり	33
富山	８月22日（木）	看護研修センター	加藤麻 鈴木	有料老人ホームでの末期がん利用者の看取り	24
	９月19日（木）	富山県立中央病院	柿沢 小原	重症身体障がい児をもつ家族へのかかわり	27
	10月17日（木）	看護研修センター	大田 辻	精神疾患をもつ利用者が地域で生活するための支援	34
高岡	８月23日（金）	厚生連高岡病院	森田 大工	精神疾患を有する独居の心不全利用者への関わり	32
	10月16日（水）	真生会富山病院	福井 上野	不安神経症を抱えた利用者が意思決定に困難をきたした事例	41
砺波	９月27日（金）	市立砺波総合病院	土肥 久田	HIV 脳症の利用者と精神疾患を持つ家族への支援	50

令和元年度　行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況

委託先	団体会議名	役員･委員等
富山県	富山県医療審議会・地域医療構想部会 医療法人部会　富山県医療対策協議会	委員
	富山県難病対策地域協議会	委員
	富山県新型インフルエンザ等対策検討委員会	委員
	富山県防災会議	委員
	富山県がん対策推進協議会・富山県がん対策推進県民会議	委員
	富山県母乳育児推進連絡協議会	理事
	富山県母子保健推進員連絡協議会	顧問
	富山県社会福祉審議会　高齢者福祉専門分科会 富山県あんしん在宅医療･訪問看護推進会議	委員
	富山県障害者施策推進協議会 （富山県自立支援協議会・富山県障害者差別解消協議会）	委員
	富山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	委員
	とやま県民活躍・働き方改革推進会議	委員
	富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会	委員
	富山県地域リハビリテーション推進会議	委員
	富山県認知症疾患医療連携協議会	委員
	富山県感染症対策連絡協議会	委員
	富山県国民健康保険運営協議会	委員
	富山県健康寿命日本一推進会議	委員
	公立大学法人富山県立大学経営審議会	委員
	公立大学法人富山県立大学研究協力会	理事
	富山県国民保護協議会	委員
	富山県患者情報共有による連携推進事業協議会	委員
	富山県公衆衛生学会 理事会	理事
	北陸公衆衛生学会 評議員会	評議員
	富山マラソン2019 実行委員会	委員
	富山マラソン2019 メディカル協議会	委員
	いきいきとやま・健康と長寿の祭典実行委員会	委員
	サンフォルテフェスティバル実行委員会	委員
	富山県ウィメンズフェスティバル健康・スポーツ交流大会運営委員会	委員
	富山県女性団体連絡協議会	加盟団体長
	富山県後期高齢者医療広域連合運営懇話会	委員
	富山県アレルギー疾患医療連絡協議会	委員
	富山県薬事審議会	委員
	富山県精神医療審査会	委員
	富山県水防協議会	委員
	富山県献血推進協議会	委員
	富山県骨髄バンク推進連絡協議会	委員
	特別支援学校医療的ケア体制整備事業運営協議会	委員
	第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会　富山県実行委員会	委員
	富山県原子力災害医療ネットワーク会議	委員

委託先	団体会議名	役員･委員等
富山県	新型コロナウイルス感染症対策協議会	委員
	富山県糖尿病対策推進会議	幹事
	富山県医療推進協議会	副会長
富山市	富山市地域包括支援センター運営協議会　評価委員会	委員
	富山市介護予防推進会議	委員
	富山市国民健康保険運営協議会	委員
	富山市自殺対策推進連絡会議	委員
	富山市社会福祉審議会	委員
	富山市保健所運営協議会	委員
	富山市民病院地域医療支援病院委員会	委員
	富山市病院事業経営改善委員会	委員
	富山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	代表者
	富山市防災会議	委員
	富山市生活支援体制整備推進会議	委員
	富山市地域密着型サービス等運営委員会	委員
	富山市障害者自立支援協議会	委員
	富山市障害者差別解消支援協議会	委員
高岡市	高岡市医師会訪問看護運営委員会	委員
	学校法人未来高岡 富山県高岡看護専門学校 評議員会	評議員
	富山県高岡看護専門学校修学資金審査委員会	委員
関連団体等	富山県社会福祉協議会 評議員会	評議員
	富山県高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議	委員
	富山県福祉人材確保対策会議	委員
	富山県福祉カレッジ運営委員会 富山県健康・福祉人材センター運営委員会	委員
	社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 評議員会	評議員
	医療法人財団とやま医療健康センター　評議員会	評議員
	富山県民ボランティア総合支援センター　理事会	理事
	富山県民ボランティア総合支援センター運営委員会	委員
	富山県民ボランティア・ＮＰＯ大会企画運営委員会	委員
	富山県民福祉推進会議	委員
	福祉用具・アイディアコンクール運営審査委員会	委員
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部富山県済生会 理事会	理事
	富山県済生会富山病院地域医療支援病院運営委員会	委員
	富山赤十字病院 地域医療支援病院委員会	委員
	厚生連高岡病院 地域医療支援病院委員会	委員
	女性保護富山県民協議会	理事
	富山県健康づくり財団 理事会	理事
	全国健康保険協会富山支部 評議会	評議員
	富山県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
	富山県介護支援専門員協会 理事会	理事
	第30回日本医会総会2019中部における登録	委員
	富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会	委員
	社会福祉法人セーナー苑 評議員会	評議員
	富山県医療事故調査等支援団体連絡協議会	委員

令和元年度　他団体等への推薦

委託先	委員名	任期（年）	令和元年度推薦数（人）	総数（人）
富山県	富山県新生児聴覚検査事業に係る協議会委員	2	1	1
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 リエゾンサポーターリーダー	2	1	1
	富山地域医療推進対策協議会・部会委員	2	1	1
富山市	富山市介護認定審査会委員	2	36	36
	富山市障害支援区分判定審査会委員	2	2	2
高岡市	高岡市介護認定審査会委員	2	10	10
	高岡市子ども・子育て会議委員	1	1	1
関連団体等	富山県高齢者総合相談センター専門相談員	1	2	2
	富山県高齢者総合相談センター専門相談員（認知症ほっと電話相談）	1	4	4
	全国健康保険協会富山支部健康づくり推進協議会委員	2	1	1
	富山家庭裁判所家事調停委員	2	0	3
	富山家庭裁判所委員会委員	2	0	1

令和元年度　後援・協力等依頼報告

受諾の後援等

内　　容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
第12回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会　北陸支部 年次集会	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 北陸支部	金沢大学附属病院 宝ホール	2019/６/１(土)
2019年度在宅医療支援センター 市民公開講座	新川地域在宅医療支援センター	入善まちなか交流施設 うるおい館	2019/６/８(土)
		黒部市国際文化センター コラーレ	2019/６/22(土)
公開講座 「糖尿病と腎臓病 -上手につきあうために- 」	全国腎臓病協議会 NPO法人富山県腎友会 バイエル薬品（株）	富山県民会館 ３階　304号室	2019/６/16(日)
TOYAMA.BCN.セミナー 2019 「病棟で行う乳がん看護を学ぶ」	TOYAMA.BCN.サポートチーム	富山県立中央病院 ５階ホール	2019/６/29(土) ８/24(土)
第42回富山県臨床工学セミナー	富山県臨床工学技士会	富山大学高岡キャンパス	2019/７/７(日)
子供・家族支援　児童虐待を予防する -お父さんを支える支援のあり方 PAPA CARD-	日本精神科看護協会 富山県支部	富山市民プラザ アンサンブルホール	2019/７/15 （月・祝）
2019年度 福祉のお仕事フェアinTOYAMA	富山県社会福祉協議会 富山労働局	富山国際会議場	2019/７/20(土)
摂食嚥下ケア研究会6thクール	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	高岡市民病院	2019/７/21(日)
		富山西総合病院	2019/８/４(日)
		ありそドーム	2019/12/１(日)
		出町子供歌舞伎曳山会館	2019/12/８(日)
第6147回事務・販売・サービス [含む医療・福祉] 部門 ＱＣサークル大会	ＱＣサークル北陸支部富山地区	高周波文化ホール	2019/７/25(木)
肝がん撲滅運動 肝がん撲滅フォーラム2019	日本肝蔵学会	富山国際会議場 ２階　201・202号室	2019/８/４(日)
第5回高齢者の「食」を支えるセミナー	富山県摂食嚥下障害看護 認定看護師会	富山労災病院	2019/８/31(土)
米寿のつどい	富山県米寿のつどい実行委員会 市町村　老人クラブ連合会	富山県民会館	2019/９/２(月)
		高岡テクノドーム	2019/９/５(木)
第25回日本摂食嚥下リハビリテーション 学会学術大会	第25回日本摂食嚥下リハビリテーショ ン学会学術大会運営事務局	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター	2019/９/６(金) ７(土)
第45回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会	富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター　１階	2019/９/７(土)
富山大学附属病院 がんゲノム医療市民公開講座	富山大学附属病院	富山国際会議場	2019/９/16(月)
RUN伴2019富山	RUN伴2019富山実行委員会	県内各地域	2019/９/20(金) 21(土)
第13回富山赤十字病院 公開健康講座	富山赤十字病院	富山県民会館　401号室	2019/10/12(土)
市民公開講座 「糖尿病から透析にならないために」	富山県 NPO法人富山県腎友会	となみ散居村ミュージアム 情報館１階　研究室	2019/10/13(日)
富山大学附属病院 緩和ケア市民公開講座	富山大学附属病院	富山国際会議場	2019/10/20(日)
富山県緩和ケア認定看護師会 砺波支部講演会	富山県緩和ケア認定看護師会 砺波支部	ものがたり診療所	2019/10/24(木)
第13回福祉用具の展示会	富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 富山県介護実習・普及センター	富山県総合福祉会館 （サンシップとやま）	2019/10/26(土)
感染管理認定看護師による感染対策セミナー in 富山	富山感染管理認定看護師会	富山県立中央病院	2019/11/９(土)

内　　容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
第35回東海北陸理学療法学術大会	日本理学療法士協会 東海北陸ブロック理学療法士協議会	富山国際会議場 富山市民プラザ	2019/11/９(土) 10(日)
福祉用具・アイディアコンクール	富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 富山県介護実習・普及センター	富山県総合福祉会館 (サンシップとやま)	2019/11/16(土)
第43回富山県臨床工学セミナー	富山県臨床工学技士会	富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター　1階	2019/11/24(日)
第44回富山県臨床工学セミナー	富山県臨床工学技士会	ボルファートとやま　４階	2019/11/30(土)
第33回富山県透析看護研究会	富山県透析看護研究会	富山県看護協会 看護研修センター	2019/12/ １(日)
あそんで学ぶカラダのこと	富山県移植推進財団	KNB入船こども館	2019/12/21(土) 12/22(日)
日本医療コンフリクト・マネジメント学会第9回学術大会	日本医療コンフリクト・マネジメント学会	富山市民プラザ	2020/１/25(土) 26(日)
富山県緩和ケア認定看護師会富山支部会セミナー	富山県緩和ケア認定看護師会	富山県済生会富山病院 ２階　研修ホール	2020/１/31(金)
大卒・学士（看護学・保健衛生学）取得説明会	放送大学富山学習センター	放送大学富山学習センター 講義室２	2020/２/２(日)
ベッドサイド実践講習会	富山県臨床検査技師会 日本臨床衛生検査技師会	富山大学附属病院 多目的研修室	2020/２/15(土)
2019年度北陸抗酸菌症臨床研修会 in 富山	富山大学感染予防医学講座	富山県立中央病院 ５階ホール	2020/２/22(土)
第19回富山県作業療法学会	富山県作業療法士会	砺波市文化会館	2020/２/23(日)
第6回摂食嚥下ケア特別研修会	北陸の摂食嚥下ケアを支える会 富山本部	富山県民会館 401号室	2020/２/29(土)
第6回日本医療安全学会学術総会	日本医療安全学会	東京大学 本郷キャンパス	2020/３/７(土) ８(日)
第46回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会	富山大学杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター　1階	2020/３/14(土)
とやま健康・福祉・介護フェア2020	北日本新聞社	富山産業展示館 テクノホール　西館	2020/３/15(日)
Kanazawa Coronary Conference-2020	北陸PTCA教育ライブ研究会	石川県地場産業振興センター　大ホール	2020/３/20(金) ３/21(土)
看護師就職ガイダンスin金沢2021	北陸中日新聞	金沢流通会館	2020/４/18(土)
第13回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会北陸支部学術集会	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会北陸支部	富山大学 杉谷キャンパス 日医工オーディトリアム	2020/５/30(土)
第24回富山県理学療法学術大会	富山県理学療法士会	上市町北アルプス文化センター 大ホール	2020/６/21(日)
目的別入学説明会（Aコース）	放送大学 富山学習センター	放送大学 富山学習センター 講義室２	2020/６/30(火) 他
肝がん撲滅フォーラム2020	日本肝臓学会	富山国際会議場 多目的会議室 201・202号室	2020/８/１(土)
第16回金沢口腔フォーラム	金沢口腔フォーラム 石川県歯科医師会 石川県歯科衛生士会 ティーアンドケー㈱	石川県地場産業振興センター 大ホール	2020/８/30(日)
第18回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	日本臨床医学リスクマネジメント学会	富山大学　黒田講堂	2020/９/12(土) ９/13(日)

令和元年度　訪問看護ステーションひよどり事業報告

1　平成８年８月訪問看護事業開始。平成12年４月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所を開設。介護保険改定に伴い、平成19年４月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。平成26年３月31日で居宅介護支援事業を廃止。４月より訪問看護事業のみとなる。

2　地域・他機関連携
・富山県訪問看護ステーション連絡協議会（総会・管理者会参加）
・射水市在宅医療・介護連携推進協議会
・射水市在宅医療・介護連携推進協議会情報共有ツールワーキング部会参加
・射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会
・在宅ケア事例検討会
・射水在宅医療カンファレンス
・在宅いみずネットワーク多職種連携協働研修会

3　研修会出席
【富山県看護協会主催】
・訪問看護ステーション管理者育成研修会
・「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会
【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】
・管理者研修会・研修会
・地区別勉強会
【その他】
・富山県在宅褥瘡セミナー
・射水市在宅医療と介護を考える市民公開講座
・北信がんプロ：2019年度看護実践セミナー
・令和元年度訪問看護講師人材養成研修会
・2019日本看護サミット・訪問看護サミット
・令和元年度高岡医療圏保健・医療・福祉関係者合同情報交換会
・在宅生活を考えるリハビリテーション研修会
・富山県在宅医療支援センター研修会

4　訪問看護実習の受け入れ

施設名／研修名	期間	人数
富山福祉短期大学	令和元年５月13日～８月30日	４名
高岡市立看護専門学校	令和元年９月２日～10月25日	10名
がん看護臨床実践研修	令和元年７月22日～７月25日	２名
訪問看護師養成講習会	令和元年11月20日～11月29日	３名
認定管理者教育課程セカンドレベル	令和元年８月１日～８月２日	２名
ケアマネージャー在宅医療研修	令和元年11月21日	１名
神戸常磐大学短期大学部	令和元年７月25日～７月26日	２名

5　職員体制（令和２年３月現在）
常勤換算　5.9名
勤務形態
管理者　１名
常勤看護師　４名
非常勤看護師　４名

令和元年度訪問看護活動実績

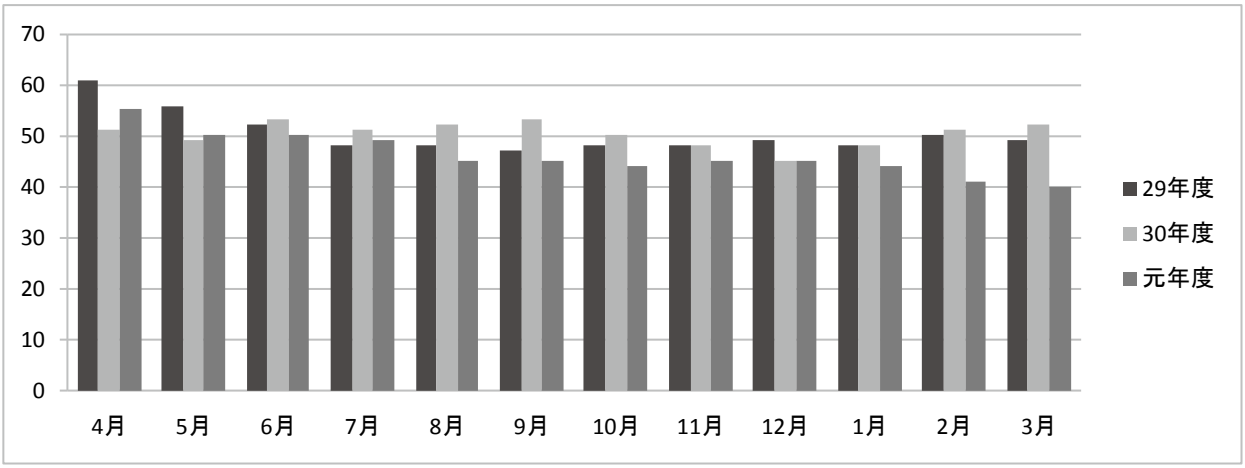
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数＊		20	18	20	22	21	19	21	20	21	15	18	21	236	19.7
利用者状況	登録者数	55	50	50	49	45	45	44	45	45	44	41	40	553	46.1
	利用者数	55	50	50	49	45	45	44	45	45	44	41	40	553	46.1
	介護保険	37	35	33	34	32	30	31	31	32	31	28	25	379	31.6
	医療保険	16	16	17	17	14	15	13	14	13	13	15	15	178	14.8
	新利用者数	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	1	1	8	0.7
	終了者	2	3	1	1	3	2	2	0	2	1	5	2	24	2.0
訪問状況	訪問延回数	337	328	282	365	324	319	340	306	295	295	300	312	3,803	316.9
	医療保険訪問	149	138	131	198	153	157	168	149	160	144	152	188	1,887	157.3
	複数訪問	0	0	13	37	31	33	33	30	30	28	40	39	314	26.2
	平均訪問回数	16.8	18.2	14.1	16.5	14.7	16.7	16.1	15.3	14.0	19.6	16.6	14.8	193.4	16.1
終了内訳	死亡	1	0	1	1	1	1	1	0	2	1	2	1	12	1.0
	入院	1	4	3	4	1	0	0	0	1	0	0	0	14	1.2
	入所	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4	0.3
	軽快	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0.3
依頼状況	居宅支援事業所	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	1	1	8	0.7
	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	要介護１	7	7	6	4	5	6	6	7	7	7	7	5	74	6.2
	要介護２	10	10	10	11	9	8	8	7	8	5	6	5	97	8.1
	要介護３	8	7	6	6	8	8	7	9	8	8	7	7	89	7.4
	要介護４	4	4	4	5	4	3	2	3	3	3	2	1	38	3.2
	要介護５	7	8	7	5	5	5	8	6	5	7	8	8	79	6.6
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険利用	17	17	16	16	13	15	14	12	13	13	15	15	176	14.7
利用者年齢	平均年齢	73.8	75.1	75.1	74.7	74.5	74.2	74.9	75.6	74.2	73.7	75.7	72.9	894.4	74.5
	65歳未満	13	11	12	12	11	11	11	11	11	11	10	12	136	11.3
	65～69歳	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	32	2.7
	70～74歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	75～79歳	8	6	5	4	3	3	3	3	3	2	3	3	46	3.8
	80～84歳	11	11	11	11	9	9	9	11	10	10	10	10	122	10.2
	85～89歳	13	12	12	12	12	12	11	11	11	10	9	7	132	11.0
	90歳以上	6	6	6	5	4	6	6	6	7	6	6	4	68	5.7
連携	退院前カンファレンス	3	1	0	2	0	1	1	0	0	1	2	0	11	0.9
	担当者会議	0	0	2	3	2	2	1	3	3	0	1	0	17	1.4
	地域包括ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

＊実働日数には休日・祝日は含まれない

訪問看護ステーションひよどりの年度別推移

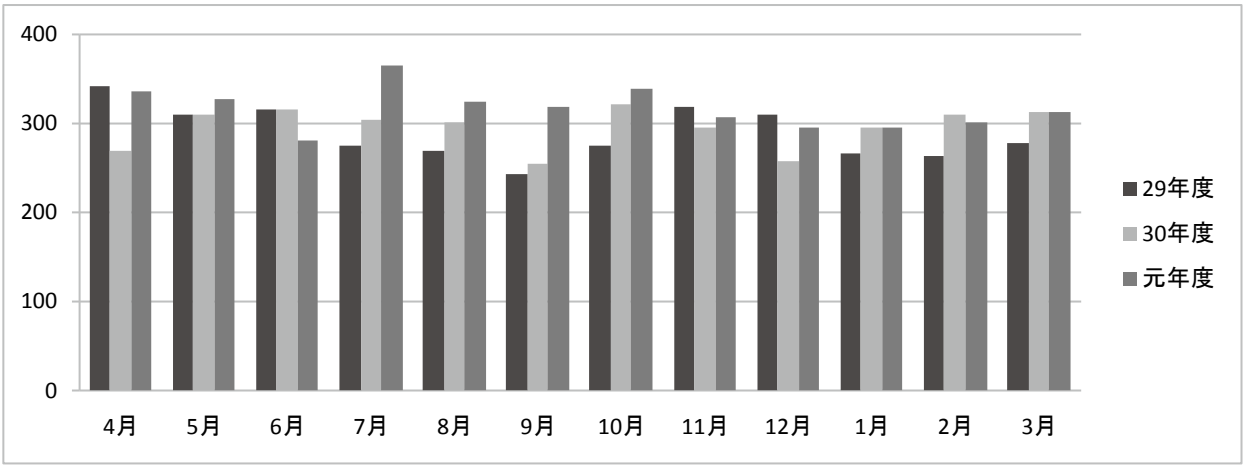
1　利用者の月別・年度別推移

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	61	56	52	48	48	47	48	48	49	48	50	49	604
30	51	49	53	51	52	53	50	48	45	48	51	52	603
元	55	50	50	49	45	45	44	45	45	44	41	40	553



2　訪問回数の月別・年度別推移

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	342	310	317	275	268	243	275	320	311	265	263	279	3,468
30	269	310	317	303	302	255	322	294	258	295	310	312	3,547
元	337	328	282	365	324	319	340	306	295	295	300	312	3,803



令和元年度　訪問看護ステーションひよどり富山事業報告

1　平成10年10月訪問看護事業開始。平成12年４月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所開設。事業拡大に向け平成19年４月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。訪問看護事業は平成20年10月訪問看護ステーションいそべと合併し中規模ステーションとして10年あまり経過。平成24年度より定期巡回随時対応型訪問介護看護（連携型）事業開始７年経過。

2　地域・他機関連携
・富山県訪問看護ステーション連絡協議会参加（(総会・管理者会）
・富山地域医療推進対策協議会　がん部会参加
・西エリア医療・介護連携推進会議実行委員会参加
・訪問看護ネットワークセンター事業へ参加
・富山大学医学部看護学科関連教育施設運営協議会へ参加
・富山大学医学部看護学科（講師）
・富山県立総合衛生学院（講師）

3　研修会出席
【富山県看護協会主催】
・がん看護臨床実践研修公開講座　がん看護援助法「がんの症状マネジメント」
・がん看護シリーズ1　がん性疼痛看護、緩和ケアにおける症状コントロール（基礎編）
・訪問看護ステーション管理者育成研修会
・保健師助産師看護師等実習指導者講習会
・在宅ケア事例検討会
・訪問看護従事者等研修会
・現場に活かせる最新褥瘡ケア
・せん妄の理解とケア
・地域包括ケアⅠ　入院前から始める入退院支援
・地域包括ケアⅡ　事例から学ぶ医療と介護の連携
・高齢者に多い呼吸器、循環器疾患のケア
・訪問看護師スキルアップ研修
【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】
・管理者研修会・研修会
・地区別勉強会
【富山市医師会主催】
・西エリア在宅医療・介護連携推進研修会
・富山市医師会主催在宅医療研修
・在宅医療市民公開講座
・アドバンスケアプランニング
【その他】
・富山市保健所主催：難病療養相談会　脊髄小脳変性症の理解と在宅医療
・富山県主催：富山県ハラスメント対策研修
・日本訪問看護財団主催：精神障害者の在宅看護セミナー
・日本訪問看護財団主催：訪問看護サミット2019
・富大小児看護学主催：小児医療的ケア実技研修会
・富山在宅医療協議会主催：高齢者における便通異常など胃腸症状への対応
・富山市民病院主催：臨床倫理後援会「急性期病院での身体抑制解除への意識改革」
・大塚製薬工場主催：ライブ配信「新たな認定看護師制度」

4　訪問看護実習の受け入れ

施設名／研修名	期間	人数
富山大学医学部看護学科	平成31年４月８日～７月12日	25名
富山市医師会看護専門学校	平成31年４月17日～７月26日	９名
富山市立看護専門学校	令和元年５月20日～10月４日	９名
富山県立総合衛生学院	令和元年６月６日～６月25日	６名
富山医療福祉専門学校	令和元年７月16日～７月30日	２名
神戸常盤大学短期大学部看護学科	令和元年７月22日～７月29日	３名
がん看護臨床実践研修	令和元年７月24日～７月25日	１名
認定看護管理者研修セカンドレベル	令和元年８月１日～８月２日	３名
医療機関に勤務する看護師の訪問看護研修	令和元年８月５日～８月23日	５名
訪問看護師養成講習会	令和元年11月５日～11月７日	１名
ケアマネジャー在宅医療と看護の連携研修	令和元年11月12日	１名

5　職員体制（令和２年３月現在）

常勤換算　7.6名

勤務形態

管理者　１名

常勤看護師　５名

非常勤看護師　５名

令和元年度訪問看護活動実績

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数＊		21	19	20	22	21	19	22	19	20	19	18	21	241	20.1
利用者状況	登録者数	54	58	60	59	60	57	57	51	53	53	53	54	669	55.8
	利用者数	50	55	54	53	52	52	49	47	48	48	49	49	606	50.5
	介護保険	28	32	29	28	28	28	27	25	29	28	28	27	337	28.1
	医療保険	20	23	25	25	24	24	22	22	19	20	21	22	267	22.3
	新利用者数	2	4	4	3	3	3	2	2	4	3	2	4	36	3.0
	終了者数	0	0	2	4	2	5	3	7	2	3	2	3	33	2.8
訪問状況	訪問延回数	298	325	311	326	294	298	314	270	282	256	258	340	3572	297.7
	医療保険訪問	129	147	142	150	136	148	145	139	129	108	120	177	1670	139.2
	複数名訪問	3	6	7	6	4	7	5	7	11	13	14	5	88	7.3
	利用者平均訪問回数	14.2	17.1	15.6	14.8	14.0	15.7	14.3	14.2	14.1	13.5	14.3	16.2	178	14.8
終了内訳	死亡	0	0	2	2	2	1	3	4	1	1	1	2	19	1.6
	入院	1	2	0	2	0	4	0	2	1	0	0	1	13	1.1
	入所　（ショート）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
	軽快	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0.2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1
依頼状況	居宅介護支援事業所	1	2	1	0	2	1	0	1	1	3	0	3	15	1.3
	地域包括支援センター	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	1	6	0.5
	医療機関	0	2	3	3	0	1	2	1	1	0	2	0	15	1.3
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援	2	2	2	2	3	2	2	2	4	4	3	2	30	2.5
	要介護　1	9	9	10	10	8	6	5	4	3	4	4	6	78	6.5
	要介護　2	5	5	4	4	5	6	5	5	5	5	6	6	61	5.1
	要介護　3	3	3	2	2	1	3	1	2	2	3	3	2	27	2.3
	要介護　4	2	6	5	5	5	5	6	6	6	6	4	3	59	4.9
	要介護　5	8	7	6	6	6	6	6	5	6	6	5	5	72	6.0
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0/0
	医療保険利用	20	23	25	25	24	24	22	21	21	20	21	22	268	22.3
利用者年齢	平均年齢	76	76	75	74	75	76	75	74	76	76	76	76	904.1	75.3
	３歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	３歳から14歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12.0	1.0
	15歳から39歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24.0	2.0
	40歳から64歳	5	5	6	6	5	5	6	6	5	6	6	4	65.0	5.4
	65～69歳	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	3	4	32	2.7
	70～74歳	8	8	8	8	7	9	9	8	8	8	8	8	97	8.1
	75～79歳	10	10	12	16	14	14	14	12	12	11	11	12	148	12.3
	80～84歳	4	4	5	6	6	8	7	8	8	7	7	6	76	6.3
	85～89歳	7	7	7	5	6	7	7	7	9	10	10	12	94	7.8
	90歳以上	8	7	6	8	8	9	7	7	8	8	7	7	90	7.5
連携	退院前カンファレンス	1	2	0	2	2	1	0	1	0	0	5	0	14	1.2
	担当者会議/緊急カンファ	2	5	0	0	2	0	0	0	5	6	1	2	23	1.9
	地域包括ケア会議	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	保健・福祉関係	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0.2

＊実働日数には休日・祝日は含まれない

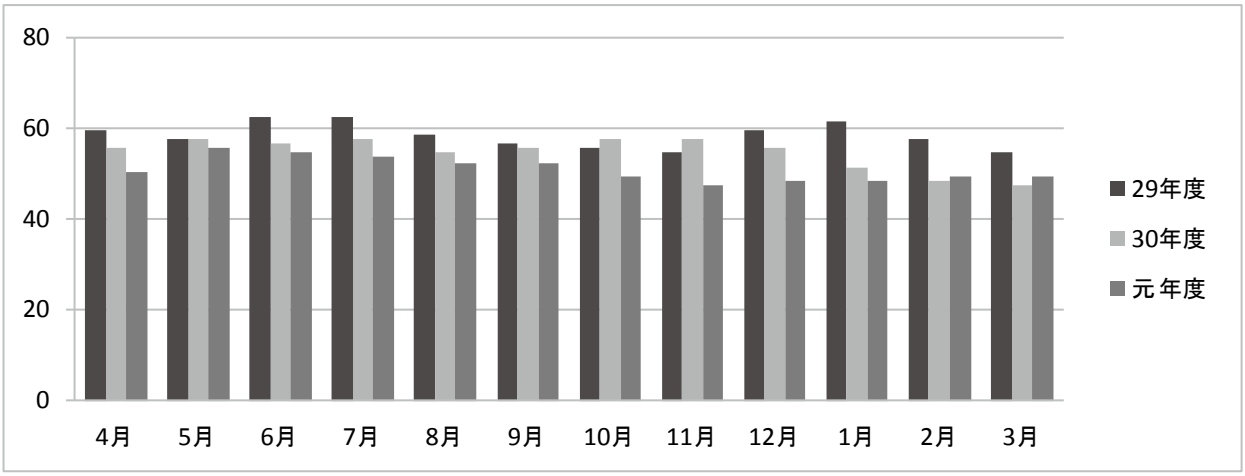
令和元年度定期巡回随時対応型訪問介護看護（連携型）活動実績

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
利用者状況	登録者数	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	43	3.6
	新規利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
	モニタリング実施数	2	3	2	3	2	2	3	4	4	4	5	5	39	3.3
	終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
訪問状況	訪問看護契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	訪問回数(介護保険)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
終了内訳	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	入院	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	入所　（ショート）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	軽快	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
依頼状況	居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要介護　1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	0.9
	要介護　2	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	9	0.8
	要介護　3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	0.9
	要介護　4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.2
	要介護　5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険訪問看護利用者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5	0.4
利用者年齢	平均年齢	85	89	85	89	85	85	89	85	85	85	85	85	102.9	85.8
	65歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5	0.4
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.2
	75～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	80～84歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	85～89歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	90歳以上	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	8	0.7

訪問看護ステーションひよどり富山の年度別推移

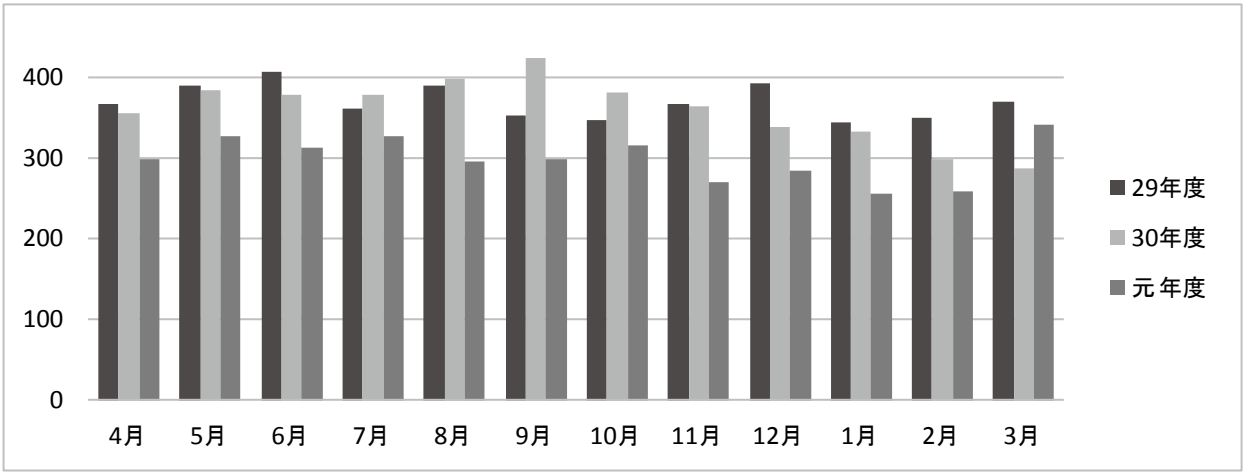
1　利用者数の月別・年度別推移

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	59	57	62	62	58	56	55	54	59	61	57	54	694
30	55	57	56	57	54	55	57	57	55	51	48	47	649
元	50	55	54	53	52	52	49	47	48	48	49	49	606



2　訪問延回数の月別・年度別推移

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	364	387	405	360	387	352	344	366	390	343	348	368	4,414
30	353	381	375	375	397	422	378	361	338	330	297	285	4,292
元	298	325	311	326	294	298	314	270	282	256	258	340	3,572



令和元年度　ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告

1　平成12年４月介護保険法施行により訪問看護事業と併設にて指定居宅介護支援事業所開設。
事業拡大に向け平成19年４月より訪問看護事業と居宅介護支援事業分離。令和元年度に居宅介護支援事業所指定を令和７年度まで更新。

2　地域・他機関連携
・富山市介護支援専門員協会総会への参加
・Ｇブロック地域のネットワークづくり事業参加
・ひよどり富山訪問看護ステーション合同事例検討会参加

3　居宅介護支援利用者満足度調査

4　研修会出席
【富山県主催】
・主任介護支援専門員更新研修
・富山県ハラスメント対策研修会
【富山市主催】
・富山市医療介護連携研修会
【富山市医師会主催】
・ACP研修会
【地域包括支援センター主催】
・情報交換会
・医療介護連携推進会議
【富山県介護支援専門員協会主催】
・ファシリテーター養成研修会
・主任介護支援専門員研修
・管理者研修会
・ケアマネージメント研修
【その他】
・神明・五福校下内居宅介護支援事業所交流会

4　職員体制（令和２年３月現在）

常勤換算	2.3名
勤務形態	
管理者	１名
常勤介護支援専門員	１名
非常勤介護支援専門員	１名

令和元年度居宅介護支援事業活動実績

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
認定調査件数			5	4	9	4	5	1	8	6	5	6	5	4	62	5.2
給付管理	要支援１		1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0.4
	要支援２		2	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	38	3.2
	要介護１		31	26	27	26	25	29	29	32	32	30	30	31	348	29.0
	要介護２		14	16	16	18	19	19	19	19	18	22	22	22	224	18.7
	要介護３		8	9	7	7	6	6	7	7	5	5	7	7	81	6.8
	要介護４		6	6	7	7	8	11	11	11	12	7	6	6	98	8.2
	要介護５		6	6	5	5	7	6	6	8	5	7	7	9	77	6.4
	小計		68	68	67	68	69	74	75	80	75	74	75	78	871	72.6
	加算	新規	4	1	3	2	3	6	4	3	0	5	2	5	38	3.2
		入院時情報連携	1	2	3	0	1	5	3	2	4	1	1	0	23	1.9
		退院・退所連携	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	3	8	0.7
		小規模　他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
		小計	5	3	7	2	4	12	8	6	4	8	3	8	70	5.8
支援内容	社会資源の調整	徘徊ＳＯＳ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
		減額	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	5	0.4
		介護手当て	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
		オムツ支給	0	1	1	4	1	3	0	0	0	0	0	1	11	0.9
		配食	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	0.4
		ミドルステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		地域ケア会議	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.2
	住宅改修工事	申請	1	2	3	0	2	0	0	1	2	1	1	2	15	1.3
		完了	0	0	2	0	1	2	0	0	1	2	1	2	11	0.9
	福祉用具	例外給付申請	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3	0.3
		購入　他	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	2	1	8	0.7
	小計		4	4	9	5	6	6	6	2	7	4	4	7	64	5.3
	医療・介護施設連携		19	8	8	6	8	7	7	5	7	5	8	2	90	7.5
	サービス担当者会議		11	15	17	13	13	10	14	15	9	6	10	12	145	12.1

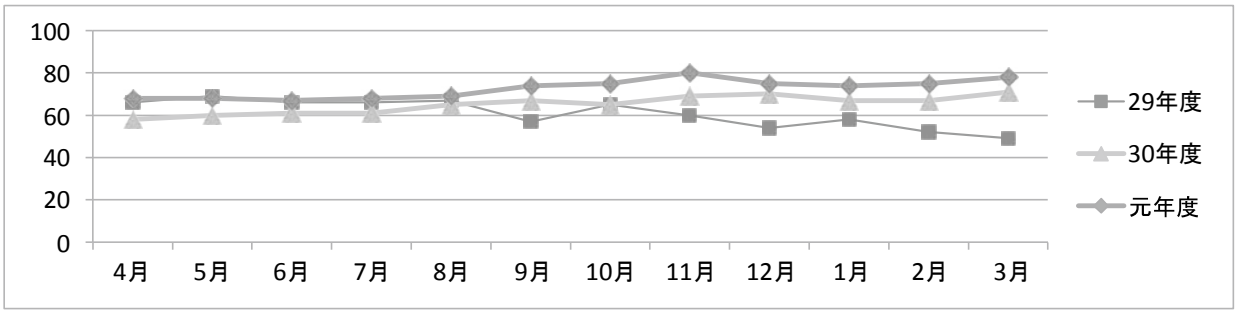
総合相談	時間内	ＴＥＬ	155	133	155	144	171	150	185	175	123	146	154	188	1,879	156.6
		来所	11	9	9	12	19	18	13	15	13	16	14	10	159	13.3
		訪問	128	136	145	133	122	137	135	174	130	140	122	125	1,627	135.6
		合計	294	278	309	289	312	305	333	364	266	302	290	323	3,665	305.4
	時間外	ＴＥＬ	15	13	5	5	10	13	10	9	10	16	7	6	119	9.9
		来所	0	6	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8	0.7
		訪問	15	7	11	9	6	7	15	8	5	9	12	3	107	8.9
		合計	30	26	16	14	16	20	26	18	15	25	19	9	234	19.5

研修会	1	2	4	2	2	3	4	3	3	2	1	0	27	2.3

ひよどり富山居宅介護事業所の年度別推移

1　ケアープラン作成件数の推移

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	新規利用者
29	66	69	66	66	67	57	65	60	54	58	52	49	729	40
30	58	60	61	61	65	67	65	69	70	67	67	71	781	29
元	68	68	67	68	69	74	75	80	75	74	75	78	871	33

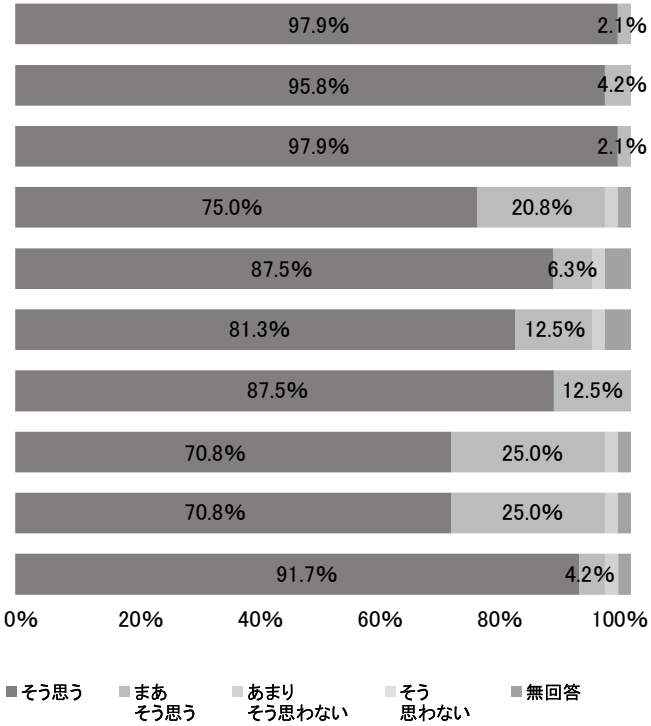


2　認定調査件数の推移

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	2	5	5	7	4	6	4	0	7	2	3	6	51
30	5	6	5	4	6	2	4	3	5	3	3	11	57
元	5	4	9	4	5	1	8	6	5	6	5	4	62

3　令和元年度　居宅介護支援利用者満足度調査結果 (対象者 74 名中 48 名回答　回収率 64.86%)

接遇	1	ケアマネの言葉使いや態度は丁寧ですか
	2	ケアマネは、話しやすく良く話を聞いていますか
	3	ケアマネは、相談や要望に対して素早く対応をしていますか
サービス内容	4	ケアマネは、介護保険についてわかりやすく説明をしていますか
	5	ケアプランは、ご利用者ご家族の要望や希望が反映されたものとなっていますか
	6	ケアマネは高齢者福祉サービス等についても丁寧にアドバイスをしていますか
	7	今、利用されているサービスに満足されていますか
	8	介護保険の利用により、ご利用者様の生活は改善しましたか
	9	介護保険の利用により、ご家族様の介護負担は軽減できていますか
総合	10	全般的にケアマネの対応に満足されていますか



調査の結果、全ての項目で「そう思う」と「まあそう思う」をあわせて90%台となり、概ねご利用者様・ご家族様からの満足は得られている。

令和元年度　神明・五福地域包括支援センター事業報告

平成18年４月１日から富山市より業務委託を受け、事業を開始した。平成24年度、平成29年度に再委託を受け事業を継続している。

１　事業内容

１）一般介護予防事業

①介護予防把握事業
②介護予防普及啓発事業
③地域介護予防推進事業
④介護予防訪問相談指導事業
⑤介護予防ふれあいサークル事業
⑥介護予防推進リーダー事業

２）介護予防・生活支援サービス事業

①介護予防ケアマネジメント事業
②介護予防教室事業

３）包括的支援事業

①総合相談事業
②権利擁護事業
③包括的・継続的マネジメント支援事業
④認知症総合支援事業
⑤生活支援体制整備事業
⑥在宅医療・介護連携推進事業

４）任意事業

①認知症高齢者見守り支援事業

５）指定介護予防支援事業

２　実習生受け入れ

施設名／研修名	期　　間	人数(人)
富山福祉短期大学	令和元年７月８日～７月９日 令和元年８月26日～８月27日	2 2
訪問看護師養成講習会受講者	令和元年10月31日	2
富山いずみ高校	令和元年５月11日～５月12日 令和元年６月１日～６月２日 令和元年６月11日～６月12日 令和元年10月５日～10月６日	1 2 2 2
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	令和元年８月１日、２日、５日	3

３　主な研修会参加状況

・地域包括支援センター職員研修会
・高齢者虐待対応研修会
・富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会研修
・地域包括支援センター連絡協議会研修会
・生活支援コーディネーター研修
・介護サービス苦情・相談担当者研修会
・成年後見制度利用促進研修会

４　職員体制

管理者（社会福祉士）１名
主任介護支援専門員　１名
看護師　　１名

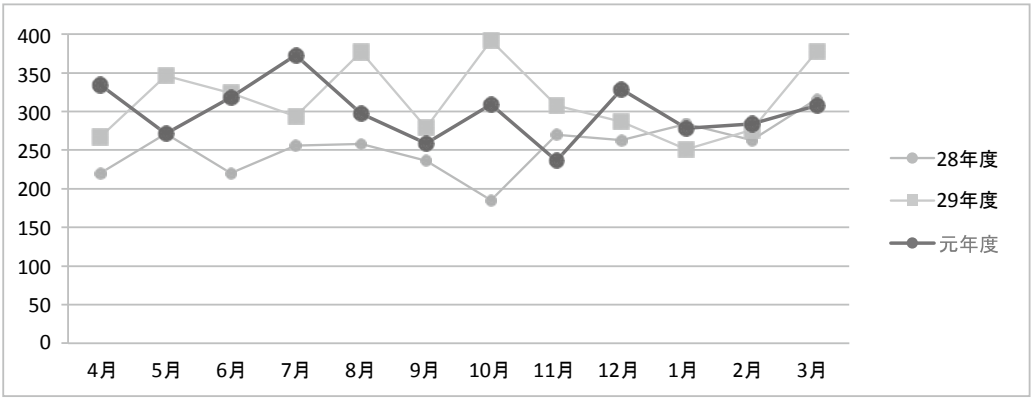
令和元年度神明・五福　地域包括支援センター　事業活動実績

区分＼月		H31 4	R1 5	6	7	8	9	10	11	12	R2 1	2	3	合計
総合相談	ＴＥＬ	189	142	180	203	164	152	167	133	167	164	191	180	2032
	来所	22	26	12	22	14	14	20	21	31	22	13	21	238
	訪問	123	103	126	148	119	93	122	82	131	92	80	107	1326
	合計	334	271	318	373	297	259	309	236	329	278	284	308	3596
実態把握	事業対象者	65	11	5	19	24	18	13	3	8	4	9	18	197
事業対象者 介護予防教室		0	0	0	0	0	4	5	3	0	0	0	0	12
地域ケア会議等		2	1	2	1	0	1	1	0	1	0	1	0	10
介護予防、認知症 地域説明会等		5	7	7	6	2	3	2	5	4	1	5	0	47
予防給付、介護予防 ケアマネジメント費		121	124	127	129	123	139	141	145	134	130	128	127	1568
認定調査		9	5	8	7	5	7	7	6	10	5	9	8	86
主な研修会		2	3	4	5	1	4	7	3	5	1	3	1	39

神明・五福地域包括支援センターの年度別推移

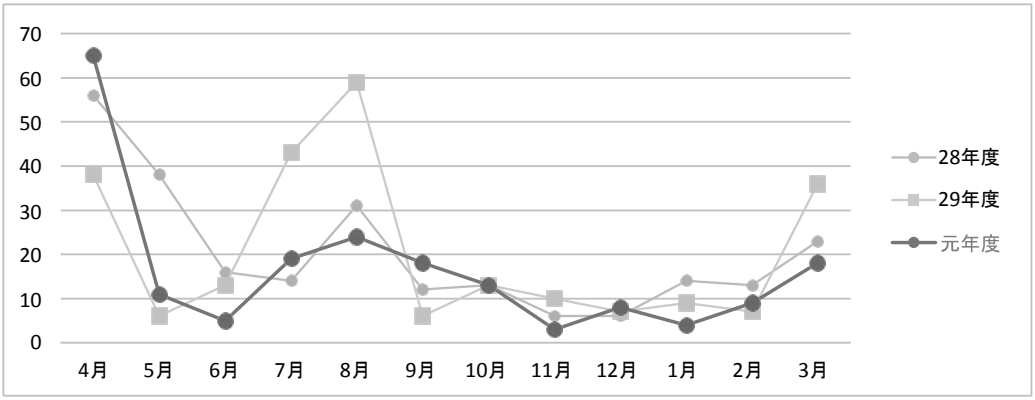
1　総合相談（電話・来所・訪問）

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	220	271	220	256	258	236	185	270	263	284	263	316	3,042
30	267	346	324	294	377	279	392	308	287	251	276	378	3,779
元	334	271	318	373	297	259	309	236	329	278	284	308	3,596



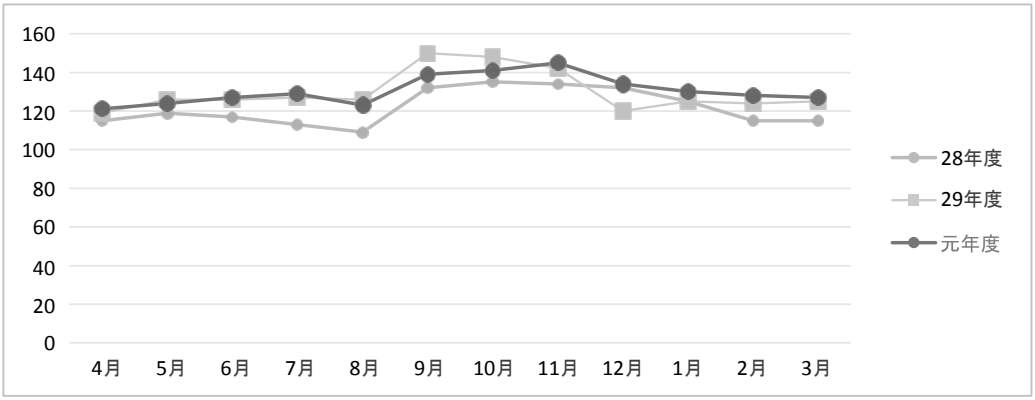
2　実態把握（事業対象者）

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	56	38	16	14	31	12	13	6	6	14	13	23	242
30	38	6	13	43	59	6	13	10	7	9	7	36	247
元	65	11	5	19	24	18	13	3	8	4	9	18	197



3　予防給付 介護予防 ケアマネジメント費

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	115	119	117	113	109	132	135	134	132	125	115	115	1,461
30	119	126	126	127	126	150	148	142	120	125	124	125	1,558
元	121	124	127	129	123	139	141	145	134	130	128	127	1,568



4　事業対象者介護予防教室

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	0	0	0	0	0	5	8	8	3	0	2	0	26
30	0	0	0	0	0	4	4	4	0	0	1	0	13
元	0	0	0	0	0	4	5	3	0	0	0	0	12

5　地域ケア会議

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4	9
30	0	2	1	0	0	3	1	1	1	1	0	0	10
元	2	1	2	1	0	1	1	0	1	0	1	0	10

6　介護予防 認知症 地域説明会

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	8	8	2	8	2	5	6	9	4	4	3	3	62
30	5	7	8	4	1	2	5	3	4	4	6	1	50
元	5	7	7	6	2	3	2	5	4	1	5	0	47

7　認定調査

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	14	6	8	7	6	3	10	7	4	13	3	4	85
30	6	11	7	9	4	7	14	5	5	9	6	11	94
元	9	5	8	7	5	7	7	6	10	5	9	8	86

8　主な研修会

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
29	4	3	4	5	3	9	5	1	6	8	9	3	60
30	2	1	4	1	5	7	2	5	3	3	4	1	38
元	2	3	4	5	1	4	7	3	5	1	3	1	39

令和２年度　富山県行政への要望事項

第１回目　令和元年８月26日実施（対　総合政策局長、厚生部長）

１　看護の質の向上について

(1) 第51回（2020年）日本看護学会―看護教育―学術集会への支援

2020年９月に富山県で開催する標記学会の運営について、ご支援いただきたい。

(2) 特定行為にかかる看護師の研修制度の推進

県内において特定行為研修が計画的に実施、受講できるよう支援をお願いしたい。

① 県内の特定行為研修機関、協力施設等との情報共有及び連携強化

② 受講生への経済的支援（県内での受講も対象にしていただきたい）

③ 訪問看護ステーションの看護師が研修を受けられるよう、人事交流等の体制整備

(3) 認定看護師教育への支援

認定看護師教育センターへの支援を2020年度まで継続をお願いしたい。また、特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師の養成について､県内で開催できるよう前向きに検討していただきたい。

(4) 県立大学看護学部における看護職員へのキャリア支援

県立大学看護学部において、その教育環境･人的資源を活用し、県内に働く看護職員のスキルアップやキャリア支援を行うためのセンター等の開設をお願いしたい。

(5) 県立大学看護学部による県内の保健師・助産師の育成確保

大学専攻科を設置し、県内の保健師・助産師の育成確保をお願いしたい。

また、将来的には２年間の大学院教育をお願いしたい。

(6) 介護施設等における看護の質の向上

介護施設等においては、１施設当たりの看護職員数が少なく、長期研修への参加が困難なことに加え、研修の体系化が十分になされていないことから、育成・定着を支援し、離職を防止する取組みとして、入職者教育及びラダーの導入も含め看護管理者教育の充実支援をお願いしたい。

２　看護職の働き方改革の推進

(1) 看護職のセカンドキャリアへの支援

定年後も働き続けるためのセカンドキャリアをスムーズに行うための支援をお願いしたい。

①医療機関や施設等における60歳以降の就業希望者の雇用状況について実態調査の実施

②60歳以降の就業希望者への相談会や研修会の実施

③ナースセンターへの届出制度の周知と協力支援

平成27年10月から「看護師等の届出制度」が開始されたが、届出が少ない状況にあるので、診療所や潜在看護師への届出制度の更なる周知をお願いしたい。

(2) 医療勤務環境改善支援センター 病院サポート事業の継続

ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップには、これまで28施設が取組み、成果を上げた。昨年度からは、中小民間病院を対象として訪問型の医療勤務環境改善支援センター事業を実施している。

長時間の夜勤や短いインターバルでの夜勤は慢性疲労を引き起こし､患者の安全や看護師の健康、生活との両立困難を招くことから、平成31年４月から働き方改革関連法が施行されたことを受け、今後はその実態を把握し、病院、団体、介護施設の理解のための啓発活動支援及び改善指導をお願いしたい。

(3) 子育て支援の充実

育児休業後に復帰する場合、地域によっては保育施設への入所が大変困難であり、復帰に困難感を抱く職員が多い。院内保育施設は収容人数や年限に限りがあるため、公的保育施設の拡充、学童保育の開始時間や放課後対策の充実、病児保育の促進についてより一層市町村へ働きかけていただきたい。

３　看護領域の開発・展開について

(1) 訪問看護ネットワークセンターを「訪問看護推進支援センター」に機能強化

訪問看護ネットワークセンターを平成22年に開設し、訪問看護のPRや相談支援を行っているが、医療介護のニーズが増大する2025年に向け、訪問看護に係る様々な課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化や推進支援を図る拠点として、「訪問看護推進支援センター」として強化していただきたい。

訪問看護師の育成や管理者の養成研修等及び日看協で作成された訪問看護ステーションのラダーに沿った教育計画の構築や研修体制の強化等人材育成に取り組んでいただきたい。また、県内の病院や大学等と協力し、新卒看護師を対象とした訪問看護師の育成プログラムの作成等育成体制の整備・検討をお願いしたい。

(2) 訪問看護師等のハラスメント対策への支援

訪問看護師は、基本的には一人で利用者が生活する場に訪問することから、身体的、精神的暴力やセクシャルハラスメントなどを受ける可能性がある。安全で安心な訪問サービスを提供するため必要時には複数名で訪問しているが、これらの暴力行為等を受けた場合には離職要因ともなりかねないことから、今年度策定された国のマニュアルを踏まえ、今後はその活用について協議の場を設けていただきたい。

(3) 院内助産と助産師外来の拡充

院内助産と助産師外来拡充を行うには、医療機関や地域におけるアドバンス助産師の育成及び活用推進が重要になる。看護協会では、アドバンス助産師の活用について実態調査を行うことにしているが、その調査結果を基に、産科医会・母子医療センター等の関係機関による検討の場を設置していただきたい。

(4) 保健師の計画的な人材確保、育成及び適切な配置への支援

① 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けた体制整備が求められている。このため、新たに必要となる保健師等の医療専門職の配置を県内市町村に働きかけていただきたい。また、全国の好事例等を参考に、県でも国民健康保険事業と高齢者保健事業及び介護予防事業を横断する部署やポストの設置をお願いしたい。

② 市町村における統括保健師の配置促進について、自治体に向けて働きかけていただきたい。

③ 富山県保健師人材育成ガイドライン（平成25年3月策定）の見直し（県の保健師キャリアラダーの作成等）をお願いしたい。

(5) 精神障害者にも対応した地域包括ケアにおける看護提供体制の構築

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、訪問看護ステーションでは精神障害にからむ困難事例への対応が増えているが、精神障害者の地域生活を支える訪問看護ステーション拡大のために、系統立てた研修の開催をお願いしたい。

(6)「人生の最終段階における医療・ケア」の推進

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」が平成30年３月に改訂されたところである。在宅等での看取りが増加する中、本人の望みを踏まえたものとなるよう県民への普及・啓発をはじめ、看護職、訪問看護、施設等も含めた医療・ケアチームによる取組みの推進をお願いしたい。

(7) 大災害発生時の連携体制の推進

災害支援ナースの育成や登録、各種防災訓練に参加するなど災害対策を推進しているが、引き続き災害支援ナースの活用促進等県との連携をお願いしたい。

また、県における災害時受援体制の整備の推進をお願いしたい。

第２回目　令和元年11月22日実施（対　富山県知事）

１　県立大学看護学部に大学院及び専攻科の設置

(1) 専門看護師などより高度な看護人材を育成するため、富山県立大学に看護系の大学院を設置し、２年間の大学院教育をお願いしたい。

(2) 大学専攻科を設置し、県内の保健師・助産師の育成確保をお願いしたい。

２　訪問看護・在宅医療の推進

(1) 2025年を見据えて、増大する在宅医療に係る看護分野での需要を踏まえて、在宅医療に係る看護職員の育成・確保に努めていただきたい。

(2) 訪問看護ネットワークセンターについて、様々な課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化や訪問看護の質向上を図る拠点（仮称「訪問看護推進支援センター」）として機能強化する支援をお願いしたい。

第３回目　令和２年１月28日実施（対　富山県知事）

１　県立大学に大学院（修士課程）を設置すること

専門看護師などより高度な看護人材を育成するため、県立大学に看護系の大学院を設置すること。

２　県立大学において保健師及び助産師を育成すること

県立大学に大学専攻科を設置するなど、県内の保健師及び助産師の育成・確保を図ること

令和元年度　富山県看護協会　施設別・職種別会員数

令和２年３月31日現在

施設名	保	助	看	准	合計
国立大学法人富山大学附属病院	1	44	657	0	702
独立行政法人国立病院機構　富山病院	0	0	93	0	93
独立行政法人国立病院機構　北陸病院	0	0	62	0	62
独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	1	5	197	0	203
独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院	6	0	76	1	83
富山県立中央病院	0	60	659	0	719
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	0	0	156	0	156
富山市立富山市民病院	1	18	495	0	514
高岡市民病院　看護科	8	15	304	0	327
黒部市民病院	4	27	308	0	339
金沢医科大学氷見市民病院	0	0	190	6	196
射水市民病院	0	0	145	0	145
市立砺波総合病院	7	28	383	0	418
あさひ総合病院	0	0	85	1	86
かみいち総合病院	5	10	124	2	141
南砺市民病院	3	0	125	4	132
公立南砺中央病院	1	0	70	1	72
富山市立富山まちなか病院	1	2	25	0	28
富山赤十字病院	3	41	422	1	467
富山県済生会富山病院	2	2	232	0	236
富山県済生会高岡病院	0	19	192	1	212
厚生連高岡病院	25	20	514	0	559
厚生連滑川病院	7	8	162	2	179
公立学校共済組合　北陸中央病院	1	1	118	1	121
医療法人社団七徳会　魚津病院	0	0	9	0	9
医療法人社団睦心会　あさなぎ病院	0	0	16	0	16
医療法人社団東方会　おおやま病院	0	0	18	8	26
医療法人社団樫の木会　大島くるみ病院	0	0	4	0	4
医療法人社団信和会　魚津神経サナトリウム	0	0	1	0	1
温泉リハビリテーション　いま泉病院	0	0	2	0	2
医療法人社団弘仁会　魚津緑ヶ丘病院	0	0	8	4	12
医療法人社団アルペン会アルペンリハビリテーション病院	0	0	15	0	15
医療法人社団寿山会　あおい病院	0	0	3	0	3
池田リハビリテーション病院	0	0	11	1	12
医療法人社団博啓会　アイ・クリニック	3	0	1	0	4
あいARTクリニック	0	0	2	0	2
医療法人社団悠心会　うさかクリニック	0	0	2	0	2
医療法人社団あずさ会　駅南あずさ病院	0	0	3	0	3
医療法人社団アルペン会アルペン室谷クリニック	0	0	1	0	1
医療法人社団基伸会　栗山病院	0	0	1	0	1
かんすいこうえんレディースクリニック	0	3	0	0	3
けやきひふ科	0	0	2	0	2
医療法人社団友愛病院会　黒部温泉病院	0	0	4	0	4
医療法人あずさ会　川田病院	0	0	1	0	1
北川内科クリニック	0	0	2	0	2
特定医療法人財団五省会　西能病院	0	0	74	4	78
医療法人真生会　真生会富山病院	0	0	158	2	160
常願寺病院	0	0	8	0	8
医療法人社団平成会　桜井病院	0	0	4	0	4
セーナー苑診療所	0	0	9	1	10
医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院	0	0	67	2	69
医療法人明心会　柴田病院	0	0	2	0	2
医療法人社団志貴野会　サンバリー高岡病院	0	0	10	0	10
医療法人社団仁敬会　坂本記念病院	0	0	2	0	2
医療法人社団清幸会　島田病院	0	0	2	0	2
医療法人社団志貴野会　サンバリー福岡病院	0	0	3	0	3
医療法人社団マイクリニック　さたけ産婦人科	0	7	7	1	15
特定医療法人財団五省会　西能みなみ病院	0	0	28	2	30

施設名	保	助	看	准	合計
女性クリニックWe富山	0	0	1	0	1
佐伯レディースクリニック	0	2	0	0	2
瀬尾内科医院	0	0	1	0	1
医療法人社団スバル杉野脳神経外科病院	0	0	2	0	2
さかい内科クリニック	0	0	1	0	1
富山医療生活協同組合　富山協立病院	0	0	69	0	69
医療法人社団城南会　富山城南温泉病院	0	0	20	4	24
医療法人高岡みなみハートセンターみなみの杜病院	0	1	19	2	22
医療法人社団和敬会　谷野呉山病院	1	0	30	2	33
医療法人社団三医会　となみ三輪病院	0	0	3	1	4
医療法人社団寿恵会　つざわ津田病院	0	0	10	2	12
緑心会　砺波サナトリウム福井病院	0	0	2	0	2
医療法人社団城南会　富山城南温泉第二病院	0	0	11	0	11
チューリップ長江病院	0	0	14	3	17
医療法人社団藤聖会　富山西総合病院	1	0	114	1	116
医療法人新川病院	0	0	4	0	4
流杉病院	0	0	31	2	33
沼内科医院	0	0	4	0	4
南砺家庭地域医療センター	0	0	1	0	1
長田整形外科クリニック	0	0	1	0	1
医療法人財団正友会　中村記念病院	0	0	3	0	3
医療法人社団尽誠会　野村病院	0	0	2	0	2
不二越病院	6	0	65	2	73
医療法人北聖病院	0	0	3	0	3
光ヶ丘病院	0	0	61	16	77
医療法人深川病院	0	0	3	1	4
医療法人社団良俊会　ふくの若葉病院	0	0	14	0	14
医療法人財団恵仁会　藤木病院	0	0	4	0	4
医療法人社団健心会　坂東病院	0	0	9	0	9
医療法人社団萩野医院	0	0	3	0	3
姫野病院	0	0	1	0	1
医療法人社団秋桜　丸川病院	0	0	20	4	24
政岡内科病院	0	0	8	0	8
特定医療法人社団三医会　三輪病院	0	0	9	0	9
南富山中川病院	0	0	3	0	3
医療法人社団藤聖会　八尾総合病院	0	0	23	1	24
医療法人社団矢野神経内科医院	0	0	1	0	1
特定医療法人財団博仁会　横田記念病院	0	0	28	5	33
医療法人社団友愛病院会　友愛温泉病院	0	0	9	0	9
医療法人社団親和会　富山西リハビリテーション病院	0	0	45	5	50
医療法人社団秀林会　吉見病院	0	0	1	0	1
医療法人社団吉本レディースクリニック	0	11	4	3	18
医療法人社団友愛病院会　陽和温泉病院	0	0	2	0	2
富山県厚生部医務課	2	0	1	0	3
富山県厚生部健康課	8	0	0	0	8
富山県経営管理部人事課	1	0	0	0	1
富山県厚生部高齢福祉課	3	0	0	0	3
富山県 厚生部 厚生企画課	1	0	0	0	1
富山県厚生部障害福祉課	1	0	0	0	1
富山県高岡厚生センター	13	0	0	0	13
富山県新川厚生センター	9	0	0	0	9
富山県新川厚生センター 魚津支所	5	0	0	0	5
富山県中部厚生センター	9	0	0	0	9
富山県砺波厚生センター	11	0	0	0	11
富山県高岡厚生センター　射水支所	5	0	0	0	5
富山県砺波厚生センター 小矢部支所	4	0	0	0	4
富山県高岡厚生センター氷見支所	5	0	0	0	5
富山県心の健康センター	3	0	0	0	3

令和２年３月31日現在

施設名	保	助	看	准	合計
富山県がん総合相談支援センター	0	1	3	0	4
富山県高岡児童相談所	1	0	0	0	1
富山県立砺波学園	1	0	0	0	1
富山県立高志支援学校	0	0	2	0	2
富山市福祉保健部介護保険課	1	0	0	0	1
富山市福祉保健部障害福祉課	3	0	0	0	3
富山市福祉保健部長寿福祉課	4	0	1	0	5
富山市役所こども支援課	0	0	1	0	1
富山市まちなか総合ケアセンター	5	2	5	0	12
富山市まちなか総合ケアセンター病児保育室	0	0	1	0	1
富山市役所こども育成健康課	9	0	0	0	9
富山市役所保険年金課	1	0	0	0	1
富山市立堀川保育所	0	0	1	0	1
富山市立福島保育所	0	0	1	0	1
富山市保健所	13	0	2	0	15
富山市中央保健福祉センター	12	0	0	0	12
富山市大沢野保健福祉センター	5	0	0	0	5
富山市大山保健福祉センター	4	0	0	0	4
富山市八尾保健福祉センター	3	0	0	0	3
富山市西保健福祉センター	8	0	0	0	8
富山市南保健福祉センター	9	0	0	0	9
富山市北保健福祉センター	9	0	0	0	9
高岡市福祉保健部	26	0	0	0	26
高岡市きずな子ども発達支援センター	0	0	1	0	1
魚津市健康センター	8	0	0	0	8
魚津市役所社会福祉課	6	0	0	0	6
氷見市役所健康課	9	0	0	0	9
氷見市市民部福祉介護課	3	0	0	0	3
滑川市民健康センター	6	0	0	0	6
滑川市役所 福祉介護課	4	0	0	0	4
黒部市役所	17	0	0	0	17
砺波市健康センター	19	0	0	0	19
砺波地方介護保険組合	1	0	0	0	1
小矢部市民生部健康福祉課	15	0	0	0	15
南砺市健康課保健センター	6	0	0	0	6
南砺市役所健康課	1	0	0	0	1
南砺市城端さくら保育園	1	0	0	0	1
南砺市役所こども課	1	0	0	0	1
射水市保健センター	19	0	0	0	19
舟橋村役場生活環境課	3	0	0	0	3
中新川広域行政事務組合介護保険課	2	0	1	0	3
ふなはしこども園	0	0	1	0	1
上市町役場福祉課	6	0	1	0	7
立山町健康福祉課	12	0	0	0	12
入善町保健センター	6	0	0	0	6
富山県健康増進センター	5	0	6	0	11
富山市医師会健康管理センター	4	0	4	0	8
北陸予防医学協会	0	1	4	0	5
ＪＦＥマテリアル株式会社	1	0	0	0	1
北陸電力株式会社富山健康管理センター	3	0	0	0	3
南砺市地域包括支援センター	1	0	0	0	1
介護施設　日和野	0	0	1	0	1
訪問看護ステーションほのぼの	0	0	4	0	4
訪問看護ステーションジョジョ	0	0	1	0	1
訪問看護ステーションゆりかご	1	0	4	0	5
株式会社ラ・ファミーユ	0	0	2	0	2
訪問看護ステーションほ～っととやま	0	0	1	0	1
高岡市医師会訪問看護ステーション	2	0	3	0	5
氷見訪問看護ステーション	0	0	6	0	6
滑川市医師会訪問看護ステーション	0	0	1	0	1
南砺市訪問看護ステーション	0	0	16	0	16
朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション	0	0	3	0	3
下新川郡医師会　黒部訪問看護ステーション	0	0	1	0	1

施設名	保	助	看	准	合計
社会福祉法人富山城南会しみずまち敬寿苑訪問看護ステーション	1	0	3	0	4
ポラリス訪問看護ステーション	0	0	1	0	1
ものがたり訪問看護ステーション	0	0	2	0	2
もみじ訪問看護ステーション	0	0	7	0	7
東岩瀬訪問看護ステーション	0	0	1	0	1
光風会訪問看護ステーション	0	0	3	0	3
アルペン室谷訪問看護ステーション	0	0	1	0	1
高志訪問看護ステーション	0	0	4	0	4
中新川訪問看護ステーション	0	0	6	0	6
ケアーズ訪問看護リハビリステーションとやまインター	0	0	3	0	3
訪問看護ナースソフィアにいかわ	0	0	1	0	1
特別養護老人ホーム藤園苑	0	0	4	0	4
社会福祉法人梨雲福祉会　特別養護老人ホーム梨雲苑	0	0	12	1	13
社会福祉法人特別養護老人ホームおあしす新川	0	0	1	0	1
社会福祉法人喜寿会　特別養護老人ホーム七美ことぶき苑	0	0	1	0	1
特定医療法人財団五省会　介護老人保健施設みどり苑	1	0	5	4	10
介護老人保健施設さくら苑	0	0	1	0	1
介護老人保健施設シルバーケア羽根苑	0	0	1	0	1
介護老人保健施設おおぞら	0	0	8	3	11
介護老人保健施設チューリップ苑	0	0	3	0	3
介護老人保健施設ゆうゆうハウス	0	0	2	0	2
老人保健施設 白雲荘	0	0	1	0	1
老人保健施設シルバーケア今泉	0	0	1	0	1
大沢野老人保健施設 かがやき	0	0	1	0	1
入善老人保健施設こぶしの庭	0	0	5	2	7
医療法人社団藤聖会　上市老人保健施設つるぎの庭	0	0	2	0	2
八尾老人保健施設風の庭	0	0	9	4	13
社会福祉法人三寿会　ケアハウス三寿荘	0	0	1	0	1
養護老人ホーム志貴野長生寮	0	0	1	0	1
特定非営利活動法人デイサービスこのゆびとーまれ	0	0	2	0	2
富山型デイサービスくわの里	0	0	1	0	1
社会福祉法人新川むつみ園	0	0	1	0	1
つくしの家	0	0	1	0	1
高志ライフホーム	0	0	1	0	1
株式会社ＳＵＤＡＣＨＩリハビリ倶楽部	0	0	1	0	1
社会福祉法人くるみ	0	0	1	0	1
富山福祉短期大学	2	1	3	0	6
公立大学法人富山県立大学看護学部看護学科	4	7	35	0	46
富山県立富山いずみ高等学校　看護科	0	1	12	0	13
富山県立総合衛生学院	4	3	12	0	19
富山赤十字看護専門学校	1	1	7	0	9
富山市立看護専門学校	0	1	10	0	11
富山市医師会看護専門学校	0	2	14	0	16
公益社団法人砺波医師会　砺波准看護学院	0	1	3	0	4
富山医療福祉専門学校	0	1	9	0	10
富山県高岡看護専門学校	5	3	17	0	25
富山病院附属看護学校	0	0	3	0	3
公益社団法人富山県看護協会	1	1	9	0	11
訪問看護ステーションひよどり	0	0	8	0	8
神明・五福地域包括支援センター	0	0	2	0	2
訪問看護ステーションひよどり富山	0	0	9	0	9
富山県看護連盟	1	0	2	0	3
ひよどり富山居宅介護支援事業所	0	0	2	0	2
（順不同）					
会員施設（232施設）	463	350	7,268	113	8,194
個人会員	29	38	551	16	634
合計	492	388	7,819	129	8,828

令和元年度　受賞者名簿

種　別	受賞者	所　属（表彰時）
春の叙勲　瑞宝単光章	長　木　雅　子	元国立大学法人富山大学附属病院 特定医療法人社団三医会三輪病院
	西　村　静　代	元富山県済生会高岡病院 医療法人社団良俊会ふくの若葉病院
秋の叙勲　瑞宝双光章	金　山　洋　子	元富山県済生会富山病院 介護老人保健施設みどり苑
日本看護協会長表彰	土　井　ちえ子	元富山県がん総合相談支援センター
	増　山　三津子	元高岡市民病院
富山県知事部門功労表彰	家　城　美和子	元富山市立富山市民病院
	太　田　和　美	かみいち総合病院
	岡　田　芳　美	元富山赤十字病院
	竹　澤　和　美	南砺市民病院
	練　合　正　子	元富山市保健所西保健福祉センター
富山県看護協会長表彰	相　澤　幸　子	医療法人社団和敬会　谷野呉山病院
	石　倉　善　子	元富山市こども家庭部
	越　前　正　美	高岡市民病院
	髙　木　雅　美	金沢医科大学氷見市民病院
	田　又　真由美	黒部市民病院
	沼　田　佳奈子	富山県新川厚生センター魚津支所
	平　田　千　秋	黒部市健康増進課
	松　島　範　子	元富山県新川厚生センター
	満　間　信　江	富山赤十字看護専門学校
	吉　沢　紀　子	富山県立中央病院

令和元年度　富山県看護協会　役員及び委員名簿

●役員（25人）

役職名	氏　名	施　設　名
会　長	大　井　きよみ	公益社団法人富山県看護協会
副 会 長	稲　村　睦　子	富山県立総合衛生学院
副 会 長	井　上　享　子	医療法人社団博啓会アイ・クリニック
専務理事	向　野　勝　美	公益社団法人富山県看護協会
常任理事	田　村　雅　子	公益社団法人富山県看護協会
保健師職能理事	吉　田　智　子	富山県高岡厚生センター
助産師職能理事	岡　本　里　美	富山県立中央病院
看護師職能Ⅰ理事	神　保　浩　子	富山市立富山市民病院
看護師職能Ⅱ理事	坪　内　奈津子	社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム梨雲苑
監　事	下　崎　ふみ子	富山県済生会高岡病院
〃	三日市　麻紀子	国立大学法人富山大学附属病院
〃	四十万　文　男	四十万文男公認会計士事務所
理　事	秋　山　朝　子	厚生連高岡病院
〃	安　倍　淑　子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
〃	浦　野　妃路美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
〃	金　岡　亨　子	小矢部市民生部健康福祉課
〃	高　木　雅　美	金沢医科大学氷見市民病院
〃	高　山　由紀子	黒部市民病院
〃	竹　澤　和　美	南砺市民病院
〃	千　田　昌　代	富山県済生会富山病院
〃	松　井　紀　子	市立砺波総合病院
〃	森　　太貴子	富山赤十字病院
〃	米　山　美智代	高岡市民病院
〃	渡　辺　富美子	厚生連滑川病院
〃	野　口　翔　也	医療法人社団藤聖会富山西総合病院

●保健師職能委員（８人）　○副委員長

氏　名	施　設　名
井　内　沙希子	富山県立総合衛生学院
○　金　田　千恵子	入善町保健センター
金　兵　留　美	南砺市地域包括支援センター
黒　田　綾　子	舟橋村役場生活環境課
田　中　恵美子	富山市まちなか総合ケアセンター
田　中　千　尋	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
中　村　有　紀	射水市子ども子育て総合支援センター子ども発達相談室
森　田　晴　美	富山県高岡厚生センター

●助産師職能委員（８人）　○副委員長

氏　名	施　設　名
池　田　琴　美	黒部市民病院
片　林　雅　代	富山赤十字病院
北　野　亜希子	富山県立中央病院
竹　澤　玲　美	高岡市民病院
○　武　田　ひとみ	富山市立富山市民病院
谷　口　康　子	厚生連滑川病院
野　末　　緑	厚生連高岡病院
林　　貴　子	市立砺波総合病院

看護師職能Ⅰ委員（８人）　○副委員長

氏　名	施　設　名
○　臼　田　喜美子	富山市立富山市民病院
浦　本　かおり	黒部市民病院
中　林　明　子	富山県立中央病院
深　田　智　美	高岡市民病院
二　谷　鶴　美	富山県済生会高岡病院
細　木　美奈子	厚生連高岡病院
丸　池　小百合	国立大学法人富山大学附属病院
井　波　久美子	金沢医科大学氷見市民病院

●看護師職能Ⅱ委員（８人）　○副委員長

氏　名	施　設　名
○　佐々木　志津恵	流杉病院
柴　田　恵　子	訪問看護ステーションジョジョ
浄　聖　陽　子	医療法人社団藤聖会上市老人保健施設つるぎの庭
仲　俣　　拓	社会福祉法人三寿会　ケアハウス三寿荘
西　野　崇　乃	射水市民病院
村　上　久美子	池田リハビリテーション病院
吉　田　隆　子	南砺市訪問看護ステーション
深　川　涼　子	医療法人社団東方会　おおやま病院

●総務委員（８名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
○ 浅　野　敬　子	富山市南保健福祉センター
岡　本　慶　子	あさひ総合病院
○ 窪　谷　真　弓	特定医療法人財団五省会　西能病院
鈴　木　淑　夫	独立行政法人国立病院機構　北陸病院
橋　場　　香	富山市立富山市民病院
花　島　宏　子	市立砺波総合病院
◎ 松　本　千　恵	高岡市民病院
渡　辺　義　美	射水市民病院

●教育委員（18名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
荒　川　由紀美	富山市医師会看護専門学校
石　村　香央梨	富山県中部厚生センター
栄前田　美穂子	南砺市民病院
京　角　修　治	富山県高岡看護専門学校
小　林　文佐子	あさひ総合病院
駒　見　恵　子	富山赤十字病院
○ 酒　井　和　子	国立大学法人富山大学附属病院
砂　山　まさみ	厚生連高岡病院
高　道　江里子	富山市大山保健福祉センター
○ 坪　田　知　美	富山市立富山市民病院
飛　世　照　枝	富山県立中央病院
○ 濱　田　裕　子	黒部市民病院
平　野　貢三子	金沢医科大学氷見市民病院
藤　井　里　美	かみいち総合病院
堀　田　桂　江	市立砺波総合病院
三　浦　唱　子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
力　示　安希子	特定医療法人財団五省会　西能病院
◎ 和　田　　薫	高岡市民病院

●広報委員（10名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
赤　井　明　代	厚生連滑川病院
板　倉　有希子	富山赤十字病院
下　村　由　美	富山県済生会高岡病院
瀬　川　美香子	国立大学法人富山大学附属病院
辻　川　美　穂	富山市中央保健福祉センター
◎ 殿　谷　智　子	富山県立中央病院
堀　田　知　子	不二越病院
水　野　久　美	富山県済生会富山病院
宮　田　値恵子	射水市民病院
○ 山　越　千　恵	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

●社会経済福祉委員（８名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
岩　崎　純　一	独立行政法人国立病院機構　富山病院
○ 太　田　真由美	かみいち総合病院
佐　伯　京　美	富山県立中央病院
中　村　　香	医療法人真生会　真生会富山病院
西　村　ゆかり	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
林　　悠　佳	富山市立富山まちなか病院
星　子　みゆき	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
◎ 山　田　和　美	公立学校共済組合　北陸中央病院

●看護倫理委員（５名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
石　倉　恵　美	厚生連高岡病院
荻　野　博　美	黒部市民病院
◎ 斎　藤　尚　子	市立砺波総合病院
○ 藤　澤　ひろみ	富山県済生会高岡病院
山　本　百　合	富山赤十字病院

●医療安全委員（６名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
太　田　絹　子	金沢医科大学氷見市民病院
玄　澤　裕　美	富山市立富山市民病院
○ 富　崎　真由美	国立大学法人富山大学附属病院
原　　香	公立南砺中央病院
森　本　桑　子	高岡市民病院
◎ 渡　邊　和　美	黒部市民病院

●災害看護委員（５名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
有　田　幸　子	市立砺波総合病院
飯　澤　　泉	高岡市民病院
酒　井　貴代美	富山県立中央病院
◎ 谷　越　千代美	黒部市民病院
○ 樋　口　正　樹	富山市立富山市民病院

●学会委員（８名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
大　橋　達　子	富山赤十字看護専門学校
鹿　島　美友紀	国立大学法人富山大学附属病院
川　東　由加利	厚生連高岡病院
○ 小　林　孝　子	富山市立富山市民病院
○ 高　畑　聖　子	富山県立総合衛生学院
長　瀬　佐知子	市立砺波総合病院
三　枝　和香子	富山県高岡看護専門学校
◎ 山　本　雅　子	富山県立中央病院

●選挙管理委員（５名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
木　下　ひとみ	市立砺波総合病院
糀　屋　知　美	富山県済生会高岡病院
◎ 高　長　雅　美	富山県立中央病院
中　湊　磨貴子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
○ 長　　美千代	富山市八尾保健福祉センター

●推薦委員（10名）　◎委員長　○副委員長

氏　名	施　設　名
上　野　陽　子	黒部市民病院
海　原　真　澄	厚生連滑川病院
浦　野　朱　美	独立行政法人国立病院機構　北陸病院
鎌　仲　久　恵	金沢医科大学氷見市民病院
佐　渡　加奈子	富山市立富山市民病院
高　嶋　峰　子	富山医療生活協同組合　富山協立病院
○ 瀧　上　恵　子	厚生連高岡病院
中　川　琢　子	砺波市地域包括支援センター
藤　木　靖　子	立山町保健センター
◎ 松　岡　佳奈子	富山県高岡厚生センター　射水支所

●摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程教員会（８名）　◎委員長

氏　　名	施　設　名
◎ 大　井　きよみ	富山県看護協会
高　田　和加子	富山県認定看護師教育センター
田　村　雅　子	富山県認定看護師教育センター
比　嘉　肖　江	富山県立大学看護学部
松　井　弘　美	富山県認定看護師教育センター
松　原　直　美	市立砺波総合病院
三日市　麻紀子	国立大学法人富山大学附属病院
安　田　智　美	富山大学大学院医学薬学研究部

●新人看護職員研修推進会議　委員（10名）

氏　　名	施　設　名
大　井　きよみ	富山県看護協会
岡　本　里　美	富山県立中央病院
佐　藤　　尚	医療法人社団藤聖会　富山西総合病院
神　保　浩　子	富山市立富山市民病院
高　山　由紀子	黒部市民病院
田　中　美智子	医療法人社団整志会沢田記念　高岡整志会病院
長谷川　　徹	富山県医師会
原　田　洋　美	特定医療法人財団五省会　西能病院
松　原　直　美	市立砺波総合病院
満　間　信　江	富山赤十字看護専門学校

●がん看護臨床実践研修　プログラム検討委員会（11名）　◎委員長

氏　　名	施　設　名
◎ 岡　本　里　美	富山県立中央病院
尾　川　洋　子	富山県がん総合相談支援センター
小　原　留　美	光風会訪問看護ステーション
神　保　浩　子	富山市立富山市民病院
高　橋　美由喜	厚生連高岡病院
高　山　由紀子	黒部市民病院
竹　川　　茂	富山県立中央病院
松　原　直　美	市立砺波総合病院
三日市　麻紀子	国立大学法人富山大学附属病院
村　上　真由美	富山赤十字病院
米　山　美智代	高岡市民病院

●富山県ナースセンター事業運営委員会（14名）

氏　　名	施　設　名
五十嵐　　司	富山県厚生部医務課
岡　本　里　美	富山県立中央病院
小　原　留　美	光風会訪問看護ステーション
高　木　伸　一	富山県町村会
髙　木　雅　美	金沢医科大学氷見市民病院
高　山　由紀子	黒部市民病院
野　田　八　嗣	富山県済生会高岡病院
長谷川　　徹	富山県医師会
原　田　洋　美	特定医療法人財団五省会　西能病院
松　原　直　美	市立砺波総合病院
山　﨑　英　治	富山労働局職業安定部
山　本　春　美	富山県市長会
吉　田　智　子	富山県高岡厚生センター
吉　山　　泉	富山市医師会看護専門学校

●富山県看護協会ワーク・ライフ・バランス推進委員会（12名）

氏　　名	施　設　名
大　井　きよみ	富山県看護協会
小　倉　憲　一	富山県厚生部参事・医師・看護職員確保対策班
越　田　美穂子	公立大学法人富山県立大学
神　保　浩　子	富山市立富山市民病院
竹　澤　和　美	南砺市民病院
千　田　昌　代	富山県済生会富山病院
塚　原　千恵子	医療法人社団親和会　富山西リハビリテーション病院
原　田　洋　美	特定医療法人財団五省会　西能病院
二　口　良　伸	富山県社会保険労務士会
松　嶋　　瞳	富山県ナースセンター
向　野　勝　美	富山県看護協会
山　田　和　美	公立学校共済組合北陸中央病院

令和元年度 支部役員名簿

支　部	担当理事	支部長	副支部長	役　員
黒部・魚津	㊕高　山　由紀子 （黒部市民病院）	㊐江　田　昌　江 （魚津市健康センター）	㊐新　田　しげ乃 （入善町保健センター）	（会計） ㊕吉　田　喜代美 （独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院） ㊕佐々木　孝　子 （黒部市介護老人保健施設カリエール）
富 山 東	㊗森　　太貴子 （富山赤十字病院）	㊐菱　田　亜裕美 （富山市保健所地域健康課）	㊕石　井　洋　子 （医療法人社団藤聖会富山西総合病院）	（会計） ㊕塚　田　信　子 （流杉病院） ㊕岡　田　しのぶ （富山市立富山市民病院）
富 山 北		㊕岩　井　美知代 （富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）	㊐吉　田　純　也 （富山市保健所保健予防課）	（会計） ㊕浜　井　晴　美 （富山県済生会富山病院） ㊕川　向　正　美 （富山県立中央病院）
富 山 西		㊕林　　泰　治 （特定医療法人財団五省会西能病院）	㊕三ツ山　幸　子 （富山赤十字病院）	（会計） ㊕船　木　　恵 （富山市立富山まちなか病院） ㊐藤　根　優　子 （富山市西保健福祉センター）
上　　市		㊕岩　城　光　子 （厚生連滑川病院）	㊐林　　ひとみ （富山県中部厚生センター）	（会計） ㊕林　　ひろえ （かみいち総合病院） ㊐金　山　美智子 （滑川市地域包括支援センター） ㊕金　尾　裕　子 （かみいち総合病院）
射　　水	㊕米　山　美智代 （高岡市民病院）	㊕京　角　泰　子 （射水市民病院）	㊕針　原　昌　美 （医療法人真生会真生会富山病院）	（会計） ㊕帯　刀　あづさ （訪問看護ステーションひよどり） ㊐川　堰　春　菜 （射水市保健センター）
高岡・氷見		㊕川　合　洋　子 （金沢医科大学氷見市民病院）	㊕条　谷　直　美 （独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院）	（会計） ㊕森　　朋　子 （富山県済生会高岡病院） ㊕河　上　裕　子 （高岡市民病院） ㊕吉　田　さおり （厚生連高岡病院） ㊐山　本　佳世子 （高岡市福祉保健部健康増進課） ㊐沖　崎　美　希 （氷見市福祉介護課） ㊐稲　垣　　幸 （富山県高岡厚生センター）
砺波･小矢部	㊕竹　澤　和　美 （南砺市民病院）	㊕小　倉　里　美 （市立砺波総合病院）	㊕尾　田　　愛 （公立学校共済組合北陸中央病院） ㊐塚　本　奈穂美 （砺波市健康センター）	（会計） ㊐河　原　洋　子 （南砺市保健センター） （会計） ㊕中　井　陽　子 （公立南砺中央病院） ㊕中　西　佳　織 （独立行政法人国立病院機構北陸病院） ㊕小　竹　昌　子 （南砺市民病院）

令和２年度 日本看護協会通常総会
代議員及び予備代議員名簿

No.	代議員			予備代議員		
	職種	氏名	勤務先	職種	氏名	勤務先
1	看	稲村睦子	富山県立総合衛生学院	助	池田琴美	黒部市民病院
2	助	岡本里美	富山県立中央病院	保	井上享子	医療法人社団博啓会 アイ・クリニック
3	看	表寺朱美	富山県済生会富山病院	保	金田千恵子	入善町保健センター
4	看	神保浩子	富山市保健所　地域健康課	看	佐々木志津恵	流杉病院
5	保	谷口素美	厚生連滑川病院	看	条谷直美	独立行政法人 地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院
6	看	坪内奈津子	社会福祉法人梨雲福祉会 特別養護老人ホーム梨雲苑	看	田村雅子	公益社団法人富山県看護協会
7	准	野口翔也	医療法人社団藤聖会 富山西総合病院	看	細木美奈子	厚生連高岡病院
8	保	向野勝美	公益社団法人富山県看護協会	准	宮木貴英	介護老人保健施設おおぞら
9	保	吉田智子	富山県新川厚生センター 魚津支所			

令和元年度　人材育成研修報告

保健師職能委員会

１　ねらい　対象者のやる気や潜在能力を引き出すコーチングの考え方や質問スキルを学ぶ
２　日　時　令和元年７月６日（土）　9:00 ～ 12:10
３　場　所　富山県看護研修センター
４　内　容　講義・演習「質問力を磨く～魔法の質問とは～」
講師　オフィスbloom　代表　遊道　直美 氏
５　参加者　31名（回答者のみ22名）
経験年数

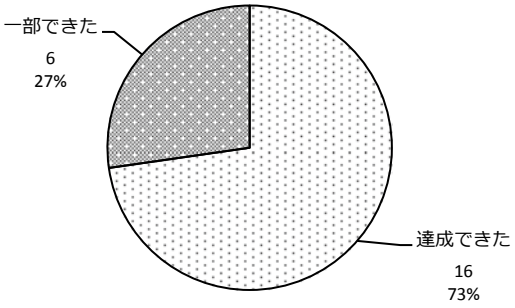
０～４年	５～９年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	合計
9	5	3	1	1	0	3	22

６　講義の概要

① コーチングとは、相手の本来持っている能力を引き出し、目標の実現や問題を解決するための自発的行動を促すコミュニケーション技術。(Ex.イソップ童話の「北風と太陽」の太陽の役割)
② コーチングで用いられる代表的なスキルは、認める、聴く、質問する、伝えること
③ コーチングマインドとは、“相手は力を持っている”と信じてかかわること
④ よいコミュニケーションとは、相手を受け入れることで完了する
⑤ 行動を促すコミュニケーションで重要なことは、安心感を創る、自分に対する自信の積み重ね、行動を促す。「聴き上手」になる。相手を認め、心から関心を払う
⑥ 前向き思考の言葉を使う。自分にとっての『魔法の質問』とは何か？を考えてみる日常生活の質問は「自分のため」(情報を得るため)、コーチングの質問は「相手のため」、「なぜ」という質問は、相手を追い詰めることがある

７　研修に対する評価（回答数22名）

研修目的の達成度　（複数回答）



質問項目	回答数
①　知識が整理できた	16
②　自己のニーズが満たされた	4
③　アイデアが得られた	8
④　思考が明確になった	10
⑤　実践に活かしてみたい	20
⑥　問題解決の糸口が得られた	7
⑦　リフレッシュになった	5
⑧　充実感が得られた	8
⑨　かえって混乱した	0
⑩　求めたものが得られなかった	1

８　まとめ

「質問力」を磨くことは、業務や職場内のコミュニケーションを図る上でも重要なことである。研修では実際に、自分自身のコミュニケーションを振り返るなどの演習を行った。演習を通して、相手の意欲を引き出すための手法を学ぶことができた。

研修後のアンケートでは、「実践に活かしてみたい」という声が多く聞かれ、研修のねらいは達成できたと考えられる。

業務はもとより、日常生活においても人と人との関係づくりに役立てられることが感じられる研修であった。

令和元年度　保健師・助産師職能委員会合同研修
～妊娠期からの切れ目のない子育て支援～

保健師・助産師職能委員会

１　ねらい　子育て世代における支援体制を理解し、職種を越えた協働・連携の在り方を学ぶ

２　日　時　令和元年８月３日（土）9:00 ～ 12:00

３　場　所　富山県看護研修センター

４　内　容　○講演「これからの子育て世代の包括支援とは」

講師　大阪府立病院機構　大阪母子医療センター

母子保健情報センター　顧問　佐藤拓代　先生

○事例紹介（2事例）　保健センター保健師及び医療機関病棟助産師

○グループワーク　　発表事例について検討、発表

５　参加者　55名

参加者背景（ 回答者のみ 42名）

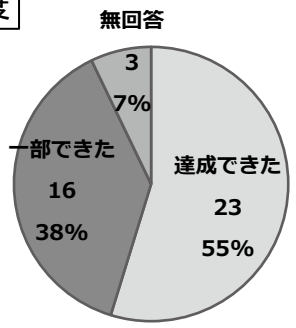
（1）職種　　保健師：23名、助産師：16名、看護師3名

（2）経験年数

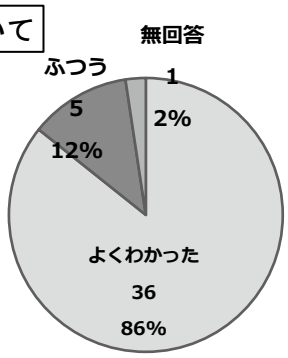
0 ～ 4 年	5 ～ 9 年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	未記入
11	7	5	6	6	3	3	1

６　研修会に対する評価　（アンケート回収（回収率95.5％）：42名より）

研修目的の達成度



講義・演習について



７　講義の概要及びまとめ

近年は母親の孤立化が進み、インターネットから情報を収集する母親が増えている。基本的な知識が乏しい状態で様々な情報を目にし、更なる混乱や不安を引き起こすことも珍しくない。

医療・保健機関のスタッフは、重篤な問題やリスクを抱える妊婦や産婦に早期から支援･介入をしているが、一見、問題がないケースに対しても潜在リスクを考慮し、そのリスクを予防する支援が重要となる。

平成29年４月１日に母子保健法が改正され、包括的な支援を行う母子健康包括支援センターの設置が明記された。この包括支援センターは、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う機関であり、支援プランの作成は必須要件となっている。その為、重視すべきは、保健師と受け手側との関係性の構築であり、指導ありきの姿勢は避け、受容的態度で臨むべきである。真に必要な切れ目のない支援とは、誰にでも困難があるという認識のもと「この方は大丈夫だろう」という先入観を捨て、困った時にいつでも“相談したい”と思ってもらえる支援が重要であると感じた。

令和元年度　保健指導ミーティング

保健師職能委員会

１　日　時　令和元年11月23日（土）13:30 ～ 16:30

２　場　所　富山県看護研修センター

３　内　容　講義「スーパーバイズでお悩み解決！　～地域における支援困難事例に学ぶ～」

講師　国立保健医療科学院　生涯健康研究部 上席主任研究官 吉岡京子氏

事例検討　（11グループに分かれて検討）

1）「糖尿病で入退院を繰り返す本人と、ゴミ屋敷に引きこもり近づく者に罵声を浴びせる夫、多重債務を抱え両親の年金を使い込む次男の３人暮らしへの支援について」

事例報告　南砺市地域包括支援センター　金兵　留美

2）「治療中断及び厚生センター支援を拒否する50代女性への対応について」

事例報告　富山県中部厚生センター　北野　睦美

４　参加者　60名

経験年数（回答者のみ46名）

0 ～ 4 年	5 ～ 9 年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
11	9	3	2	5	6	10

５　講義の概要

まず、「支援困難事例とは何か」、「地域ではなぜ支援困難事例が生まれるのか」、を確認したのち、2事例を以下の4つの視点で検討した。

(1) 誰にとって何が問題なのか　(2) 本人と家族は何に困っているのか

(3) このままの状態が続くとどうなるのか　(4) 今後の方針

保健師は、困難事例の対応に明け暮れるのではなく、行政としてどのような「予防的な仕組み」を作っていくのかも併行して検討していく必要がある。

個別の事例の問題を集め、地域の課題として考えていくことで、住民にとって有益な「予防の仕組み」を作っていくことこそが、保健師が困難事例に関わることの意味なのではないか。

また、保健師にとって困難事例に関わることは、支援困難事例に対応する力をつけることにつながるとともに、事業化・施策化を行う際の背景要因の分析に大いに役立つ。

支援困難事例を核として、次の予防策へつなげていくことの大切さを学んだ。

６　研修会に対する評価　受講後のアンケート結果（回収数　46名）

項　目		項　目	
① 知識が整理できた	24	② 自己のニーズが満たされた	2
③ アイデアが得られた	27	④ 思考が明確になった	15
⑤ 実践に活かしてみたい	37	⑥ 問題解決の糸口が得られた	26
⑦ リフレッシュになった	3	⑧ 充実感が得られた	8
⑨ かえって混乱した	1	⑩ 求めたものが得られなかった	0

７　まとめ

幅広い年代からの参加があり、上記アンケート結果や「困難事例の見立てやアセスメントが理解できた」、「小グループで話し合えたことが良かった」、「講義でいろいろなヒントをもらえた」等の意見があり、それぞれの立場で学びを深める事のできる研修であった。

アドバンス助産師の活動に関する実態調査

富山県助産師職能委員会

アドバンス助産師とはCLoCMiP®（助産実践能力習熟段階/クリニカルラダー）レベルⅢに認証された助産師をいう。CLoCMiP®レベルⅢ認証制度は、助産師の助産実践能力を審査し、一定の水準に達していることを認証する仕組みである。富山県内でも、195名の助産師がアドバンス助産師の認証を受けている。認証制度は5年毎の更新制であることから、助産実践能力の維持・向上、専門性を高めることに繋がると考えられている。

アドバンス助産師は自律して助産ケアを実践できる能力を認証されていることから、院内助産・助産師外来などで専門性を発揮することが期待されている。しかし、現状では各病院・診療所での活動は様々であり、認証が助産業務に反映されていないと感じている助産師も少なくない。そこで、アドバンス助産師の現在の活動及び活動すべきと考える活動を調査し、今後のアドバンス助産師の活用を提案したいと考えた。

Ⅰ　目　的

1　富山県内のアドバンス助産師の活動実態を把握する。
2　アドバンス助産師の更新申請の意向とその理由を知る。
3　アドバンス助産師の活用を提案する。

Ⅱ　調査方法

1　自記式質問紙調査法　郵送法

調査対象：富山県看護協会会員で、病院・診療所・教育機関等に勤務する助産師　169名

調査期間：2019年12月

調査内容：1）対象の属性：年齢、助産師経験年数、勤務施設、職位、助産師職能団体の加入
2）アドバンス助産師更新申請の意向
3）日本看護協会「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）活用ガイド」（平成25年８月２日第１版第１刷）レベルⅢのマタニティケア能力及び専門的自立能力に関する活動のうち、現在の活動及び活動すべきと考える活動

2　分析方法

対象の属性、アドバンス助産師更新申請の意向、アドバンス助産師の「現在の活動」及び「活動すべきと考える活動」について基礎統計量の集計を行った。また、更新申請の意向とそれぞれの関連についてχ^2検定を行った。統計ソフトは、SPSS Statistics Ver.25を用い、有意水準は５％未満とした。

Ⅲ　倫理的配慮

1　富山県看護協会の承認を受けて実施した。
2　回答は無記名として、個人が特定できないようにした。
3　調査協力は施設長（看護部長）を通じて調査票と共に説明書を郵送し、返送を以て調査への同意とみなした。
4　調査票は助産師職能委員長が保管・管理し、調査結果を公表後に裁断処理する。

Ⅳ　結　果

富山県看護協会会員で病院・診療所・教育機関等に勤務する助産師169名に調査票を送付し、121名から回答を得た。（回答率71.6％）

1　対象の属性

アドバンス助産師は40歳代、助産師経験年数20年以上が最も多く、主任及びスタッフが62.0%と約6割、副看護師長以上の管理職が28.9%と約3割であった。勤務施設は病院が81.8％と8割を占め、所属部署では混合病棟が33.1％と多かった（表1）。

2　アドバンス助産師の更新申請の意向

アドバンス助産師の更新申請については、「更新する」が54.5％、「検討中」が34.7％、「更新しない」が10.7％であった（図1）。

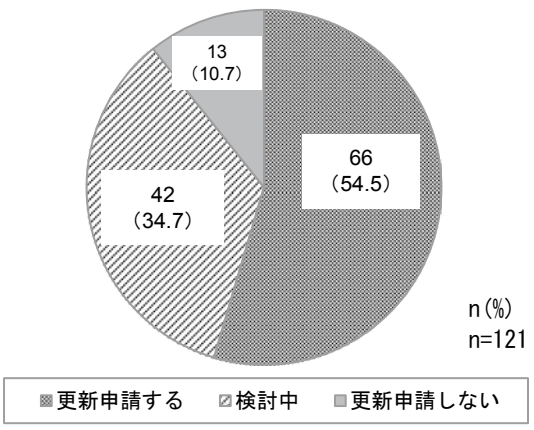


図1　アドバンス助産師の更新申請の意向

表1　対象の属性　n=121

項目	人	%
年齢（年代）		
20歳代	0	0.0
30歳代	24	19.8
40歳代	62	51.2
50歳代	33	27.3
60歳代以上	2	1.7
未記入	0	0.0
助産師経験年数		
3年未満	1	0.8
5-7年未満	0	0.0
7-10年未満	14	11.6
10-15年未満	24	19.8
15-20年未満	33	27.3
20年以上	48	39.7
未記入	1	0.8
勤務施設		
病院	99	81.8
診療所	11	9.1
助産院	0	0.0
その他	11	9.1
未記入	0	0.0
所属部署		
産科病棟	29	24
産科外来	14	11.6
小児科	0	0.0
NICU/GCU	3	2.5
教育機関	8	6.6
混合病棟	40	33.1
他科	14	11.6
看護部	4	3.3
その他	2	1.7
未記入	7	5.8
職位		
看護部長	1	0.8
看護副部長	5	4.1
看護師長	16	13.2
副看護師長	13	10.7
主任	28	23.1
スタッフ	47	38.8
その他	10	8.3
未記入	1	0.8
助産師職能加入		
看護協会に加入	94	77.7
看護協会と助産師会の両方に加入	25	20.7
未記入	2	1.7

対象の属性と更新申請の意向との関連では、診療所勤務や産科病棟に所属するアドバンス助産師は「更新する」割合が有意に高く、教育機関に所属するアドバンス助産師は「検討中・更新しない」割合が有意に高かった（表２）。

「更新する」理由は、「知識向上」、「自施設が更新を推進」、「更新する流れだから」が多かった（表３）。「検討中」の理由は、「更新時の要件困難」、「メリットがない」、「更新料が高い」であった（表４）。更新しない理由は、「産科業務以外のため」、「更新時の要件困難」、「退職のため」であった（表５）。

表２　対象の属性と更新申請の意向

項　目	更新する		検討中		更新しない		P値
	人	%	人	%	人	%	
年齢（年代）							
20歳代	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
30歳代	11	(45.8)	11	(45.8)	2	(8.3)	
40歳代	39	(62.9)	19	(30.6)	4	(6.5)	
50歳代	15	(45.5)	12	(36.4)	6	(18.2)	
60歳代以上	1	(50.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	
助産師経験年数							
3年未満	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
5-7年未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
7-10年未満	6	(42.9)	7	(50.0)	1	(7.1)	
10-15年未満	13	(54.2)	10	(41.7)	1	(4.2)	
15-20年未満	20	(60.6)	10	(30.3)	3	(9.1)	
20年以上	26	(54.2)	14	(29.2)	8	(16.7)	
勤務施設							＊＊
病院	55	(55.6)	33	(33.3)	11	(11.1)	
診療所	10	(90.9)	1	(9.1)	0	(0.0)	
助産院	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
その他	1	(9.1)	8	(72.7)	2	(18.2)	
未記入							
所属部署							＊
産科病棟	23	(79.3)	6	(20.7)	0	(0.0)	
産科外来	8	(57.1)	4	(28.6)	2	(14.3)	
NICU/GCU	1	(33.3)	2	(66.7)	0	(0.0)	
教育機関	0	(0.0)	6	(75.0)	2	(25.0)	
混合病棟	19	(47.5)	15	(37.5)	6	(15.0)	
他科	9	(64.3)	3	(21.4)	2	(14.3)	
看護部	3	(75.0)	1	(25.0)	0	(0.0)	
その他	2	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
職位							
看護部長	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
看護副部長	1	(20.0)	2	(40.0)	2	(40.0)	
看護師長	12	(75.0)	2	(12.5)	2	(12.5)	
副看護師長	8	(61.5)	5	(38.5)	0	(0.0)	
主任	15	(53.6)	11	(39.3)	2	(7.1)	
スタッフ	27	(57.4)	15	(31.9)	5	(10.6)	
その他	2	(20.0)	6	(60.0)	2	(20.0)	
助産師職能加入							
看護協会に加入	48	(51.1)	34	(36.2)	12	(12.8)	
看護協会と助産師会の両方に加入	17	(68.0)	7	(28.0)	1	(4.0)	

χ2検定　＊P<0.05　＊＊P<0.001

表３　更新する理由

1.知識の向上
2.自施設が更新を推進
3.更新する流れだから
4.今後の役に立つ
5.業務に必要

表４　検討中の理由

1.更新時の要件困難
2.メリットなく更新時研修困難
3.更新料が高額
4.産科業務以外のため
5.更新の条件を満たしていない
6.学校勤務・多病棟勤務などで活動がない

表５　更新しない理由

1.産科業務以外のため
2.更新時の要件困難
3.退職のため

３　アドバンス助産師の「現在の活動」と「活動すべきと考える活動」

アドバンス助産師の「現在の活動」は、多い順に④個別保健指導67.8%、⑧乳房ケア66.9%、⑱多職種の連携59.5%、⑩2週間健診57.0%、②集団指導・⑦分娩介助56.2%であった（図２）。

アドバンス助産師が「活動すべきと考える活動」は、多い順に㉖職務規程を順守する行動の指導77.7%、④個別保健指導75.2%、⑨母乳外来73.6%、⑲教育の中心的役割71.1%、⑮産褥期の健康診査70.2%、であった（図３）。

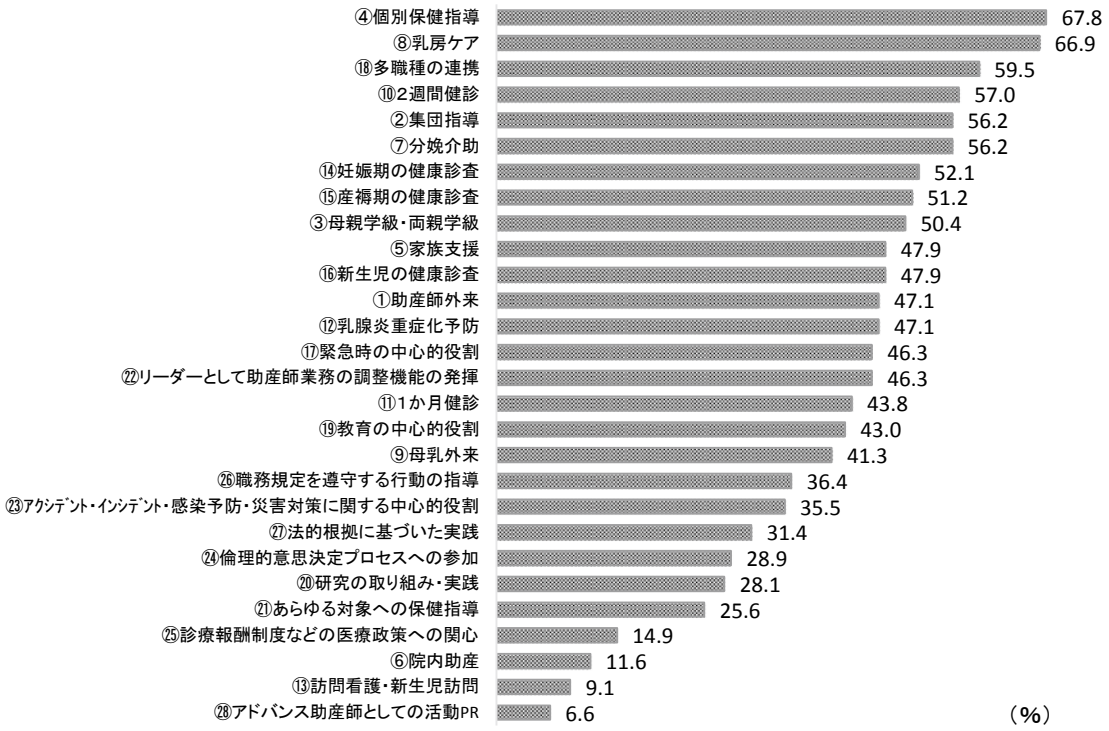


図2　アドバンス助産師の「現在の活動」

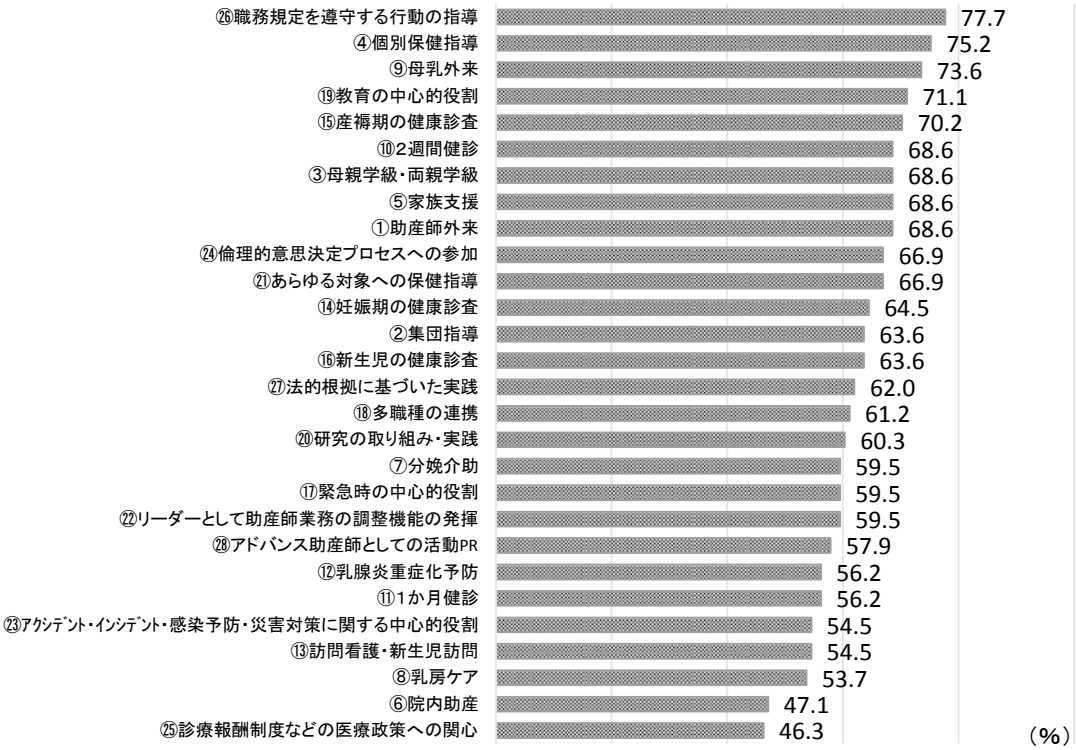


図3　アドバンス助産師の「活動すべきと考える活動」

アドバンス助産師の「現在の活動」と「活動すべきと考える活動」を比較したところ、㉘アドバンス助産師としての活動PRについては、「現在の活動」は6.6%だが、「活動すべきと考える活動」では57.9%と差が大きかった。その他の項目で割合に差があったのは、⑥院内助産（11.6%、59.5%）と⑬訪問看護・新生児訪問（9.1%、56.2%）であった（図4）。

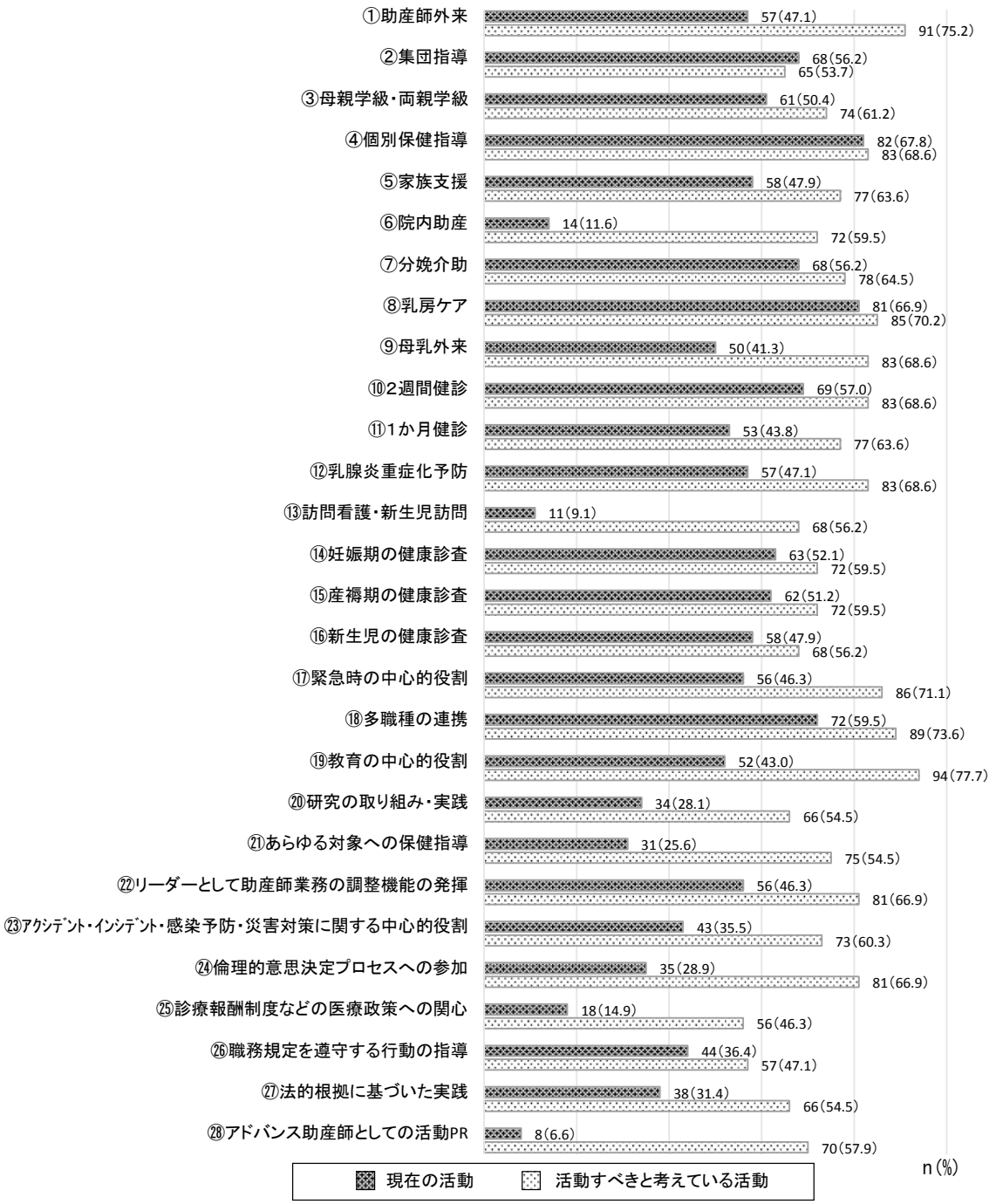


図 4 アドバンス助産師の「現在の活動」と「活動すべきと考える活動」の比較

4　「現在の活動」と更新申請の意向（表6）

アドバンス助産師の「現在の活動」について、更新申請の意向を「更新する」と「検討中・更新しない」に分けて分析した。

「マタニティケア能力」に関する活動のなかで「更新する」アドバンス助産師に有意に多かったのは、②集団指導、③母親学級･両親学級、④個別指導、⑤家族支援、⑧乳房ケア、⑨母乳外来、⑪１カ月健診、⑫乳腺炎重症化予防、⑮産褥期の健康診査、⑰緊急時の中心的役割であった。

「専門的自立能力」に関する活動のなかで「更新する」アドバンス助産師に有意に多かったのは、⑱多職種との連携、㉒リーダーとして助産業務の調整機能の発揮、㉔倫理的思考決定プロセスへの参加、㉕診療報酬制度などのプロセスへの参加、㉗法的根拠に基づいた実践（倫理綱領等）であった。

5　「活動すべきと考える活動」と更新申請の意向（表7）

アドバンス助産師が「活動すべきと考える活動」について、更新申請の意向を「更新する」と「検討中・更新しない」に分けて分析したところ、「更新する」アドバンス助産師に有意に多かったのは、㉔倫理的意思決定プロセスへの参加のみであった。

アドバンス助産師が「活動すべきと考える活動」ができない理由は、①産科以外に配属されているため、②日常業務で手が回らない、③資格の認知度が低く活動がわからない・活動の場がない、④混合病棟で専門的に集中できない、⑤評価されず必要性が感じられない、の順に多かった（表8）。

Ⅴ　考　察

1　アドバンス助産師の更新申請の意向

アドバンス助産師の更新申請について「更新する」は約半数であり、診療所勤務や産科病棟に所属する割合が高かった。理由は「知識向上」や「今後に役立つ」など自己研鑽のためと考える助産師もいるが、「自施設が更新を推進」や「更新する流れだから」と施設側の求めに応えようとする助産師も多いことがわかった。

アドバンス助産師の更新申請について「更新しない」は約1割であり、理由は「更新の条件を満たしていない」や「活動する場がない」、「退職の可能性」であった。

アドバンス助産師の更新申請について「検討中」は３割以上であり、理由は「更新時の要件困難」や「メリットがない」、「更新料が高い」であり、「更新しない」の理由とほぼ同様であった。少子高齢化により分娩件数が減少し分娩介助や保健指導の機会が少ないこと、混合病棟の所属で他科業務に従事することが多いこと、教育機関の所属で助産師の活動から離れていることから、更新の要件を満たすことが困難になっていることが要因と考えられる。また、アドバンス助産師として産科業務に従事していないことから、更新料や更新に伴う研修費等の支出に抵抗感があると考えられる。これらのことから、アドバンス助産師の活動の場の拡大や混合病棟でも助産業務に専念できる環境となれば、要件を満たし「更新する」モチベーションが高まると考えられる。

表６　「現在の活動」と更新申請の意向　　n=121

			更新する 人数	更新する %	検討中／更新しない 人数	検討中／更新しない %	χ2検定
マタニティケア能力	①助産師外来	実施	33	50.0	24	43.6	
		していない	33	50.0	31	56.4	
	②集団指導	実施	44	66.7	24	43.6	＊
		していない	22	33.3	31	56.4	
	③母親学級・両親学級	実施	43	65.2	18	32.7	＊＊
		していない	23	34.8	37	67.3	
	④個別保健指導	実施	51	77.3	31	56.4	＊
		していない	15	22.7	24	43.6	
	⑤家族支援	実施	39	59.1	19	34.5	＊
		していない	27	40.9	36	65.5	
	⑥院内助産	実施	9	13.6	5	9.1	
		していない	57	86.4	50	90.9	
	⑦分娩介助	実施	42	63.6	26	47.3	
		していない	24	36.4	29	52.7	
	⑧乳房ケア	実施	52	78.8	29	52.7	＊
		していない	14	21.2	26	47.3	
	⑨母乳外来	実施	35	53.0	15	27.3	＊
		していない	31	47.0	40	72.7	
	⑩2習慣健診	実施	41	62.1	28	50.9	
		していない	25	37.9	27	49.1	
	⑪1か月健診	実施	38	57.6	20	36.4	＊＊
		していない	28	42.4	35	63.6	
	⑫乳腺炎重症化予防	実施	40	60.6	17	30.9	＊＊
		していない	26	39.4	38	69.1	
	⑬訪問看護・新生児訪問	実施	8	12.1	3	5.5	
		していない	58	87.9	52	94.5	
	⑭妊娠期の健康診査	実施	37	56.1	26	47.3	
		していない	29	43.9	29	52.7	
	⑮産褥期の健康診査	実施	40	60.6	22	40.0	＊
		していない	26	39.4	33	60.0	
	⑯新生児の健康診査	実施	37	56.1	21	38.2	
		していない	29	43.9	34	61.8	
	⑰緊急時の中心的役割	実施	36	54.5	20	36.4	＊
		していない	30	45.5	35	63.6	
専門的自立能力	⑱多職種の連携	実施	46	69.7	26	47.3	＊
		していない	20	30.3	29	52.7	
	⑲教育の中心的役割	実施	32	48.5	20	36.4	
		していない	34	51.5	35	63.6	
	⑳研究の取り組み・実践	実施	22	33.3	12	21.8	
		していない	44	66.7	43	78.2	
	㉑あらゆる対象への保健指導	実施	19	28.8	12	21.8	
		していない	47	71.2	43	78.2	
	㉒リーダーとして助産師業務の調整機能の発揮	実施	36	54.5	20	36.4	＊
		していない	30	45.5	35	63.6	
	㉓アクシデント・インシデント・感染予防・災害対策に関する中心的役割	実施	26	39.4	17	30.9	
		していない	40	60.6	38	69.1	
	㉔倫理的意思決定プロセスへの参加	実施	25	37.9	10	18.2	＊
		していない	41	62.1	45	81.8	
	㉕診療報酬制度などの医療政策への関心	実施	14	21.2	4	7.3	＊
		していない	52	78.8	51	92.7	
	㉖職務規定を遵守する行動の指導	実施	28	42.4	16	29.1	
		していない	38	57.6	39	70.9	
	㉗法的根拠に基づいた実践	実施	27	40.9	11	20.0	＊
		していない	29	59.1	44	80.0	
その他	㉘アドバンス助産師としての活動PR	実施	7	10.6	1	1.8	
		していない	59	89.4	54	98.2	

χ2検定　＊P<0.05　＊＊P<0.001

表７　「活動すべきと考える活動」と更新申請の意向　　n=121

			更新する 人数	更新する %	検討中／更新しない 人数	検討中／更新しない %	χ2検定
マタニティケア能力	①助産師外来	実施	33	50.0	39	70.9	
		していない	33	50.0	16	29.1	
	②集団指導	実施	44	66.7	28	50.9	
		していない	22	33.3	27	49.1	
	③母親学級・両親学級	実施	43	65.2	31	56.4	
		していない	23	34.8	24	43.6	
	④個別保健指導	実施	51	77.3	37	67.3	
		していない	15	22.7	18	32.7	
	⑤家族支援	実施	39	59.1	32	58.2	
		していない	27	40.9	33	41.8	
	⑥院内助産	実施	9	13.6	32	58.2	
		していない	57	86.4	23	41.8	
	⑦分娩介助	実施	42	63.6	34	61.8	
		していない	24	36.4	21	38.2	
	⑧乳房ケア	実施	52	78.8	37	67.3	
		していない	14	21.2	18	32.7	
	⑨母乳外来	実施	35	53.0	37	67.3	
		していない	31	47.0	18	32.7	
	⑩2習慣健診	実施	41	62.1	40	72.7	
		していない	25	37.9	15	27.3	
	⑪1か月健診	実施	38	57.6	35	63.6	
		していない	28	42.4	20	36.4	
	⑫乳腺炎重症化予防	実施	40	60.6	35	63.6	
		していない	26	39.4	20	36.4	
	⑬訪問看護・新生児訪問	実施	8	12.1	30	54.5	
		していない	58	87.9	25	45.5	
	⑭妊娠期の健康診査	実施	37	56.1	33	60.0	
		していない	29	43.9	22	40.0	
	⑮産褥期の健康診査	実施	40	60.6	32	58.2	
		していない	26	39.4	23	41.8	
	⑯新生児の健康診査	実施	37	56.1	29	52.7	
		していない	29	43.9	26	47.3	
	⑰緊急時の中心的役割	実施	36	54.5	35	63.6	
		していない	30	45.5	20	36.4	
専門的自立能力	⑱多職種の連携	実施	46	69.7	40	72.7	
		していない	20	30.3	15	27.3	
	⑲教育の中心的役割	実施	32	48.5	44	80.0	
		していない	34	51.5	11	20.0	
	⑳研究の取り組み・実践	実施	22	33.3	31	56.4	
		していない	44	66.7	24	43.6	
	㉑あらゆる対象への保健指導	実施	19	28.8	33	60.0	
		していない	47	71.2	22	40.0	
	㉒リーダーとして助産師業務の調整機能の発揮	実施	36	54.5	37	67.3	
		していない	30	45.5	18	32.7	
	㉓アクシデント・インシデント・感染予防・災害対策に関する中心的役割	実施	26	39.4	33	60.0	
		していない	40	60.6	22	40.0	
	㉔倫理的意思決定プロセスへの参加	実施	25	37.9	31	56.4	＊
		していない	41	62.1	24	43.6	
	㉕診療報酬制度などの医療政策への関心	実施	14	21.2	22	40.0	
		していない	52	78.8	33	60.0	
	㉖職務規定を遵守する行動の指導	実施	28	42.4	25	45.5	
		していない	38	57.6	30	54.5	
	㉗法的根拠に基づいた実践	実施	27	40.9	29	52.7	
		していない	39	59.1	26	47.3	
その他	㉘アドバンス助産師としての活動PR	実施	7	10.6	29	52.7	
		していない	59	89.4	26	47.3	

χ2検定　＊P<0.05

表８　「活動すべきと考える活動」ができない理由

1.産科以外に配属されている
2.日常業務で手がまわらない
3.資格の認知度が低く、活動が分からない
4.活動の場所がない
5.混合病棟のため専門的に集中できない
6.評価されず必要性が感じられない

2　「現在の活動」と「活動すべきと考える活動」

「現在の活動」と「活動すべきと考える活動」の割合に差があったのは、⑥院内助産、⑬訪問看護・新生児訪問、㉘アドバンス助産師としての活動PRであった。院内助産や訪問看護はアドバンス助産師として活動すべきと考えていても所属施設の体制が整っていなければ実施できないためと考えられる。助産師が自立して助産実践を行える場を整えること、アドバンス助産師の活動を明確にしてPRしていくことが必要である。

3　更新申請の意向とアドバンス助産師の活動との関連

「更新する」アドバンス助産師の「現在の活動」は、「マタニティケア能力」では②集団指導、③母親学級・両親学級、④個別保健指導、⑤家族支援、⑧乳房ケア、⑨母乳外来、⑪１か月健診、⑫乳腺炎重症化予防、⑮産褥期の健康診査、⑰緊急時の中心的役割、が有意に多かった。これは、アドバンス助産師の職位が「スタッフ」が約４割であったことから、これらの業務に携わることが多いと考えられる。乳腺炎重症化予防については、平成30年診療報酬改定により乳腺炎重症化予防ケア・指導料の算定ができるようになったことから、アドバンス助産師に特化した活動として認識されている。

また、「専門的自律能力」では⑱多職種の連携、㉒リーダーとして助産業務の調整機能の発揮、㉔倫理的意思決定プロセスへの参加、㉕診療報酬制度などの医療政策への関心、㉗法的根拠に基づいた実践（倫理綱領等）が有意に多かった。アドバンス助産師は40歳代以上、助産師経験年数20年以上が多いことから、リーダー的役割を果たしていると考える。

「更新する」アドバンス助産師が「活動すべきと考える活動」は、「検討中・更新しない」アドバンス助産師よりも有意に多かったものは、㉔倫理的意思決定プロセスへの参加のみであった。これは、アドバンス助産師として「活動すべきと考える活動」には差がないと解釈できる。

少子高齢化による分娩件数の減少に伴い、産科混合病棟は増加している。富山県では分娩を取り扱う11施設のうち10施設が混合病棟であるため、助産師の活動に専念することが難しくなっている。全国的にも産科混合病棟は８割を超え、予定が立たない分娩は病院の経営にとってマイナスとなるため、病床稼働率を上げるために他科の患者を受け入れざるを得ない現状である。日本看護協会では、産科混合病棟においても妊産婦や新生児が安心・安全に助産師のケアが受け入れられるように病棟の管理体制【ユニットマネジメント；産科混合病棟における母子にとって安全で安心な出産環境の整備】の導入を2013年に提案している。ユニットマネジメントの導入により、助産師・看護師が本来の業務に専念でき、助産師が母子への継続的なケアを提供することにより助産師の実践能力の強化につなげられる。助産師としてモチベーションを上げていくために、アドバンス助産師の活動を紹介する機会を設けていくことも必要である。また、新たなアドバンス助産師が増えていくように、アドバンス助産師の活動を支援するシステム作りが必要であると考える。

結　論

1　アドバンス助産師の更新申請の意向は、「更新する」約５割、「検討中」約４割、「更新しない」約１割であった。診療所勤務や産科病棟に所属するアドバンス助産師は「更新する」割合が高く、教育機関に所属するアドバンス助産師は「検討中・更新しない」割合が高かった。

2　アドバンス助産師が「更新する」理由は自己研鑽や施設側の求めに応えるためであり、「更新しない」理由は更新の要件を満たさないことや産科業務に従事していないためであった。

3　アドバンス助産師の「現在の活動」と「活動すべきと考える活動」の割合に差があったのは、院内助産、訪問看護・新生児訪問、アドバンス助産師としての活動PRであり、助産師が自立して助産実践を行える場が必要である。

4　「更新する」アドバンス助産師に多い活動は、「マタニティケア能力」では集団指導、母親学級・両親学級、個別保健指導、家族支援、乳房ケア、母乳外来、１か月健診、乳腺炎重症化予防、産褥期の健康診査、緊急時の中心的役割の10項目、「専門的自律能力」では多職種の連携、リーダーとして助産業務の調整機能の発揮、倫理的意思決定プロセスへの参加、診療報酬制度などの医療政策への関心、法的根拠に基づいた実践（倫理綱領等）の5項目であった。

5　アドバンス助産師として「活動すべきと考える活動」では、倫理的意思決定プロセスへの参加の１項目以外では更新申請の意向による差はなかった。

今後の課題

1　院内助産、訪問看護・新生児訪問など産前産後ケアの一環として、助産師が専門能力を発揮し自立して助産実践を行える場を設ける。

2　産科混合病棟においてユニットマネジメントを導入することで、助産師・看護師が本来の業務に専念でき、助産師が母子への継続的なケアを提供できる体制とし、助産実践能力の強化に繋げる。

3　新たなアドバンス助産師が増えるように病院単位でアドバンス助産師の活動を支援するシステム作りが必要である。

参考文献

1）公益社団法人日本看護協会：助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）
活用ガイド，P38－53，2013.

2）平成30年度岐阜県看護協会定時総会要綱，P48－634

令和元年度「いのちの教室」実践報告

助産師職能委員会

「いのちの教室」は自分の命の大切さを知ると同時に、他者の命の存在に気づき、相互に助け合う尊い心を育むことを目的とした活動である。病院等で働く助産師の人材育成を目的として、平成25年度より各施設の助産師と助産師職能委員会が協働し活動を推進している。

令和元年度「いのちの教室」実施状況（令和元年５月～令和２年２月）

実施年月	実施校	対象者	依頼を受けた窓口	助産師数(協力病院)
R１.５.８	富山市立 東部小学校	６年生68人	富山県看護協会	2 (富山県立中央病院)
R１.６.28	魚津市立 清流小学校	４年生82人	魚津市教育委員会	1 (富山労災病院)
R１.７.５	高岡市立 五位中学校	３年生86人	高岡厚生センター	2 (高岡市民病院)
R１.７.８	高岡市立 野村小学校	５年生116人	高岡厚生センター	2 (済生会高岡病院)
R１.７.17	滑川市立 南部小学校	４年生25人	滑川市教育委員会	1 (厚生連滑川病院)
R１.９.18	魚津市立 東部中学校	２年生195人	魚津市教育委員会	1 (富山労災病院)
R１.９.25	高岡市立 南星中学校	２年生155人	高岡厚生センター	2 (厚生連高岡病院)
R１.９.27	滑川市立 寺家小学校	６年生48人	滑川市教育委員会	2 (厚生連滑川病院)
R１.10.４	高岡市立 高陵中学校	２年生80人	高岡厚生センター	2 (高岡市民病院)
R１.10.31	高岡市立 牧野中学校	２年生70人	高岡厚生センター	2 (済生会高岡病院)
R１.11.13	高岡市立 国吉中学校	２年生30人	高岡厚生センター	2 (厚生連高岡病院)
R１.11.21	滑川市立 東部小学校	４年生70人	滑川市教育委員会	2 (厚生連滑川病院)
R１.11.21	高岡市立 中田中学校	２年生57人	高岡厚生センター	2 (高岡市民病院)
R１.11.26	魚津市立 星の杜小学校	５年生43人	魚津市教育委員会	1 (富山労災病院)
R１.12.６	高岡市立 福岡中学校	２年生93人	高岡厚生センター	2 (厚生連高岡病院)
R１.12.７	滑川市立 田中小学校	３年生41人	滑川市教育委員会	1 (厚生連滑川病院)
R２.１.24	黒部市立 中央小学校	２年生68人 保護者	富山県看護協会	2 (黒部市民病院)
R２.２.４	滑川市立 東加積小学校	２年生10人	滑川市教育委員会	1 (厚生連滑川病院)
R２.２.15	滑川市立 西部小学校	４年生65人	滑川市教育委員会	2 (厚生連滑川病院)
R２.２.15	滑川市立 北加積小学校	４年生36人	滑川市教育委員会	1 (厚生連滑川病院)

「クリニカルラダー（JNAラダー）の評価」

看護師職能Ⅰ委員会

1　はじめに

2025年に向けて世界に例のない少子・超高齢・多死社会を迎える日本では、医療提供体制の変化に伴い、暮らしと医療を支える看護提供システムの構築が求められている。日本看護協会では個々の看護師が所属する施設の枠にとどまらず、全国レベルで共通した質の高い看護の普及に必要な人材育成の指標として、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を開発し導入を推進している。

昨年度はJNAラダーの導入と活用、整合性についての理解を深める目的で研修を行った。その後JNAラダー導入について検討した施設や、実際に導入した施設も多くみられた。導入した施設からは、評価に関する悩みや質問が多く寄せられた。そこで、今年度はJNAラダー導入における評価方法を理解するための研修を企画した。

2　目的

JNAラダー導入における評価方法を理解する

3　参加者

実務経験年数

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	不明	合計
0	2	1	2	10	15	18	2	50

4　結果

1）講義　「JNAラダーにおける評価の考え方」－当院でのラダー評価の実際－

講師　富山県立中央病院　看護研修科長　　瀬山　尚子氏

県立中央病院では、看護部の理念に基づき平成30年からJNAラダーを参考に、看護実践力、危機管理能力、自己研鑽・看護研究の３つの枠組みに着目し５段階のクリニカルラダーを作成した。平成29年度からはコンピテンシーの改革力、平成30年度からは分析的思考を取り入れた。ラダーの目的は、自己を客観的に評価しキャリア向上に役立て導くものである。また、個人の成長のみでなく病院全体の看護の質向上をめざすものである。評価者は評価対象者のラダーにより、教育担当や主任などが割り振られており、評価も４段階で実施している。また評価しやすいように、評価基準の変更も行っている。各ラダーに目標があり、その目標を達成するためにどうすべきかを考え研修を計画し、分かりやすくラダーⅠ～Ⅴまでを１枚の表にまとめている。自らが成長したい、はしごを上りたいと思える組織作りが仕事の満足度を高め、キャリア開発につながる。

2）グループワーク

支援者：富山県立中央病院　看護研修科長　　瀬山　尚子氏

上席看護師長　　中林　明子氏

グループワークでは講師や支援者がアドバイザーとなり、まず各施設でのラダー評価の実際について情報交換を行った。続いてラダーの中から一つの実践力を選び、目標達成のためにどのような働きかけが必要か、どうやって評価するかについて話し合った。施設によっては評価基準が曖昧であったり、厳しすぎたりと様々な問題点があった。それに対しては、「客観的な基準はもちろん必要であり、評価者による主観が入らないようにしなければならない」、また「ラダーは自発的な看護力向上を狙うものであり、多くの看護師がより高いラダーを獲得できるように配慮が必要である」という意見があった。

どう働きかけるかについては、研修やレポートという形にとらわれず「どんな看護師に育って欲しいか」を考え、そうなるためには何が必要かを考えればおのずと見えてくるという基本を再確認

した。また評価方法については、各自難しさを感じており、評価者自身も迷いながら評価している現状が明らかになった。

話し合いの中で、ラダーは自身で階段を上り、質の高い看護を提供できるように成長するためのツールであるがそれを負担に感じるものもいるためどう指導するべきかという悩みもでた。今後ラダー認定を推進していくためにも、新人教育でラダーとは何かについて時間をかけて説明し、自主的に取り組めるよう援助することが重要になってくるとのアドバイスがありこれからの新人教育での課題が明確になった。

5　まとめ

研修を通して、参加施設においてはラダー導入におけるレベル分けについてはほぼできていることが分かった。しかしレベルをクリアするための学習方法や評価方法、評価者の育成について悩んでいることも明らかになった。評価方法について理解はできているものの、自施設での取り組みにまで落とし込むには至っていないといえる。

今回の研修で、各病院でのラダー評価について情報を得ることで、自病院が抱える問題解決の糸口につながったと考える。今後は自施設の課題や解決策を見出すために、他施設の実践例を通してより具体的な情報交換を行うことが重要であると考える。

特定行為に係る看護師の活動の実際研修会

看護師職能Ⅰ委員会

1　はじめに

2025年に向けて、チーム医療を推進し、看護師がその役割をさらに発揮する為「特定行為による看護師の研修制度」が創設されたところである。平成29年にはまだ不在の状態で周知活動が必要であり、研修を開催した。平成30年には研修機関が設立され、平成31年には協力病院もできた。今年度は研修機関・協力病院・特定看護師誕生に至り、１年活動した実践した、実際の研修を修了した看護師による活動内容等について理解し更なる普及推進に活かすことを目的に研修会を開催した。

2　特定行為に係る看護師の活動の実際

日　時：令和元年11月16日（土）13:30～16:00
参加者：64名
職　種：保健師２名　助産師３名　看護師59名
施　設：病院59名　訪問看護ステーション１名　その他４名
職　位：部長・所長７名　副部長９名　師長24名　副師長１名　主任５名
　　スタッフ13名　不明５名
役　割：専門看護師　１名　（がん看護１名）
　　認定看護師12名　（救急看護１名　皮膚・排泄ケア１名　集中ケア１名
　　緩和ケア１名　がん化学治療法看護１名　糖尿病看護１名　乳がん看護２名
　　摂食・嚥下障害看護１名　認知症看護１名　がん放射線療法看護１名　不明1名）
会　場：富山県看護研修センター
目　的：特定行為に係る看護師役割を理解し、研修への参加を推進する
研修内容：
(1) 特定行為看護師の活動の実際
①病院組織での活動
市立砺波総合病院　慢性呼吸器疾患看護認定看護師　岸澤　由紀子氏
南砺市民病院　地域包括ケア病棟看護師長代理　森河　尚江氏
②地域での活動
医療法人社団藤聖会訪問看護ステーションまめなけ
主任看護師　井崎　明子氏
③特定行為研修機関における活動
富山大学附属病院　看護師認定行為研修センター主任
集中ケア認定看護師　佐藤　慎哉氏
(2) 特定看護師の活動の実際　病院看護師の立場から
南砺市民病院　看護師長　竹澤　和美氏

3　アンケート結果：回収数61名（回収率95.3%）

参加動機

自主的に参加　45名	職場の上司同僚などの勧め　16名

自主的に参加の内訳

テーマに興味　26名	知識を得るため　27名
問題解決のため　５名	講師に関心　５名
不明　３名	

目的の達成度

達成出来た　34名	一部達成できた　24名	どちらでもない　３名

研修について

【興味があった内容について】

病院組織での活動　51名	地域での活動　24名	特定行為看護師の活動支援　49名

【特定行為に係る研修に関してもっと聞きたい点】

・手順書にかんすることについて聞きたい　５件
・指定研修機関の詳細を知りたい　３件
・協議会があればいい　４件
・指定機関研修としての詳細が知りたい　３件
・受講させる立場として問題点　２件
・活動の実際をもっと聞きたい　２件
・スタッフと差別感について　２件
・その他「患者・家族の反応と評価」「医師の反応と評価」

４　まとめ

３年間を通して、特定行為に係る看護師研修の推進を目的に研修を行った。他分野にわたり特定行為研修修了者が誕生し、受講者の増加に至り、今回の研修で、特定行為研修受講終了者が1年間の実際活動の講義を行うことができた。今回の研修受講者からのアンケート結果より、活動の実践・役割・教育との育成の関わりについて、講師から聞けて大変だとわかった。これからの多様な社会の医療ニーズや患者さんのQOL向上には特定行為研修の知識や技術が求められており、生活する患者さんを支えることができるのも看護師である為、特定行為研修はその看護の専門性をさらに発揮することができる。厚生労働省では、2025年までに10万人の育成、県内では研修終了者が十数人しかいない為、今回の講義で活動実際に理解でき、より多くの特定看護師の実講増大に期待する。

看護師のクリニカルラダー活用研修会報告

看護師職能Ⅱ委員会

１　ねらい　　クリニカルラダーの活用の推進を図る
２　日　時　　令和元年10月19日（土）13:30～16:00
３　会　場　　富山県看護研修センター
４　対象者　　看護師職能Ⅱ領域の管理者及び職員
５　参加者　　13名（病院７名・老人保健施設１名・訪問看護３名・老人福祉施設２名）
６　研修内容
　１）DVD試聴　「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)の理解」
　２）講　義　　「南砺市訪問看護ステーションでのラダーについて現状報告」
　　講　師：南砺市訪問看護ステーション　副主幹　吉田　隆子　氏
　　支援者：光ヶ丘病院　看護部長　中島　房代　氏

（講義内容）
2025年に向けて世界に例のない少子・超高齢・多死社会を迎える日本では、医療提供体制の変化に伴い、暮らしと医療を支える看護提供システムの構築が求められている。その実現には、基盤となる看護実践能力の強化や、働く場・働き方の多様化の理解と推進が必要となる。そこで、あらゆる施設や場で活動可能な看護師の育成・教育支援、継続性の強化のため、個々の看護師が所属する施設の枠にとどまらず、全国レベルで共通して活用可能な指標として、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」開発された。
看護管理者は、看護師個人の自己評価に基づく看護実践の可視化から、現在「できている」と判断される実践を承諾し、「出来ていない」点をどのように達成可能とするかをともに考え、次の課題を見出していく。さらに看護師個人の課題解決に向けて「学習をどのように支援していくか」「どのような看護実践を組織として期待するか」を看護師個人と共有する。そのためには、日頃から看護師個人の看護実践を把握し必要に応じてフィードバックを重ねることが、看護師の成長を支えることになる。
ＪＮＡラダ―導入のポイントは、各病院や施設にあったものを参考にすると導入しやすい。組織の理念や目標を念頭に置き、目指す方向を明らかにし、ラダ―導入に対する職員への説明と合意形成が必要である。また、ラダ―に沿った院内教育・研修の充実も大切である。
スタッフの育成において、一人ひとりを上司がよく観ていること、看護実践に対するフィードバック、「できていること」の承認、次の目標･課題の共有、期待を伝えることが肝要であり、JNAラダーの面接はよい機会となる。

　３）グループワ―ク
　　各施設での現状把握、導入方法、活用について話し合いを行った。
　４）アンケート結果より
　　講義内容が分かりやすかった。DVDが長かった。他の病院と情報を共有したかった。

７　まとめ
クリニカルラダーの研修は、今回2回目であり、導入を始めた病院もみられたが、ほとんどの病院、施設ではまだ導入にまで至っていなかった。慢性期の病院や施設では、中途採用者が主でその人の培ってきた経験も様々である。JNAラダーを基盤に自施設のラダーを作成し、全国標準的な指標をもとに看護師個人の看護実践能力の育成、組織としての人材育成・教育システムの構築が必要と思われる。

介護・福祉関係施設在宅等領域での看取りのケアについて
研修会報告

看護師職能Ⅱ委員会

1　ねらい　看取りのケアの多職種連携の関りを深める
2　日　時　令和元年11月９日(土) 13:30～16:30
3　会　場　富山県看護研修センター
4　研修内容
1）講義
(1)「看取りのケアの質の向上に向けた職員研修について」
- 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設への調査から -
講師　看護師職能Ⅱ委員
上市老人保健施設つるぎの庭　看護師長　浄聖　陽子　氏
(2)「看取りに向けての家族支援」
講師　富山福祉短期大学看護学科　准教授　今川　孝枝　氏
2）グループワーク
看取りについて情報交換

5　参加者　40名（非会員23名）　（17施設35名、個人５名）
1）参加者背景
(1) 職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	合計
0	1	23	4	12	40

その他：介護福祉士など
(2) 実務経験年数

5年未満	5～9 年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	不明	合計
4	9	4	4	3	0	11	5	40

(3) 職位

看護師	主任	副師長	師長	副部長	部長	その他	不明	合計
2	1	0	2	0	0	1	34	40

6　講義内容
「看取りケアの質の向上に向けた職員研修について」と題し、上市老人保健施設つるぎの庭浄聖陽子看護師長の講義は、2019年９月13日・14日第50回日本看護学会在宅看護学学会での「富山県の高齢者施設における看取りの実態調査報告から看取りのケアの質の向上につながる研修内容を明らかにする」内容をこの研修会でも報告を行った。
富山県の高齢者施設における看取りの現状と課題を把握し、看取りに取り組む際に必要となる体制や医療・介護等の要件を明らかにするとともに、当委員会における充実した研修を資することを目的に調査を行った結果①特養は９割以上、老健は７割以上が看取りに取り組んでいる②看取り中の家族の感情は揺れ動くことがあるので、思いを尊重し柔軟に対応する姿勢が必要である③より良い看取りケアのために看護協会等の看取りに関する研修では「家族支援」を重点的に行うことが有効であると結論づけた。次に富山福祉短期大学看護学科准教授今川孝枝講師は「看取りに向けての家族支援」と題して今回、調査を行った結果報告をもとに一つひとつが深めた内容であった。現状と課題として2012年では看取りの体制・ケアの方法に迷いながら取り組み「具体的な方法等の確立が課題」とし、６年後の2018年は、現状の方針・対応への迷いがあり「看取りケアの質向上に向けた実践能力を養うことが課題」であると語られた。施設内で看取るためにはPlanとして①明確な方

針②医師看護職員と24時間連絡体制③職員の理解と協力④本人・家族の施設における看取りの周知は、Do振り返りCheckチェック、Action体制の工夫と改善へとひとつのサイクルである。それを充実させるにはどうしたらよいのか、家族をどう支援したらよいのかなど実践能力の必要性や重要性が求められる。また、グループワークでは、２つの事例から求められる援助のあり方や振り返りについて話し合いがされた。

7　まとめ

人生最終段階を迎えた患者や家族が「どうありたいのか」「どんな最期を看取りたいのか」など話をしてもらうことで、そのことが明確になってくる。イメージをふまえてその通りになるのか、状態を予測することが医療職の役割であり、その都度家族へ説明することの重要性。また、家族の心の準備をサポートすること。多職種が関わるからこそできることなど。それぞれの強みを活かし、看護職をはじめ多職種チームにおいて看取りの質を改善していく必要性を学ぶ。

在宅ケア事例検討会報告
（在宅ケアアドバイザー派遣事業）

看護師職能Ⅱ委員会

1　はじめに

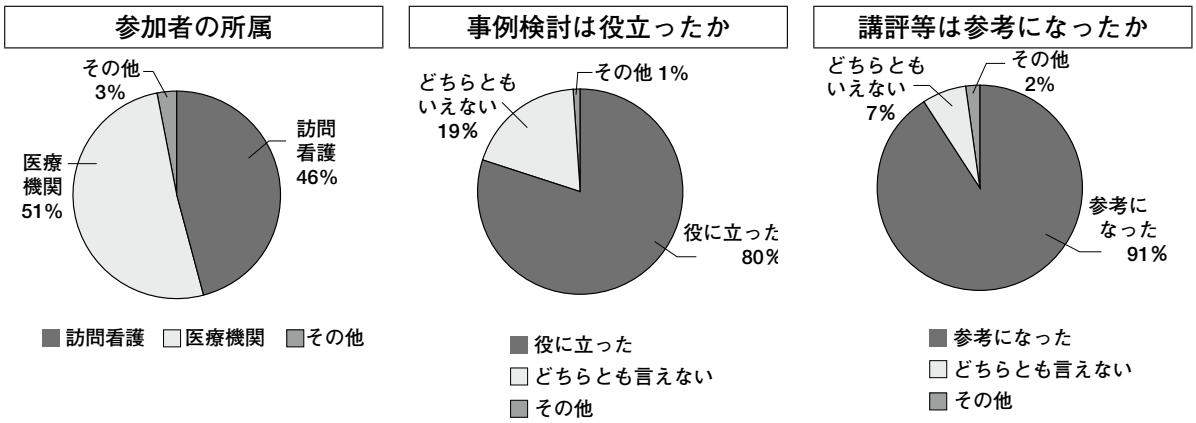
訪問看護師や医療機関の看護職が在宅医療患者・家族の現状やニーズに応じたより質の高いケアが提供できるように支援する、研修目標で今年も５地区８箇所で開催した、アンケート内容を報告する。

2　参加状況の推移

（平成・令和）年　度	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20
開催回数（回）	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10	8
参加延べ数（人）	281	283	280	221	231	277	219	221	270	223	228	131

3　アンケート結果回答者数241人（回収率86％）

１）　参加者の所属



＜日頃感じている不安の軽減や疑問の解決に役立ったか＞

・病棟やケアマネ、PSW 等、様々な職種の方と情報収集をして利用者が落ち着いて過ごせる様に関わって行きたいと思った。
・根気強く困難事例に対応し、それぞれの役割・機能を発揮し、適切な医療・生活サポートがされていた。
・難渋な症例こそ「他職種の連携」の必要性は理解できたが、どのような場面、状況の時にどこへ相談すれば良いかが、具体的に分からない。
・意思決定のタイミング、見極めが大切であり、気持ちは変わるものと思って関わる事が必要だと思った。
・タイミングを見計らいながら ACP し、関係者で情報共有し連携しながら支援して行く事の大切さを感じた。
・訪問看護との関りや意思決定支援の ACP における振り返りについて再確認できてよかった。
・事例を通して、どのような支援が必要か学ぶ事が出来た。
・他職種の意見、アイデアが聞けて良かった。
・HIV ウイルス薬取り扱いの特殊性を改めて確認出来た。
・訪問看護だけの支援ではなく、様々な支援体制を作り、サポートして行く事の重要性を学んだ。

・医療的ケア児の在宅医療状況を知る事が出来、今後の参考になった。
・重症心身障害児の生活に沿った各種サービスが参考になった。
・在宅ケアやサービスについて詳しく知る事が出来た。
・実際に業務に携わっていないが、在宅での事例から実際を知る事が出来て良かった。
・今後、精神疾患を患った利用者を受け入れる為に、対応、方法等を学習できた。
・精神疾患の病態、対応の仕方が参考になった。
・精神科に関わる職種について知る事が出来た。
・退院後の患者さんとの関りが難しいと感じた。
・退院後の患者さんとの関りが見えた。とても苦労されており、大変だと感じた。
・対象者の今までの生きて来られた背景を把握する事が大切。
・本人の自己決定権と精神疾患について考える事が出来た。
・本人、家族が何をしたいのかをターミナルの方にタイミングをみて聞いておく事が大切。早くから知っていれば希望する事が実現する可能性が高い。
・看取りに対してどのように対応しているのか知る事が出来、貴重な機会だった。
・患者・家族のみならず、スタッフの不安についての情報共有。
・癌末期の方の受け入れをしてくれる施設がある事を知った。
・家族の気持ちの変化、行動変容もスタッフ間でよく話し合い対応を決めていて、今後役立つと思う。
・在宅ケアに関わる方の悩みや情報共有について理解する事に繋がったと思う。
・痛みの問いかけの言葉に重要性は今後の参考に。
・現場での悩みが共有できた。
・今後の類似ケースに役立てたい。
・グリーフケアの重要性を再確認できた。

＜（医師及び）アドバイザーからの講評やレクチャーは参考になったか＞

・相談窓口ガイドを活用していきたい。
・行政の関りがあっても、縦割り行政の為出来ない事や、拒否される事もあり、なかなか介入出来ない事もある事を知った。
・ACP の理解の大切さを知る事が出来た。
・的確な意見、アドバイスを聞く事が出来、参考になった。
・ACP の過程が大切であり、結果がどうであれ後悔しなくていいと聞き、ほっとした。
・病気を受容する為に、しっかりとした告知、正しい情報提供、家族関係が必要。
・「ちょっとした会話の中で情報を得る」と言う言葉が印象に残った。
・患者、家族の思いを早くから知る事が大切だと改めて思った。
・それまでに過ごして来たその人の人生を知り、意思決定支援をする事、入居の時から確認して行く事。
・HIV 専門薬剤師の情報を初めて知った。
・マイナス面を見がちであるが、プラス面を探し、伸ばす事が大切である事が分かった。
・保健師の広い考えは素晴らしいと思った。
・患者に関わっている人の顔が見えやすい環境作りが大切。高齢者の退院調整に関わる時にも大切にしたいと思った。
・母のこだわり、家族の思いを受け止める事が大切だと思った。
・病院側の意見も聞けて良かった。
・具体的な関わり方、訪問看護の基本は「自立支援」である事を再確認出来た。
・過剰な介入をせず、本人、息子の力を信じる事が大切だと思った。
・家族関係を観察し、見守る事が必要な時もある事を学んだ。一つ一つ出来る事を支援していく事が大切だと分かった。

・コンビニ弁当は､塩分やカロリーが詳しく書かれており､役立つ事が分かったので利用したいと思った。
・心不全認定 NS からの専門的視野からのアドバイスがとても分かりやすかった。
・理想を掲げるのではなく、まず自分の身体を気にしてもらう事から始めると言う事を、回数を重ねること毎に関係を築く一歩になるのではないかと感じさせた。
・内服の空をカレンダーに戻す、入浴方法も含め個人に合わせた対応が大切だと思った。
・家族機能の点から施設の職員が社会的資源となる事が理解できた。訪問看護師としてもそうなれるように利用者と関わりたいと思った。
・傷の処置方法や患者を家族機能の一部としてみるモデル等参考になった。
・看取りケアや疼痛コントロールの視点やケアが深められた。
・患者さんやご家族の心理面や支援について具体的に聞けて良かった。
・個々を理解した上で想いを引き出す事が大事である。

＜今後、在宅ケア事例検討会で取り上げて欲しい内容＞

・精神患者の緩和ケア、精神疾患を有する患者への訪問、関わり方。
・行政や他職種との連携事例。
・認知症患者への対応。
・引きこもり支援、訪問看護の関わり方。
・独居の看取り。
・意思決定能力の低下した方の終末期。
・家族間のネグレクトがあり協力が求め難い事例。
・在宅における ALS 療養者の急変時連絡ツールについて。
・ACP を含めた終末期の支援ケース。
・在宅ケアを拒む家族に対して、導入出来た事例について。
・病棟と地域との連携について。
・嚥下に関する問題。
・他職種で連携し、本人の関わりがうまく行った事例。
・知的障害者、又は本人の性格などで、本人自身が拒否する時の事例。
（キャンセルが増えると創部が悪化を繰り返している）
・高齢者、認知症、複数疾患のある独居の在宅終末看護など困難事例の検討。
・困難事例に対して、訪問看護師がケアマネとどのように連携を図っているのか、上手く行った事例を教えて欲しい。
・認知症の老々介護事例や独居事例。
・困難事例 (訪問看護が必要であるが本人が拒否して介入困難な場合)。
・（遠方の家族）一人暮らしの方の看取り。
・慢性心不全患者の事例があれば取り上げて欲しい。
・癌のターミナルは医療保険で訪問看護が利用できるが、老衰や心不全等の看取りの場合、医療保険の訪問看護には制限がある。そのような状況で看取りを行った事例について情報共有したい。
・緩和ケア（疼痛コントロール）。

＜在宅ケアにおける課題など＞

・精神患者が地域に帰る為の関わり。
・介入拒否される患者、家族との関わり、看護導入されるまで。
・予想のつかない行動をされる方の対応は体力、精神力共に消耗、疲労するので、対応する方のケア、安全も同時に考えて行く事が大切だと思った。
・医療処置があり頻回な訪問が必要な事例が多いが、人手不足で対応出来ない事。

・癌患者の症状は変化しやすいので、普段の関わりから意思決定し、支援していきたい。
・退院し在宅への移行期において、本人・家族が不安を訴える。病院も訪問看護もタイミング（忙しさ）があり、指導･教育　が不十分と感じるケースがあるので、退院後カンファレンスを開催し、役割分担や課題解決が必要。
・ACP を取り入れる事について医師方の認識を聞いてみたい。
・独居高齢者のサービス調整が難しい。
・在宅医療、見取りが増えているが、金銭的な問題や、キーパーソン、家族との関係等、問題も沢山あるので他職種が連携し、安心して在宅で過ごせるサービス、環境整備が必要だと思う。
・入院中、十分に指導し関わっても、退院後は、入院中と同じ管理は困難かと思う。（食事、服薬、制限すべき事等）
・キーパーソンが同居しているものの、病気や介護への理解が得られず、利用者支援が困難になる事が多い。
・他の職種が看取りに関わる時、普段から看取りについての知識が少ない職種に対するメンタルサポートが必要だと感じた。又、連携するにあたり情報共有は本当に重要と思った。
・年金額が少ない方へ、限られたサービスしか出来ない場合の対応。
・ターミナルケア開始の時期が遅いと感じる時がある。もう少し早かったら適切な他職種連携が出来たかと思う。病院との連携開始時期の見極めが大事。

＜おわりに＞

例年事例検討会では､富山県の在宅療養を支える上で必要な知識･情報交換に｢役に立っている｣｢講評等が参考になった｣という沢山の前向きな意見・今後も継続の希望があった。

これからも、病院・介護・福祉関係施設・在宅などの領域で働く看護職には連携の強化と、多職種と協働しながらケアの最大効果を出していくことが求められる。この領域で働く看護職の方々から現場の声を頂き、課題の発見、意見を集約する活発な事例検討会を行なっていきたい。

3職能4委員会連携事業報告

保・助・看ⅠⅡ職能委員会

Ⅰ　合同事例検討会

1　目　的

令和元年度日本看護協会重点政策「2.地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」に基づき、複雑多重問題を抱えた支援困難事例をもとに、看護職間連携のあり方を考える。

2　内　容

日　時：令和２年１月18日（土）13:30～16:00
参加者：３職能４委員会委員　32名
職　種：保健師７名　助産師10名　看護師15名
施　設：病院18名（急性期12名、回復期１名、慢性期３名、不明２）　介護福祉施設３名
訪問看護ステーション２名　厚生センター ２名　市町村行政１名　看護学校１名
会　場：富山県看護研修センター
方　法：３職能４委員会の各委員混合のグループ（５～６名）により支援困難事例（各１事例）の情報を共有し、事例検討の視点に沿って検討した。三日市監事及び各職能委員長はファシリテーターとしてグループに参加した。

【事例検討の視点】
①誰にとって、何が問題なのか、②当事者（家族）は何に困っているのか、
②このままの状態が続くとどうなるのか、④今後の支援方針（誰が、いつまでに、何を、どうするのか)、⑤事例検討を通じ看護職間の連携の課題、方針

3　アンケート結果：回収数29名（回収率90.6%）

1）３職能連携支援検討会の参加

今回が初めて	29名（100%）

2）目的の達成度

達成できた	17名（58.6%）	一部できた	12名（41.4%）

3）事例検討の視点

①誰にとって、何が問題なのか

検討しやすかった	15名（51.7%）	まあまあ検討出来た	14名（48.3%）

②当事者（家族）は何に困っているのか

検討しやすかった	15名（51.7%）	まあまあ検討出来た	14名（48.3%）

③このままの状態が続くとどうなるのか

検討しやすかった	17名（58.6%）	まあまあ検討出来た	12名（41.4%）

④今後の支援方針（誰が、いつまでに、何を、どうするのか）

検討しやすかった	12名（41.4%）	まあまあ検討出来た	13名（44.8%）
検討が難しかった	3名（10.4%）	無回答	1名（3.4%）

⑤事例検討を通じ看護職間の連携の課題、方針

検討しやすかった	13名（44.8%）	まあまあ検討出来た	14名（48.3%）
検討が難しかった	2名（6.9%）		

4）今回の研修での学びは自施設で活用できそうか

活用できる	10 名（34.5%）	一部活用できる	18 名（62.1%）
ほとんど活用できない	1 名（3.4%）		

5）研修全体を通して（複数回答可）

a　知識が整理できた	16	b　自己のニーズが満たされた	6	c　アイデアが得られた	16
d　思考が明確になった	9	e　実践に生かしてみたい	11	f　問題解決の糸口が得られた	6
g　リフレッシュになった	1	h　充実感が得られた	10	i　かえって混乱した	0
j　求めたものが得られなかった	0				

6）看護職の連携促進に向け、どのような企画があれば参加してみたいか

・今回のような事例検討会を行ってほしい
・母子の事例を用いた地域・病院の看護職の情報交換
・障害児（医療的ケア児）支援の取り組み
・地域包括ケア推進のために看護協会職能委員、協会員が行政等に提言できる会議等
・経済的困窮者に対する医療を維持するための情報を得られる場がほしい

4　まとめ

3 職能 4 委員会連携事業として合同事例検討会を開催した。研修の目的については、職能委員全員が「達成できた」「一部達成できた」という肯定的回答であった。【事例検討の視点】に沿ってグループワークを行ったことで「検討しやすかった」「まあまあ検討できた」という回答が多かった。しかし、今後の支援方針については「行政や福祉に関する知識が少なく難しかった」という意見があり、「経済的困窮者に対する医療を維持するための情報を得られる場」や「今回のような事例検討会の開催」を望んでいた。このことから、支援方法に関する知識を得られるような機会を設けた上で事例検討会に繋げればよいと考えられる。

今後は、看護職間の連携に活かせる知識を得られる機会を設けながら合同事例検討会を継続することにより、看護職連携の促進に結びつけられると考える。

Ⅱ　３職能４委員会合同「看護職種間連携に関する調査」結果

１　調査の概要

(1) 目的

看護職種間連携の実態や課題及び要望を明らかにすることにより地域包括ケアにおける看護提供体制の構築に資する

(2) 対象及び回収率

・対　象：保健師、助産師、看護師Ⅰ及びⅡの職能委員　　36名

・回収率：100%

(3) 方法

各職能理事を通じた自記式調査票の配布及び回収

(4) 調査時期

令和元年10月～11月

２　主な調査結果

(1) 回答者の属性

区分	計（人）	年代					部下の有無	
		20代	30代	40代	50代	60歳以上	有	無
保健師職能	9	0	3	4	2	0	6	3
	100%	0.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	66.7%	33.3%
助産師職能	9	0	0	7	2	0	5	4
	100%	0.0%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	55.6%	44.4%
看護師職能Ⅰ	9	0	1	2	6	0	4	5
	100%	0.0%	11.1%	22.2%	66.7%	0.0%	44.4%	55.6%
看護師職能Ⅱ	9	0	0	0	6	3	7	2
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	77.8%	22.2%
計	36	0	4	13	16	3	22	14
	100%	0.0%	11.1%	36.1%	44.4%	8.3%	61.1%	38.9%

保健師及び助産師職能は40歳代が最も多く、看護師職能Ⅰ・Ⅱは50歳代が最も多かった。

(2) 連携の状況（過去1年間の手段別状況）

区分	各計（人）	①連絡(tel, mail等)		②施設への訪問		③来所(院)面談		④会議等への参加	
		有	無	有	無	有	無	有	無
保健師職能	9	8	1	5	4	6	3	9	0
	100%	88.9%	11.1%	55.6%	44.4%	66.7%	33.3%	100.0%	0.0%
助産師職能	9	9	0	2	7	6	3	8	1
	100%	100.0%	0.0%	22.2%	77.8%	66.7%	33.3%	88.9%	11.1%
看護師職能Ⅰ	9	4	5	1	8	7	2	5	4
	100%	44.4%	55.6%	11.1%	88.9%	77.8%	22.2%	55.6%	44.4%
看護師職能Ⅱ	9	6	3	3	6	4	5	6	3
	100%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	44.4%	55.6%	66.7%	33.3%
計	36	27	9	11	25	23	13	28	8
	100%	75.0%	25.0%	30.6%	69.4%	63.9%	36.1%	77.8%	22.2%

（※連携の手段　①連絡（電話やメール、書簡、FAXなど）　②他施設への訪問
③自施設へ来てもらっての面談　④他施設の会議や研修会への参加）

連携（①連絡、②訪問、③面談、④参加）の状況を職能別に比較すると、保健師、助産師、看護師Ⅱ、看護師Ⅰの順に多かった。各職能ごとにみると、配属部署によっては「殆ど他機関の看護職と連携しない」と回答した者もいた。

連携手段で最も多かった回答は、「④他施設の会議や研修会への参加」であった。一方、最も少なかった回答は「②他施設への訪問（相手の施設へ訪問して面談）」であった。

委員の４人に１人（25%）は、過去１年間「“①連絡”したことなし」と回答していた。

(3) 日頃の連携で困っていること

＜保健師職能＞

・本人の同意が無い中での地域への情報提供は介入が困難なことが多い
・病院へ連絡する場合、交替勤務や電話してよい時間帯がわからず困ることが多い
・行政主催の会議や研修会に、病院や施設看護職の出席が少ない

＜助産師職能＞

・妊婦や褥婦の情報提供のため保健センターに連絡しても担当が違うと言われ、たらい回しにされたことが何度もあり困った

＜看護師職能Ⅰ＞

・支援者がいない独居高齢者の退院支援に悩むことが多い
・入退院の支援は、社会福祉士にお任せになっていることが多い
・他施設の取組みを理解していない

＜看護師職能Ⅱ＞

・利用者のことについて病院の地域連携室に相談しても、たらい回しにされる
・連携の窓口となる看護職がわからない、どこにFAXを送ればよいのかわからない
・大病院との連携に困ることが多い

(4)「看護職間連携」の今後の要望

～今後、他施設の看護職と連携したいと思うか、そう思う場合の目的や理由～

区分	計（人）	連携希望		連携したい目的や理由（下表参照）										
		有	無	①	②	③	④	⑤	⑤	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
保健師職能	9	9	0	6	6	8	8	7	8	6	8	4	5	6
	100%	100.0%	0.0%	66.7%	66.7%	88.9%	88.9%	77.8%	88.9%	66.7%	88.9%	44.4%	55.6%	66.7%
助産師職能	9	9	0	7	7	9	6	7	6	3	7	3	4	4
	100%	100.0%	0.0%	77.8%	77.8%	100.0%	66.7%	77.8%	66.7%	33.3%	77.8%	33.3%	44.4%	44.4%
看護師職能Ⅰ	9	9	0	6	5	7	7	7	4	4	9	1	5	3
	100%	100.0%	0.0%	66.7%	55.6%	77.8%	77.8%	77.8%	44.4%	44.4%	100.0%	11.1%	55.6%	33.3%
看護師職能Ⅱ	9	9	0	6	6	8	3	2	4	3	6	1	3	2
	100%	100.0%	0.0%	66.7%	66.7%	88.9%	33.3%	22.2%	44.4%	33.3%	66.7%	11.1%	33.3%	22.2%
計	36	36	0	25	24	32	24	23	22	16	30	9	17	15
	100%	100.0%	0.0%	69.4%	66.7%	88.9%	66.7%	63.9%	61.1%	44.4%	83.3%	25.0%	47.2%	41.7%

すべての職能委員が、「今後他施設の看護職と連携したい」と回答していた。

その目的として最も多かった回答は「③地域内の資源や制度・サービス等の情報を得る」次いで「⑧他施設がどのような取組みを行っているのかを知る」であった。

① 担当しているケース（患者や利用者等）の支援
② 円滑な退院支援や退所支援等を行う
③ 地域内の資源や制度・サービス等の情報を得る
④ 自施設の職員研修（職員教育）を充実させる
⑤ 自施設が目指すべき方向性や使命・役割等のヒントを得る
⑥ 自施設で実施する事業等への協力依頼（講師依頼含む）
⑦ 職員の人事交流
③ 他施設がどのような取組みを行っているのかを知る
⑨ 行政（市町村や県）で予算を取ってほしい事業や要望等がある
⑩ イベントや講演会等の共同開催
⑪ 調査研究

(5) 現在取り組んでいる看護職間連携

＜保健師職能＞

関係機関合同の事例検討会･研修会の開催、短時間でも顔を合わせて話し合う機会の設定、定期的な連絡会の開催、病院認定看護師との共同事業の開催、地域内のルールづくりなど

＜助産師職能＞

チエックリスト等を活用した保健師との情報共有、病院主体の研修会や交流会の開催、多施設合同カンファレンス、わかりやすい情報提供書の作成、早めの電話連絡など

＜看護師職能Ⅰ＞

地域連携室が主体の地域内協議の開催、行政保健師との連携、わかりやすい情報提供、看護サマリーの充実、入院前からの情報連携、患者宅での支援者カンファレンス（退院前）など

＜看護師職能Ⅱ＞
公的病院が開催する研修会への参加、慢性期病院等の会議への参加、短時間のミニカンファレンス、行政･訪問看護･地域包括支援センターとの顔の見える関係づくりなど
(6) 今後取り組みたい看護職間連携
＜保健師職能＞
大学（看護）との共同研究、各施設の取組みを知る機会の創設、日常的に困っていることや知りたい情報など的を絞った情報交換会、看護職が参加したいと思う魅力的な行政事業の創出、支援事例を通じた顔の見える関係づくりなど
＜助産師職能＞
妊娠･出産を通じた市町村保健事業との連携強化、退院後早期の市町村保健師との同行訪問、市町村保健師とのタイムリーな情報共有の仕組みづくり、地域で活躍する助産師の増加、他院の取組みを知る、病棟助産師の退院後訪問、全助産師が訪問看護を体験するなど
＜看護師職能Ⅰ＞
急性期の看護師が回復期や慢性期の病院を訪問し理解する、他施設との人事交流、患者が困らない円滑な連携促進、速やかな退院支援、退院カンファレンスだけではなく入院カンファレンスの実施、医療と介護の看護職連携など
＜看護師職能Ⅱ＞
地域の関係者との頻回な合同会議の開催、行政保健師と連携、地域のサービスや制度等の把握、円滑な退院･退所支援、退院カンファレンスだけではなく入院カンファレンスの実施、他施設の取組みを知る、資質向上のための参加しやすい勉強会の開催など

3　まとめ

(1) 連携（連絡、訪問、面談、参加）の状況を職能別に比較すると、看護師職能Ⅰ･Ⅱに比較して、保健師･助産師職能の連携割合が高かった。
(2) 連携に関する困りごとは多様であり、「どこに連絡してよいかわからない」、「たらい回しにされた」、「忙しそうでいつ電話してよいか悩む」が多かった。
(3) 連携調整の役割は地域連携室の看護職や社会福祉士が担っていることから、「連携する機会は殆どない」と回答する病棟看護師が一定数いた。
(4) 各職能では、看護職間連携のために多様な取組みや工夫が行われていた。
(5) すべての職能委員が、「今後、他施設の看護職と連携したい」と回答し、その取組み方策については具体的な提案が多かった。

今後は、各職能の役割や特性を相互に理解し、各委員の提案を具体的に実践することで、更なる看護職連携による質の高い地域包括ケアシステムの構築に寄与していきたい。

在宅医療体験実習報告

富山（東北西）支部

1　在宅医療体験実習について

1）背景および目的

昨年度より病院看護師が在宅療養の実際と在宅医療・介護の専門職の役割や連携について学び、各施設においてスムーズな退院支援に役立てることを目的に在宅医療体験実習を開始した。今年度は2年目となりさらに体験者を増やしていくことにより地域包括ケアシステムの推進に役立て、さらに研修会に参加し、実習での体験をフィードバックすることを目的に企画実施した。

2）実習内容

(1) 実習時期　　7月～11月
(2) 実習場所　　富山市まちなか診療所、やまだホームケアクリニック
(3) 実習内容　　診療所における診療チームと同行訪問、カンファレンス等

3）実習参加者数　76名

4）参加者の感想、評価など（アンケート調査より）

(1) アンケート回収率　100％
(2) 参加者の背景
　①年　　齢　20歳代30％、30歳代24％、40歳代37％、50歳代９％
　②所属部署　病棟71％、地域連携室12％、外来12％、その他５％
　③参加動機　在宅に関心29％、知識を得るため24％、退院支援に活用34％、
　　上司からの勧め12％、同僚からの勧め１％
(3) 研修環境
　①時間　　丁度95％、短い５％
　②難易度　　普通79％、難しい16％、易しい４％
　③実践の応用　参考になる100％
　④満足度　　満足96％、普通３％、無回答１％
(4) 在宅療養の実際と医療・介護の専門職の役割について理解できた　97％

「看護師は医師の診療の補助から、ケアマネとの連携、家族の精神的サポートなどの役割を果たしていた」「限られた資源や時間の中でアセスメントし情報共有を行っていた」「患者の身体的観察にはじまり、精神的社会的不安がないか、家族のサポートを行い幅広い知識と技術が必要である」「患者・家族の意向を尊重した関わりを行っていた」「ノートの使用、短時間の多職種カンファレンスで効率的な情報共有と連携がされていた」などの意見があった。

(5) 在宅療養についての気づきがあった　100％

「患者や家族の意思を尊重し、住み慣れた場所でその人らしく生活できることを大切にしていると感じた」「在宅医療での医師や看護師の接し方があたたかく優しさがあり、看護の原点に戻れた気がした」「様々な疾患や病気の方、高度医療が必要な方がいたが環境が整うことで在宅療養が可能になる事がわかった」「在宅医療には施設内の医療より幅広く複雑な個別性があり、その個別性をアセスメントしうまく活用することでその人らしい生活につながる」「困ったときにはいつでも連絡相談できる顔の見える関係が作られていた」「内服薬においても一包化や分別することで患者家族の負担軽減になる事がわかった」などの意見があった。

(6) 今後、自施設のスムーズな入退院支援に役立つことがあった　100％

「摂食困難な患者の在宅での支援が理解できたので入院中の患者にも情報提供していきたい」「今まで退院支援について地域連携室に任せていたが在宅での生活をもっと具体的にイメージして退院支援に関わっていきたい」「自宅退院が困難だと思ってしまわないで本人や家族の意思を確認し早期から支援していきたい」「実習で体験したことを院内スタッフや患者、

家族に伝えていきたい」「内服コントロールが必要な患者には管理手帳や血圧ノートなどを入院中から渡してセルフケア指導を行いたい」「入院患者は退院というと病院から見放されたと言われることもあるので、在宅医療の実際を具体的に情報提供していきたい」などの意見があった。

5）評価

今回のアンケート結果から、在宅医療体験実習参加者の在宅医療への理解が深まり、患者・家族の在宅復帰への意思を尊重し、自施設での退院支援に役立てたいという意識の向上につながったと考えられる。自施設内の普段の勤務ではなかなか経験できない、患者の実際の在宅生活を見て、在宅医療チームの連携を知ることは自施設での自分の看護を振り返り、参加者の看護観を高めることにもつながっていると考えられる。

２　在宅医療研修会について

1）目　的　病院と在宅医療を繋ぐために重要なこと、在宅医療を推進する上でキーとなることを検討する

2）参加者　実習参加看護師、県内看護師、保健師、介護職員　169名（２回開催）

3）内　容　令和元年９月、11月の研修でまちなか診療所三浦医師、やまだホームケアクリニック山田医師、看護師の講義、ファシリテーションをもとにグループワークを行い発表し共有する。

4）参加者の感想・意見

体験した在宅医療の現場について情報共有することによって、各自が明日からできそうなことを思考した。実践に結びつく内容だったと感想を述べている。日頃は話すことのない病院の看護師と話すこと、他施設の取り組みについても知ることができ有意義だった。

３　まとめ

今回で在宅医療体験実習、研修会は２年目となり、在宅医療実習を体験した富山支部の病院看護師は昨年度53名、今年度76名とさらに増えた。昨年度は病院のなかで退院支援の中核となるリーダー層の参加を呼びかけた。今年度は、リーダー層の参加だけでなく、在宅医療に関心のある者、看護管理者、教育者などの参加があった。病院看護師が在宅での医療介護をうけながらの患者・家族の在宅生活の実際を知り、入院中からの退院支援の重要性を実感したと考えられる。また研修での講義・グループワークに参加し、自施設と在宅医療を繋ぐために自分ができることを振り返ることができた。

この体験実習および研修の参加者が、各施設のなかで、どのように行動し、実際に在宅医療の促進に貢献できているのか、次年度の活動課題としていきたい。

認定看護師教育課程について

認定看護師教育課程の休講について

令和元年10月８日（火）

１．平成26年度から開講してきた認定看護師教育課程については

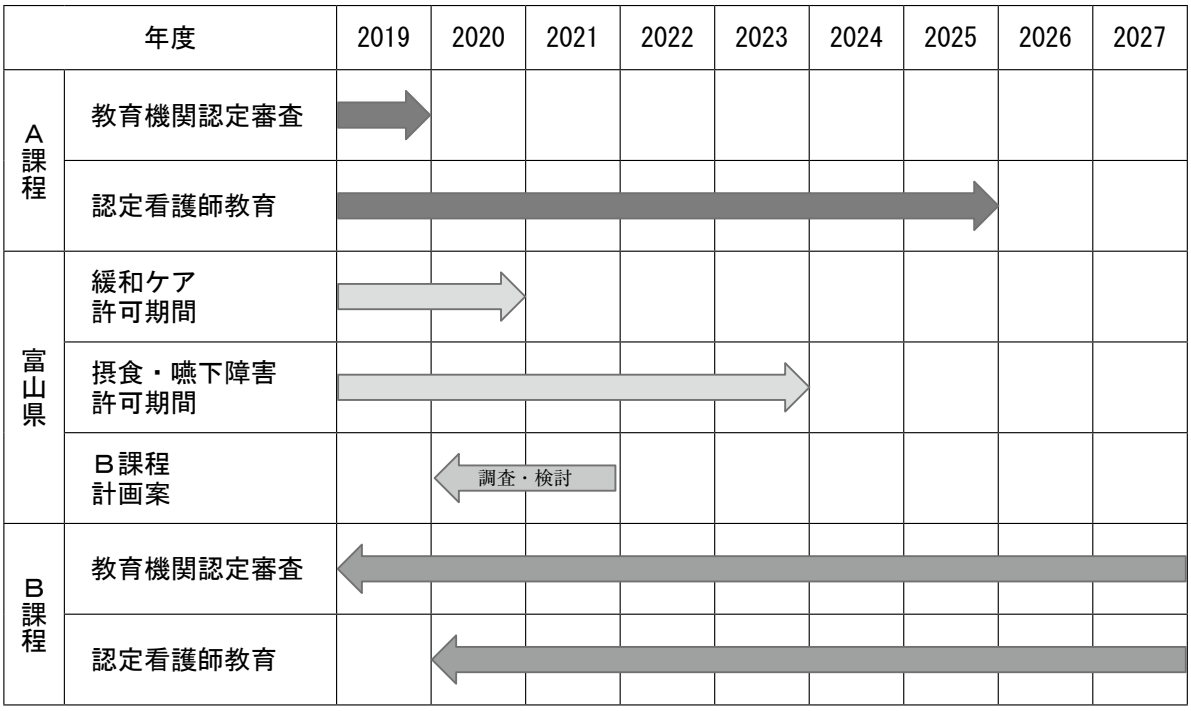
①県内の認定看護師数が令和元年８月現在291人と人口10万人あたり全国２位になるなど、初期の目的を概ね達成していること。

②全国的に特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師教育課程への移行がすう勢になってきており、ニーズが減少する傾向にあると考えられること等により、令和元年をもって休講とする。

２．来年度より2021年度末にかけて、特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師教育課程（Ｂ課程）の開講について、調査・検討を行う。

【参考】日本看護協会　認定看護師教育課程（Ａ課程）の有効期間と（Ｂ課程）の教育開始時期

令和元年10月８日（火）理事会資料



会員数と入会率

	合計				保健師				助産師			
	02.3.31 現在 会員数	31.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	02.3.31 現在 会員数	31.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	02.3.31 現在 会員数	31.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)
	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%
北海道	43,644	43,051	85,956	50	1,199 (69)	1,230 (72)	3,133	39	1,264	1,270	1,668	76
青森	8,723	8,717	18,963	46	256 (7)	269 (7)	684	39	318	310	337	92
岩手	7,512	7,355	17,708	42	336 (5)	333 (6)	745	45	330	316	401	79
宮城	12,742	12,505	27,458	46	312 (10)	318 (8)	1,100	29	647	635	728	87
秋田	7,072	6,996	15,364	46	210 (14)	221 (17)	585	38	318	321	322	100
山形	7,837	7,854	15,470	51	367 (8)	366 (8)	624	59	362	364	351	104
福島	12,579	12,471	25,390	49	380 (30)	375 (28)	1,061	35	391	376	513	73
茨城	15,498	14,912	31,015	48	363 (18)	360 (20)	1,155	31	548	531	740	72
栃木	12,049	11,756	23,834	49	542 (21)	543 (20)	953	57	367	360	538	67
群馬	11,736	11,582	27,984	41	648 (36)	657 (34)	999	66	363	352	514	68
埼玉	25,780	24,716	68,722	36	478 (56)	473 (57)	2,219	21	954	908	1,692	54
千葉	28,578	27,882	58,508	48	454 (37)	461 (38)	2,084	22	900	868	1,497	58
東京	48,891	48,722	130,101	37	424 (17)	413 (21)	3,931	11	2,226	2,149	4,088	53
神奈川	37,810	37,060	80,815	46	734 (48)	751 (46)	2,157	35	1,337	1,315	2,337	56
新潟	16,284	16,195	30,294	53	840 (34)	853 (32)	1,220	70	628	618	764	81
山梨	5,762	5,730	11,187	51	493 (17)	504 (19)	625	81	197	199	261	76
長野	14,600	14,326	29,644	48	1,101 (57)	1,079 (51)	1,593	68	713	692	877	79
富山	8,839	8,686	16,900	51	492 (14)	491 (14)	621	79	389	376	430	87
石川	9,845	9,808	18,534	53	232 (7)	245 (8)	568	43	293	293	349	84
福井	6,623	6,453	12,547	51	238 (5)	225 (4)	477	47	227	223	248	90
岐阜	12,330	12,103	24,097	50	424 (16)	451 (16)	989	46	452	446	631	71
静岡	21,587	21,070	42,007	50	529 (20)	546 (18)	1,718	32	816	797	998	80
愛知	38,838	37,978	79,846	48	581 (21)	566 (18)	2,726	21	1,558	1,528	2,241	68
三重	11,580	11,248	22,948	49	154 (5)	145 (4)	733	20	353	345	445	78
滋賀	9,000	8,702	17,023	51	342 (7)	347 (7)	714	49	275	278	496	56
京都	17,545	17,199	35,288	49	316 (27)	314 (32)	1,187	26	673	645	897	72
大阪	54,400	53,502	103,595	52	690 (27)	719 (26)	2,284	31	2,031	1,978	2,706	73
兵庫	32,318	32,122	68,521	47	703 (21)	722 (22)	1,759	41	1,028	1,042	1,544	67
奈良	9,465	9,282	15,898	58	135 (4)	126 (4)	549	23	298	282	368	77
和歌山	6,086	5,933	14,705	40	138 (8)	131 (7)	495	26	235	215	287	75
鳥取	4,277	4,190	9,954	42	105 (2)	100 (2)	332	30	213	215	239	90
島根	5,979	5,962	12,536	48	284 (8)	282 (7)	539	52	281	283	326	87
岡山	17,498	17,210	29,590	58	718 (15)	707 (11)	1,018	69	427	421	539	78
広島	20,493	20,089	44,184	45	430 (17)	448 (21)	1,299	34	523	515	678	76
山口	10,405	10,285	25,105	41	474 (14)	481 (15)	761	63	334	324	423	77
徳島	4,753	4,638	13,370	35	126 (1)	120 (2)	411	29	249	244	272	90
香川	7,528	7,449	16,380	45	202 (3)	205 (3)	563	36	281	272	315	86
愛媛	10,209	10,046	23,265	43	335 (11)	341 (7)	702	49	235	228	335	68
高知	6,391	6,138	14,811	41	129 (2)	137 (1)	522	26	154	140	191	73
福岡	42,793	42,053	81,500	52	749 (25)	765 (23)	1,830	42	987	977	1,448	67
佐賀	5,614	5,648	16,196	35	199 (3)	195 (1)	493	40	115	116	237	49
長崎	10,103	9,984	25,854	39	190 (3)	198 (4)	753	26	204	198	443	45
熊本	15,920	15,711	34,248	46	487 (10)	476 (8)	992	48	379	347	468	74
大分	10,003	9,956	21,154	47	507 (8)	492 (7)	671	73	213	199	335	59
宮崎	8,819	8,651	21,204	41	230 (9)	231 (9)	673	34	252	230	321	72
鹿児島	12,357	12,163	32,951	37	450 (9)	440 (7)	941	47	388	386	626	62
沖縄	9,999	9,654	20,327	47	294 (26)	297 (28)	767	39	424	417	447	93
合計	758,694	745,743	1,612,951	46	20,020 (832)	20,149 (820)	52,955	38	26,150	25,544	36,911	69

注 (1) 就業者数は、『平成30年度　衛生行政業務報告』により計上した。
(2)「入会率」は、平成31年３月31日現在の会員数で算出。
(3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数（平成30年度決算報告書）とは異なる。
(4)「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の（　）内は男子の再掲。

看護師					准看護師				
02.3.31 現在 会員数	31.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)		02.3.31 現在 会員数	31.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	
人	人	人	%		人	人	人	%	
38,666 (3,316)	37,855 (3,181)	64,456	59		2,515 (124)	2,696 (142)	16,699	16	北海道
7,774 (638)	7,739 (615)	13,048	59		375 (22)	399 (24)	4,894	8	青森
6,671 (500)	6,518 (462)	13,637	48		175 (12)	188 (12)	2,925	6	岩手
11,388 (813)	11,148 (760)	20,086	56		395 (19)	404 (15)	5,544	7	宮城
6,419 (612)	6,311 (576)	11,311	56		125 (16)	143 (17)	3,146	5	秋田
6,928 (480)	6,925 (452)	11,731	59		180 (17)	199 (16)	2,764	7	山形
10,874 (921)	10,718 (887)	17,161	62		934 (78)	1,002 (85)	6,655	15	福島
13,548 (1,264)	12,962 (1,175)	22,024	59		1,039 (100)	1,059 (100)	7,096	15	茨城
10,444 (1,004)	10,117 (955)	16,479	61		696 (54)	736 (63)	5,864	13	栃木
9,982 (1,257)	9,794 (1,200)	19,022	51		743 (69)	779 (73)	7,449	10	群馬
23,641 (2,155)	22,580 (1,998)	50,844	44		707 (40)	755 (44)	13,967	5	埼玉
26,129 (2,239)	25,444 (2,144)	45,202	56		1,095 (80)	1,109 (76)	9,725	11	千葉
45,656 (3,344)	45,569 (3,300)	109,517	42		585 (51)	591 (44)	12,565	5	東京
35,155 (3,110)	34,391 (2,998)	67,763	51		584 (39)	603 (40)	8,558	7	神奈川
14,162 (1,392)	13,997 (1,364)	22,702	62		654 (45)	727 (43)	5,608	13	新潟
4,857 (526)	4,772 (503)	8,223	58		215 (8)	255 (9)	2,078	12	山梨
12,469 (1,311)	12,215 (1,235)	22,349	55		317 (32)	340 (35)	4,825	7	長野
7,829 (640)	7,677 (609)	12,717	60		129 (16)	142 (13)	3,132	5	富山
8,983 (665)	8,924 (645)	14,616	61		337 (34)	346 (32)	3,001	12	石川
5,920 (486)	5,752 (459)	8,992	64		238 (10)	253 (10)	2,830	9	福井
10,892 (1,025)	10,616 (966)	16,950	63		562 (35)	590 (27)	5,527	11	岐阜
19,496 (1,548)	18,937 (1,445)	32,935	57		746 (35)	790 (34)	6,356	12	静岡
35,850 (2,889)	34,987 (2,732)	61,389	57		849 (30)	897 (31)	13,490	7	愛知
10,512 (911)	10,161 (852)	16,931	60		561 (28)	597 (34)	4,839	12	三重
8,171 (906)	7,866 (861)	14,106	56		212 (15)	211 (15)	1,707	12	滋賀
15,942 (1,410)	15,581 (1,371)	28,238	55		614 (56)	659 (56)	4,966	13	京都
49,781 (3,462)	48,807 (3,342)	83,016	59		1,898 (87)	1,998 (87)	15,589	13	大阪
29,648 (2,208)	29,321 (2,108)	54,658	54		939 (30)	1,037 (33)	10,560	10	兵庫
8,624 (754)	8,431 (732)	12,917	65		408 (16)	443 (16)	2,064	21	奈良
5,560 (739)	5,421 (682)	10,795	50		153 (15)	166 (16)	3,128	5	和歌山
3,895 (294)	3,807 (276)	7,180	53		64 (5)	68 (5)	2,203	3	鳥取
5,266 (432)	5,227 (394)	8,769	60		148 (13)	170 (11)	2,902	6	島根
15,645 (1,090)	15,316 (1,032)	23,523	65		708 (28)	766 (32)	4,510	17	岡山
18,421 (1,697)	17,969 (1,595)	31,045	58		1,119 (89)	1,157 (86)	11,162	10	広島
8,995 (701)	8,826 (675)	17,311	51		602 (63)	654 (61)	6,610	10	山口
4,321 (271)	4,212 (256)	9,091	46		57 (3)	62 (5)	3,596	2	徳島
6,840 (689)	6,750 (664)	11,501	59		205 (26)	222 (31)	4,001	6	香川
9,279 (923)	9,120 (879)	16,839	54		360 (33)	357 (29)	5,389	7	愛媛
5,741 (643)	5,492 (585)	10,668	51		367 (56)	369 (49)	3,430	11	高知
38,887 (3,305)	38,036 (3,193)	60,730	63		2,170 (196)	2,275 (194)	17,492	13	福岡
5,015 (658)	5,011 (631)	10,937	46		285 (53)	326 (57)	4,529	7	佐賀
9,290 (923)	9,151 (880)	17,691	52		419 (31)	437 (35)	6,967	6	長崎
13,620 (1,087)	13,380 (1,035)	23,012	58		1,434 (128)	1,508 (128)	9,776	15	熊本
8,627 (692)	8,562 (674)	14,600	59		656 (56)	703 (57)	5,548	13	大分
7,768 (961)	7,591 (928)	14,033	54		569 (70)	599 (81)	6,177	10	宮崎
10,841 (1,186)	10,624 (1,103)	22,504	47		678 (66)	713 (64)	8,880	8	鹿児島
8,858 (1,602)	8,470 (1,505)	15,357	55		423 (66)	470 (74)	3,756	13	沖縄
683,280 (59,679)	669,080 (56,914)	1,218,606	55		29,244 (2,195)	30,970 (2,241)	304,479	10	合計

都道府県看護協会一覧表

協会名	〒	住所	TEL	FAX
北海道看護協会	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北3-24	011-863-6731	011-863-3204
青森県看護協会	030-0822	青森市中央3-20-30　県民福祉プラザ３階	017-723-2857	017-735-3836
岩手県看護協会	020-0117	盛岡市緑が丘2-4-55	019-662-8213	019-662-9550
宮城県看護協会	980-0871	仙台市青葉区八幡2-10-19	022-273-3923	022-276-4724
秋田県看護協会	010-0874	秋田市千秋久保田町6-6	018-834-0172	018-835-9522
山形県看護協会	990-2473	山形市松栄1-5-45　アルカディアソフトパーク山形内	023-685-8033	023-646-8868
福島県看護協会	963-8871	郡山市本町1-20-24	024-934-0512	024-991-5560
茨城県看護協会	310-0034	水戸市緑町3-5-35　茨城県保健衛生会館内	029-221-6900	029-226-0493
栃木県看護協会	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1とちぎ健康の森４階	028-625-6141	028-625-8988
群馬県看護協会	371-0007	前橋市上泉町1858-7　群馬県看護教育センター	027-269-5565	027-269-8601
埼玉県看護協会	331-0078	さいたま市西区西大宮3-3	048-624-3300	048-624-3331
千葉県看護協会	261-0002	千葉市美浜区新港249-4	043-245-1744	043-248-7246
東京都看護協会	162-0023	新宿区西新宿4-2-19	03-6300-0730	03-6300-0875
神奈川県看護協会	231-0037	横浜市中区富士見町3-1　神奈川県総合医療会館６階	045-263-2901	045-263-2905
新潟県看護協会	951-8133	新潟市中央区川岸町２-11	025-265-1225	025-266-1199
山梨県看護協会	400-0807	甲府市東光寺2-25-1	055-226-4288	055-222-5988
長野県看護協会	390-0802	松本市旭2-11-34	0263-35-0421	0263-34-0311
富山県看護協会	930-0885	富山市鵜島字川原1907-1	076-433-5680	076-433-6428
石川県看護協会	920-0931	金沢市兼六元町3-69	076-232-3573	076-232-3973
福井県看護協会	918-8206	福井市北四ツ居町601	0776-54-7103	0776-54-8474
岐阜県看護協会	500-8384	岐阜市薮田南5-14-53　岐阜県県民ふれあい会館１棟５階	058-277-1008	058-275-5300
静岡県看護協会	422-8067	静岡市駿河区南町14-25　エスパティオ３階	054-202-1750	054-202-1751
愛知県看護協会	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-18	052-871-0711	052-871-0757
三重県看護協会	514-0062	津市観音寺町字東浦457-3三重県看護研修会館	059-225-1010	059-226-5200
滋賀県看護協会	525-0032	草津市大路2-11-51	077-564-6468	077-562-8998
京都府看護協会	606-8111	京都市左京区高野泉町40-5	075-723-7195	075-723-7272
大阪府看護協会	540-0001	大阪市中央区城見2-2-22　マルイトOBPビル８階	06-6947-6900	06-6947-6901
兵庫県看護協会	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24	078-341-0190	078-361-6652
奈良県看護協会	634-0813	橿原市四条町288-8　奈良県看護研修センター	0744-25-4014	0744-24-7703
和歌山県看護協会	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-1005	073-483-1266
鳥取県看護協会	680-0901	鳥取市江津318-1	0857-29-8100	0857-29-8102
島根県看護協会	690-0049	松江市袖師町7-11	0852-25-0330	0852-25-3157
岡山県看護協会	700-0805	岡山市北区兵団4-31	086-226-3638	086-226-1157
広島県看護協会	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2	082-293-3362	082-295-5361
山口県看護協会	747-0062	防府市大字上右田2686	0835-24-5790	0835-24-1230
徳島県看護協会	770-0003	徳島市北田宮1-329-18	088-631-5544	088-632-1084
香川県看護協会	769-0102	高松市国分寺町国分152-4	087-864-9070	087-864-9071
愛媛県看護協会	790-0843	松山市道後町2-11-14	089-923-1287	089-926-7825
高知県看護協会	780-8066	高知市朝倉己825-5	088-844-0678	088-844-0053
福岡県看護協会	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1　ナースプラザ福岡	092-631-1141	092-631-1142
佐賀県看護協会	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1　看護センター	0952-68-3299	0952-68-3603
長崎県看護協会	854-0072	諫早市永昌町23-6	0957-49-8050	0957-49-8056
熊本県看護協会	862-0901	熊本市東区東町3-10-39	096-369-3203	096-369-3204
大分県看護協会	870-0855	大分市豊饒2丁目7-1	097-574-7117	097-545-3751
宮崎県看護協会	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	0985-58-0622	0985-58-2939
鹿児島県看護協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5　鹿児島県看護研修会館	099-256-8081	099-256-8079
沖縄県看護協会	901-1105	島尻郡南風原町字新川272-17	098-888-3155	098-888-3126

都道府県ナースセンター一覧表

ナースセンター	〒	住所	TEL	FAX
北海道ナースセンター	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北３番24号北海道看護協会内１階	011-863-6794	011-866-2244
青森県ナースセンター	030-0822	青森市中央三丁目20-30県民福祉プラザ３階青森県看護協会内	017-723-4580	017-735-3836
岩手県ナースセンター	020-0117	盛岡市緑ヶ丘2-4-55岩手県看護研修センター１階岩手県看護協会内	019-663-5206	019-663-5263
宮城県ナースセンター	981-0933	仙台市青葉区柏木２丁目3-23	022-272-8573	022-272-7801
秋田県ナースセンター	010-0001	秋田市中通２丁目3-8秋田アトリオンビル１階	018-832-8810	018-853-4376
山形県ナースセンター	990-2473	山形市松栄１丁目5-45山形県看護協会内	023-646-8878	023-643-5727
福島県ナースセンター	963-8871	郡山市本町１丁目20番24号福島県看護会館 みらい１階福島県看護協会内	024-934-0500	024-991-6002
茨城県ナースセンター	310-0034	水戸市緑町3-5-35茨城県保健衛生会館１階茨城県看護協会内	029-221-7021	029-226-0493
栃木県ナースセンター	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1とちぎ健康の森４階栃木県看護協会	028-625-3831	028-625-8988
群馬県ナースセンター	371-0007	前橋市上泉町1858-7群馬県看護協会内	027-269-5202	027-269-8601
埼玉県ナースセンター	331-0078	さいたま市西区西大宮３丁目３番地	048-620-7337	048-620-7322
千葉県ナースセンター	261-0002	千葉市美浜区新港249-10	043-247-6371	043-247-6620
東京都ナースプラザ（ナースバンク東京）	160-0023	新宿区西新宿4-2-19（ナースバンク東京）東京都看護協会内	03-5309-2065	03-5309-2066
神奈川県ナースセンター	231-0037	横浜市中区富士見町３番１神奈川県総合医療会館５階	045-263-2101	045-263-2104
新潟県ナースセンター	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11新潟県看護研修センター１階新潟県看護協会内	025-233-6011	025-265-4188
富山県ナースセンター	930-0885	富山市鵜島字川原1907-1富山県看護協会内	076-433-5251	076-433-5281
石川県ナースセンター	920-0931	金沢市兼六元町3-69石川県看護協会内	076-225-7771	076-225-7788
福井県ナースセンター	918-8206	福井市北四ツ居町601福井県看護協会会館	0776-52-1857	0776-52-1858
山梨県ナースセンター	400-0807	甲府市東光寺2-25-1山梨県看護協会内1階	055-226-0110	055-222-5988
長野県ナースセンター	390-0802	松本市旭２丁目11-34長野県看護協会会館	0263-35-0067	0263-34-0311
岐阜県ナースセンター	500-8384	岐阜市薮田南5-14-53岐阜県県民ふれあい会館第１棟５階岐阜県看護協会内	058-277-1010	058-277-1011
静岡県ナースセンター	422-8067	静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ３階	054-202-1761	054-202-1762
愛知県ナースセンター	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-15愛知県高辻センター１階	052-871-0600	052-883-3686
三重県ナースセンター	514-0062	津市観音寺町字東浦457-3三重県看護研修会館別館	059-222-0466	059-222-0465
滋賀県ナースセンター	525-0032	草津市大路２丁目11-51滋賀県看護研修センター滋賀県看護協会内	077-564-9494	077-562-8998
京都府ナースセンター	604-0874	京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375ハートピア京都地下１階	075-222-0316	075-222-0528
大阪府ナースセンター	536-0014	大阪市城東区鴫野西2-5-25大阪府看護協会内	06-6964-5511	06-6964-6666
兵庫県ナースセンター	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24兵庫県看護協会会館１階	078-341-0240	078-341-0340
奈良県ナースセンター	634-0813	橿原市四条町288-8奈良県看護研修センター１階	0744-25-4031	0744-24-7703
和歌山県ナースセンター	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-0234	073-483-1266
鳥取県ナースセンター	680-0901	鳥取市江津318－1看護研修センター１階鳥取県看護協会内	0857-25-1222	0857-25-1223
島根県ナースセンター	690-0049	松江市袖師町7－11看護研修センター１階島根県看護協会内	0852-27-8510	0852-25-3157
岡山県ナースセンター	700-0805	岡山市北区兵団４番39岡山県看護研修センター内	086-226-3639	086-226-0341
広島県ナースセンター	730-0803	広島市中区広瀬北町9－2広島県看護協会会館1階	082-293-9786	082-295-6749
山口県ナースセンター	747-0062	防府市大字上右田2686山口県看護研修会館本館１階山口県看護協会内	0835-24-5791	0835-28-9688
徳島県ナースセンター	770-0003	徳島市北田宮１丁目329－18徳島県看護会館内	088-631-5544	088-632-1084
香川県ナースセンター	769-0102	高松市国分寺町国分152－4香川県看護協会看護研修センター２階	087-864-9075	087-864-9071
愛媛県ナースセンター	790-0843	松山市道後町２丁目11-14愛媛県看護協会内愛媛看護研修センター１階	089-924-0848	089-996-8425
高知県ナースセンター	780-8066	高知市朝倉己825番地５高知県看護協会内	088-844-0758	088-844-0053
福岡県ナースセンター	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1ナースプラザ福岡	092-631-1221	092-631-1223
佐賀県ナースセンター	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1佐賀県看護協会内	0952-51-3511	0952-68-3603
長崎県ナースセンター	854-0072	諫早市永昌町23-6ながさき看護センター１階長崎県看護協会内	0957-49-8060	0957-49-8063
熊本県ナースセンター	862-0901	熊本市東区東町3-10-39看護研修センター１階熊本県看護協会内	096-365-7660	096-365-7640
大分県ナースセンター	870-0855	大分市豊饒２丁目7-1看護研修会館１階大分県看護協会内	097-574-7136	097-574-7361
宮崎県ナースセンター	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6宮崎県看護協会１階	0985-58-4525	0985-58-2939
鹿児島県ナースセンター	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5看護研修会館１階鹿児島県看護協会内	099-256-8025	099-256-8079
沖縄県ナースセンター	901-1105	沖縄県島尻郡南風原町字新川272番地17 沖縄県看護研修センター１階沖縄県看護協会内	098-888-3127	098-888-3126

公益社団法人富山県看護協会定款

第１章　総　　則

（名称）

第１条　本会は、公益社団法人富山県看護協会と称する。

（事務所）

第２条　本会は、主たる事務所を富山県富山市に置く。

（日看協への入会）

第３条　本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日看協」という。）の法人会員となるものとする。

第２章　目的及び事業

（目的）

第４条　本会は、日看協との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて県民のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康で豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

（事業）

第５条　本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 教育等看護の質の向上に関する事業

(2) 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業

(3) 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業

(4) 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

(5) 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業

(6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

２　前項各号の事業は、富山県において行うものとする。

第３章　会　　員

（法人の構成員）

第６条　本会の会員は、次の２種とする。

(1) 正会員　富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。

(2) 名誉会員　看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。

２　前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

（入会）

第７条　本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

（会費）

第８条　本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員になった時及び毎年、正会員は、総会において別に定める額を納入しなければならない。

（退会）

第９条　会員は、退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

（除名）

第10条　会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

(1) この定款その他の規程に違反したとき。

(2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

２　前項の規定により会員を除名するときは、当該会員に、当該総会の日から１週間前までにその旨を通知し、かつ、総会において弁明する機会を与えなければならない。

３　除名は、除名した会員にその旨を通知しなければ、これをもって当該会員に対抗することができない。

（会員資格の喪失）

第11条　前２条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 第８条の支払義務を１年以上履行しなかったとき。

(2) 全正会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡したとき。

第４章　総　　会

（構成）

第12条　総会は、すべての正会員をもって構成する。

２　前項の総会をもって法人法上の社員総会とする。

（権限）

第13条　総会は、次の事項について決議する。

(1) 会費の額

(2) 会員の除名

(3) 理事及び監事の選任又は解任

(4) 日看協代議員及び予備代議員の選任

(5) 理事及び監事の報酬等の額

(6) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認

(7) 定款の変更

(8) 解散及び残余財産の処分

(9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

（開催）

第14条　総会は、定時総会として毎年度６月に１回開催するほか、必要がある場合に開催する。

（招集）

第15条　総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

２　総正会員の議決権の10分の１以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

３　前項の請求があったときは、会長は、総会を招集しなければならない。

４　総会を招集するときは、総会の日時、場所及び総会の目的たる事項を開催の30日前までに正会員に文書をもって通知しなければならない。

（議長）

第16条　総会に議長団を置く。

２　議長団は３名以上とし、総会においてその都度正会員の中から選出する。

３　議長は議長団がこれを定める。

（議決権）
第17条　総会における議決権は、正会員１名につき１個とする。

（決議）
第18条　総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。
２　前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の３分の２以上に当たる多数をもって行う。
(1) 会員の除名
(2) 監事の解任
(3) 定款の変更
(4) 解散
(5) その他法令で定められた事項
３　理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第１項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

（議決権の代理行使）
第19条　正会員は、代理人によってその議決権を行使することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書面を本会に提出しなければならない。

（書面による議決権の行使）
第20条　書面による議決権の行使は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、総会の日時の直前の日時の業務時間の終了時までに当該記載をした議決権行使書面を本会に提出して行う。
２　前項の規定により書面によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

（議事録）
第21条　総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
２　議長及びその会議において選任された議事録署名人２人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第５章　役　　員

（役員の設置）
第22条　本会に、次の役員を置く。

(1) 理事　20名以上25名以内
(2) 監事　２名以上３名以内
２　理事のうち１名を会長、２名を副会長、１名を専務理事、１名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師から各1名以上を含むものとする。
３　監事のうち１名を会員外とする。
４　第２項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第１項第２号の業務執行理事とする。

（役員の選任）
第23条　理事及び監事は、総会の決議によって選任する。
２　理事会は、会長、副会長、専務理事及び常任理事を選定及び解職する。
３　前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定する方法によることができる。
４　第２項の場合において、理事会は、会長が推薦する専務理事候補者及び常任理事候補者から専務理事及び常任理事を選定することができる。

（役員の欠格事由）
第24条　次に掲げる者は本会の役員となることができない。
(1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者
(2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者
(3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第６条に該当する者
(4) 認定法第６条第１号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

（役員の資格喪失）
第25条　前条に該当するに至った者は、当該時点で本会の役員の資格を喪失する。

（理事等の構成）
第26条　本会の各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族（これに準ずるものとして当該理事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令（以下「認定法施行令」という。）で定める特別の関係にある者を含む。）である理事の合計数が理事の総数の３分の１を超えないものであること。監事についても同様とする。
２　他の同一の団体（公益法人又はこれに準ずるものとして認定法施行令で定めるものを除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令で定める者である理事の合計数が理

事の総数の３分の１を超えないものであること。監事についても、同様とする。

（理事等との特殊の関係）

第27条　本会の理事のうちには、理事のいずれか１人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の３分の１を超えて含まれることになってはならない。

２　本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び本会の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

（理事の職務及び権限）

第28条　理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

２　会長は、法令及びこの定款で定めるところにより本会を代表し、その業務を執行する。

３　副会長は、会長を補佐する。

４　専務理事は、会長及び副会長を補佐し、業務を分担執行する。

５　常任理事は、業務を分担執行する。

６　副会長、専務理事及び常任理事の権限は、理事会が定める職務権限規程による。

７　会長及び業務執行理事は、３か月に１回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

（監事の職務及び権限）

第29条　監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

２　監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

３　監事は、理事が不正な行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告する。

４　監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べる。

５　監事は、第３項に規定する場合において、必要があると認めるときは会長に対し、理事会の招集を請求することができる。

６　前項の規定による請求のあった日から５日以内に、その請求があった日から２週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合は、その請求をした監事は、理事会を招集することができる。

７　監事は、理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくはこの定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総

会に報告する。
8　監事は、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

（役員の任期）
第30条　理事の任期は、選任後２年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。
2　前項の規定にかかわらず、理事は、同一職に引き続き就任するときは選任後６年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することができない。
3　監事の任期は、選任後４年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の時までとする。ただし、再任を妨げない。
4　前項の規定にかかわらず、監事は、引き続き就任するときは選任後８年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することはできない。
5　補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
6　理事又は監事は第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

（役員の解任）
第31条　理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

（報酬等）
第32条　理事及び監事は、無報酬とする。ただし常勤の理事及び会員外の監事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、報酬として支給することができる。
2　役員にはその職務を執行するために要する費用を弁償することができる。
3　前２項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員の報酬及び費用に関する規程による。ただし、監事の報酬及び費用については、監事の協議による。

（損害賠償責任）
第33条　理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。
2　前項の責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。
3　第２項の規定にかかわらず、理事又は監事が職務を行うにつき善意でかつ

重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該理事又は監事の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、法令の定める額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

第６章　理　事　会

（構成）

第34条　本会に理事会を置く。

２　理事会は、すべての理事をもって構成する。

（権限）

第35条　理事会は、次の職務を行う。

(1) 本会の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

（招集）

第36条　理事会は、会長が招集し議長となる。

２　会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、理事会においてあらかじめ定めた理事が理事会を招集し議長となる。

（決議）

第37条　理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

２　前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べた場合は、この限りでない。

（議事録）

第38条　理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

２　出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第７章　職能委員会

（職能委員会）

第39条　本会に次の職能委員会を置く。

(1) 保健師職能委員会

(2) 助産師職能委員会

(3) 看護師職能委員会

２　職能委員会は、それぞれ職能上の問題を審議し、理事会に提案する。

３　各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師の理事をもって充てる。

４　各職能委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。

５　各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会において別に定める。

第８章　委　員　会

（委員会）

第40条　この定款に定めるもののほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができる。

２　委員会は、総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。

３　委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。

４　委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第９章　支　　部

（支部）

第41条　本会に支部を設置する。

２　支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第10章　事　務　局

（事務局）

第42条　本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

２　事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

３　事務局長は、理事会の決議を経て会長が任免する。

４　事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第11章　資産及び会計

（事業年度）

第43条　本会の事業年度は、毎年４月１日に始まり翌年３月31日に終わる。

（事業計画及び収支予算）

第44条　本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

２　予算等については、定時総会に報告するものとする。

３　予算等については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第45条　本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第１号及び第２号の書類についてはその内容を報告し、第３号から第６号までの書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

２　前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に５年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

（公益目的取得財産残額の算定）

第46条　会長は、認定法施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第２項第４号の書類に記載するものとする。

（会計の規程等）
第47条　会計に関して必要な事項は、理事会において別に定める。
２　特別費用準備資金及び特定の資産の取得又は改良に充てるために保有する資産の取り扱いについては、理事会の決議により別に定める。

第12章　定款の変更及び解散

（定款の変更）
第48条　この定款は、総会の決議によって変更することができる。

（解散）
第49条　本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

（公益認定の取消し等に伴う贈与）
第50条　本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から１箇月以内に、認定法第５条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

（残余財産の帰属）
第51条　本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、認定法第５条17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章　公告の方法

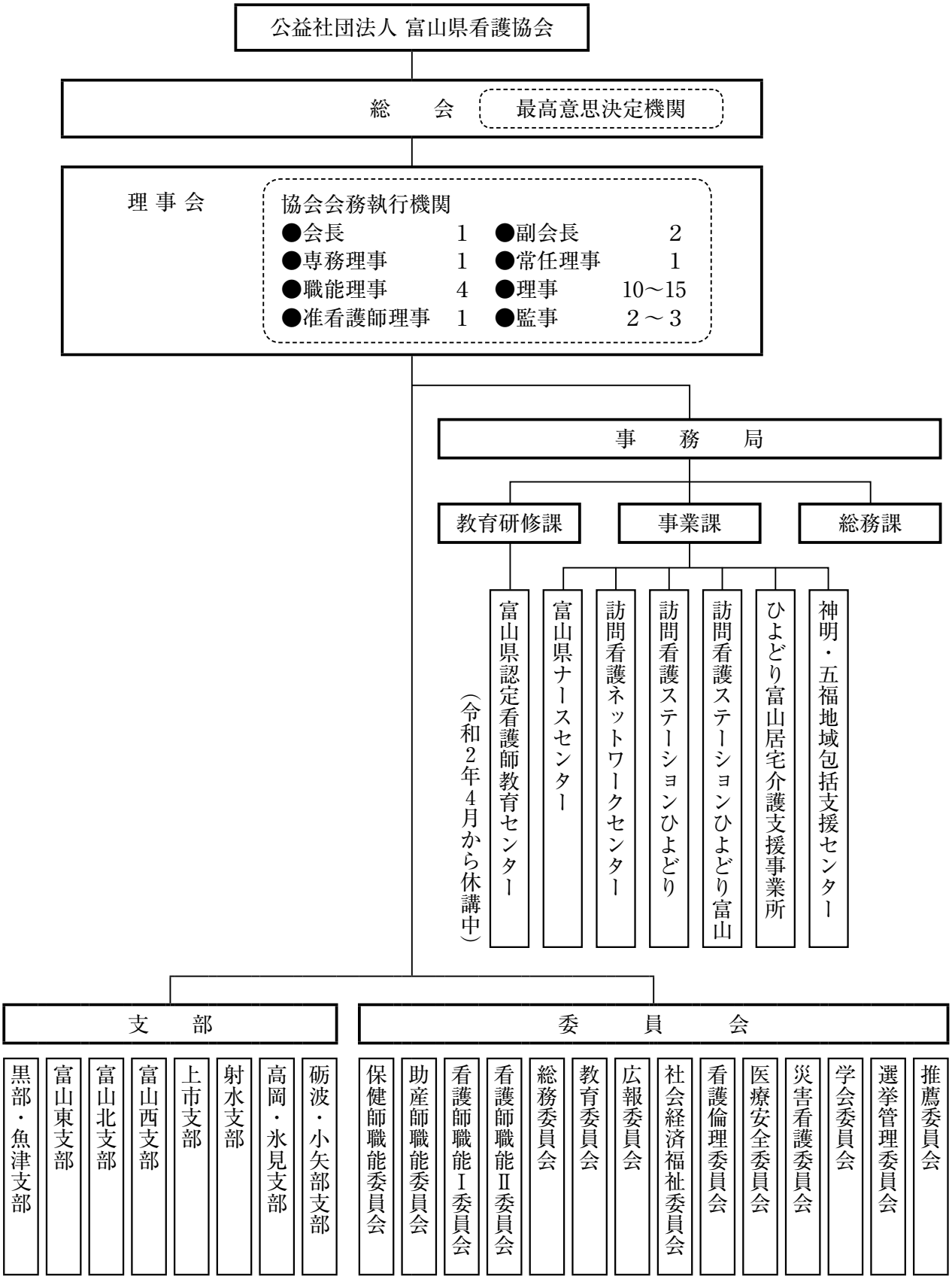
（公告の方法）
第52条　本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

附　　則
１　この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第１項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
２　本会の最初の代表理事は三谷順子とする。

3　一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第１項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第43条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人 富山県看護協会組織図

令和２年６月１日現在



富山県看護協会職員名簿

（令和２年６月１日現在）

事　務　局

局　　長　　大　川　昌　宏
職　　員(主任)村　井　一　仁(主任)髙　瀬　かおり
職　　員　　米　道　智　子　　杉　山　理　恵　　川　村　美　里
非常勤職員　　柳　平　洋　子　　古　川　恵　子　　加　田　由起子

ナースセンター

センター長　　松　嶋　　瞳
職　　員(主任)黒　田　麻衣子　　加　賀　美　希
非常勤職員　　新　村　千　晶　　今　木　眞理子　　濱　　祐　美　　城　生　裕　子
　　田　中　澄　子　　秋　知　美和子　　秋　本　記　江

ネットワークセンター

非常勤職員　　安　井　千　明　　中　山　郁　代　　清　水　阿佐美

訪問看護ステーションひよどり

管　理　者　　森　　陽　子
職　　員(主任)帯刀　あづさ(主任)草　島　文　子　　宮　脇　真　未
非常勤職員　　丸　山　智　代　　福　澤　好　美　　井　波　絵　弓　　干　場　嘉代子

訪問看護ステーションひよどり富山

管　理　者　　北　川　洋　子
職　　員(係長)西　井　和　実(主任)天　野　久　美　　永　田　　莉　　長　井　絹　子
非常勤職員　　高　松　裕　子　　酒　井　美恵子　　曾　田　和　美　　小　暮　　恵

ひよどり富山居宅介護支援事業所

管　理　者　　原　田　理　恵
職　　員　　藤　永　晴　美
非常勤職員　　林　　比 呂 美

神明･五福地域包括支援センター

管理者　　本　田　理恵子
職員　　(主任)田　原　千賀子　　宮　本　恵理子　　佐々木　智　子
嘱託職員　　吉　崎　るみ子